K-1 VS PRIDE
開戦記念企画！

K—1 VS PRIDE 開戦日は4月21日、広島サンプラザ K—1ジャパンのリングで

武蔵 VS セーム・シュルト 決定！

VS

喧嘩は売るし、喧嘩は買う 新日イズム、ここにあり！

噂されていたK—1VS『プライド』の全面戦争が遂に火ブタを切ることになった。まずは4・21K—1ジャパン広島大会で武蔵VSセーム・シュルトの一戦が決定！　さらに翌週の4・28『プライド20』では、ミルコ・クロコップVSヴァンダレイ・シウバの一戦が決定的なものとなっている。喧嘩は売るし、喧嘩は買う。これぞ、まさに昭和の新日イズム。格闘技の2大メジャー団体の全面対抗戦は、新時代の新日本と言っても過言ではない。この闘いに、過剰な思い入れをもって見よ！

ド素人もワクワクする徹底検証

K—1 VS PRIDE もし闘わば……

黄金カード目白押し、間違いなし！

ターザン山本（甦った定義王）
島田裕二（K—1＆PRIDEレフェリー）
サダハルンバ谷川（K—1＆PRIDE解説者）

山本　谷川ーっ、俺はだんだん興奮してきたよぉ。

谷川　えっ、なんの話ですかぁ？

山本　決まっているよぉ。K—1と『プライド』の全面戦争のことですよぉ。これ、考えれば考えるほど凄い話なんだよね。で、今日はK—1と『プライド』の対抗戦を定義化するとか、概念化するという難しい話じゃなくてね、まずこの格闘技の2大メジャーがぶつかり合うことでどんな面白いことが起こるのか。そういう簡単な話をしようと思って、谷川と島田の2人を呼んで、メシを食おうと思ったわけですよぉ。

島田　ハハハハハハ、失礼な（笑）。

山本　今までぇ、K—1というのは、K—1ルールの中で誰が一番強いかとか、どっちが強いかというのを競ってたわけでしょ？　つまり、これは「競技内純能力検定試合」と言えるわけですよ。ところが、K—1の選手が『プライド』に出るとか、『プライド』ファイターがK—1に出るというのは、「競技外能力検定他流試合」、こうなるわけですよ。この2つのタイプがこれから出てくるわけね。昔、村松友視さんが「プロレス内プロレス」と「過激なプロレス」と分けたように、これからはK—1戦士の中でもK—1しかやらない人とK—1を飛び出して外に出て闘う2つのタイプが出てくる。だからK—1の人が『プライド』に出ていく、『プライド』の人がK—1に出ていくというような、「競技外能力検定試合」もしっかり評価していかなければならなくなるのよ、俺たちは。たとえば、「競技外能力検定試合」でミルコは大爆発した。でも、アーネスト・ホーストはそれをやらないでしょ。でも、彼は「競技内純能力検定試合」では一番なわけですよ。この両方を評価していくシステムができるわけですよぉ。

谷川　なるほど。

島田　それでK—1内でもハントVSミルコのような「競技内純能力検定試合」チャンピオンと「競技外能力検定他流試合」のチャンピオンが闘って、盛り上がったりしてますからね。昔の新日本プロレスみたいに。

山本　そう！　いいこと言うねぇ。でぇ、俺たちがやっぱりどこに興奮するかというと、「競技外能力検定他流試合」に打って出ることでしょ。違う？　だから、俺たち3人で今から、K—1と『プライド』の選手をひとり一人ピックアップしてみて、これから「競技外能力検定他流試合」に出ていく場合、どういう見方をしていくか、3つの項目に分けてチェックしてみようというわけ。それをやることによって、K—1VS『プライド』の対抗戦を他のヤツらより10倍楽しもうという魂胆ですよぉ。

谷川　なるほどぉ。前に山本さんが大発明したPPJみたいにやるのかぁ。

山本　そうそうそう。まずね、それをどういうふうにチェックするかというと、①期待度、その選手にどれだけの期待感があるのか？　②競技外の適応能力、適性能力がどれだけあるのか？　③そして、大化けの可能性があるかどうか、この3つをチェックしてみようと思うわけ。たとえば、今度K—1に出るセーム・シュルトなんかは、期待も適性能力もあると思うじゃない。だから、◎とか◎をつける。それに対して、アーネスト・ホーストは全然ダメだから、ぜーんぶ×、×、×なわけですよぉ（笑）。

谷川　点数制にしますか、やっぱり？

山本　いや、もうそんな難しいことじゃなくてね、○△×でいこう。

谷川　あ、○△×……。

島田　なめられてるなぁ（笑）。

山本　でも、島田レフェリーだったら、K—1と『プライド』、両方やってるわけでしょ。谷川の場合は、両方解説をやっている。だから2人は、このK—1と『プライド』が闘う前に、こうやって検定するのに一番適しているわけですよ。2人に聞けばね、もうほとんど分かるわけ。だから、こうしてメシを食おうと思ったんですよぉ。

島田　分かると思いますけどね、ノルキヤだけはちょっと予測がつきませんでし

K-1 VS PRIDE
開戦記念企画！

これからは、「競技内純能力」と「競技外能力」に分けて考える必要がある！

たねぇ（笑）。

山本 それはノルキヤの「競技内純能力」？ それとも「競技外能力」のことぉ？

島田 両方ですね。南アフリカでロシアのサンボ王者を総合ルールで49秒で倒したって触れ込みで、そのレフェリーをマイク・ベルナルドがやったなんて言ってたんですよぉ。で、少しは期待感があったんですけど、ゲーリーと山本に簡単に負けて。結局、噛ませ犬かなと思ったんですけど、負けて今、大化けしているんですよねぇ（笑）。

山本 期待もしてないし、適性能力もないと思ったんだけど、大化けの可能性は◎だったわけだねぇ。面白いねぇ。

谷川 じゃあ、とりあえずやってみましょうか。

山本 たとえばね、俺なんかハッキリ言って、ミルコなんか期待薄だったんだよね。島田さんもそうじゃない？

島田 そうですねぇ。でも、適性能力はあると思ったんですけどねぇ。レフェリーやってても、K—1ルールの中で投げたり、投げたあともヒザをガツンと入れたりしてましたからね。あの気性は他流試合には向いているんじゃないかなと思ってましたね、ハイ。

山本 俺はもう要するにミルコは、K—1という「競技内純能力」に限界があると見てたわけ。だから他流試合やるしかねーのかなというね。そういう気持ちで石井館長は、生け贄として差し出したんだって思ってたわけよ（笑）。だから①期待度×、②適性能力はまったく分からなかったから△、で、③可能性（大化け）はまぁ藤田とやるということで、注目は集めるから○というくらいにしか考えてなかったんだよねぇ。

谷川 なるほど。

島田 僕は最初、藤田選手とやったら正直、1Rもったらいいほうだなぁと思ったんですけどねぇ。バーリ・トゥードには向いてると思ってたんですけど、勝っちゃったのにはビックリしましたね。ミルコの場合、本当にピンポイントで当てていったのが凄いですね。あれは絶対にラッキーなんかじゃなくて、最も切れやすいところを狙っているんですよ。頭なんか切れないですよ。コメカミのところだから、あんなに切れるんですよ。

山本 あ、そう。

島田 もちろん、ヒザで狙えと指示したのはセコンドだと思いますよ。でも、ミルコはただヒザで倒そうとしたんじゃなく、ピンポイントを狙って切っていったんですよ。それは凄いことですよ。

山本 そんなことやられたら、プロレスラーは勝てないよぉ。じゃあ、島田は◎だ、◎！

島田 いや、でもそれでも立ち上がってきた藤田のほうにもビックリしましたけどねぇ、ハイ。

谷川 僕は全部◎でしたねぇ。石井館長にK—1ファイターで、誰が一番『プライド』に向いているかと進言するなら、ミルコだって思ってましたから。

山本 なにぃ～？ ミルコにぃ～、それは凄い鑑識眼があるねぇ。

谷川 身体能力は高いし、クロアチアというハングリーな土壌もある。それに本人は特殊警察をやっているということで、「競技外」には最も向いてると思ってたんですよぉ。それが見事に、予想以上にハマったというか。

山本 じゃあ、藤田やってみよう。藤田が『プライド』に出ると決まった時、どう思ってたのか、思い出してみよう。俺はね、もう①期待度は普通ですよぉ。△。

谷川 それは、藤田がまだプロレスラーとして大物じゃないというか、〝猪木イズム最後の継承者〟と言われても、ピンとこなかったというか。

山本 そうそうそう。でも、適性は凄くあるというかね。○ですよぉ。で、最初はやられて、あとは普通に活躍するのかなぁっていうんで、可能性も△だなぁ。

谷川 僕も山本さんの感覚に近いなぁ。その当時は藤田のことよく知らなかったし、強そうに見えましたけど、実際バーリ・トゥードも競技なんで、勝つのは難しいかな、と。だから全部△ですね。

島田 僕は期待感はありましたねぇ。新日本というブランドや縦社会に反発するかのように外に出ていったわけじゃないですか。でも、適性という部分では運動能力は凄いんですけど、背もそんなに大きくないし、ヘビー級じゃ無理なのかなっていうのはありましたね。打撃もありますからねぇ。年齢も30くらいになってたじゃないですかぁ。

山本 ほぉ～ん。やっぱり面白いよぉ、この企画は。で、今の2人は後付けで、思い出して付けてるわけだよね。で、これからは今後K—1 VS『プライド』をやっていくうえで、武蔵VSセーム・シュルトとか、どんどん予測していくわけですよ。俺たち専門家の目で。よし、マーク・ハントからやってみよう！

谷川 ハントはいいですねぇ。

山本 ハントは俺、めちゃくちゃ期待しているよぉ。①期待感は◎。ぜひ『プライド』に出てほしいねぇ。

谷川 適性もありますねぇ。

山本 ありますよぉ。○ですよぉ。

島田 僕も期待感はあるし、適性能力で言えば、あの首の太さや打たれ強さって異常じゃないですか。だから、可能性で言えばミルコを越えるかもしれないって思ってます。

谷川 うん、ハントは面白い！

島田 あとは「お金、お金」というモチベーションがいいですねぇ。K—1のチャンピオン取って頂点に立ったんで、今度は他流試合に出て、「お金、お金」って言ってほしいですね。

山本 じゃあ、僕たち3人にとっては、ハントは一押しも二押しも凄いわけ？ だって、ハントって「競技内」でも雑草みたいに、枠にはまらない能力を見せるじゃない。そこがいいんだよなぁ。

島田 K—1戦士でありながら、K—1戦士のようなストイックな雰囲気を持っていないじゃないですか。だから、ハントが唯一プロレスラーっぽく見えるんですよね。そういうところが、僕はビビッときますね。K—1の中でも、彼は他流試合っぽく見えるんですよ。

藤田和之（⇒PRIDE）

	山本	島田	谷川
期待度	△	○	△
適性能力	○	×	△
可能性（大化け）	△	◎	△

ミルコ・クロコップ（⇒PRIDE）

	山本	島田	谷川
期待度	×	×	◎
適性能力	△	◎	◎
可能性（大化け）	○	◎	◎

フィリォはルールのあるK—1よりも『プライド』のほうが向いてると思う

セーム・シュルト（⇒K—1）

	山本	島田	谷川
期待度	◎	○	○
適性能力	◎	◎	◎
可能性（大化け）	◎	◎	◎

アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ（⇒K—1）

	山本	島田	谷川
期待度	○	◎	◎
適性能力	×	△	×
可能性（大化け）	△	△	◎

フランシスコ・フィリォ（⇒PRIDE）

	山本	島田	谷川
期待度	△	×	◎
適性能力	△	◎	◎
可能性（大化け）	△	×	◎

マーク・ハント（⇒PRIDE）

	山本	島田	谷川
期待度	◎	○	◎
適性能力	○	○	○
可能性（大化け）	○	◎	◎

山本　じゃあ、フィリォですよぉ。

島田　僕はフィリォのことは凄く買ってたんですけど、去年のK—1グランプリを見て、他流試合は弱いかもしれないと思っちゃいましたねぇ。適性は◎なんだけど、期待感はないですねぇ。

山本　ハハハハハハ。

谷川　でも、フィリォにとって、K—1に出ること自体、「競技外能力」を試そうとしたってことでしょ。だけど、僕はフィリォにとって、もしかしたらK—1っていう競技は一番向いていない気がするんですよぉ。

山本　ホントにぃ〜？　僕はK—1が一番向いていると思ったんだけどねぇ。違う？

谷川　いや、向いてないんじゃないですかねぇ。K—1というのは、ルールのある競技じゃないですか。で、フィリォは真面目だから、その競技に適応しようと必死になったんですよ。でも、フィリォがそうやって必死になればなるほど、フィリォ本来の能力が去勢されていったような気がするんですね。本来の眠っていた潜在能力を発揮するんじゃなくて、どんどん枠の中に自分をはめ込んでいっちゃったんですよ。だから、島田レフェリーのような見方の人が増えているんじゃないですか。

山本　ということは、なんでも有りのバーリ・トゥードは一番向いてるってことじゃない。

谷川　そうなんですよ。K—1だからダメなんですよ。総合には向いていると思いますよ。というか、他流試合には向いていると思うんです。だって、フィリォがK—1で一番輝いていた時は、K—1を知らなかった時ですからねぇ。デビュー戦の頃、ぜーんぶ一撃で倒していたのは、知らないから、来る相手を本能的に叩いて、気が付いたらマットに沈んでいたらしいんですよ。あれを見る限り、フィリォは他流試合に向いていると思いますよ。

島田　一撃はあるし、腰は強いし、適性能力では、K—1の中で一番あるでしょうね。

谷川　だから僕の期待度も、大化け度もめちゃくちゃ高いですよ。フィリォになんでもやっていいんだよ、と言ったら貫手で本当にはらわたえぐったりできると思うんですよ。マウントパンチで頭蓋骨を割ったりしますよ（笑）。

山本　そうか、フィリォというのは、フィギュアスケートで言えば、規定演技はダメだけど、自由演技では抜群の力を発揮するんだな。

谷川　そうです、そうです。だから、僕は全部花マルですよぉ。

山本　谷川は花マル！（笑）。

島田　そうですねぇ。昔、磯部さんがやってたような狂った練習をやってるとフィリォは怪物ですよね。バンナに負けてから、変にボクシング技術に走っていったからなぁ。今はポイントを取る闘いになってますもんねぇ。山本さんはどう思います？

山本　……僕？　僕は全部△ですよぉ。

谷川　んむぐぅ〜。

山本　よく分からないからねぇ。じゃあ、ノゲイラのK—1参戦っていうのはどうなの？　俺は②適性能力は×だと思うんだよぉ。

谷川　適性能力は×ですけど、期待感はありますよねぇ。

島田　でも、ノゲイラはもともとボクシング上がりなんですよぉ。

山本　ホントにぃ〜？

島田　ホントです、ホントです。ボクシングやってから柔術やってるんですよね。だから、ヒーリングと打ち合った時も、ノゲイラのほうがよく見て打ってるし、ヒーリングのほうが目をつぶって、アゴも上がっちゃってるんですよね。でも、K—1はキックもあるし、ボクシングとは間合いが違うから、大化けしそうにはないですね。

谷川　俺は大負けして、大化けするような気がするなぁ。

山本　ハッハハハハ！　パチパチパチ！

谷川　なんていうのかな、ノゲイラって『プライド』では誰にも負けそうじゃな

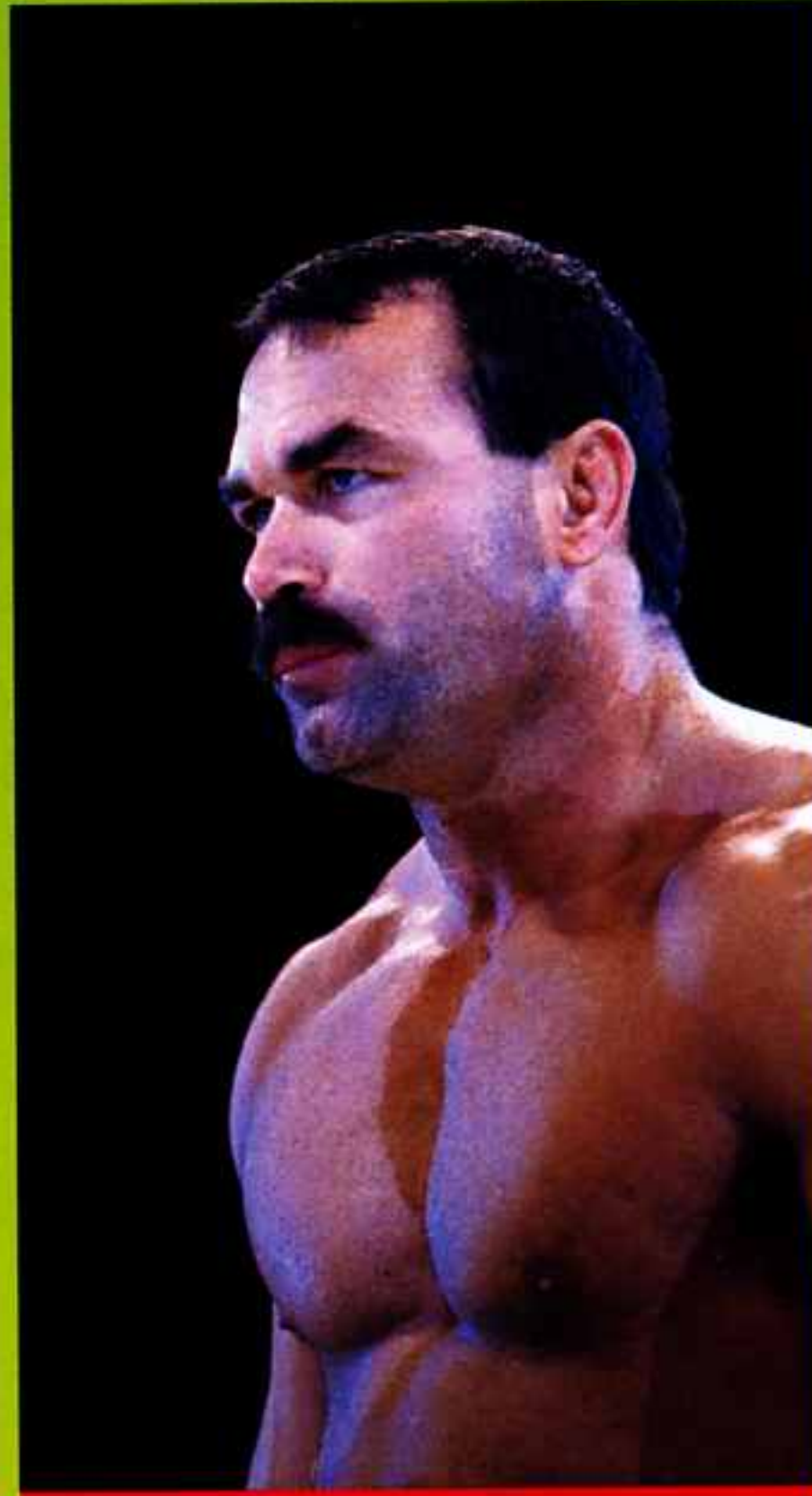
K-1 VS PRIDE
開戦記念企画！

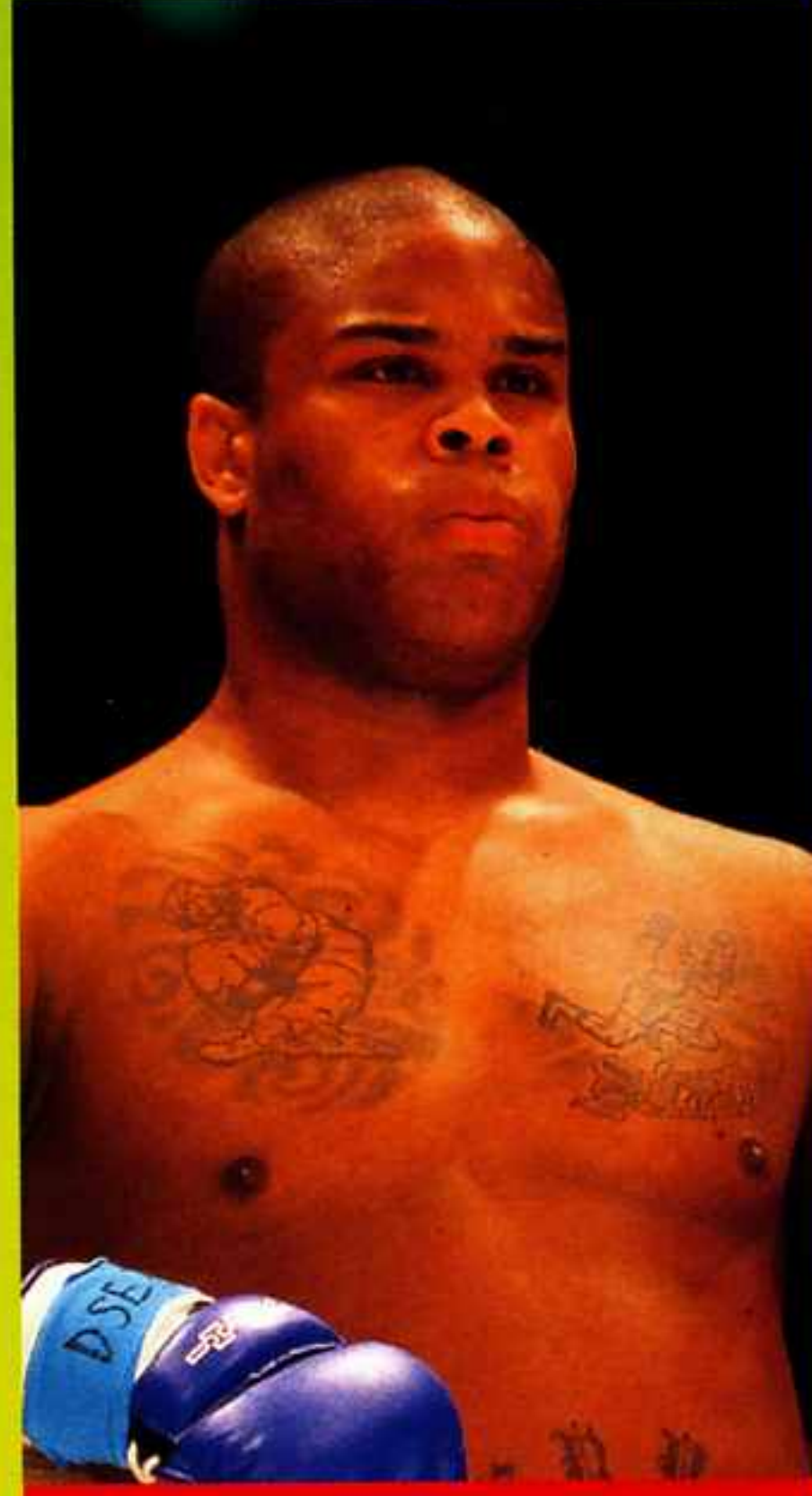
アイブルは精神が「競技外」。こういう人間はルールの枠に入れたほうが面白い！

レイ・セフォー（⇒PRIDE）

	山本	島田	谷川
期待度	○	△	◎
適性能力	△	○	◎
可能性（大化け）	×	×	◎

シリル・アビディ（⇒PRIDE）

	山本	島田	谷川
期待度	◎	◎	○
適性能力	△	◎	◎
可能性（大化け）	○	◎	◎

ドン・フライ（⇒K—1）

	山本	島田	谷川
期待度	◎	◎	◎
適性能力	×	×	×
可能性（大化け）	△	△	○

ギルバート・アイブル（⇒K—1）

	山本	島田	谷川
期待度	◎	◎	◎
適性能力	△	○	○
可能性（大化け）	△	◎	○

いじゃない。「競技外能力」で飛び抜けた存在なんですよねぇ。だから、このまだと見ているほうも、ノゲイラ自身も「競技外能力」でのノゲイラに飽きちゃうと思うんですよぉ。だから、もしかしたら「競技内能力」を競うK—1みたいな試合に出たほうが、期待度は上がるし、負けてもファンに強烈な印象を残して、大化けすると思うんですよ。

山本 あ、そう！

島田 僕はプロレスに出て大化けするんじゃないかと思いますね。今は地味じゃないですかぁ。そこで新崎人生のようなロープの拝み渡りとかやったり、飛びつき三角絞めとかやったら、大化けすると思いますねぇ。

山本 面白いなぁ〜、島田の見方も(笑)。

島田 ノゲイラVSロックとかやって、ピープルズ・エルボーとか受けてきたら、ノゲイラは『プライド』でも大化けしますよぉ、ハイ。

山本 じゃあ、シュルトはどうなの？

谷川 う〜ん、こいつはわけの分からんヤツですよねぇ。

山本 俺は全部◎ですよ。無敗街道を突っ走ってほしいねぇ。K—1での適性能力も高いんじゃないの？

島田 高いですねぇ。でも大化けはしない感じはしますね。「あ、また勝っちゃった」みたいな。なんかイベンダー・ホリフィールドのように人気の出ないチャンピオンっていますよね。ピープルズ・チャンピオンにはなりそうにないですね。

山本 でも、こいつは不気味だよぉ。不気味度では、◎だよぉ。

谷川 不気味度！(笑)。ただデカイから勝っちゃうっていう感じだけでもないしなぁ。

島田 だからWWFのビデオを見て、自己演出の勉強をするべきなんですよ。ノルキヤも良くなったじゃないですか。勝った時、ロープに登って「ウォ〜〜ッ！」って。入場シーンは、同じジムでもアイブルのほうがいいんですよ。

谷川 じゃあ、K—1のアイブルはどうですか？

山本 アイブル？ アイブルはいいよぉ。ミーハー的に①期待感は◎ですよぉ。

島田 アイブルは入場もいいですけど、ダーティなところがいいですね。初のダーティ・チャンピオンになって、ピープルズ・チャンピオンのハントとやったら面白いですね。そのアイブルのダーティぶりになりそこなったのが、レネ・ローゼですよ。

山本 俺はアイブルにK—1ジャパンの日本人を、片っ端からぶっ潰してほしいねぇ(笑)。

谷川 アイブルっていうのは、精神が「競技外」って気がしますよねぇ。

山本 あ、そうだよなぁ。

谷川 そういう人間は「競技外」の闘いで能力を発揮するように見えて、意外に「競技内」の、ルールがある競技に出たほうが魅力が爆発するんですよ。だって、そのルールを常に破ろうとするじゃないですか。だから、アイブルみたいなタイプは『プライド』より、K—1やリングスのKOKのほうが活きるかもしれない。

島田 館長を殴るのって、アイブルぐらいですもんねぇ(笑)。

山本 ハッハハハハハ！

島田 K—1って、今ヒールがいないじゃないですか。バンナもヒール人気だったんですけど、今は普通になっちゃいましたからね。ヒールがいないと、K—1も面白くないですよ。

山本 そういう形でK—1と『プライド』がやると、ますますプロレス的なエッセンスが吸収されちゃうもんなぁ。

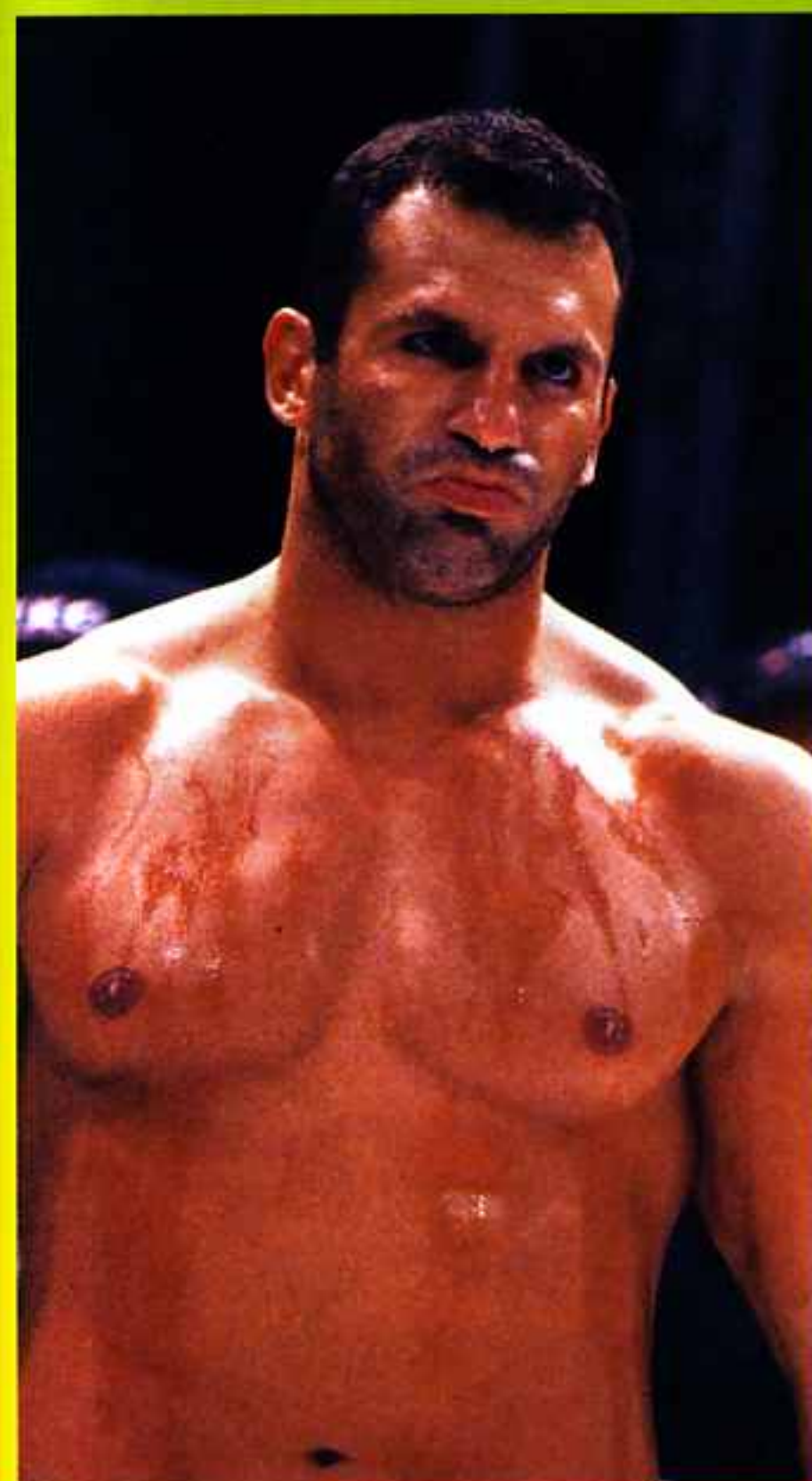
谷川 じゃあ、ドン・フライは？

山本 ドン・フライがK—1？

島田 適性からいうと、年齢的には×ですよねぇ。でも、期待感はありますね。

山本 うん、ある。◎ですよぉ。マッチメイク次第では、新しいドン・フライ劇場が生まれますよぉ。

谷川 僕、もしプロモーターの立場だったら、ドン・フライが世界で一番信頼感が持てる男ですね。この男は誰とやって

ドン・フライは最も信頼できるグッドワーカー。闘いっぷりは「風車の理論」ですよぉ

サム・グレコ（⇒PRIDE）

	山本	島田	谷川
期待度	△	△	○
適性能力	△	○	◎
可能性（大化け）	×	△	△

アーネスト・ホースト（⇒PRIDE）

	山本	島田	谷川
期待度	×	×	×
適性能力	×	×	×
可能性（大化け）	×	△	×

ヤン・ザ・ジャイアント・ノルキヤ（⇒PRIDE）

	山本	島田	谷川
期待度	○	◎	◎
適性能力	△	△	×
可能性（大化け）	△	◎	△

マイク・ベルナルド（⇒PRIDE）

	山本	島田	谷川
期待度	×	×	×
適性能力	×	×	×
可能性（大化け）	×	×	×

も絶対に悪い試合をしないでしょう。

島田　フライVSマイク・ベルナルドなんか、凄い打ち合いやりそうでいいですね。

谷川　いや、単純にドン・フライVSアビディのK—1ルールでの再戦でもいいんですよ。アビディも「競技外」の性格の男ですからねぇ。

山本　あ、そう。精神が「競技外」のヤツが一番面白いんだよなぁ。

谷川　だけど、ドン・フライは「競技外」の男じゃないんですよ。彼は「競技内」でも「競技外」でも、めちゃくちゃグッドワーカーなんですよ。だから、信頼感があるんですよ。

島田　猪木スピリットですよ、ヤツは。

谷川　ケン・シャムロックとの試合なんか、ビックリしましたからねぇ。スタンディングでの相撲でも、グラウンドでもケン・シャムロックの一番得意なところで闘いましたからね。タックルなんか1回もいかないんですよ。

島田　自分が得意なのに。

谷川　そう。で、アビディとの試合にしても、あれ、アビディがスイープしたんじゃなくて、ドン・フライがわざとひっくり返させましたもんね。

山本　そういうふうにも見えるなぁ。

谷川　あんなにアビディをボコボコにしながら、一筋の光を与える。凄いですよ、ドン・フライは！

島田　そうですねぇ。冷静に考えても、アビディにひっくり返されたら「ＵＦＣのチャンピオンが何やってんだ」ってツッコミを入れたくなるけど、残り時間が少なかったから、ちゃんと計算してるんですよね、あれは。

山本　ホントにぃ〜？

島田　絶対にそうですよ。しかも、あの時はそれまでの試合が4試合全部ドローで、どうなっちゃうんだろうという雰囲気があったじゃないですかぁ。その流れを見事に変えたのも、ドン・フライじゃないですかぁ。

山本　じゃあ、あの日のＭＶＰはフライじゃない。これはザ・グッドワーカー賞を作らなきゃダメだなぁ。でも、相手の良さを引き出すなんて、猪木さんそのものだよぉ。

島田　猪木さんですよ。風車の理論ですよぉ。

谷川　藤田も風車の理論を使うんですよね。

山本　なにぃ〜、藤田がぁ。藤田もグッドワーカー？

谷川　いや、グッドワーカーっていうか。藤田の場合、格闘技の能力としてどこが一番優れているかというと、スタミナと打たれ強さなんですよ。それで、藤田はどうやって闘っているかというと、相手に攻めるだけ攻めさせておいて、相手の力が弱まった時に一気に攻めるんですよね。だから闘い方自体が、自然と風車の理論になっているんですよ。

山本　それはケアー戦の話？

谷川　ケアー戦もそうだし、ケン・シャムロックの時も、高山とやった時もそうだったじゃないですか。相手が弱まる瞬間を見極める能力が高いんですよね。だから、藤田も相手を光らせるタイプなんですよ。

山本　それが本当なら、俺は藤田を見直しますよぉ。じゃあ、アビディはどうなの？　この人、負けたけど、期待は大きいよ。本気になってやってほしいね。

島田　彼も群れたがらないじゃないですか、だから「競技内」じゃダメですね。

谷川　アビディはフィリォみたいに「競技内」に収まろうとして無理して努力しても、そこに無理があるんですよ。努力しても「競技内」に収まれないんです。

島田　試合前に、子供みたいにイライラして爪を噛んじゃうんですよ。

山本　ええっ！

島田　爪が全部ないんです。だから、一番プロレスはできないタイプですよねぇ。

山本　俺は彼を活かしてほしいよぉ。マスクがいいよね。あんなに青タンが似合う男はいませんよぉ。日本一青タンが似合う男ですよぉ。

谷川　山本さん、アビディはフランス人ですって（笑）。

K-1 vs PRIDE 開戦記念企画！

ホーストは最強の保険屋か？ ピーター・アーツが甦る可能性も

ヒース・ヒーリング（⇒K—1）

	山本	島田	谷川
期待度	△	△	△
適性能力	△	△	△
可能性（大化け）	△	△	△

佐竹雅昭（⇒PRIDE）

	山本	島田	谷川
期待度	△	○	○
適性能力	△	○	○
可能性（大化け）	○	○	○

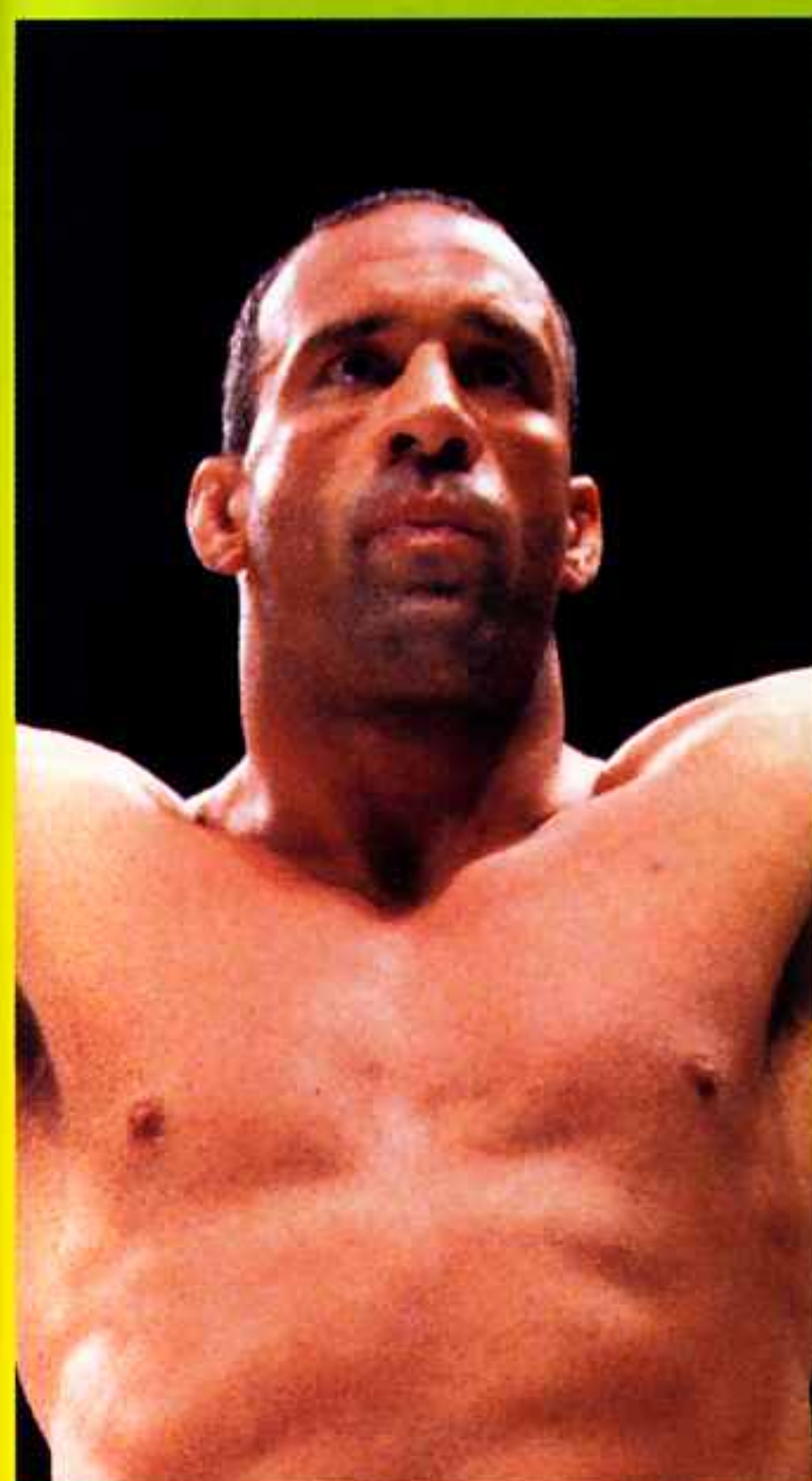
武蔵（⇒PRIDE）

	山本	島田	谷川
期待度	×	△	○
適性能力	×	○	×
可能性（大化け）	○	○	○

ピーター・アーツ（⇒PRIDE）

	山本	島田	谷川
期待度	○	△	◎
適性能力	×	×	◎
可能性（大化け）	○	○	◎

山本 かわいいもんなぁ（笑）。
谷川 じゃあ、セフォーはどうですかね。
島田 僕は適性能力はあると思うんですけど、なんか大化けしない感じがしますねぇ。キャラもハントとダブるし。
山本 僕は○、△、×ですよぉ。
谷川 僕はこの人、全部◎です。
山本 えぇ〜っ？
谷川 僕はミルコの次に大化けするのが、このセフォーなんじゃないかと思うんですけど。まず、セフォーに関しては、適性能力がミルコぐらいある。そのうえ、ミルコより気は強いと思うんですよね。ミルコは調子に乗ったら手がつけられないけど、やられる時は意外とあっさりしていますからね。その点、セフォーは生来の気の強さを持ってますよぉ。
山本 あっ、そう。
谷川 だから、僕個人は期待感が高いんですけど、この男の欠点は、ドン・フライみたいなグッドワーカーを目指しているところなんですよ。
山本 パチパチパチパチ（笑）。
谷川 両手ブラリとか、激しい打ち合いをしたあと、グローブを合わせたりするじゃないですか。そういうファンサービスがグッドワーカーだと思ってるんですよね。でも、そのファンサービスは実は間違ってて、本当はもっと非情になって叩き潰すつもりでやればいいんですよ。そこがセフォーが頭打ちになっている凄い理由ですね。
島田 わざと打たれ強いんだぜって見せてるところが、幻想じゃなくて、虚像になってるんですよね。だから、僕はセフォーが気が強いのかどうかは分からない。気が強いっていうのは、イグナショフみたいなタイプだと思うんですよ。
山本 イグナショフってのは、どこの国の出身？
谷川 ベラルーシです。あのチェルノブイリで一番放射能あびた。
山本 それはハングリーですよぉ。
島田 逆に気の小さそうなのは、マイク・ベルナルドですよねぇ。
山本 ベルナルド？ これはダメだね。×、×、×だよぉ！
谷川 僕も×、×、×。
島田 髙田さんとの試合を見たからなぁ。あれで見事な負けっぷりを見せたら、マイクの株も上がったんですけどね。
山本 ×、×、×で言えば、ホーストもだ！ 論外だよ、論外！
島田 ま、大化けくらいは△にしたいですねぇ。
谷川 でもホーストの使い方で一番いいのは、他流試合を挑んできた相手が、K—1に殴り込みにきた時の最後の砦ですよね。その役割はあると思うんですよ。
山本 パチパチパチパチ！（笑）。
谷川 いくら『プライド』戦士でK—1に向いているヤツが来ようとも、ホーストには負けるだろうって思っちゃいますからね。
島田 そりゃあ、そうですね。
谷川 でも、ピーター・アーツとか、マイク・ベルナルドだったら、もしかしたらってのがあるじゃないですか。セーム・シュルトだったら、勝つんじゃないかって。たとえば、フィリォがK—1に乗り込んできた時も、一番最初に止めたのはホーストでしたからね。石井館長としてみれば、ホーストを持っている強みってあると思うんですよ。
山本 ということは、ホーストは保険屋かぁ！（笑）。
谷川 ハハハハ、でも最強の保険屋ですよ。
島田 ボブチャンチンもK—1でホーストにやられましたからねぇ。それがトラウマになって、「もうK—1はヤダ」って言ってるみたいですよ。
谷川 ホーストの場合は、他流試合を仕掛けてきた相手の欠点を突くんですよ。ボブチャンチンがせっかくK—1の土壌で闘いにきたのに、パンチの打ち合いには付き合おうとはせず、徹底的にローキックで攻めるでしょ。だから、負けない安心感はあるけど、つまんないんですよ。
山本 野暮な男だねぇ。野暮ファイターだよ、そりゃあ（笑）。
谷川 ドン・フライの逆ですよ。バッド

小川直也はK—1でもPRIDEでも
やっぱり期待度は◎！

マーク・コールマン（⇒K—1）

	山本	島田	谷川
期待度	×	×	×
適性能力	×	×	×
可能性（大化け）	×	×	×

桜庭和志（⇒K—1）

	山本	島田	谷川
期待度	○	◎	◎
適性能力	○	◎	○
可能性（大化け）	◎	◎	◎

小川直也（⇒K—1・PRIDE）

	山本	島田	谷川
期待度	◎	◎	◎
適性能力	○	○	○
可能性（大化け）	◎	◎	○

ヴァンダレイ・シウバ（⇒K—1）

	山本	島田	谷川
期待度	○	◎	◎
適性能力	○	◎	○
可能性（大化け）	◎	◎	◎

ワーカーなんです（笑）。

山本　じゃあ、サム・グレコはどうなん？　俺は限りなく△だねぇ。

島田　身体能力は高いんですけどねぇ。やっぱり「競技外」の精神があるかどうかでしょうねぇ。

谷川　ピーター・アーツなんかは、本当は『プライド』で一番甦りそうなタイプなんですけどねぇ。

山本　俺も期待感はある。でも適性はないんじゃないの？　×だよ。で、可能性は○だな。

島田　僕も適性能力は×ですね。

谷川　でも、アーツはオランダですよ。僕はアーツこそ、K—1というスポーツの土壌で爽やかな感じがするんですけど、本当は誰よりも気が強いと思うんですよ。フィリォやセフォーでも人は殺せないと思うんですけど、アーツは平然と人を殺せるタイプだと思いますよ。

山本　ハハハハハハハ！

島田　それだったらＵＦＣのほうが似合いそうですね。

谷川　似合うよぉ。それこそ人間凶器性はゴルドーの比じゃないと思うよ。

山本　そういう意味では、逆に武蔵なんてどう？　コテンパンにやられる？

谷川　今度のK—1ルールでのシュルト戦だって危ないんじゃないですかねぇ。前蹴りとか、ジャブでぶっ飛ばされることだって、あると思いますよ。

島田　僕は武蔵の『プライド』での適性能力は意外とあると思いますねぇ。

山本　えぇ〜!?　武蔵がぁ〜？

島田　だって、あんなバランスよくミドルを打てるヘビー級の日本人なんていませんからねぇ。身体能力はめちゃくちゃ高いと思うんですよ。日本のミルコになれる可能性はありますよ。

山本　ホントにぃ〜？

島田　でも、要は本人のハートの問題ですよ。武蔵に昔の金ちゃんや後川聡之さんみたいなハートがあったら、かなりいけるんじゃないですかねぇ。

谷川　どうせやるなら、アイブルとか、シウバみたいな狂暴なヤツとやってもらいたいね（笑）。

山本　僕も武蔵の可能性は○かな。なーんか分からんけど、今までのダメさ加減が、バーリ・トゥードをやることによって、もしかしたら払拭されて良くなるかもしれんからねぇ。

谷川　石井館長もそれを期待してんでしょ。武蔵は凄く大きな負けが必要なんですよねぇ。

山本　結果が出てしまった佐竹はどうなんだろう。

谷川　佐竹は……期待感はありましたねぇ……。適性や可能性も、○だったよなぁ。

島田　僕も○ですね。

山本　ということは裏切られたわけじゃない。原因はなんだ？

谷川　……なんでしょうねぇ。

島田　ハングリーさかなぁ……。

山本　佐竹がなんで今イチなのか、これは難しい問題ですよぉ。

谷川　あっ、分かった！　石井館長がいないからだ！（笑）。

山本&島田　パチパチパチパチパチ！

谷川　石井館長と一緒に来てたら、佐竹はもっと違った印象になってたんじゃないですか。

山本　そうだよぉ。前にドン・中矢・ニールセンと他流試合やって勝ったじゃない。あれが最高の佐竹だもんなぁ。

谷川　そういうところを払拭するのが、今の佐竹の課題じゃないですか。

山本　あれはどうなの？　ノゲイラとやったアメリカの。

谷川　ああ、ヒーリング。ヒーリングは全部普通ですね。

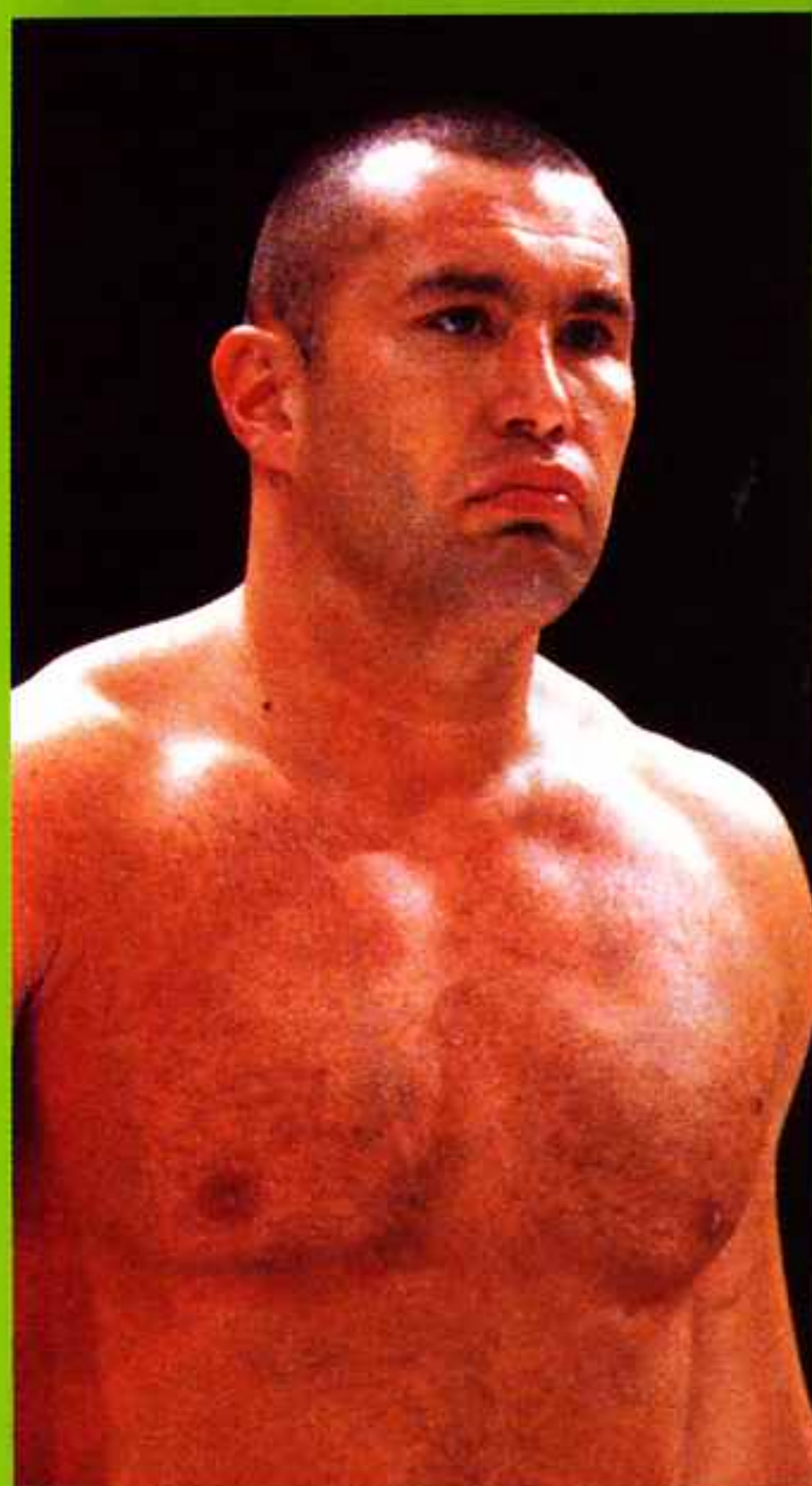
山本　普通？　やられちゃう？

谷川　いや、普通に頑張ると思います。

島田　僕も、普通ですね。でも、ヒーリングは運がいいんじゃないですか。ケアーも地獄の底に追いやったし、トム・エリクソンにも勝ってるし、ノゲイラともいい試合をやってるでしょ。

谷川　でも強烈なインパクトはないなぁ。もしかしたら、スケールがデカすぎて、『プライド』でもこぢんまりとして

K-1 VS PRIDE 開戦記念企画！

他流試合に向いているのは、「競技外」の精神を持ってるかどうかだ！

ジェロム・レ・バンナ（⇒PRIDE）

	山本	島田	谷川
期待度	△	△	△
適性能力	△	○	○
可能性（大化け）	×	○	○

安田忠夫（⇒K—1）

	山本	島田	谷川
期待度	○	○	○
適性能力	×	△	×
可能性（大化け）	○	△	△

高山善廣（⇒K—1）

	山本	島田	谷川
期待度	◎	◎	◎
適性能力	○	○	○
可能性（大化け）	◎	○	○

イゴール・ボブチャンチン（⇒K—1）

	山本	島田	谷川
期待度	○	△	△
適性能力	○	○	△
可能性（大化け）	○	○	○

いるのかもしれない。

山本 器用貧乏だよ、それは。

島田 そうですね。巨人の高橋由伸みたいに全部できるタイプなんですよ。でも、清原や松井ほどのインパクトはない、と。逆にシウバなんかは、荒々しいけど、いつも全力投球ですからいいんですよ。

山本 僕はシウバ、◎ですよぉ！

谷川 ただK—1はヘビー級なんで、シウバの体重に合う試合を組むのは難しいですね。

山本 小川直也はどうなの？

島田 ああ、オーチャンね。

山本 小川直也はK—1と『プライド』両方やっとかなきゃねぇ。

谷川 小川のK—1は……やっぱり期待度◎だなぁ。

山本 そりゃあ◎ですよぉぉ。適性能力も◎ですよぉぉ！　小川はやっぱガチンコ向きだよぉ。活かしてほしいねぇ、自分の才能を。いいじゃない、負けたって。

島田 サクちゃんはどうです？

谷川 桜庭のK—1の適性能力も凄くありますよ。あの立ち技のセンスは天性のものですよ。もしかしたら、武蔵たちよりあるかもしれない。

山本 そんなにぃ～？

島田 僕も最初は立ち技は田村選手のほうが才能あるのかなぁって思ってましたけど、サクちゃんのほうが凄いですね。

山本 ほぉ～ん。じゃあ、『プライド』では、あとマーク・コールマン、マリオ・スペーヒー、イゴール・ボブチャンチン、ヒカルド・アローナ、ダン・スバーンと名鑑見てるとあるけど……。

谷川 マリオとか、コールマンにはまったく期待感はないですねぇ。

山本 ないねぇ……。だけど、ボブチャンチンはK—1、○ですよぉ。なんて言うかさぁ、今は頭打ちなんだよねぇ。だから、出なきゃダメですよぉ。

谷川 高山善廣はどうッスか？

山本 高山？　高山は何をやっても◎ですよぉ。理由は、僕が高山を好きだからですよぉぉぉ。

谷川 ガッハハハハハ！

島田 安田さんはどうですか？

山本 う～ん、期待感は○だけど、適性は×だよなぁ。可能性は敬意を表して○にしておこう！

谷川 なんか、安田にK—1までやらせるのはギャグですねぇ（笑）。

山本 ハッハハハハ！　いいじゃない、全部制覇してもらおうよ。

島田 ムエタイのワイクーも踊ってほしいですね（笑）。

山本 おいっ！　バンナを忘れてるよぉ。

谷川 ああ……。

山本 でも、期待感は△になっちゃったよぉ。

谷川 バンナって、「競技外」の性格に見えてたんですけど、闘い方を見ると、意外と「競技内」なんですよねぇ。口は「競技外」ですけど（笑）。

島田 でも、バンナも相手を光らせる能力はありますよ。安田さんにしたって、ハントにしたって、バンナのおかげであれだけ光ったんですからね。バンナも誰とやっても面白くなりますよぉ。

山本 ということは、K—1 VS『プライド』はもう黄金カードの目白押しじゃない。凄いタマが揃ってるよぉ。エライことになるなぁ。

島田 いやぁ、もうウハウハですよぉ。

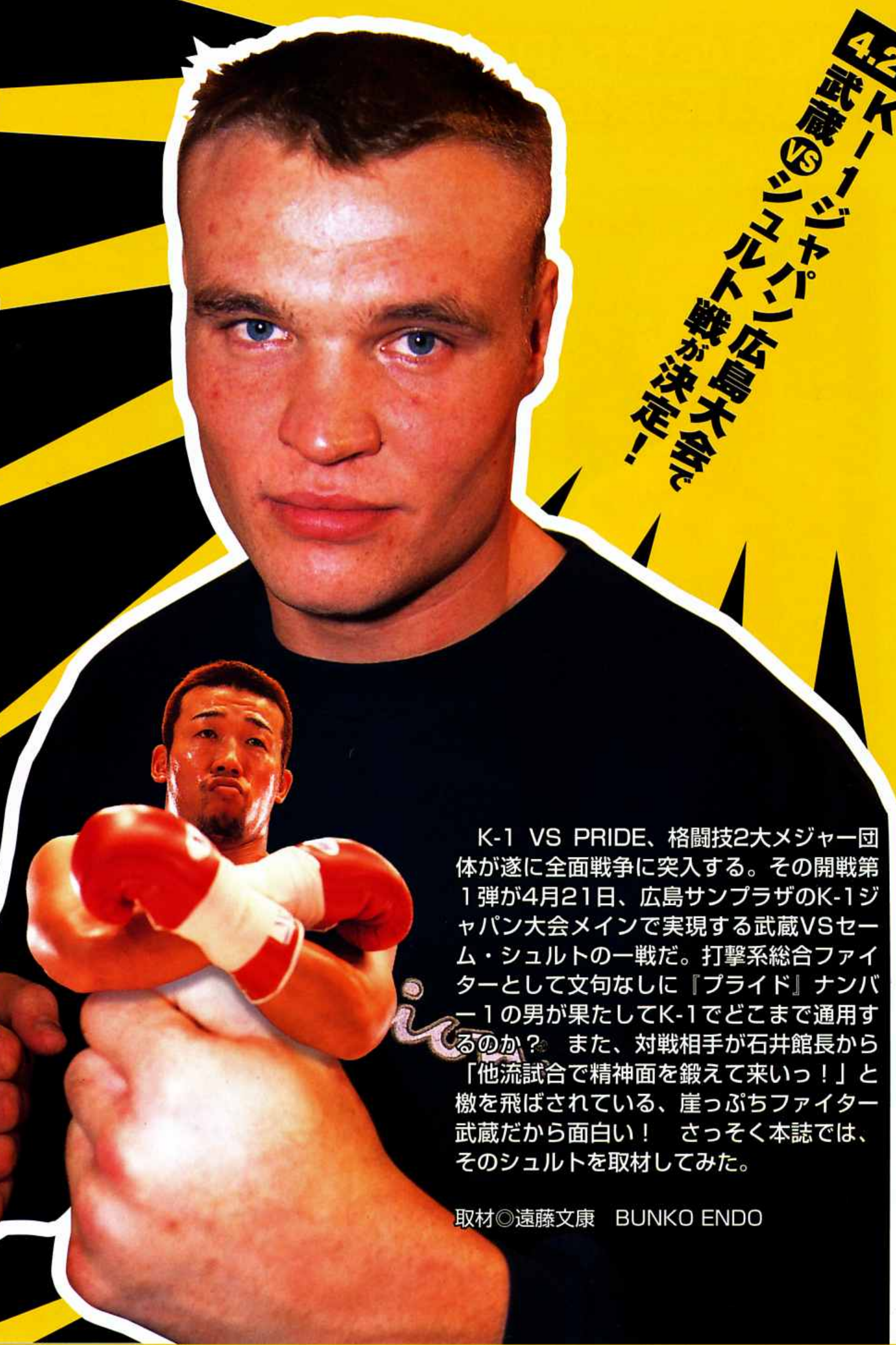
山本 よし、総括。やっぱり今までの話を聞いていると、ハートというか、精神の問題だな、いい試合になるかどうかは。

島田 そうですね。だから家を守るタイプなのか、狩りに出るタイプなのか。家庭的なのか、女なのか、男なのかってことですよね、山本さん？

山本 いいこと言うなぁ。そうだよ。守りに入るのか、捨てられるかってね、ここだよ、重要なのは。で、そういう能力を持ったファイターをいかにマッチメイクで光らせるかにかかっているよぉ。今日の話を聞いて、ますます俺は燃えてきたよぉぉぉ！

島田 『プライド』公認ジムＢＣＧもよろしくっ！ ■

4.21 K―1ジャパン広島大会で
武蔵VSシュルト戦が決定！

幻想膨らみっぱなし！
大巨人 シュルトはK―1で どれほど強いのか？

K-1 VS PRIDE、格闘技2大メジャー団体が遂に全面戦争に突入する。その開戦第１弾が4月21日、広島サンプラザのK-1ジャパン大会メインで実現する武蔵VSセーム・シュルトの一戦だ。打撃系総合ファイターとして文句なしに『プライド』ナンバー１の男が果たしてK-1でどこまで通用するのか？　また、対戦相手が石井館長から「他流試合で精神面を鍛えて来いっ！」と檄を飛ばされている、崖っぷちファイター武蔵だから面白い！　さっそく本誌では、そのシュルトを取材してみた。

取材◎遠藤文康　BUNKO ENDO

いずれそのような機会が訪れるであろうとは思っていたが、遂にあのセーム・シュルトがK―1のリングに上がることが決定した。当初K―1サイドから一度可能性を探る打診があってのち、しばらくはなんの最終オファーもないことから単なる打診に終わるのかと思われたシュルトの参戦は急転直下で決定を見た。

過去何度もシュルトとは話もしたし、質問をぶつけてきた。大道塾のこと、パンクラスのこと、総合のこと、キックのこと、K―1のこと。一貫して彼の考えに変化はなかった。

「大道塾は僕の心の故郷です」

「パンクラスは僕の母校です」

「パンクラスは大道塾選手がプロとして闘うのにはベストのリングです」

「僕は今でもパンクラスの一員です」

「パンクラスとの出合いで僕はプロとして成長することができました」

「生涯パンクラスのメンバーです」

「空手家として出発し総合格闘家としてトータルな闘いが好きです」

「K―1はキックです。今は総合以外で闘うことに興味はありません」

「総合でトップになるのが今の目標です」

「何でも時間が必要です。3年後の僕を見ていてください」等々。

シュルトのスタンスを簡潔に表現すれば以下のようになる。

『出生地大道塾。本籍パンクラス。現住所プライド。職業総合格闘選手』

◎

ただし、彼には彼独自の価値観があって、それは〝選手は与えられた試合を闘うもの。与えられたルールに則り、与えられたマッチメイクで闘うことが大切だ。『あれは嫌だ』『これは嫌だ』などと文句

K-1 vs PRIDE 開戦記念企画！

を言う立場にはない。文句を言うのなら〝最初から選手になるべきではない〟というもの。
　もちろんそれはコーチやマネージャーを信頼しているからこそ言える言葉でもあるが、仮に自分が本意でない闘いが組まれたとしても、恐らくシュルトならどんな試合でもやるという心構えがいつもあったように思う。
　だからファイトマネーの額などシュルトには最初から論の外で、周囲に任せきり。大道塾対元・正道会館というコンセプトだった佐竹戦も、ノッポ対決高山戦も、突然選手交代した小路戦も、シュルト本人にはなんの問題もなし。周囲が話題として騒いでいるだけで本人は至って平気。「総合の闘いでトップを狙う」。これが彼の一番のテーマであり、与えられた試合を闘い切ることが選手としての存在意義。これがシュルトという選手の実像なのだ、と僕は見ている。恐らく外れてはいないと思う。
　そこで今回のK—1参戦。「K—1は総合じゃないから興味はない」と語った彼の過去の言葉とは矛盾するが、「与えられた闘いをするのが選手」という彼の価値観から言えば何の問題もないということになる。だからこそ、いずれK—1への参戦もあり得るのではないかと数年前から今回のことを予想することはできたのだ。

◎

　3月20日（水）。まだ肌寒いオランダに正式なK—1参戦の一報が届き、さっそくシュルトに改めて聞いてみた。つい3日前の日曜には2H2Hの大会会場で顔を合わせて話を弾ませたが、まだ正式参戦のことはシュルトの口からは出なかった。ちょうどシュルトはいつものように生徒に空手を教えている最中。そこで指導者のデイブ・ヨンケルス会長とのやりとり、そして他の選手たちからも今回の闘いの予想を聞いたので紹介する。

ヨンケルス　私の手元にはまだ正式なオファーなどは来てない。だけど99％確実という話がマネージャーのブーンから来た。参戦にはなんの問題もない。ただシュルトにとってキックの闘いは、実はこれが初めてなんだ。だからそれ用の練習をこの1カ月で仕上げなくてはならない。問題？　ま、べつにないだろう。とにかく詳細はマネージャーのブーンが知っている。彼に聞くのがベストさ。

　ヨンケルス会長は特に問題なしという立場。打撃に関しては大道塾のトップに2度就いたシュルト。K—1ルールということだけが課題なのだろうが、大きな問題点は見当たらないというところか。続いてマネージャーのブーン氏。

ブーン　第1コンタクトがあってしばらく何も打診がなかったが、昨日ほぼ正式なオファーが来た。いいんじゃないかとオレは思ってね。シュルトにキックの試合は特別な問題は何もないだろ。ヨンケルスもOKということだし、シュルトも一度はK—1のリングで闘ってみたいだろうと思うしね。ま、彼は総合が好きでやっているけど、キックをやらせても恐ろしいほど強いぞ。ほとんどの打撃選手が経験したことのないパンチを貰うだろうから。ハードなパンチだからな。（実は佐竹選手も高山選手もシュルトのパンチは効いたとかじゃなく、とにかく痛いと言っているようです）そうだろ。シュルトのパンチはハードで痛い。とにかくハードなんだ。彼らはシュルトの左ジャブで終わったんじゃなかったか？　シュルトの渾身の右ストレートとか受けてないはずだ。今回はムサシか？　ムサシはシュルトの左右の全力のパンチを貰うことになるぞ。痛いってもんじゃないぞ。怪物だよ。

　何度もブーン氏はシュルトのパンチをハードと言った。きついとか痛いとか強烈だとか、そういう意味合いを全部含めて〝ハード〟という言葉を使う。当たれば武蔵にとってそれこそハードなことになる。厳しいかもしれない。続いてコンタクトしたのがピーター・アーツ。K—1常連組としてこの大物ニューフェイスをどう思うかだ。ところがどっこいアーツはタイへ行っていて不在。急きょ奥さんのエスターさんに取りあえず聞いてみた。

エスター　ピーターはタイなのよ。もうすぐ帰ってくるけど。そうそう今度また引越しするのよ。赤ん坊も大きくなったわ。引越ししたら招待状送るから遊びに来てね。えっ？　シュルト？　サミー（セームはオランダではサミーと発音されている）のこと？　K—1に出るの？　へぇ〜本当。頑張ってほしいわね。ムサシと闘うの。そう。どっちが勝つと思うかって？　分からないわぁ。だってあたしピーターのことしか興味ないし。だけど同じオランダ人だからやっぱりサミー

武蔵よ、試合を受けたことを後悔するがいい！
シュルト幻想は関係者の証言だけで十分膨らむ！

証言1
ほとんどの打撃選手が経験したことのないパンチを貰うだろう

証言2
シュルトのパンチはハードで痛い！

証言3
（佐竹と高山は）シュルトの左ジャブだけで終わっただろ？

証言4
シュルトの間合いで試合をすれば、それはもうどうしようもない

証言5
アイブルの打撃もキツイがシュルトの打撃は質が違う

証言6
ジャブが当たるだけでハードなはずだ

証言7
普通の選手だと思って試合をするとビックリするだろう

顔面を殴ることにはなんの抵抗もないから べつに問題ないと思う

に勝ってほしいわ。そうそう、赤ん坊の写真いらないかしら？　送るわよ。えっ？　いらないって？　ま、つれないわねえ。だけど遊びに来てね。

なんともトンチンカンなことになってしまった。続いて順にチャクリキのトム・ハーリック会長、カマクラ道場のジェラルド・ゴルドー、アイブルの師匠ルシアン・カルビン、そしてシュートのマルタイン・デ・ヨングに連絡を取った。

ハーリック　4月のK―1のことか。ノブがホーストとの対決ということでほぼ決まりかけていたのに、話し合いがつかず流れてしまった。残念だ。準備万端に汗を流していたのに。シュルト参戦は聞いている。（さすが情報が早いですね）。当たり前だ。様々なルートから私の元には情報が入る。シュルトの件は2週間ほど前から聞いている。日本の友人がメールをくれた。私にはディープスロートがたくさんいる。誰かは言えない。シュルトとムサシだな。私はムサシが勝つと思う。（理由は？）経験の差だ。シュルトにキックの経験はない。空手での打撃が基本だ。そして総合だ。K―1はキックだ。しかしK―1はK―1だ。そうそう簡単に行くものではない。いくらシュルトが凄そうであれ、キックとなるとムサシが一枚上手だ。そりゃ、もちろん何が起こるか分からない。試合はやってみなければ分からない。しかし特に事故がなく試合が進めば、私の判断ではムサシが勝つ。ちょっと出張みたいな感じでK―1に臨むと、シュルトは痛い目を見ることになるな。

シュルト勝利を言うのかと思えば、武蔵が勝つとのハーリック会長の言葉。意外な感じがしたが、ムエタイ一筋で来たハーリック会長から見れば、数々の修羅場をくぐった武蔵が経験の差で判定で勝利をもぎ取るとの予想だった。

ゴルドー　オス。シュルトがK―1参戦？　ムサシとやるのか。う～ん、ムサシが勝つだろうな。（これも意外だった）ほぼフィフティーフィフティーの確率だが、ムサシだな。やっぱりキックの経験がないことがシュルトの欠点になる。シュルトは頭への打撃が弱い。それにアゴが弱い。ムサシがシュルトの圧力に怯まず、パンチを2回アゴに入れればKOで勝つ。ただしプレッシャーに押されれば負ける。心の問題が大きく作用するだろう。シュルトはリーチが長いし、ヒザが強烈な武器だ。恐れずに中に入っていけば勝機はある。もし、シュルトの間合いで試合をすれば、それはもうどうしようもない。やられっ放しになるだろう。懐に入ることを恐れなければムサシがKOで勝てる。ヒット&アウェイ？　シュルト相手には負けるための戦法だな、それじゃ。ちょっとヒザを上げればシュルトのヒザは顔面に当たるんだ。手を伸ばせば恐ろしいほど届くんだ。だから距離を取れば負ける。ヒット&アウェイは負ける。シュルトの懐に飛び込んでいくんだ。そうすれば勝てる。背の高さとリーチの長さがシュルトにとってかえって命取りになるんだ。以前アイブルがシュルトにKOで勝った試合があるだろ？　あれはアイブルがシュルトの懐に飛び込んでアゴを平手で貫いたんだ。あのやり方がシュルト攻略の唯一の方法だな。それ以外では、ま、KOで負けるな。

なんとゴルドーはシュルト攻略の方法を伝授してくれた。キックというルールではそう簡単にシュルトといえど勝てないという点で、ゴルドーもハーリック会長と同意見だった。武蔵に勝機あり。それは飛び込む度胸にありか……。

カルビン　シュルトが勝つだろうな。彼はキョクシン（オランダでは空手のことを極真という）の出身だ。ここでアイブルと練習もしている。彼の打撃のミットを持ったこともあるがとてもハードだ。パンチの威力が並外れている。手が折れそうになる。アイブルの打撃もきついがシュルトの打撃は質が違う。あの痛さは経験したことがない。試合をした選手は痛みに驚くだろう。（佐竹と高山が痛かったと言っています）そうだろうな。ジャブが当たるだけでハードなはずだ。パワフルでハードだ。間違いなくシュルトが勝つ。経験？　関係ない。

マルタイン　シュルトだよ。もの凄くハードだよ。K―1だから打撃だけの試合だよね？　総合ルールじゃないだろ。打撃勝負。シュルトはまったく問題ないよ。あのパンチが当たれば厳しいよ。痛い。本当に痛い。普通の選手だと思って試合をするとビックリするだろうな。シュルトが勝つね。

シュルト勝利と武蔵勝利に分かれた。経験を尊重する者とシュルトの打撃の凄さを強調する者。意見だけでは甲乙つけがたし。ここでやっとシュルト本人がつかまった。

シュルト　今、コーチを終えたんだ。今日？　空手のコーチさ。生徒は子供たちさ。子供コースも教えるから。自分の練習は午前と午後にやっているよ

――いよいよK―1参戦となりますね。

シュルト　そうなんだよ。ま、前から言ってるけど僕はキックには興味がなかった。MMAが面白い。プライドの王者になるのが目標だから。だけど選手である以上は与えられた試合をしないとね。K―1が僕を必要としているんだから、僕は闘うだけさ。

――キックの試合経験はないですよね。

シュルト　ない。打撃は大道塾での闘いが中心だった。でも大道塾でもそうだしパンクラスや『プライド』でもそうだけど、顔面を殴ることにはなんの抵抗もないからべつに問題はないと思う。シュートグローブや素手じゃなくて、パンチグローブっていうのが慣れてないけど。それでもグローブの練習もなかなかいい感触だよ。違和感もないし、ローキックやヒザはなんの問題もないしね。

――K―1ルールは知っていますか？

シュルト　キックだろ。長い時間の首相撲なしの。特に問題はないよ。ヨーロッパのキックルールと同じだから。

――武蔵選手は知っていますか？

シュルト　う～ん、知っているけど知らない。名前は知っているけど、詳しいことは知らない。これから対策を練ることになるよ。ムサシについて知っているなら、何か教えてほしいな。対戦相手にはいつも興味があるから。

――ヒット&アウェイが得意な、テクニシャンのファイターです。

シュルト　ふ～ん……なら、特に問題はないね。スパーリングにはマーチン・フアン・エンメンがいるし。パートナーには事欠かないから。

――なるほど。エンメンは以前WMTA

フィリォとの試合となると スペクタクルなものになる。やってみたいね

のジュニアヘビーの世界王者でした。同じくヨンケルス道場で空手のコーチをしているんですよね。

シュルト　そうさ。練習相手は申し分ないよ。ハハハハ。

——ところで、最近の日本は『プライド』とプロレスの交流化や、K—1とプロレスの交流化などが起きて、とうとうK—1と『プライド』の交流化に進んできました。団体やルールの枠を超えて選手のマッチメイクを行い、新たなる活性化といいますか、新鮮化が模索されています。観客のニーズに答えているという傾向もあります。

シュルト　いいことじゃないの。ファンが喜べば。僕は選手だから、やらなければならない試合をするという立場だから。決まった以上は勝つために闘うだけさ。

——あいかわらずアッサリしていますよね（笑）。

シュルト　ハハハハ。だってそうだから（笑）。

——K—1からは打撃出身として、ミルコ選手が総合キラーとなって『プライド』へ行きます。

シュルト　知っている。だけどミルコはプロレスラーとしかやってないから。総合の本格的な選手にはそうそう打撃は通用しないよ。シウバとやるようだけど、この試合で本当の実力が分かるだろうね。シウバは強いよ。それにさ、打撃出身の総合選手って言えば僕だってそうじゃないか。僕のほうが先だよ。空手出身の総合ファイターだよ、僕は。タカヤマをKOしたよ（笑）。すでにUFCでも闘ったし、パンクラスでトップも取ったよ。

——そうそう、そうですよね。べつにミルコが打撃界で初めて総合に殴りこむというわけじゃないですね。

シュルト　そうさ。打撃の空手から総合に移行して、今回オファーがあって打撃のキックの試合をするっていうことさ。注目されるかな？（笑）。

——もちろん。もう、大注目ですよ。今回は武蔵選手との試合ですが、特にやりたい選手っていますか？

シュルト　う〜ん、分からない。誰とでも闘うけど。やっぱり総合がいいから。でもオランダ人との試合は組んでほしくないなぁ。みんな友達だから。

——極真のフィリォ選手とK—1ルールっていうのは？

シュルト　べつに。いいよ。組まれればやるよ。でも分からない（笑）。決めるのは僕じゃないから。僕は組まれた試合をするだけさ（笑）。だけどフィリォとの試合となると、スペクタクルなものになるよね。いいよね。やってみたいね。

——やってみたいですか！　そうなると極真の世界のトップと大道塾のトップとの対決となります。

シュルト　またまた。すぐプレッシャーをかけてくる（笑）。あくまでも組まれればの話だろ。そうプレッシャーをかけるようなことは言わないでよ。あくまでも僕はマネージャーが決めた試合をするだけなんだから（大笑）。

——もう一度聞きますが、これがあなたにとって初めてのキックの試合です。総合でのトップを目指していたあなたに、なんと言うか、幸と言うか不幸と言うかこのようなマッチメイクがきてどうですか？

シュルト　いいと思うな。だって僕の実力をまた別の舞台で発揮できるし、証明できるチャンスだから。僕は打撃出身の総合の選手さ。いつも打撃で勝負をかけるように総合の試合でもやってきた。今回の対戦では、スタンドの闘いでガンガンやれる。だからこれはこれでいい機会だと思うよ。

——この1カ月で調整ですね。成功を期待します。

シュルト　ありがとう。じゃ、シャワーを浴びるから。またね。

◎

練習とコーチを終えて、シュルトはいつものようにハァハァと息を荒くして質問に答えてくれた。決められた試合に専念するだけ。闘うことが選手の存在意義、という己の価値観に微塵の揺るぎもない。

しかし考えてみると今回のシュルト参戦によって、K—1の舞台には極真系空手の全王者がリング上に立つ結果となるではないか。正道の佐竹とアンディ。極真からはフィリォ。士道館の村上。そして今回の大道塾王者シュルト。結局日本空手界のトップを取った男全員がK—1に上がったという事実が残る。

今年10年目を迎えるK—1の実績がこれなのだろう。ブーン氏によるとシュルトのK—1参戦は、最低2回契約だという。今回第1回目が武蔵戦。その後は誰なのだろう。フィリォVSシュルトは実現可能だ。どちらの一撃が強いのか。楽しみは尽きないことになってきた。■

武蔵よ、味方がいたぞっ！ 武蔵勝利派の主張！

経験の差でムサシが勝つ！
（by ハーリック）

シュルトの懐に飛び込んでパンチを2発当てたら勝つ
（by ゴルドー）

こ、こいつ、もしかして本物のゴリラ！

石井館長の秘密兵器ボブ・サップ 4・28『プライド20』に出陣！

▶ボブ・サップは元NFLのプロフットボーラーで、WCWのプロレスラー。身長は205センチ、体重は160キロ以上はある。目の前にすると、本物のゴリラを見ているようだ

「技は力の中にあり！」と、大山倍達は常日頃から強くなるにはパワーが必要だと強調していたが、それには限度というものがある。その限度というのは、よく言われる「同じ人間なんだから、勝てないはずがない」という範囲のものだろう。

たしかに希に、そんな人間の範疇を超えた怪物が格闘技の世界にも入ってくる場合がある。たとえば小錦より重く、曙より背の高いという触れ込みのアマ相撲世界一のエマニエル・ヤーブローは、身長204センチ、体重310キロと、たしかに規格外の怪物だった。

しかし、そのヤーブローがVTでどんな戦績だったかというと、UFCでいきなりキース・ハックニーの掌底でKO負けし、『プライド』でも高瀬大樹にパンチの連打であえなくタップしている。つまり、いくら規格外の体を持っていたとしても、それを動かす機能は他の格闘家より数段落ちるから通用しないのが常識なのだ。規格外の怪物は、得てして運動能力がない人間が多いということである。

ところが、石井館長の秘密兵器と呼ばれるボブ・サップは、そんな常識を根底から覆しそうな逸材。身長は205センチ、1年前までは体重190キロ（今は160キロくらいか？）もあったその体は、全身ゴムまりのような柔らかい筋肉の固まりで、体脂肪率は極めて低い。私がこれまで見てきた怪物の中でも、一番身体能力が高そうな立派なアスリートである。

規格外の体格に、それほどの身体能力が備わったら、もはや人間の域を超えている。たぶん、ゴリ

▶ボブ・サップは元NFLのプロフットボーラーで、WCWのプロレスラー。身長は205センチ、体重は160キロ以上はある。目の前にすると、本物のゴリラを見ているようだ

K-1 vs PRIDE 開戦記念企画！

対戦相手は山本憲尚が濃厚 ヤマノリよ、相手は人間だと思うな！

マウントなんて、両手でフッ飛ばせる！

▼来日した際、総合格闘技経験豊富な柳澤とスパーリング。見よ、この後背筋を。とても人間とは思えない

この後背筋を見よっ！技術なんて通用しない

◀マウントをどう返すか見ようとしたら、なんと両手でヒョイと持ち上げただけで、まるでプロレスのフォールを返すように、上にいた柳澤が跳んでいた

ゴムまりのように柔らかい体 意外にも、立ち技もうまい！

▲アメフトのプロだったというのは、それだけで身体能力の高さを物語っている。体も柔軟だ

▲とにかくパワーがケタ外れ。柳澤の技術が通用しないばかりか、その怪力で何度も落ちそうになっていた

◀ボクシングをやっていたということで、フットワークも軽快。立ち技も意外とうまかった！

▶一番怖いのは、このアメフト仕込みのタックル！　柳澤の体がフッ跳んでいった

▲プロレスラーだけあって、パフォーマンスも素晴らしい。さすが石井館長が目を付けただけのことはある。この男、もしかしたら超スーパースターになるかも

ラと格闘したら、こんな目に遭うんじゃないか、そう思えるような試合をボブ・サップはするんじゃないだろうか。

ボブ・サップは元NFLのプロフットボーラーで、プロレスラーに転身しようとした矢先に、所属していたWCWが崩壊。朋友のサム・グレコの紹介で、K—1の石井館長に「VTをやってみないか？」と声をかけられた。

ハングリーなボブ・サップは、その後モーリス・スミスのジムに寝泊まりして半年間の特訓を重ね、遂に『プライド20』で待望のデビューを果たすことになった。対戦相手は、K—1の大巨人ヤン・ザ・ジャイアント・ノルキヤを破った山本憲尚が濃厚である。

コーチをしたモーリスは「ボブはとにかく力がハンパじゃなく、最初から力で関節技を振りほどいてた。凄いヤツがこの地上にはいるもんだなぁと思ったよ。でも、今はVTに必要なことはひととおりできるし、フィリォたちがやったサーキット・トレーニングで、スタミナも十分ついた。あとは試合度胸だけだね」と語る。

ちょうど来日した際、たまたま元パンクラスの柳澤龍志とスパーリングをする場面を見ることができた。最初、柳澤もそうだが、目撃した関係者はあまりにもナメていた。ところがパワーはハンパじゃないことはもちろんだが、身体能力が極めて高く、我々の想像以上にできるのである。

ヤマノリよ、相手を決して人間だと思うな。この男、もしかしたら本物の霊長類最強の男になれる、逸材かもしれないぞ！　（谷川）

PRIDE.20でK－1軍の巨人ファイター、
ボブ・サップ戦決定的！！

TAKADA NOBUHIKO

“蘇る金狼”山本憲尚の“無頼派の礼節”節!!

『プライド20』でK－1軍ファイター、ボブ・サップ戦が決定的となった山本憲尚。体重160キロとも190キロとも言われる巨漢でありながら筋肉質というバケモノなのだが、山本自身はかなり自信ありげ。相変わらずのトンパチ発言はとどまるところを知らず、その勢いは100連発パンチばり。そんなヤマノリを近況なども含めてお届けする。

聞き手◎中村カタブツ君（ブチ）
撮影◎中島ミノル

好きな言葉っていうのは礼節ですよ。これは重い言葉ですよ

ヤマノリ これって、どこのインタビュー？

――『SRS』です。

ヤマノリ 良くないですねぇ。

――またかよ、元リングス勢はみんなそんなのばっか（笑）。で、どこがですか？

ヤマノリ いや、ファスティングが。俺、ファスティングしたんですけど、あれってチビチビ飲まなきゃいけないでしょ、女々しく。

――女々しく（笑）。

ヤマノリ で、女々しく飲んでたんですよね、一日5回くらい。でも、腹減ってイライラしちゃって。それで、料理番組ばっかり見ちゃってまた腹立つんですよ。

――見なきゃいいじゃないですか（笑）。

ヤマノリ いやいや、見ないわけにはいかなくてさぁ。だから、体に良くなくて。で、次の朝我慢できなくて、2本目のファスティングもあるでしょ、あれガブ飲みしちゃったんですよ。

――全部？（笑）。

ヤマノリ はい。で、すぐご飯食べに行って。

――エッ!? ご飯食べちゃったんですか（笑）。

ヤマノリ そう。2日目にはご飯食べに行った。

――いやぁ、それはぁ。

ヤマノリ だから、やめた。

――「やめた」って（笑）。

ヤマノリ うん。で、もう1本余っててもったいないから、夜に全部飲んじゃった。もうさぁ、体重増えちゃったよ。

――ワハハハ！ だって、ファスティングジュースだけで十分栄養取れるものが入ってるのにメシまで食っちゃったわけでしょ？ そりゃ、太りますよ（笑）。

ヤマノリ でもね、あのジュースはおいしかった。

――え!? おいしかったんですか？

ヤマノリ まあね（笑）。

――味がおいしいっていう方はなかなかいらっしゃらないですけど（笑）。

ヤマノリ 売れたんでしょ。

――売れてます。

ヤマノリ じゃあ、あんまり悪く言わないほうがいいっスねぇ。

――いや、悪くないと思いますよ。悪いのは明らかに山本さんですから（笑）。

ヤマノリ アッ、俺のせい？

――味がいいっていうのは十分いい宣伝になってますし。

ヤマノリ 味はいいっスよ。味はおいしかったですねぇ。

――何味なんですか？

ヤマノリ 何味っていうか、そうねぇ、甘くてねぇ、……甘い。

――甘くて甘い（笑）。

ヤマノリ 甘いだけやん（笑）。だって俺、アオ汁飲めるもん。臭いもん好きなんですよ。パクチーとかね。臭くて嫌なんだけど、3日くらいすると匂いたいなとか（笑）。

――なんていうか、生ゴミっぽいものとか好きなんですか？

ヤマノリ うん、そうですね。生ゴミ？ 生々しいのがいいですよね。生々しい匂い。

――生々しい匂い。野獣ですね（笑）。で、その金髪はどうしたんですか？

ヤマノリ これでしょ、これゴールデンボーイですよ。なんつうの、春だからね。気分転換に華やかに（笑）。だけどね、これ金髪じゃないんですよ。緑なんですよ。

――はっ？ 何を言ってるんですか？（笑）。

ヤマノリ いやいや、今回はカリスマ床屋じゃなくて、カリスマ美容院行ったんですよね。で、カリスマ美容院で、緑にしてくださいって言ったんで緑なんですよ。これ光に当たってるからこういう色に見えますけど、暗くすると緑なんですよ。

――いや、どう見ても金髪ですよ（笑）。

ヤマノリ 目悪いんとちゃいますぅ？ あのね、心が貧しいとね、そういう原色は見えてこないですよ。

――はぁ。

ヤマノリ そうでしょ、子供っていうのは心が綺麗だから、妖精とかね、見えちゃうじゃないですか。

――見えちゃいますか（笑）。

ヤマノリ うん。で、だんだん大人になるにつれて心が濁ってくるんですよ。

――ボクは心が濁りきってるんですね。

ヤマノリ 濁ってるでしょ。で、だんだん貧しくなってきてるでしょ。

――まあ、生活は貧しいですけど（笑）。でも緑だと言い張るんならゴールデンボーイじゃなくてグリーンボーイですよね（笑）。

ヤマノリ あ、そっか。でも、グリーンボーイって言ったらなんかチェリーボーイみたいじゃないっスか。気持ち悪いでしょ、30過ぎてチェリーボーイって言ったら（笑）。

――自分で言い張るから（笑）。で、その金髪だか、緑だかは噂されるボブ・サップ戦に備えたわけじゃないんですね。

ヤマノリ 全然違いますね。

――かつての前田戦の時とは違うと。

ヤマノリ 違いますね。あんまこう結びつけないで。まあ、結びつくと、結びついちゃうしね。そういえば、この間、タンパク質取っちゃったんですよ。

――え？ はい？

ヤマノリ 卵の白身だけを20個焼いたらホットケーキみたいになっちゃったんですよね。それを食べようとしたら、道場の人たちみんな目が点になってるんですよね。髙田さんとかもけっこう点になってましたね。

――リングスの人たちってみんな白身ガツガツ食ってましたよね。

ヤマノリ そうなんスよね、うん。

――食生活が違うんですかね。

ヤマノリ そんなことはないけど、あまりにも多かったんじゃないですか。1回に20個。ま、食べないでしょ。みんな2つとかね。

――2つは少ないですよね（笑）。

ヤマノリ イヤ、分からないけど（笑）。

――どうですか、髙田道場に所属して何が変わりましたか。

ヤマノリ 練習したい時に練習できる。そういう意味じゃ、時間の制限がないっていうか。集中していい環境で自分のやりたいことができるんで充実っていうか、結構ヘロヘロですね（笑）。

――髙田さんとか桜庭さんとかとは仲良くやってるんですか。

ヤマノリ 普通ですよ。なんでだろう？ みんな結構そういう感じで聞いて来る人多いんですよねぇ。

――う～ん、やっぱり、髙田道場はどこかアスリートの集団みたいなところがあるんですけど、山本さんってどっかヤクザチックな部分っていうんですか。

ヤマノリ ちょっと、なんスかそれ。俺、ビジュアル系じゃないっスか！

――ビジュアル系（笑）。まあ、ヤクザチックなビジュアル系っていうんですか。

ヤマノリ ステゴロ系っていうんですかね。

――そうそうそう。髙田道場の人たちはちゃんとした……。

ヤマノリ ちょっと待ってくださいよ！ 俺もちゃんとしてますよ。それじゃあ、俺が人間としてちゃんとしてないみたいじゃないですか。

――違う違う違う（笑）。

ヤマノリ 俺はあれですよ、好きな言葉っていうのは礼節ですよ。分かります？ 礼に節度の節と書いて礼節。これは重い言葉ですよ。

――もちろんボクも礼節をもって接してますけど、山本さんはどこか無頼派な感じがするっていう話ですよ。

ヤマノリ ドライ派？

――ドライ派じゃない！ 無頼派（笑）。頼るモノ無しって書くんですけれども。

ヤマノリ それ、日本語ですか？

――ワハハハ！ 立派な日本語です（笑）。

ヤマノリ う～ん、ブライ？

――最高ですよねぇ（笑）。だからまぁ、一

（戦法の）1パターンが桜庭さんのアドバイスでなくなっちゃったんですよ

匹狼みたいな人。そういう匂いがあるんですよ、山本さんは（笑）。

ヤマノリ そう？

——まさに〝蘇る金狼〟ですよ（笑）。

ヤマノリ そう（笑）。だけど、俺の場合、礼節ですよ。

——ところで、髙田道場のチャンコの味はいかがですか？

ヤマノリ おいしいですよ（笑）。

——どのくらい食ってます？

ヤマノリ まあ、あんま大食じゃないんで、最近ね。固形物っていうよりは流動食のほうが好きですよね。

——流動食？

ヤマノリ 流し込むみたいな感じですよね。もう白身を流し込むとか。

——タンパク質を（笑）。酒とか飲みには行きました？

ヤマノリ 凄く飲みますね（笑）。久しぶりにプロレスラーって感じですよね。だから、昔を思い出しましたよね。昔は僕らも飲んでハチャメチャしましたけど。

——昔じゃないですよね（笑）。

ヤマノリ ガハハハ！ まあね、でも、1年に2回とかだったじゃないですか。でも、髙田道場入ってからそういう機会が何回かありましてね、1回が凄いですよね。とことん飲むっていうか、気持ちいいですよね。会話よりも一気飲みのほうが多いですよね。

——山本さんも一気はやりました、やっぱり？

ヤマノリ やりましたね。自分も好きなんでね。やっぱりプロレスラーってのは普通の人と違う、非現実的なことを日頃から見せなきゃいけないんだっていうのがありますよね。プライベートでも。

——で、非現実的な飲み方してたんですね。

ヤマノリ いや、もう、凄いですね。飲んだら、（豊永）稔とかは上脱いじゃったりするんですよね。俺は飲んだら下脱いじゃうんですよね（笑）。

——ワハハハ！ ブランっと（笑）。

ヤマノリ やっぱ、飲んではじけた時には男らしいとこ見せて。

——男のモノも見せて（笑）。

ヤマノリ ガツンと見せなきゃいけないからね（笑）。だけど、下ネタはやめましょうよ。

——今のは自分から振ってきた話じゃないですか（笑）。

ヤマノリ だって、女性ファン減っちゃうじゃないですか！

——女性ファンいるんですか？

ヤマノリ 女性ファン多いですよ。バレンタインデーとかね、チョコもらってましたから、前は。年々減っていくんですけど（笑）。

——は～、寂しい話ですねぇ。

ヤマノリ いやいや、バレンタインデーってね、結局日本の国のものじゃないじゃないですか。そういうのに影響されちゃダメですよ！

——メチャクチャ言いますね（笑）。自分が影響されてるんじゃないですか（笑）。

ヤマノリ ガハハハ！ いや、負け惜しみ言うとね（笑）。

——ワハハハ！ 素敵だなぁ。負け惜しみは負け惜しみとしてキッチリ言ったほうが男らしいですよ（笑）。

ヤマノリ あんまり女々しくなるのは嫌だから（笑）。

——面白いなぁ、やっぱり（笑）。

ヤマノリ なんっスか？ 面白いって？

——言ってることが全部。会話が全て（笑）。

ヤマノリ そうかなぁ。ところで、年いくつなんスか？

——39歳です。

ヤマノリ 和田さんと一緒ですか。今、時の人と一緒なんですね（笑）。

——はい、頑張りますよ、これから（笑）。

ヤマノリ うん。だからね、30歳過ぎると〝コトナ〟になるんですよ。大人の一歩手前。で、20代っていうのは子供の延長線上ですよね。大人になりきれてないっていうか。毛は生えてるけど、成長はしてないみたいな。心がね。つまり、打たれ強くないと。でもね、30過ぎるとだんだんいろんなモノが見えてきて、人間的に打たれ強くなっていく。その中で、少年の心を守っていく。まあ、大人になりきれてない自分を守っていくっていうかね。うん。

——現時点で山本さんはコトナだと。

ヤマノリ うん。自分は型にハメられたくなっていうかね。ある意味思ってるんですよね。反発心なんでしょうねぇ、世間に対して、あるいは自分に対してもそうかもしれない。

——自分にまで反発？ 今、自分の言葉に酔ってませんか（笑）。

ヤマノリ いや、俺はこうありたいっていうのに対してクソくらえって思ってる部分と、そうなりたいっていう部分と半々でしょうね。

——で、どうなりたいんですか？

ヤマノリ 自分ですか？ 札束をバンババンバンって並べる感じですね。何億も。

——分かりやすいですね。金なら金。

ヤマノリ やっぱそうでしょ。何をやってるかって言えば、やっぱ金でしょ。

——それを得るためにはどれだけ努力しなきゃいけないかっていうのは言わずに札束。その表現の仕方が好きですよ。マス大山が成功者の表現として「トラック一杯の札束」って言った話にも通じますね（笑）。

ヤマノリ そういう感じですよ（笑）。自分の場合はまだまだスケール小さいですけどね。だから、お金を稼ぐっていうのは並大抵のことじゃないっていうのはありますからね。並大抵じゃないことを自分らはやってるつもりだから。だから、もっともっと上を目指して。

——で、噂のボブ・サップですけど、これまた並大抵じゃない相手ですが。身体とか。

ヤマノリ らしいですね。上半身の写真しか見たことがないから分かんないですけどマッチョ系でね。一説によると180キロとも150キロともっていう話ですよね。

——その体重で筋肉質ですから相当中身が詰まってる感じですよね。

ヤマノリ でも、上半身が大きくて、足が細かったりね。

——だけど、上半身しか見てないんでしょ。

ヤマノリ 上半身しか見てない。だから、上半身しかない！（笑）。

——ないわけない！（笑）。

ヤマノリ デカイですね、やっぱり。まあプロレスラーって感じですね。

——一時WCWに入るとか入らないとかって話があったんですよ。で、元々がアメフトの選手で、ボクシングもやってたみたいです。だから、何があるか分からないですね、クソデカイし。

ヤマノリ う～ん。そうですね、幻想はあるようで、ないような。ベンチも250、60キロ上げるんじゃないですかね。だって、あの身体で脂肪はあまりないですからね。やっぱ俺ももっとタンパク質補給しなきゃいけないな。

——痩せてる場合じゃないと（笑）。

ヤマノリ 痩せてる場合じゃない。タンパク質をもっと増やさなきゃ。ただ、突進ファイターだと思いますけどね。瞬発系で、長時間経つとガス欠してくるみたいなね。

——シミュレーションとかできてます？

ヤマノリ 3パターンあったんスけどね。1パターンが桜庭さんのアドバイスでなくなっ

K-1 vs PRIDE 開戦記念企画！

あのね、スネをバカにするとスネに泣きますよ！

ちゃったんですよ。

——それ、聞きたいなぁ。どんなパターンだったんですか（笑）。

ヤマノリ それはちょっと言えないですね。

——なくなってるからいいじゃないですか。また、打撃で勝つとか、パワーにはパワーで対抗するとか素敵なヤマノリ節がうなってる感じがするんですが（笑）。

ヤマノリ 甘いなぁ（笑）。話にならないぐらい甘い！ 深いですよ、俺は。今回。

——今回（笑）。2パターンだけど。

ヤマノリ 2パターンだけど、深いですね、うん。俺は考えてないバカじゃないですからね。考えてるバカですから。

——分かりますよ。

ヤマノリ バカってそのバカじゃなくって、格闘技バカってことですよ。よく物事を考えてる格闘技バカですから。そういう意味で深いっスね。

——まあバカにならなきゃいけない時はバカになれるというバカですね。

ヤマノリ うん、そうですね。バカは、学力のバカじゃないですよ。格闘技バカですから。

——分かりました（笑）。

ヤマノリ イヤ、バカっていうのは世間では差別語っていうかね、相手を侮辱してるようなね、言葉ですからね。批判と侮辱は違いますよ。

——「分かった」って言ってるじゃないですか（笑）。ボクらが言ってるバカって言うのはホメ言葉ですからね。

ヤマノリ そういうことね。

——じゃあ、バカ丸出しな意外な闘いを見せてくれるわけですね。

ヤマノリ いや、それはない。

——あ、それはない（笑）。勝つために一直線？

ヤマノリ もう今は、いい試合したとかね、もちろんいい試合して勝つっていうのはプロなら大前提ですけど、まずは勝たなきゃ意味ないですよ。勝ってからプラスアルファを提供するっていうのがホントのプロであってね。うん。だから、つまんない試合して負けるっていうのが一番最悪ですから。だから、勝つ！

——今、いい顔しましたね（笑）。

ヤマノリ うん。それがやっぱりね、今の自分のテーマですかね。勝っていく。勝ち続ければ自ずとまた、道は開くんじゃないですか。でも、それがないと、道は開けてこないですから。だから、髙田道場に入ったからって、安定じゃないし、契約ってあるわけですからね。不本意なことをしてると、首切られるかもしれないし。そういうやっぱり、いつも緊張感っていうか、自分はこれで食っていってるし、これに命懸けてるし。そういうもんを自ずと持ってないと、ただ試合に出ればいいっていう自己満足に陥ってしまいますから。だから、毎日毎日、安堵な時ってないですよね。どっかでやっぱり、危機感を持ってますよね。ちょっとマジメな話になっちゃったけど。

——常に崖っぷちの心境ですね。あの、髙田道場って寝技のスペシャリストが多いじゃないですか。そちらのほうは、結構自分の中では引き出しが多くなってきたかなっていうのはありますか。

ヤマノリ う～ん。極められたりしますしね。そういうので、クソーってのもあるんですけど、どっかで嬉しいっていうのもあるんですよ。なんて言うんだろう、これは選手じゃないと分からないと思うけど、自己満足に陥れないですよね。

——今、誰と練習してることが多いですか。

ヤマノリ みんなですね。髙田さんは今自分のペースでやってるんで、桜庭さん、松井、佐竹さん。

——ドンドン伸びてくって感じですか。

ヤマノリ 同じパターンを仕掛けられちゃいけないですしね。だから、自分で頭使って、一手、二手、三手、四手、五手って。

——四十八手（笑）。

ヤマノリ そう！ 四十八手ね（笑）。でも、ボク四十九手ですから。1つ編み出したんですよ、技を（笑）。

——ワハハハ！ 自分の技を（笑）。

ヤマノリ これはちょっと言えないですね（笑）。何事も常に勉強しなきゃいけないですからね。格闘技も女性もやっぱり勉強しないとね。個性を出していかなきゃ。

——ところで、今クラスを持ってらっしゃるんですよね。どんなことを教えてるんですか。

ヤマノリ まず正座させて、黙想から。で、神前に対して礼。

——いいですね、空手道場みたいな方式で（笑）。

ヤマノリ やっぱり礼節っていうのはボクが重点的に考えてることなんで。

——で、礼の次は？

ヤマノリ 基本技術っていうものをやらせて、立ち技を1時間、あとの1時間はグラウンドを主体にしてって感じですね。でも、ジム生は要は趣味の延長上のものでやってますから、ケガだけは気をつけてますね。あとね、スネを鍛えさせますね。

——スネですか？（笑）。

ヤマノリ あのね、スネをバカにするとスネに泣きますよ！

——いや、スネをバカにしたことは一度もないんですが（笑）。

ヤマノリ スネってね、大変なとこなんですよ。俺、今でも鉄柱蹴ってるんです。ジム生にもビール瓶で叩くように言ってるんですよね。で、ちゃんとやってくる人間はいるんですよ。凄く真面目に忠実に取り組みますよね。ちょっとずつ強くなりますから。

——そういう人は好感持てますね（笑）。しかも、髙田道場の中でスネの鍛錬があるっていうのが面白いですね（笑）。

ヤマノリ あ、そう？ ふ～ん。あとはスクワットとかですね。

——いやぁ、ホント昔のプロレスの道場みたいで、メチャクチャいいですよ！（笑）。

ヤマノリ そうでしょう（笑）。回数は50回ぐらいにしてますけど、やっぱり、自分がやってきたことですから、良い物を取り入れっていうかね、残していきたいっていうのはありますね。科学的っていうのもあるんだけど、昔からの方法もいいところは一般の人たちにも伝えていきたいなっていうのは。

——いやぁ、安心しました。山本色をちゃんと出してるなと（笑）。では、最後にファンのみなさんにメッセージを何か。

ヤマノリ そろそろねぇ、多摩川低空アッパー出さなきゃなって感じなんで、それを期待してください！ ■

▶髙田道場さんのご厚意により、ヤマノリのサイン入りTシャツを2名様にプレゼント。色は白と黒の2種類で、サイズはLサイズです。Tシャツを欲しい方は、住所、氏名、年齢、電話番号、今号の感想を書いて、編集部「ヤマノリTシャツ」係りまで送ってください（あて先は読者プレゼントコーナーと同じです）

オクタゴンでマッハ大惨敗 こんな光景、信じられるか!?

UFC初出場で王座挑戦も、マット・ヒューズにタコ殴りTKO負け!

◀4R、マッハは王者マット・ヒューズにマウントを取られ、パンチ、ヒジの連打を浴びてレフェリーストップとなってしまった

▶会場はラスベガスのホテル・MGMグランド内のアリーナ。ボクシングの世界戦もひんぱんに行われる。タイソンがホリフィールドの耳を噛んだのもここ

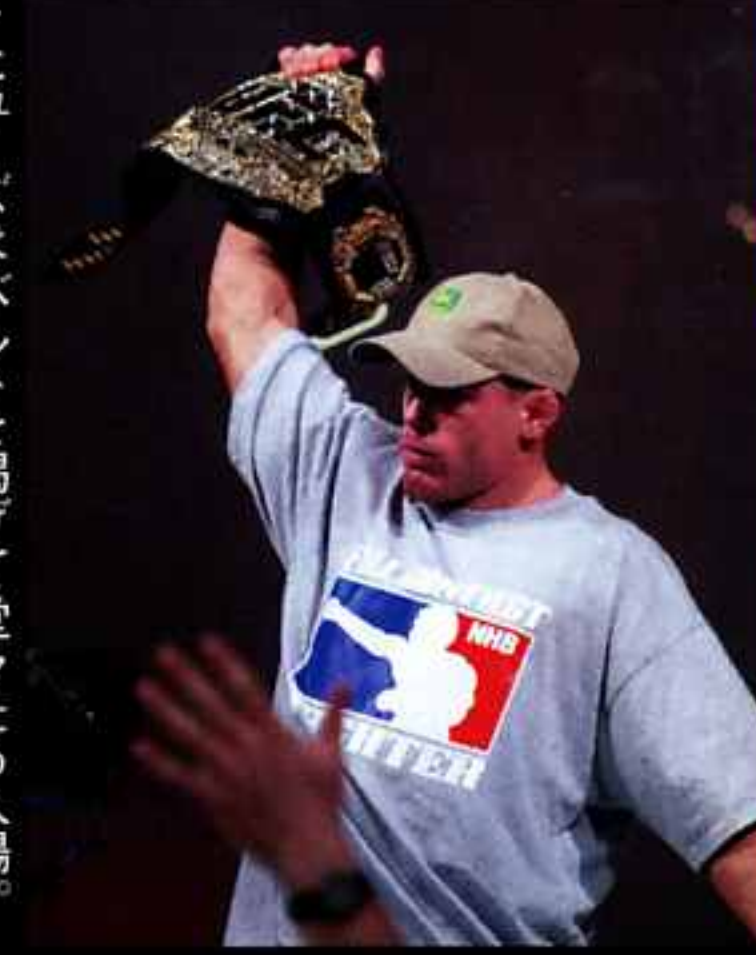
ボクシングの殿堂MGMに響き渡る“不死身のエレキマン”!

▲ズッファ社主催になってからのUFCでは、選手が自分のテーマ曲で入場してくる。もちろんマッハはハイロウズの『不死身のエレキマン』だ!

◀ガッツマンもオクタゴンに! セコンドについたGUTSMAN修斗道場の桜田直樹会長。金網の具合を入念にチェックし、ラウンドが終わったらすぐに飛び越えて中に入る練習をしていたとか

▲日本からもたくさんのファン、関係者が応援に。作家の夢枕獏氏、漫画家の猿渡哲也氏も試合前からUFCのTシャツを着込んで臨戦態勢!?

▲▶大会前日の公開計量。マッハは終始ブスッとしていた。やはり緊張しているのか? 「いや、あいつ腹減ってイライラしてんですよ」(中尾受太郎)

▶ヒューズはベルトを掲げて堂々たる入場。圧倒的な声援だった

夢を咲かして花散らす
見事なまでのラスベガスの法則
——猪木詩集「馬鹿になれ」

ラスベガスってのはどう考えてもマトモな街じゃない。ロサンゼルスに近くてギャンブルが合法だって理由でマフィアの殺し屋がホテルを建てたのがそもそもの始まりで、空港に着いたらいきなりスロットマシーンがあるんだからどうかしてる。

メインストリートに林立するホテルはどれもテーマパークならぬ“テーマホテル”。ピラミッド型の『ルクサー』に中世風の『エクスカリバー』。『ニューヨーク・ニューヨーク』はその名のとおりNYがテーマで、自由の女神がそびえ立つ。最近できた『パリス』にはエッフェル塔と凱旋門だ。瓦ぶきの屋根は日本風の『インペリアル・パレス』。日本語にすると……皇居!? 砂漠の上にピラミッドと皇居じゃシュールにも程があるってもんだ。手術台のミシンと蝙蝠傘なんて楽勝で超えてる。

売り物のギャンブルにしたって、どうにも現実感がとぼしい。スロットマシーンにひたすらコインを注ぎ込んでるうちに、お金がお金じゃないような感覚になってくる。バクチ特有の身を切るような感覚はゼロ。ま、胴元としたらそれが狙いなんだろうけど、戸田ボートとは大違いだ(当たり前だよ)。

さて、そんなラスベガスで何に最も“現実”を感じるかと言ったら、それはやっぱり“ファイト”。ボクシングやUFCなどの格闘技イベントなんじゃないかと思う。

勝者と敗者の劇的なコントラス

UFC ULTIMATE FIGHTING CHAMPIONSHIP

UFC36/WORLDS COLLIDE
3.22★アメリカ・ネバダ州ラスベガス
MGMグランド・アリーナ

投げられまくり、殴られまくり……マッハ、なんとかしてくれ!

▲4R開始直後にはヒューズの右ストレートがジャストミート! 逆にマッハのパンチは警戒されてほとんど当たらず、カウンターのタックルをもらってしまう

▲レスリングベースのヒューズは、大きく持ち上げての投げが得意。マッハを投げまくっていた。テイクダウンの数は、なんと4Rで9回!

▼グラウンドでコツコツと殴ってダメージを奪うヒューズ。マッハはうまくしのいでいたが、確実に消耗していった

▼キレイに投げられたため、そのままサイドやハーフマウントを取られてしまう

ト。強い者が弱い者を蹂躙する、力のある奴、体のデカイ奴が正しい世界。その厳しさこそリアリティそのものだ。

だけど、ボクらが格闘技やスポーツに求めてるのは本当にそれだろうか? いや、見たいのはむしろ現実を飛び越えるほどの〝芸〟と〝術〟のはず。だから、最高のサッカー選手を『ファンタジスタ(ファンタジーを現出させる者)』って言うんじゃないか。そして日本が誇る格闘技のファンタジスタが、桜井〝マッハ〟速人なのは言うまでもない。

UFCを主催するズッファ社も、マッハを最大級の評価で迎えた。初出場にしてウェルター級王座への挑戦だ。プレス用の大会資料には、マッハのことを「リビング・レジェンド」とまで書いてあった。

マッハの試合を見に、最高のファンタジーを見にラスベガスまでやって来たボクらにとって〝不死身のエレキマン〟でマッハが入場してくる光景だけでも感動的だった。この男ならやってくれる。そう信じさせてくれた。

チャンピオンのマット・ヒューズはレスリングがベース。非凡なテイクダウン能力とグラウンドでのパンチで勝ち星を重ねてきた選手だ。いわゆる〝グラウンド&パウンド〟ってやつで、インサイドガードからコツコツ殴って判定勝ちするのが得意なタイプ(投げの豪快さは魅力だが)。「たしかに強いけど、それじゃつまんないよ」って試合をする典型のようなファイターだから、余計にマッハに勝ってほしい——芸術的な打撃やサブミッションで——と思ってしま

金網、ヒジ打ち、体格差全ての不安が適中してしまった

これが〝世界〟の現実か

▶リングでの闘いにはない、マッハ初体験の金網押し付け攻撃。逃げ場をなくした上で、足を狩ってテイクダウンするのだ

▼2R、左のパンチをヒットさせてヒューズを倒したマッハだが、追い討ちをかけようと近付いたところにタックルが待っていた

▲最後はマウントからのパンチ連打。マッハはかなり長い間耐えていたが、殴られるままの状態となってレフェリーがストップ

★第6試合・UFCウェルター級タイトルマッチ（5分5R）
◯マット・ヒューズ（4R3分01秒、TKO勝ち）桜井“マッハ”速人●
〈王者・アメリカミレティッチMAシステム〉　〈挑戦者・日本/GUTSMAN修斗道場〉
※マウントパンチ連打でレフェリーストップ。ヒューズが王座防衛に成功

うのだ。
　不安な要素はいくつもあった。まずはオクタゴンでの試合であること。マッハにとって初体験である金網の戦場には、独特の戦法がある。金網に相手を押し付け、逃げ場をなくした上で攻めるのだ。それにヒジ打ち（タテに落とすのは禁止だが、横に振り抜くヒジは有効）。人体で最も固い部分での打撃は、パンチより遥かに痛いし、出血してストップされる危険もある。それに体格からくるパワーの差もある。ヒューズは日本で郷野聡寛や金原弘光にも勝っているから、80キロ台でも闘えるのをギュッと絞ってウェルター級にしているのだ。実際、向かい合ったマッハとヒューズの体を見ると、驚くほど厚みが違う。
　不安は適中した。
　1Rからマッハは攻め手がなかった。フェンス際に押し込まれ、足を刈られて倒される。パンチを打てば、カウンターでやはりタックル。ガードポジションでの攻防もうまいマッハだから、そこまでは予想していたかもしれない。ただ予想以上だったのは、ヒューズの抑え込みの強さだ。抑え込んでパンチ。ただそれだけの単調な攻めは、しかし確実にマッハにダメージを与えていく。マッハもなんとか下からヒューズのパンチを封じるのだが、結果として膠着し、ブーイングを浴びてしまう。ブレイク。そしてまたタックル。
　最後には、どうにも信じられない光景が繰り広げられた。あのマッハが、マウントポジションを取られてる！　いつもは決してパスガードしようとしない、慎重すぎるほど慎重なヒューズがマウント

UFC ULTIMATE FIGHTING CHAMPIONSHIP
UFC36/WORLDS COLLIDE
3.22★アメリカ・ネバダ州ラスベガス
MGMグランド・アリーナ

どうするマッハ？ どうする修斗？

▲マスコミ陣に向かってベルトを誇示するヒューズ。予想していた以上の強さだった

▲マッハは大会後の記者会見に出席。試合の感想を求められ「(ヒューズとは) 昔、一緒にトレーニングしたことがあって。レスリングを教わったんだけど、もっとよく聞いとけば良かったなって」と気の効いた答えで笑いを誘っていた

◀試合後、オクタゴンに登場したカーロス・ニュートン。前回のヒューズ戦が微妙な決着だったため、リマッチを望む声も多い。試合に関しては「マットがちょっと大きいだからね～。でもマッハのほうがテクニックはmore。(もう一回やったら) I think 問題ナイデショ～」。ニュートンもマッハとの対戦を熱望しているという

▲初のオクタゴンで、屈辱的な完敗を喫したマッハ。相手と健闘を称え合うのもそこそこにオクタゴンを去っていった

るほど慎重なヒューズがマウントを奪えるほどにマッハは消耗していたのだ。うつぶせになって逃げようとしても、かえって中途半端な体勢で固められてしまうマッハ。あとはもう連打を浴びるばかり。頼むからストップしないでくれ！でも止めないと危ない……。

惨敗だ。まさかマッハがここまで完璧にやられるとは。世界の壁って、こんなに高かったのか。「軽・中量級は修斗が最高のレベル」。日本じゃそれが常識だった。でも、その最高峰にいるマッハが、ヒューズに太刀打ちできなかったという現実。

考えてみれば、ここ数年のマッハはいつも受けて立つ立場だった。修斗の試合は年間2試合くらい。心底シンドいと思える相手との闘いは年に1回あるかないかだ。20代の半ばで〝出来上がった〟選手として扱われていたわけで、去年の敗北は、そのツケなのかもしれない。つまり修斗のプロモーションそのものが問われる負けだってことだ。もちろんマッハはそのことを分かっていて、だからこそUFCに出たんだろうけども。

スロットマシーンでいくらスッても構わない。ポーカーでどれだけ負けてもしょうがない。そんなことはラスベガスじゃ当たり前のことだし、ボクの財布の中身なんてタカが知れてる。だけどマッハの負けは痛すぎた。オクタゴンでベルトを巻く姿しか考えてなかったから、なおさら。

エルヴィスが唄った『ハートブレイク・ホテル』は、ラスベガスにあるに違いない。（橋本）

UFC

UFC36/WORLDS COLLIDE
3.22★アメリカ・ネバダ州ラスベガス
MGMグランド・アリーナ

受太郎も、三角出なけりゃただの人？ “オクタゴンの方程式”で判定負け

受太郎にとって「膠着ブレイク」ありの新ルールは鬼門だったのか……

▲金網に相手を押し付けて動きを封じるのがオクタゴンでの必勝法なのだ

▲オクタゴンに入ると、受太郎は大の字になって精神統一

▲中尾受太郎は第１試合に出場。ＵＦＣ２連勝といきたかったが、ショーン・シャークに判定負けを喫した

▶会場入りする受太郎。２度目の出場だけあって、リラックスできていたようだ。公開計量の際も「前回は公開だって知らなかったけど、今回はもう。待ち時間もべつにイヤじゃなかったですよ」

◀首相撲からのヒザ蹴りを狙った受太郎だが、うまく返されてしまう

▶テイクダウンを許し、パンチを浴びはするものの、受太郎はなんといってもガードポジションからが勝負。しかし……

★第1試合/ウェルター級5分3R
○ショーン・シャーク（3R判定3-0）中尾受太郎●
〈アメリカ/ミネソタ・マーシャルアーツセンター〉 〈日本/シューティングジム大阪〉
※採点…30-27、30-27、30-27

「膠着しても、最終的には一本で勝ちます」

中尾受太郎は大会前日にそう言っていた。受太郎のシグネチャー・ムーブ＝代名詞とも言える得意技は三角絞め。ガードポジションの苦しい展開が続いても、最後はこの技で一本が取れる。だから見ているほうとしても、どれだけ膠着したところで受太郎の試合は気が抜けないのだ。

この日も受太郎は、ショーン・シャークに終始、上のポジションを取られて防戦一方。パンクラスマットで國奥麒樹真と引き分けたこともあるシャークは、相手を金網に固定し、コツコツとパンチを当ててポイントを稼ぐオクタゴンでの必勝方程式で攻めてきた。一見するとピンチではあるが、同時に「いつ三角が出るのか？」と期待も膨らんでしまうのは受太郎の試合ならではだ。

しかし……。ＵＦＣは今大会から膠着ブレイクを採用。しかもそのタイミングがけっこう早かった。受太郎の足がスルスルッと上がり、「そろそろ三角のタイミングか！」となったところでブレイクがかかってしまう。結果、ほとんど何もしないまま、目も当てられない判定負け。観客に優しいルール改正は、受太郎にはこの上なく厳しかったわけだ。

普通なら「違うパターンの攻め方がほしい」と言うところだが、受太郎に関しては「オメェはそれでいいや」である。膠着が続けば続くほど一本勝ちへの期待が高まるなんて、そんな個性的な選手は世界中を探しても受太郎以外には見当たらないんだから。■

※『UFC36』大会レポートはP95～に続きます

田村潔司 VS SRS・DX

いいぞ、田村！この期に及んで開き直り宣言！

最後には僕は『プライド』に勝ちますよ

『プライド19』での対シウバ戦に敗北した田村潔司。試合前から『プライド』を否定する発言を繰り返して上がった舞台での、この負けはさすがの田村も落ち込んでいると思いきや、まったくそんな素振りなしで素晴らしいばかり。田村潔司のしぶとさ、ふてぶてしさを感じてほしい。

聞き手◎中村カタブツ君（ブチ）
撮影◎中島ミノル

『SRS』と僕の間には亀裂が入ってますから（笑）

田村　これ、『SRS』でしょ？
——そうですけど。
田村　じゃあ、今回のインタビューは適当にいきますから（笑）。
——肝にイチモツあると（笑）。
田村　そう。『SRS・DX』に関しては、この記事を読んだ後で、今後の態度を考えますから。まあ、様子を見ながら……。
——接していきたいなと（笑）。
田村　はい。ん？　接するかどうかはまだ（笑）。
——ワハハハ！　まあ、諸々ありましたからね（笑）。
田村　ありましたねぇ～。1発目はね、「田村潔司は是か、非か」ですよね。あれからですね。あれから和解できてない状態で、また亀裂が入りましたんで。
——是か、非っていうより、雑誌的には非って感じでしたよね、明らかに（笑）。
田村　そう。だから、僕のページは田村VS『SRS・DX』で間に亀裂を入れておいてください（笑）。
——点線でなく（笑）。
田村　そう、破れるくらいに。
——破りましょうか（笑）。それにしても田村さん、お元気そうですね（笑）。
田村　元気ですか？
——もしかしたら、落ち込んでるかと思ったら、全然そんな感じじゃないですね。
田村　開き直ってますから（笑）。
——いいですね（笑）。
編集部のモグラ　何か注文しますか？
田村　じゃあ、カレーと唐揚げを。
——なんかロシアンタコヤキ（中身が辛子のタコヤキが1個混じったタコヤキ）ってあるんですけど頼んでみます？
田村　いいですねぇ（嬉しそうに）。
——じゃあ、それも。でですね、その開き直った田村さんにお聞きしますけど、なんかシウバ戦後、10日間自主謹慎とかなされたようですね。
田村　いや、謹慎はしてないんですよ。次の日から飲みに行ってたんで。
——あれ？　『週プロ』に書いてあることと全然違うようなんですけど。
田村　そうですね。ちょっと違う情報を流しておこうかなと（笑）。
——『SRS・DX』だから（笑）。
田村　あっ、バレちゃいました（笑）。もうね、同じことの繰り返しになるんで、同じような型にはまったコメントもつまんないでしょ？
——実際に飲みに行ったんですか。
田村　実際に飲みに行ってましたよ（笑）。
——ホントかなぁ（笑）。病院は行かれたんですか？
田村　行ってないですよ。
——行ったほうがいいんじゃないですか？
田村　いやいや、もう大丈夫です。その辺は自分の身体ですから適当に。
——「適当に」（笑）。まあ、いいですけど。で、『プライド』のリングに上がった感想は何かありますか。
田村　う～ん……。ま、あんなもんかなって思いますね。
——あんなもん？
田村　はい。あんなもんかなっていうか。う～ん、なんだろうな？　まあ、周りはあまり気にならないんで。やっぱり試合やってなんぼじゃないですか、選手っていうのは。だから、そんなには、『プライド』だからっていうのはあんまり気にはならないんですけど。どこのリングだろうと気持ちの面では変わんないですね。
——ただ見てる側としては田村さんのプライドをどう『プライド』のリングで示すのかなっていうのはありましたよね。
田村　その前に僕にプライドがあるのかないのか分かんないですからね（笑）。
——明らかにあったじゃないですか。「僕がやりたいのはあれじゃない」っていう。
田村　そうですね。なんかね、もうよく分かんなくなりました。世の中が。
——それは深刻ですね（笑）。
田村　はい。『SRS』のせいで（笑）。
——それじゃあ、僕ら、いい仕事したんですね（笑）。
田村　ワハハハ！　まあ、ある意味いい仕事ですよね（笑）。そういう雑誌が一つはないと、面白くないですから。逆に僕も一つぐらい、そういう発言をするところがないと面白くないから。ちなみにこれは『紙プロ』から出したTシャツです（笑）。
——田村さんの扱いが『SRS』とは大違いの『紙プロ』が作ったニューTシャツですね。でもそれ、グレート・アントニオでも売ってますよ（笑）。
田村　なんですか、それは？
——『SRS』のショップです（笑）。
田村　嘘！　マジッスか！　ウワァ！
——それが世の中ってもんですよ（笑）。
田村　ウワァッ！　騙されたのかなぁ、また（笑）。じゃあ、帽子を撮っといてください。
——ククク（笑）。で、結果があれなんで、聞き難いんですけど、田村さんが『プライド』に上がってやりたかったことってできました？
田村　う～ん、できたのかなぁ？　僕的にはホント過去のことになっちゃったんで。引きずってないんですよね。
——そんな感じですね。ファンのほうがよっぽど、ガックリきている感じで。

田村潔司 VS SRS・DX

◀『プライド』の闘いそのものを否定するために、リングに上がる田村。その頑固で偏屈で反骨な精神には乗れる

田村　そうそう。まあ、早く僕みたいにファンの人も開き直ってもらって（笑）。今年の僕の『ＳＲＳ』に対するテーマは〝開き直り〟ですね。

——でも、僕はやっぱりね、田村さんに期待しているんですよ。『プライド』に対して是か非かって言ったら非を主張した選手はなかなかいないですからね。

田村　あ！（笑）。いいこと言いますね！　それは凄い気分がいいですね（笑）。でも、結果が伴ってないからメチャクチャ格好悪いんですけどね。

——うん。

田村　「うん」って（笑）。でも、いろんなものを求めすぎですね。僕にどうしてほしいですか？

——『プライド』に勝ってほしいですね。

田村　いやあ、でも『プライド』に勝つのはいろんな勝ち方があるから、僕はどっちみち勝ちますよ。それは大丈夫だと思いますよ。

——いいですね、それ（笑）。その辺の自信はどこから？

田村　う〜ん……。それはちょっと言えないなぁ（笑）。

——ワハハハ！　始まった（笑）。今日は雑談にしましょうか。

田村　いいですよ（笑）。自信の話ですけど、それはあくまでも僕の先見の明なんで、答えは1年後、2年後、3年後っていうふうになってくるんで。3年後に僕の言葉を振り返ってくれれば。やり方はいっぱいあるけど、どういうやり方をしても僕が勝つっていうか、生き残るっていう意味で、自信というかそういうものになるんで。

——でも、個人のプライドを含めた、選手としての勝ちについてはどうですか。現実的に言えば、Ｕスタイルで勝つ、華麗に勝つって難しそうじゃないですか。でも、そうは言いながらも、それをやろうとしている感じが田村さんにはあるんじゃないか、と。それってひょっとしたら、ロマンなのかなぁと。だったら、乗れるなぁって思うんですよ、今でも。

田村　う〜ん、恵まれているなぁと思いますね。こういうボロボロの状態で、もうなんにも言えないような負け方をしたのに、そういうふうに言ってもらえるとありがたいですね。恵まれてますよね。

——でも、田村さんが自分で築いてきたことですからね。だって、繰り返しますけど、『プライド』にケンカを売った人って誰もいませんからね。「お客さんはバカ」発言も含めて（笑）。

田村　あれはもう若気の至りで（笑）。

——ワハハハ！　それにしても人に嫌われないように気を使うのが普通なんですけどね、特にお客さんとか（笑）。

田村　気は使ってるつもりですけど……。これでも気を使ってるほうですね（笑）。まあ、真面目な話、ジム生から教わることがたくさんあるんですよ。みんな仲良くやってもらってるし、かと思えば、一人黙々とトレーニングする人もいるし。いろんな人がいていろんな人生があるなって。そういうのを見ていると、なんか、いいなぁって。僕、年を取ったんですかね？

——田村さん、昔に比べて、相当いい人になってるんじゃないですか？（笑）。

田村　いや、元々いい人ですから。今は輪を掛けていい人になったと（笑）。

——じゃあ、今、メチャクチャ、ナイスガイなはずなんですね（笑）。

田村　ワハハハ！　そうなんですよ（笑）。いい人だから、ちょっと悪いことすると、「ああ、こいつは」ってなっちゃうんですよねぇ。

——逆に（笑）。

田村　だから、悪いことをして、ちょっといいことをすれば「いいなぁ」って思いますよね。そんなふうに変えていこうかなと。特に『ＳＲＳ』に関しては（笑）。

——普段は悪く接すると（笑）。

田村　だから、今回の記事がどういうふうになるか楽しみなんですよ（笑）。

——でも、もうこのまんまですよ。ほぼ雑談ですね（笑）。

田村　なんかね、『ＳＲＳ』って聞くと拒否反応を起こすんですよね。あっ、タコヤキ来たんで食べてください（嬉しそうに）。

——モグ、食べて（笑）。

田村　え！　モグってモグラ？　顔が似てるから？

モグラ　なんかそうらしいです（笑）。

田村　ひどいなぁ、アメリカだったら裁判ものですよ、分からないけど。

——まあ、本人が気にしてないんでいいんじゃないですか。だから、『ＳＲＳ』はそんな和気あいあいとしたいい人たちの

『プライド』の感想？ まあ、あんなもんかなぁって

3月16日（土）、大田区体育館の分館でU－FILE CAMPが組み技だけの『スタイルG』という大会を開催した。参加した選手は全員U－FILEの選手たちで、主催者である田村も姿を見せた。写真は、各階級の優勝者・準優勝者と一緒の田村

『プライド』に勝つにはいろんな方法があるから大丈夫ですよ

集まりなんですよ（笑）。

田村　ワハハハ！　そうですねぇ、まあ、いろんな見方がありますからねぇ（笑）。

――そう言えば、田村さん、この前のUファイルのアマチュア大会『スタイルG』で、モグが挨拶に行ったら第一声「この前のインタビューで遅れてきた人でしょ」って言ったらしいですね。

田村　はいはいはい。でも、それが結果としてはイイ方向につながりましたよね。はい（笑）。

――顔を覚えてもらったわけですからね。なのにこの男は「くそぉ、余計なこと覚えてやがる」って言ってたんですよ（笑）。

田村　そういうこと言うんだ。うわぁ、また人間不信ですよね（笑）。

モグラ　いや、それは言ってないです。

田村　へぇ～、「それは言ってない」？　じゃあ、どれを言ったの？（笑）。

モグラ　いえいえ、何も言ってないですよォ。ホントに底意地が悪いですね、中村さんは！（笑）。

――俺かよ（笑）。取材の日「なんで遅れたの？」って聞いたら「Uファイルのホームページの地図が悪い」って言ってましたからね（笑）。

田村　（聞き手を指差しながら）まあ、性格が分かりますよね（笑）。

――あ、僕の（笑）。

田村　僕に似てるんだなぁって。

――ワハハハ！　つまり、底意地が悪いんですね（笑）。

田村　いや、いい人ですよ、僕は（笑）。ところで、『スタイルG』は面白かったですか。

モグラ　いや、膠着状態がなくて面白かったですよ。

田村　いやいや、ここは批判してもらったほうが嬉しいんですよ。

――アマチュアの大会は選手本人が楽しいのが一番だと思うし、実際、楽しそうだったから良かったんじゃないかと思いますけど。

田村　う～ん……。今、『プライド』って一般の人も見に来ているじゃないですか？　『プライド』自体のそういう地盤っていうか、引き寄せる力は僕は凄いなぁと思うんですね。それは素晴らしいなと思います。でも、そういう一般の人の中にはただ騒ぎに来ている人もいると思うんですよ。で、僕ら選手から言えば、そういう人っていうのはその場だけなんで、もう少し細かい駆け引きを使った上での競技を見に来るお客さんを増やしたいんですよ。だから、この前の『スタイルG』は、将来的にはそういう目の肥えたファンの方にいっぱい集まってもらって、タックル一本で盛り上がって、パスしただけで盛り上がるようにしたいんですよね。

――あの大会はそういう大会だったと思いますよ。

田村　そう？

――ホントに。で、今、細かい駆け引きって出ましたけど、シウバ戦では駆け引きとかってできました？

田村　それは『SRS』さんには教えられない（笑）。危ない、危ない。

――じゃあ、あることはあるんですね（笑）。

田村　あることはあるんですけど、出し

次はヘビー級のタイトルマッチを組んでもらおうかなぁ

切れなかったりしますよね。それを言ったところで分からないと思うし。タコヤキ、どうぞ（嬉しそうに）。

――じゃあ……ウワァ！ 辛ェ！

田村 ワハハハ！ 何が入ってました？（笑）。

――ワサビです！

田村 いやぁ、運がいいわ（笑）。だって、こんなところで運を使ったらもったいないでしょ。運がいいわ（笑）。

――それは運のムダ使いでしょ！ ホントに嬉しそうだなぁ（笑）。で、さっきのシウバの話ですけどぉ、シウバが動かなかったというのはありました？

田村 それは『SRS』には言えないなぁ。……しつこいですね、僕ね（笑）。

――しつこいですよね（笑）。でも、そういう人だからこそ、今があるんじゃないですか。

田村 う～ん、あのね、『SRS』はね、思ったことを書いてもらいたいですよ。思ったことを書く雑誌でしょ？

――基本的には。

田村 だから、今日、僕に対して思ったことを書いてもらって、それを見て僕がどういう発言をするかを判断しますよ。『SRS』は前科があるから（笑）。

――ハッキリ言って、子供っぽくってタチが悪くてふてぶてしくて、しぶといですよ（笑）。それで判断してください。ただ、あらゆる意味で正直だと思いますね。ところで『格通』ではドンキホーテって書いてありましたね。

田村 どういう意味ですか。

――風車を怪物だと思って突っ込んでいった男ですからね。自分から見れば正しいし、他人から見ればバカですよね。

田村 それはイイ意味にも悪い意味にも捉えられますよね。

――両方でしょうね。

田村 ちょっと待って携帯でドンキホーテって意味調べますから。

――そんなことできるんですか。

田村 できます、できます。あのね、ちょっとドコモとモメて。ショップの店員って口のきき方知らないでしょ？

――同感ですね。

田村 僕の携帯ってリコール機種で無償交換なんですよ。で、アンテナが取れちゃったんで持ってったら修理はできない、取り替えもできないっていうんですよ。

――メチャクチャな話ですね（笑）。

田村 で、自分で直したんですけど、その時、ちょうつがいの一部がちょっと欠けて。そしたら、今度はそこを修理しないと交換できないって言うんで腹立って。

――最悪ですね。

田村 納得できなくってモメてるんですよ。僕、こういうのは絶対許せないですから。あと、役所の人間の態度とかですね。パチンコ屋の店員の時は景品交換所の場所を教えてって聞いたら、なんか、適当な言い方したから景品のチョコレートをバ～ンっと投げて（笑）。

――なんてことするんですか（笑）。

田村 ムカつくんですよね。いや、女の子には投げないですよ、レジの奥に投げつけたんですよ。

――え！ つまり、女の子の店員相手にそんなことしてきたんですか（笑）。

田村 はい。態度悪いんで（笑）。

――最悪ですね（笑）。

田村 そういうのないですか。

――キセルの疑いをかけられてキップを取られた時は、その駅員がキップを戻すまで隣に立って悪口言ってましたね。面白かったですよ（笑）。

田村 腹立ちますよね。ただ、その駅員さんにしてみれば、ホントのキセルだったら困るってことでしょうね。

――そうですね。実はホントにキセルしようとしてたんですけど（笑）。

田村 最悪！（笑）。それはね、逆ギレっていうんですよ。

――いや、まだキセルはしてなかったですから頭に来ましたね（笑）。ところで、田村さんは『プライド』に腹立つことってあるんですか。

田村 う～ん、あのね、2分間の計量のために僕を都内のホテルに呼び出すのはやめてほしい。

――あ！ そういうところ（笑）。

田村 3時間かかるんですよ、往復で。それで2分間っていうのは無性に腹立つ。試合前ってイライラしてるんですよ。その前日には記者会見とかで一日潰されて。次の日、試合なのに2分間の計量のために僕を呼び出すな（笑）。

――分からなくはないですけどね。今後、『プライド』には出るんですか。

田村 う～ん、まあ、出るとしたら次はヘビー級のタイトルマッチを組んでもらおうかなと。それか、もう一度ミドル級のタイトルマッチ（笑）。

――ベルトを寄こせ（笑）。

田村 ワハハハ！ これを読んだ人は僕がどんな人間かと思いますよね（笑）。

――さすが田村潔司でしょう（笑）。

田村 まあ、いいや、開き直ってるから（笑）。

――いや、嫌になるぐらい元気なんでホッとしました（笑）。■

K-1軍よ、プライド戦士の打撃をナメると痛い目にあうぞ！

ブッカーKが語る総合格闘家の打撃力

容赦なき攻め！

意外な技！

とにかくタフ！

『プライド』VS K-1が開戦されたわけだが、打撃ルールならK-1が圧倒的有利なのは間違いない。しかし、プライド戦士たちの潜在能力は、その有利すら翻す可能性がある。ここでは総合格闘技界の目利きとして活躍するブッカーKに、K-1でも通用する総合格闘家について聞いた。

聞き手◎中村カタブツ君（ブチ）

——今日、ブッカーKにお聞きしたいのはK—1ルールの中で通用する『プライド』戦士を挙げてほしいんです。

川崎　やっぱり、イゴールとかゲーリーとかはK—1にも上がってますから、K—1の難しさを分かってますね。でも、ゲーリーなんかは武蔵選手とキッチリ決着が付いてなかったんで「ローキックなんかで来ないで、俺とパンチで打ち合え」って言ってましたよ（笑）。「K—1ファイターはいざオレたちと闘ったら、ウィークポイントばかり狙ってくるけど、そんなことしたら試合がつまらなくなる」と。

——男同士の闘いなら打ち合いだろって気持ちは分かりますね。逆に、噂されるミルコVSシウバなら、シウバがグラウンド＆パウンドでいけば相当勝てる可能性はあると思うんですよね。そこをあえてシウバが立ち技で向かっていったら凄いと思うんですよ。

川崎　気持ちは分かりますよ（笑）。だけど、体格が違うんで、かなり厳しいなぁと。グラウンドで少々痛めつけて、ヘロヘロになったところで立ち技で仕留めていくっていうのができたら一番グレートな形になるかもしれないですね。

——問題はファイターのハートですよね。その点、アイブルなんかは買えそうですね。

期待感と規格外のタフさを持つ
ヒース・ヒーリングには注目！

川崎　アイブルはもともとキックの選手ですから、かなりやれるんじゃないかと思いますね（笑）。というより「なんで立ち技やらないの？」って思うんですよね。だけど、「喧嘩が好きだからさ。なんでもできるほうがいい」って言いますね。僕はアビディなんかとやったら、喧嘩屋対決になっていいなって思いますね。

──思いますね。今、K─1にしても『プライド』にしても闘い方のセオリーってできつつある気がするんですよ。でも、闘いってもっと奥が深いんじゃないかって気がするんですよ。だから、セオリーを一回壊すような闘いが見たいんですね。

川崎　アイブルとアビディなら自然にそうなるでしょう（笑）。

──そんな感じですね（笑）。それで、今言った選手って一般のファンでも分かるじゃないですか？　やっぱりブッカーKがこれはオススメっていう選手を知りたいですね。

川崎　チャック・リデルはいい選手ですね。空手をやっていて、次にテコンドーをやってたんですね。『プライド』ではガイ・メッツアーにKO勝ちしてますし、ケビン・ランデルマンにもKO勝ちしているし。ほとんど立ち技で勝ってますからね。ティト・オーティズとやって、どっちが強いのっていう言われ方をしてますね、今、アメリカでは。

──チャック・リデルは骨法の堀辺先生の評価も高いですからね（笑）。

川崎　セーム・シュルトもタフなんですよ。シュルトはオランダにいながら、立ち技はほとんど空手だけを練習しているっていうのがいいんですよ。

──大道塾のチャンピオンですしね（笑）。

川崎　UFC系で言うとジョシュ・バーネットもいいですね。パンチもいいし、蹴りもいいし、バランスのとれた選手ですよ。結構負けん気も強くて、ペドロ・ヒーゾとの試合前に「俺はペドロが立って闘ってくるなら、立って闘ってやる」って言って、作戦だと思ったら、本当に立って闘って、セコンドのマット・ヒュームが「グラウンドに行け」って慌てて。それでもやっぱり「俺はペドロを立って打ち負かしたい」っていうぐらい気持ちが強くて（笑）。

──そういう選手が、今回の対抗戦では絶対必要だと思うんですよね。

川崎　そういう意味では、こいつは絶対いい試合しますよ。TKとも仲良しで、彼が日本で試合をする時には、TKがセコンドに付くでしょう。パンチがいいって言ったら、ダン・ヘンダーソンの右ストレートもなかなかですね。ヴァンダレイもKOされそうになってましたから。

──考えてみるとシウバを一番苦しめたのはダンでしたからね。しかも打撃で。

川崎　あとはガイ・メッツアーですね。彼はプロボクシングの試合もしたことがあるんで、打撃の試合でもいけると思いますよ。

──ガイには最初から期待してますからね（笑）。で、今度のK─1広島大会で子安選手と闘うニルソン・デ・カストロなんですけど。

川崎　彼はシュートボクセの選手ですね。

──立ち技でもいけそうですね。

川崎　練習はハードにやっているんでタフですよ。ボクセの練習はマススパーでも力を入れすぎてるんじゃないかと思うぐらいハードですよ（笑）。スパーリングでも技術うんぬんというよりは、前に出てガンガン打ち合うのが大事というか。そういう意味では、日本に比べたら技術は遅れていると思うんですけど、前に出るっていう。

──精神は残っていると。そっちのほうが乗れますよね。

川崎　そうですね。とはいえ、ブラジルキック界ではナンバーワンではないですかね。ノゲイラにキックを教えているルイス・アウベスのところとボクセが対抗戦みたいなのをやっているらしいんですけど、全部ボクセが勝っているみたいですからね。

──SBとの対抗戦では結果としては全敗でしたけど、レベルの高さは正直に感じましたね。あの試合はヒジありでしたけど、もしヒジなしだったら分かんなかったと思います。

川崎　K─1ルールはヒジなしですから、期待できますね。ニルソンはヒザとかがうまいんですが、この前のメッカの試合では、相手の歯が飛んでましたね。ヒザ蹴りが歯に当たって。

──迫力のある選手みたいですね。ボクセ勢にはそういう試合を望みますね。

川崎　それと修斗で桜井マッハ選手に勝ったアンデウソン・シウバなんかいいでしょう（笑）。

──修斗ミドル級王者が登場！

川崎　彼も立ち技のうまい選手ですからねぇ。今、体重を上げてきているんで90ぐらいになりますよね。

──それは絶対見たいなぁ（笑）。

川崎　あと、隠し球としては、フィンランドの選手の中には、ボクシングでプロやアマチュアレコードを持っている選手もいるんで可能性はあるんじゃないかなぁ。ユノラフ・エイネモっていうデカイヤツで、198だったかなぁ。そういうのも可能性的にはあるんじゃないかなぁと思いますね。

──未知の強豪ですね。ところで、グレイシーの選手の中にK─1ルールでできる人はいないですか。昔1回だけK─1に出たことがあるじゃないですか？

川崎　ありましたね。ただ、昔のことですから、その人のことはよく分かりませんね。

──今後、グレイシーも出てくる展開になると面白いんですけどね。

川崎　それは難しいですね。

──無理を言ってることは分かってるんですけどね（笑）。ただ、K─1 VS『プライド』って普通のキックの試合が見たいわけじゃないじゃないですか？　武蔵VSブラガ戦みたいな何が起こるか分からない。反射的にタックルが出てしまった

K-1 VS PRIDE
開戦記念企画
番外編

勝っても負けてもKOのガイ！修斗王者アンデウソン・シウバも登場か!?

り、そうした中で選手のナマの感情がブチまけられるのが見たいんですよね。

川崎　K―1中量級でも元気君が、つい飛び付き十字やってしまいましたからね。

―僕らが望んでいるのは、元気君や村浜君みたいな試合なんですね。知恵であったり、意地であったりを発揮できるものが見たいし、楽しみなんですけど。

川崎　そういう意味で言えば、ヒース・ヒーリングなんかも。

―あ！　ヒーリングはいいですね（笑）。

川崎　まだまだ、経験不足ですけど、このまま練習を積んでいけば。

アンデウソン・シウバ

ガイ・メッツアー

―絶対に期待感がありますよ、ヒーリングは！

川崎　オランダで練習してるんでキックの技術は長けてますよ。パンチの技術がもう少しかなぁという気がしますけど、あれでバランスが取れているんで面白いですね。パワーもあるし。

―僕はヒーリングの試合は見たいですね。なんだか、K―1ファイター同士の試合以外の規格外のものが見れそうなんで。で、今まではブッカーKとして聞いたわけなんですけど、ファン川崎としては、どうですか？　ノゲイラみたいな選手とかは。

川崎　打撃もできますね。結構緻密な。やっぱりボクシングで州チャンピオンになっているだけあって。彼の場合は他のヘビー級の選手と比べて、胸の肉がないじゃないですか？　そういう身体だとパンチが真っ直ぐ出せるんですよ。そういう意味では、向いていると思うんですよ。ルイス・アウベスに習ってきているんで、やれると思うんですけどね。

―絶対やれると思いますよ、僕は。

川崎　それとガイ・メッツアー、アンデウソン・シウバ、ジョシュ・バーネット、チャック・リデルは自信を持って推薦できますね。あとはもちろん、ボブチャンチンに、ゲーリーですね。特にゲーリーは「ベルナルドとパンチの打ち合いをしたい」と言ってましたから。「プロとして男と男の打ち合いをしようぜ」って（笑）。

―ベルナルドは受けて立つでしょう。バンナの時もたしかそういう感じだったと思うんで、面白いですね。

川崎　相手次第ですけど、この対抗戦に出ていける総合の選手はかなりいますし、ナメてかかるとK―1は危ないですよ。これからもどんどん隠し球を出していきますから（笑）。■

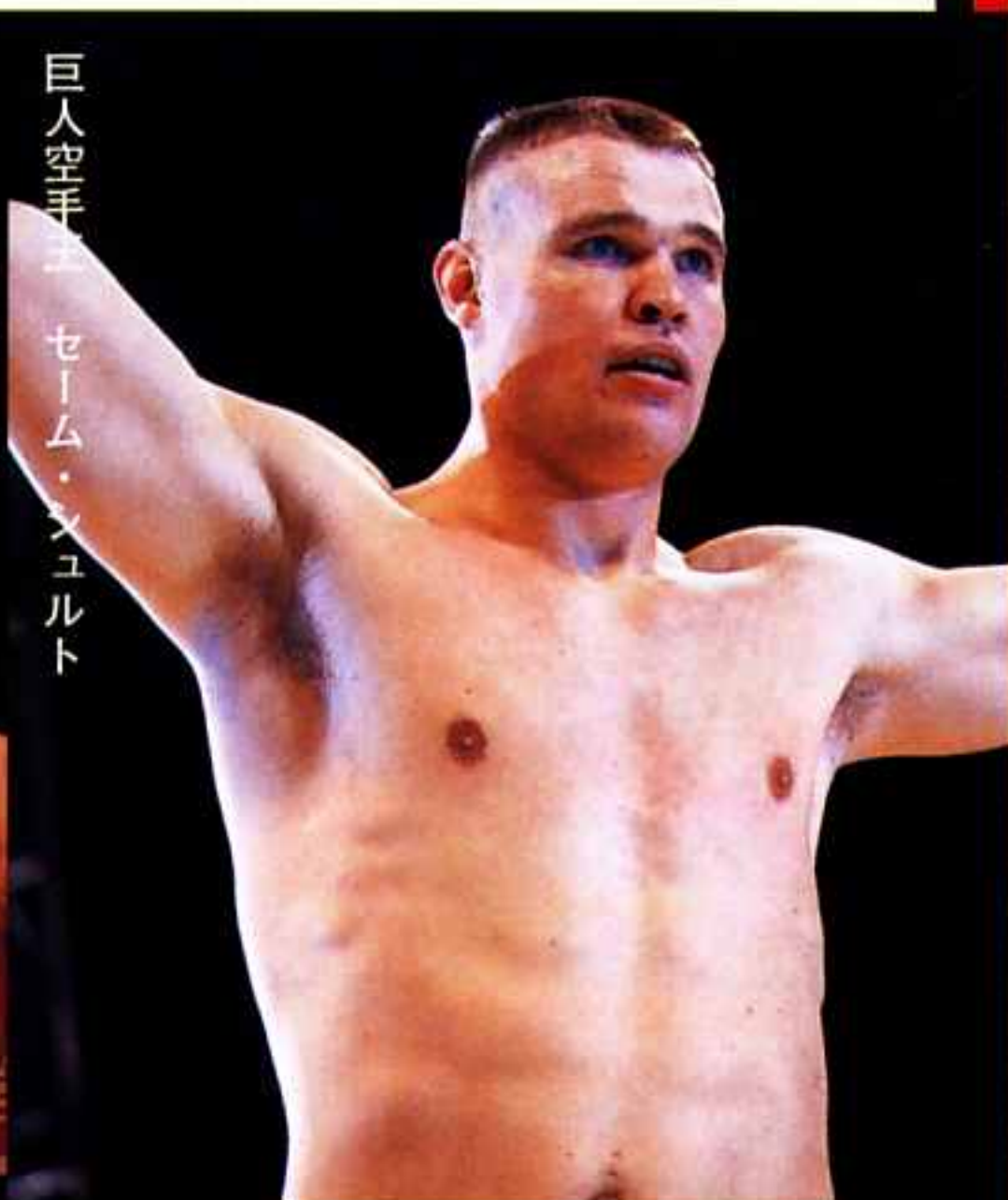
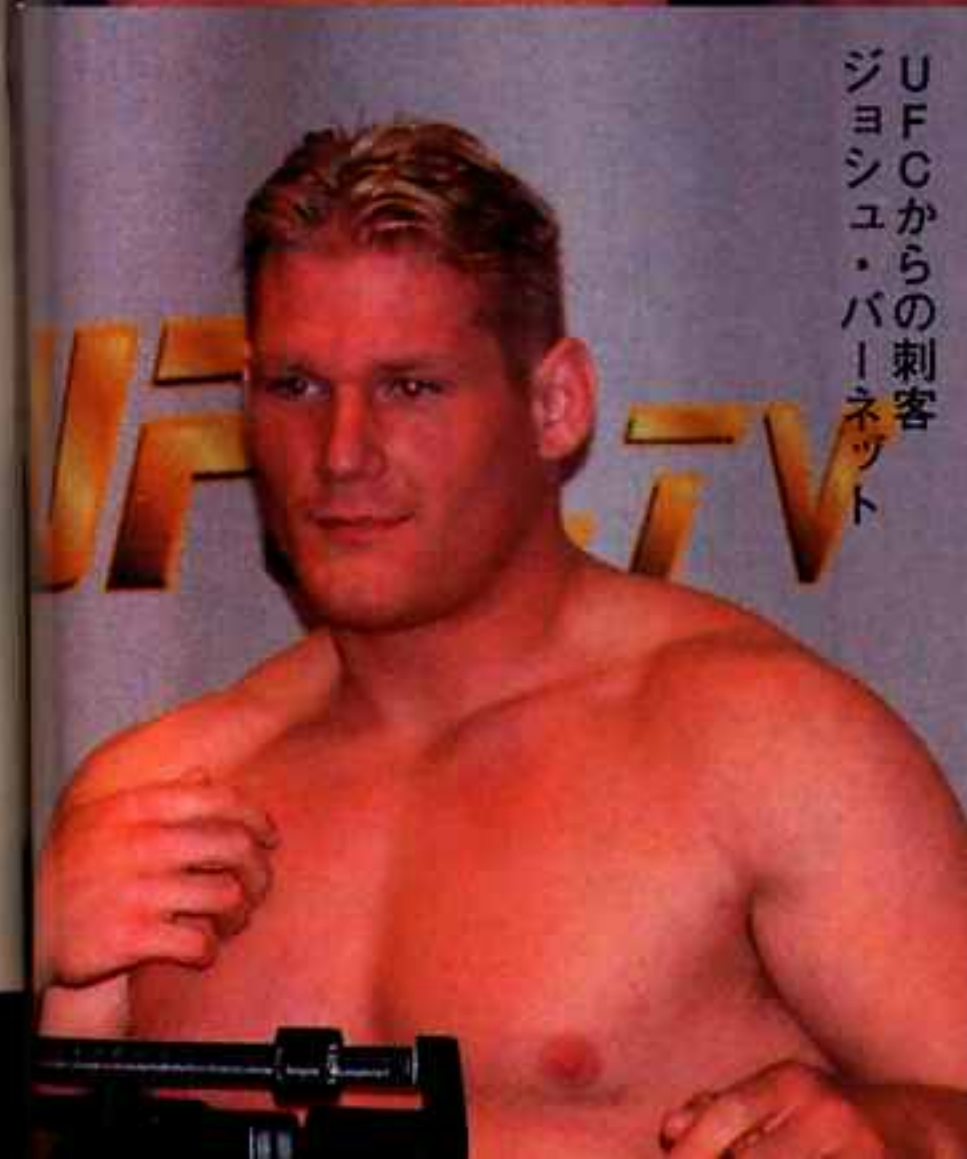
巨人空手士　セーム・シュルト

『プライド』の最終兵器　イゴール・ボブチャンチン

流血のヒザ小僧　ギルバート・アイブル

KOK王者　ダン・ヘンダーソン

モヒカンストライカー
チャック・リデル

剛力王
ゲーリー・グッドリッジ

シュートボクセの黒魔人
ニルソン・デ・カストロ

UFCからの刺客
ジョシュ・バーネット

フランス『KARATE・BUSHIDO』誌提携
SRS DX
スペシャル・リング・サイド
No.67 4・11号

CONTENTS

緊急特集

K-1 vs PRIDE、もし闘わば!?

速報!

SRS・DXの注目!

大会レポート

格闘技パーフェクトガイド

連　載

※入稿の都合上、目次の内容と異なることがございます。ご了承願います。

K-1 vs PRIDE

開戦！

新日党離党座談会

出席者◎ターザン山本（大食いチャンピオン）
サダハルンバ谷川（本誌シューター編集長）
小松モグタン（不動心の壊し屋）

司　会◎柳沢忠之（本誌ワーカー発行人）

僕たちが思い描く新日本プロレスは不滅です！（笑）

山本 おい、谷川ぁ！ なんだ今日のこの店はぁ！
谷川 は？ お気に召しませんか。
――山本さん、ここは超高級松阪牛の店ですよ（笑）。
山本 俺はVIP待遇は望んでるけど、ここまでしてくれとは言ってないんだよねぇ。だってこれ、超々VIP待遇だよぉ！ 俺は後が怖いよぉ。
――ぷぷっ、僕らが山本さんにしてあげられるのは、これくらいですから（笑）。
山本 俺はこの1年間、ムチャクチャ損してたよぉ！ 大損ですよぉ。
谷川 まあ、メインは超高級すき焼きですけど、その前に何かお好きなものを注文してください。おい、モグタン、山本さんにお品書きをお渡しして。
小松 好きなもの、どんどん食べてください。
谷川 太っ腹だなぁ、キミは。
小松 ま、僕が払うわけじゃないですから。
――おまえはそういうところが、だんだんShowに似てきたな（笑）。
山本 お！ タラの芽の天ぷらがある！ 刺身も食いたいなぁ。……あ！ 松阪牛の刺身もあるんだぁ。
谷川 もう、メニューの片っ端から食っちゃってください。
山本 いや、食っちゃいけないんだよなぁ。
――え？ どこか身体でも悪いんですか。
山本 いや……、ごっつぁんにも分相応というのがあってぇ。こんな高級なもの食べたら、明日から俺の磁場が狂いますよぉ。食えないよなぁ……、食えないよぉ、う～ん………、よし、食おう！
――ダハハッ、馬場イズムだ（笑）。
山本 もう、こうなったら覚悟を決めた！ 開き直ってじゃんじゃん食いますよぉ！
谷川 じゃあモグタン、じゃんじゃん注文しちゃって。
小松 あ、はい。僕が食いたいものも、じゃんじゃん注文しちゃっていいですね。
――座談会もそれくらい饒舌になれよ（笑）。
小松 今日は任せてください！
山本 ところでおまえは誰だぁ？
小松 あ、小松です。前回も出席させていただきました。
山本 そうだったかぁ？
谷川 モグタン、今日は山本さんの記憶にちゃんと残るように頑張れよ。
小松 あ、任せてください。
谷川 で、今日のテーマは何？
小松 ここに来て急に、K―1と『プライド』が開戦みたいな感じになってきたじゃないですか。このまま大きくなって全面戦争みたいに発展していくんでしょうか。
――食い物が良くなると、途端にテンションが上がるなあ、おまえは。
小松 ごっちゃんです。
谷川 どんどん食って、どんどん発言しろよ。ということで、山本さん、いかがでしょう。ぜひ見どころとかを教えてください。

俺から言わせれば「遂にここまで来たか！」ですよぉ

山本 まず、ひとつ！
――ぷぷっ！ こっちも食い物で明らかにテンションが上がるな（笑）。
山本 これは「いよいよ来たか！」ですよぉ。もうひとつは「遂にプロレスが除け者にされたか！」ですよぉ。
谷川 プロレスが除け者にされたんだあ。
山本 もう使い古されて、よ～するに捨てられてしまった。俺から言わせれば「遂にここまで来たか！」ですよぉ。
谷川 ほぉ～ん。
山本 だって今までは、全ての価値観はプロレスラーが『プライド』に出ることによって成り立ってたわけでしょ。まあ、始めから説明すると、今のプロレスは勝負論じゃないわけですよぉ。元々はレスラーの背景にあった存在の大きさみたいなものが勝負論に関わってきたわけでしょ。だから馬場さんでもドリー・ファンク・ジュニアでも、歳とっても絶対に負けなかったんだよな。つまり、そーゆー勝負論なわけですよぉ。
谷川 「格」の概念ですね。
山本 そう。そういうプロレス的価値観に対して、K―1と『プライド』はシュートな存在なんですよぉ。つまり絶対的な勝負論という意味で。ところがよく考えてみたら、K―1と『プライド』ってシュートの形態が違うんですよぉ。やっぱりK―1は巧妙だよぉ。つまり今の時代でシュートをシュートたらしめてるのは、意味としては初対決になってるんですよぉ。初・対・決っ！ よ～するに出会い頭の最初の対決が一番シュートらしさというか、一番ウケるんだよねぇ。つまり「初対決」がシュートの最上級のプライオリティにあるわけですよぉ。
谷川 なるほどぉ。
山本 で、その次に重要なのは「両者が幻想を背負ってる」ということだねぇ。つまり負けると何か失うものを持っていて、初対決だったら、これは最高の闘いになる。その例としては髙田VSヒクソン戦ですよぉ。ところがK―1の場合は「再戦可能」な形を取ってるわけですよぉ。
――まあ「リベンジ」という形のものですね。
山本 1回負けたとしても、もう1回闘って選手を絶妙に生かしてるんだよね。これ、プロレスのいいところをうまいこと奪ってるんだよねぇ、石井館長は。とてつもなく巧妙というかさぁ。シュートだったら普通は再戦は意味ないわけです

よぉ。つまり『プライド』のほうは「非再戦型シュート」なわけです。バタッと負けてしまうとドーンッとくる。

谷川　ほお〜ん。

山本　例えばコールマンとかケアーみたいに、それまでの価値をいっぺんに失ってしまうという、非常に冷たいというか、逆に闘いの持つテンションが高いというか。ここにシュートの持ってる意味があるわけだよなぁ。これ、分かりやすい例えで言うと最近、宮戸優光としゃべったんだけど、こういうことを言ったんですよ。「最初の対決というのはシュート的だ。でも、2回目に闘うとどういう形にしろワーク的に展開していく」と言うんだよぉ、分かっちゃうから。で、俺が「ああ、それはセックスと一緒だな」と言ったんですよぉ。

谷川　ほお〜ん！

山本　最初のセックスは極めてシュート的で、極めてエロチックで、極めて衝撃的で、極めていろんな要素が絡んでいるわけですよぉ。で、2回目になるとややワーク的になるんだよねぇ。

——ぷぷっ、ワーク的（笑）。

山本　それをよ〜するに取り入れてるのが『プライド』だよねぇ。あれ、初合体を見せてるよーなもんですよぉ！

谷川　や、山本さん、面白い！　食い物でこんなに違うんだあ。

山本　高級松阪牛を前にすると、人はアドレナリンが出るんだよねぇ。まあ、つまり初対決ということがシュートのウリになってるわけ。田村VSシウバは初対決だから興奮する。しかもそれにプラスしてUWFの幻想が背中にあるから、その幻想がシュートされるかどうかなんだよねぇ。守れるのか、地に墜ちるのか、そこに面白さがあるわけですよぉ。でも、再戦をするという形に持っていって、もうひとつの闘いをやるということはワーク的になって、その良さが出てきたり、あるいはそれがプロレス的になるのかは分からないけど、その2つの構図で成り立ってるんだよねぇ。これが重要なコンセプトだと思うんだけど、どー思う？

シュート的一発勝負を凄く求めてる時代なんだよねぇ

——それは興行をプロデュースする側が、自力本願でいくか、他力本願でいくかの差でしょうね。つまり、初対決はプロデュース側のもの、再戦は選手のもの、っていうことじゃないですか？

山本　でも、その初体験が……。

小松　あ、初対決です。

山本　あ、初対決の出会い頭のシュート的一発勝負みたいなものをファンが凄く求めてる時代なんだよねぇ。

——だから、ファンの中にも選手に対する信頼感が薄くなってきてるんじゃないですか？　プロデュース側のシュート性を見たいというか。K—1も決まったメンバーで選手のモチベーションを信頼してやってきても、緊張感がなくなって団体化しちゃいますもんね。

山本　そーすると寄り合い所帯になるんだよねぇ。寄り合い所帯になってくるとプロレス化していくんですよぉ。

谷川　その意味で『プライド』がシュートだっていうのはよく分かりますね。

山本　打撃系の闘いって、選手が離れて闘うでしょ。それは物凄くシュートなソフトの構造なんだよねぇ。それはなんでかというと、打撃は飛び道具だからですよぉ。つまり空中戦なんだよね。そーゆー意味ではK—1は寄り合い所帯になっていても、いざゴングがなるとシュート的なわけですよ。ところが組み技系になると、身体が合体してて、キャッチしてやるものは相手の心が分かっちゃうでしょ。そーするとシュート的なものから、ある意味ではワーク的な要素が出て、心が行って来いになるわけですよぉ。

——だから、そのシュート的な部分と、ワーク的というかプロレス的な部分が、K—1にも『プライド』にも両方あるんですよね。で、K—1と『プライド』でそれぞれが逆転してるわけですね。K—1は闘い方としてシュート的で、『プライド』はプロレス的。だけど、構造自体がK—1はプロレス的で『プライド』はシュート的、だと。

谷川　構造がプロレス的だから、K—1の人気がまた今、上がってきたんですね。

山本　よ〜するに打撃がプロレス的じゃないということを、物凄くよく分かっていたのが前田日明ですよ。それがつまりKOKですよぉ。つまりグラウンドでの顔面なしで、前田日明が「シュートとは何か？」「打撃とは何か？」「プロレスとは何か？」ということをよく分かってて、あのリングスの世界を作ってたんだよねぇ。つまり、それがシュート的に見えないから、どうしてもシュート全盛の時代の中でフェード・アウトしていったというかね。つまり、前田日明こそが今の時代の中で最もプロレスラーだったんですよぉ。

谷川　KOKは本当にプロレス的ですもんねえ。

山本　つまり佐山聡がなぜUWFをやったかというと「キャッチ・アズ・キャッチ・キャン」から離して、立ち技、つまり打撃から始まるんだ、と。あれが革命だったんだよねぇ。それを前田がひっくり返して元に戻そうとしたんだけど、戻らなかったのが前田の悲劇だったという

かさぁ。つまり、実は佐山が一番シュート的な男なんだよねぇ。ところが心の中にワーク的なものがあるんだよぉ。

谷川 前田さんはシュート的なものは自分の中だけに取っておいてリングのほうはワーク的にしたかったんでしょう。

小松 おおおぉぉぉ！

――ぷぷぷぷっ！

山本 でも、ヴォルク・ハンをはじめとして、団体としてはワーク的世界なんだよぉ。みんなで前田日明を守り立てるみたいな世界を作っちゃうんですよぉ。だからプロレスファンはリングスとか前田が好きなんだよね。

――そう考えると『プライド』って本当に冷たいもんね。

谷川 逆に言うと、打撃系の選手は冷たければ冷たいほど人気が出ると思うんだわ。ミルコとかバンナとか。でも、組み技系で冷たい選手って人気が出ないよね。だから前田さんみたいな人のほうが人気が出るんだよね。

山本 本来、組み技というのは身体を接してるから、心が通じ合うもんでしょ。そこで冷たいとギャップを感じるんだよね。

――で、山本さんの話から展開させると、冷たい初対決を見せていくことが『プライド』の原点でしょう。

山本 シビレるんですよぉ！ 物凄く冷たい初対決で「これをやっちゃあおしまいだぁ！」みたいな、どちらかがゼロになるみたいなリスクある闘いを見ると、客は本当に燃えるんだよねぇ。

谷川 でも、そこから考えるとK―1の場合は『プライド』に出て行って負けても帰るところがあるじゃないですか。

山本 K―1の選手が『プライド』に出て行く、『プライド』の選手がK―1に出て行く。ここで重要なのは打撃系の選手が組み技系の選手に倒されて簡単にギブアップしてもいいんだよな。恥にならないんですよぉ。たとえ負けたとしても価値は落ちないんだよ。ところが総合系の選手がK―1に出て行って空中戦で一発で負けたらメチャメチャ全てを失うんだよねぇ。この点でもK―1が圧倒的に有利ですよぉ。どこまでいっても石井館長の勝ちなんだよなぁ。藤田和之にしろ、永田裕志にしろ、全てを失うでしょ。

――それが根底にあるから、『プライド』の選手がK―1のルールで闘うとか、K―1に出るっていうと、凄く温かいイメージがあるんですよ。あの冷たいボブチャンチンでさえ、K―1に上がると温かいイメージで見られるでしょ。でも、サム・グレコみたいにK―1戦士の中でも温かいイメージの選手が『プライド』のリングに上がると物凄く冷たい感じがするでしょ（笑）。

山本 つまり、冷たいとゆーか、拒否反応を起こすんだよねぇ、見る側が。

谷川 でも、それこそシュートの初対決にはいいタマですよね。

――だから、『プライド』にとってはK―1って今は一番いい対立概念でしょう。

谷川 でも、『プライド』の選手がK―1に負けて帰る場所っていうのは、前田日明のKOKみたいな場所だろうね。

――まあ、そういう形のいいものがあったらね（笑）。

山本 もっと言うなら、それは『ZERO―ONE』みたいなところですよぉ。

――でも、『プライド』は格闘技界の中で唯一、そういう機械的で硬質的な形を

どこまでいっても石井館長の勝ちなんだよなぁ

維持していかなきゃいけないのかもしれないよ。

山本 もう感情を挟まないでどんどん初対決を作っていくしかないよぉ。これがどこまでいくのかというね。つまり、初対決主義を突き進まなきゃいかん！ 要するに気に入った女と一回やるみたいなもんですよぉ！

――一回やる！（笑）。昔は「聖なる一回性」とか言ってたのに（笑）。

山本 「性なる一回性」ですよぉ！ ファンはそれを見たがってるんだよねぇ。すなわち初対決のショッキング性ですよぉ。

谷川 でも、僕は基本的にはシューターよりもワーカーのほうが好きだなあ。

山本 それはワーカーの中にシュートがあれば一番いいんだよね。それでいろんな選手をひとり一人考えてみる。セーム・シュルトはどーゆータイプなのか？

――はい、お題です（笑）。「セーム・シュルトはどう分類されるか」、どうだモグタン。

小松 あ……、えーっと、巨人です。

谷川 んあ～！

山本 シュルトはひとことで言ったら「ワーカーに成り切れない選手」だよな。でも、シューターでもないんだよねぇ。ただ「潰し屋」なんですよぉ。

――本来はあの存在自体はワーカーなんですよ、外見とかも含めて。だけど、まったく自分のキャラクターをプロモーションとして使い切れない。で、技術的に使っちゃうから、そこはシューターに見えるんだけど、でも成り切れてない。だって、感情のシュート性が見えないもんね。

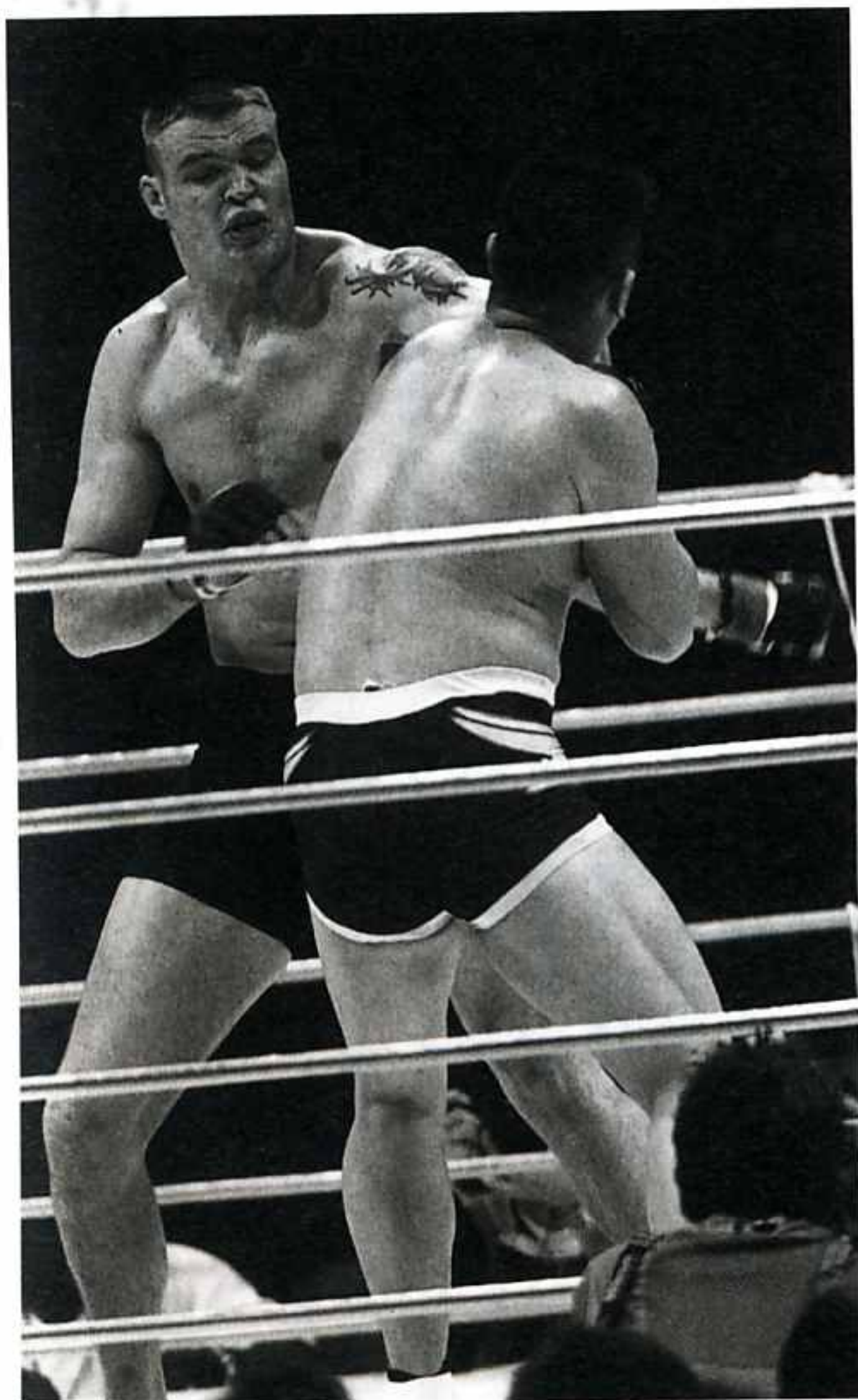
山本 あれで感情を表現できる存在になったら大スターですよぉ！

――それはたぶん、K―1のリングだと思うんですよ。『プライド』では難しいでしょう。

山本 『プライド』では、シュルトの良さが出てこないよねぇ。K―1というルールが単純な構造だったら、良さがメチャクチャ出るよぉ。

谷川 おい、モグタン、ここまでの話は分かったの？

小松 あ……、なんとなく分かりました。

谷川 なんか他に言うこととかないのか？

小松　あ……、刺身いただきます。
谷川　んあ〜！
——で、そのシュルトがK—1広島大会に出ますよ。
谷川　で、対戦相手が武蔵ですよ（笑）。
山本　武蔵を潰してしまえ！
——ダハハハハッ！
谷川　どういう結果になっても誰もが得しますよねえ。
小松　あ……、ちょっといいですか？
山本　遠慮しないで、しゃべれよぉ！
小松　えーっと、なんでシュルトがK—1に出ると凄く輝く……んですか？
——ダハハハハッ！　おまえは『プライド』戦士より冷たい試合をするなぁ（笑）。
谷川　それをいちいちキミに説明してる時間はないんだよ（by山口日昇）。キミは武蔵VSセーム・シュルトってムチャクチャいいカードだと思わない？
小松　だって、わざわざやる意味があるんでしょうか？
谷川　んむぐぅ〜！
山本　武蔵VSシュルトという過剰な闘いに刺激されないのかぁ？
小松　いや……、べつに。
山本　うむむむっ！　恐るべき男だなぁ。Showより厄介な男が出てきたよぉ。K—1と『プライド』、つまり打撃と総合が絡むと、観る側も過剰性を持って観るから楽しめるんだよぉ。おまえは過剰性ゼロの男だなぁ。
小松　あの……、僕は相撲をやってたんですけど、相撲の基本は不動心ですから。
山本　うむむむむっ！
谷川　キミは幻想とかを抱かないの？
——幻想って言った時に、だいたいマニアックになっていくよね。ワーカーとしてプロレスにマニアックになっていくと、もうモグタンみたいに『ZERO—ONE』とかがたまらなく魅力的になるわけだよな。
小松　あ、それは納得できます。
——つまり、シュートのほうに過剰性を持てないんですよ、こういう人種は。
山本　はあ……、とゆーことは、こいつとは共通言語がないということだなぁ。
——つまり、プロレスのほうだけの過剰性は楽しんでるんですよ。我々が付いていけないくらい過剰に観てますから。
小松　ちゃんと付いていきてくださいよ。
——んあ〜！（笑）。
山本　つまり、シュートの世界をいかにプロレス的に楽しむかというのが、今の一番の課題なんだから。だから、K—1も『プライド』も昔の新日本プロレスだと思わなきゃダメよぉ。新日本プロレスが進化して、一方は打撃のK—1、もう一方は総合の『プライド』になったと考えないと。そう観ると過剰に楽しめるわけ。その二大勢力がぶつかるんだぞぉ！　コーフンしないのかぁ。

プロレスは出遅れも出遅れ、大出遅れですよぉ！

小松　僕のモットーは不動心ですから。
谷川　まあ山本さん、小松は徐々になんとかしていくとして、僕からふたつ質問があるんですけど。まず、もしミルコVSシウバっていうカードが成立したらどう思います？
山本　2人とも打撃系選手でしょ。
谷川　過剰に観られますか？
山本　「やってはダメだぁ！」ですよぉ。だって、2人とも違った形のプロレスラー・キラーでしょ。それが闘ってしまったらさぁ、もうプロレスが倒すチャンスが一個しかなくなるじゃない。プロレスが両方を倒さなきゃ意味ないわけ。それは切ないよぉ！
谷川　石井館長が去年の東京ドームの大会が終わってから「ミルコVSシウバをやろう！」って『東スポ』の一面になったんですけど、あの時は本当に「プロレスは取り残されたなあ」って感覚がしましたね。
山本　時代から置き去りにされましたよぉ。石井館長がプロレスのオールすべてぜ〜んぶを使い切ってしまったという、もう相手にもしない状態にされてしまったという悲惨な状況ですよぉ。
——それと同時にミルコVSシウバっていうものの今後のストーリーを考えたら、一つしかないじゃないですか。それは「ミルコVSシウバの勝者と誰が闘うべきか？」と。
山本　その前に、その試合はぜひミルコに勝ってほしいねぇ。
谷川　それはなぜですか？
山本　ミルコのほうが身体がデカイから。
——ダハハハハハッ！
山本　だって、そのほうが対戦相手がい〜っぱいいるじゃない。
——ある意味、モグタンより単純だ（笑）。
山本　いや、これは重要だよぉ。ちっちゃい選手に、今度プロレスラーが勝っても評価がちっちゃいじゃない。
谷川　要するに、シウバが勝った場合は桜庭とか菊田とか美濃輪とか、そのへんが対戦相手として絞られちゃうってことですか。
山本　よ〜するにシウバが勝っちゃったら、倒す意味のスケール感がないじゃない。だから、絶対にミルコがシウバを叩き潰さなきゃダメよ。
——でも、ミルコを倒せる日本人のプロレスラーって誰だろう？
谷川　それは藤田か桜庭でしょう。
——う〜ん、もしミルコVS桜庭になったとしたら、それはそれでプロレス界は本当に置いてきぼりですよ。
山本　あらゆるチャンスを失ってしまうねぇ。出遅れも出遅れ、大出遅れですよぉ！
——もう今さら桜庭を「プロレス界の救世主」って、プロレス側に封じ込めることはできないですからね。
山本　でも、プロレスファンとしてはシウバに勝ってほしいと思うよぉ。よ〜するに桜庭のリベンジが残ってるから。
谷川　あ、プロレスファンはそうなんですか。
——それはミルコVS桜庭っていうのが現実的に頭に思い浮かばないからでしょ。
谷川　なるほどぉ。で、もう一つの質問は「取り残されたプロレス」はこれからどうなるんですか？　山本さんにとっては重要な問題だと思うんですけど。
——ぷぷっ、要約すると「取り残された山本さんはどうするんですか？」ってこと？　冷たいなあサダハルンバも（笑）。
山本　いやぁ……、僕は……。
——「僕は」（笑）。

山本　僕はどーにでもなるんですよぉ。取り残されてもいいわけよぉ。

谷川　い、いや、山本さんじゃなくて、プロレス界はこれから完全に取り残されちゃうんですかねえ。

山本　思いっきり取り残されたほうが精神的カウンセリングになるよぉ。むしろそのほうが自律神経が回復できるんじゃないの？

谷川　じゃあ、取り残されるほうがプロレス界にとって幸せなんですね。

山本　おい、今日は谷川がシューターになっとるぞぉ！　プロレスは自信喪失というか、やや活力を失ってるので、今や精神的安定のほうが重要なわけですよぉ。そこまで体力やエネルギーが落ちてきてるわけですよぉ。そーすると一番困る男が出てくるんだよぉ。

谷川　だ、誰ですか？

山本　猪木さんですよぉ！

――ダハハハハッ！

山本　「猪木軍VSK―1」は「K―1VS『プライド』」の噛ませ犬だったのか、と。

谷川　そこまで言ってしまいますかぁ（笑）。

山本　石井館長のエゲツないところは、K―1というものが今日まで絶対に他流試合に絡まないものとされていたのに、それが他流試合をやってしまったということですよぉ。

――もっと言えば、石井館長はK―1のリングに引っ張り込む他流試合をこれまでしてきたわけじゃないですか。それを捨てて、外へ打って出てるわけだから、その刺激たるや凄いですよね。

山本　つまり谷川と一緒でナチュラル・無自覚パワーの凄さですよぉ。

谷川　まあ、時代はそういう感じで動いているんですけど、問題は猪木軍なんですよね。猪木軍までが取り残されていきそうで。

山本　うん。プロレスの中で一番先鋭的だったものが、取り残されてしまうという結果を招きつつあるわけですよぉ。

谷川　そう考えた場合、ミルコVSシウバがあって、ミルコが勝った場合は藤田が闘わないとダメですよね。

山本　そう。それが一点だけ、1パーセントだけ残された最後の可能性が藤田ですよぉ。つまり藤田がプロレスに唯一残された救世主ですよぉ。そうしたらミルコVS藤田戦というのは大爆発するよぉ。

――ミルコを倒すのが猪木軍なのか、『プライド』なのか、それが問題だ（笑）。

谷川　でも、試合が組まれるも組まれないも、勝つも勝たないも、それは藤田の運だろうねえ。その時の状況と時代が合ってないと成立しないですからねえ。

もうミルコは完全にヒクソンを超えてますよぉ

山本　そこで重要なのは、藤田と桜庭のどっちの溜めにリアリティがあるかですよぉ。そう考えると藤田なんだよねぇ。桜庭の溜めというのは今、鮮度が落ちてるんですよぉ。

谷川　その桜庭の溜めの鮮度がないのはなぜなんでしょうかねえ。

山本　あんなシウバに負けたからですよぉ。

谷川　あんなシウバ（笑）。

――山本さんは単純にミルコとシウバを比べてるんだと思うよ。やっぱり比べたらミルコのほうが全然幻想があると思うから、絶対的にミルコに負けた選手のほうが鮮度が高くなるでしょ。

山本　もうミルコは完全にヒクソンを超えてますよぉ、イメージ的に。つまり、ヒクソンも取り残されたんだよなぁ。

――つまり、今の時代の中でグレイシーも取り残されたってことですよね。だから、猪木軍VSグレイシーって話があったじゃない。

山本　それは好意的に見ても、時代の敗者復活戦ですよぉ！

谷川　なるほどぉ（笑）。

山本　つまり僕らの中の過剰性にランキングを付けたら、ミルコが1位だよぉ。

――それは圧倒的ですね。

山本　それはK―1というポジションにいるからだよぉ。

谷川　そこでノゲイラみたいな選手がK―1に出て行ったら、過剰性が高まると思いませんか？

山本　高まるよぉ。それはどういう過剰性かというと、餌食になるのかならないのかということで、もしK―1ルールに上がったとしたら、物凄く拍手喝采ですよぉ。それはあり得ないことをやろうとすることだから。

――で、先にやることでしょう。ノゲイラから先にK―1に行ってやるべきですよね。

山本　うん、ノゲイラは絶対に先にK―1に出るべきだよぉ。つまりミルコの例を見ても、K―1から先に総合の場に出て行って藤田に勝ったから、天下を取ったんだよねぇ。つまり、出会い頭の世界で面白いのは、あり得ないことがたまたま起こることなんだよねぇ。たまたまの偶然が必然を呼んだ時に真のスターが生まれるんですよぉ。

――たまたまの事にしか心が揺り動かされないですよね。今となってはプロレスラーにたまたまが起こることって考えづらいですからね。それならフィリォが『プライド』とかに出てきてノゲイラと闘うみたいなほうがよっぽどプロレスだって実感できますから。

山本　猪木さんも「永久発電」にうつつを抜かしてる場合じゃないなぁ。

――あれはあれで猪木さんの等身大の姿

だから面白いですけどね（笑）。「あれえ？　動かねえなあ」って。

谷川　失敗を１００回くらい繰り返してほしいよねえ（笑）。

――次はぜひ爆発ぐらいしてほしいなあ（笑）。

山本　まあ、初対決の過剰性について話してきたけど、もう一つ俺たちが幻想を抱くのは日本人の心に対するものなんだよねぇ。幻想を持った日本人が今はいないわけでしょ。これまでは日本人的な心とプロレス的精神で俺たちの過剰性も保ってきたわけだよねぇ。

谷川　まあ、最近この雑誌を編集してきて、日本人の幻想を感じるのって黒崎健時先生くらいですねえ（笑）。

――ダハハハッ！　まあ、俺たちが響く根本があそこなのは間違いないね。

山本　つまり梶原一騎的幻想だろう？

――そういうことです！　だって、もう20年も前に「ウィリーよ、虎の毛皮をプレゼントせい！」ですからね。

谷川　小比類巻と黒崎先生の稽古って、ビルの10階に2人で上がって、黒崎先生が「ここから飛び降りられるか？」って聞いて、コヒが「押忍！　飛び降りられます」って言うと、「少しは強くなったな」って言うらしいんですよ。

それは素晴らしい世界ですよね。

――それこそが俺たちが求めるものだよなあ（笑）。日本人っていう幻想の根本はそこだからね。

山本　大山（倍達）先生も力道山も、そういう幻想に育まれてファイティング・スピリットが出るわけよね。言ってみれば不条理魂というかさぁ、それがなくなったら日本人の幻想はゼロだもんねぇ。つまり不条理ＬＯＶＥですよぉ！

谷川　あんなにＫ―１中量級の決勝が盛り上がったのに、黒崎先生の「涙が出てこないんだよ、おまえらの試合には」って言葉は不条理そのものですよね。

山本　つまり、日本人に合理的精神はダメってことだなぁ。

――だから、石井館長も猪木さんもある意味では本当に不条理ですからね。「世紀の大発明」ってブチ上げて機械が動かないんですから（笑）。

山本　つまり、今の日本人にはピュアな不条理がないんですよぉ。

谷川　そのとおりですよね。コヒは最近になってようやく黒崎先生がお茶を飲みたい時に出せるようになったらしくて「俺も少しは強くなったなあ」って思ったらしいんですよ。

山本　その極北にいるのが武蔵だよぉ。とにかく変な人に触れないとダメですよぉ。

――俺たちも山本さんという変な人に触れたからね（笑）。よかった、変な人がいて。でも、猪木さんが選手に対して黒崎先生みたいな情熱があればいいんだけどね。永久発電とか、自分に対してはメチャクチャ情熱があるのになあ（笑）。

昔の新日本のファンはぜ～んぶそこへ流れますよぉ

山本　とにかくこの後、プロレスラーがＫ―１とか『プライド』に出て活躍する可能性は薄いんじゃないの？　全滅とゆーか、オールすべてぜ～んぶ討ち死にですよぉ！

小松　そんなこと言われると『プライド』を観る気が、ちょっとなくなっちゃいますねえ。

――なぜだっ！（笑）。

山本　まあ、Ｋ―１と『プライド』は俺たちが興奮していた「新日本プロレス」と同義ってことですよぉ。今のＫ―１も『プライド』もケンカを売るし、買う。これこそが新日本プロレスだったわけでしょ。その新日本同士が闘うんだから興奮するよなぁ。

――まさに、そうですね。

山本　そういう新日本プロレスで育ったファンというのは、当然そういう闘いに対して新日本的なものを投影させて闘いを見るよねぇ。そーしたら昔の新日本のファンはぜ～んぶそこへ流れますよぉ。

谷川　その新日的なものがプロレスから失われてしまったのはなぜなんですか？

山本　それは１９９０年代の象徴であった闘魂三銃士が他流試合をできないという限界を示してしまったことなんだよぉ。そこで新日本はフィニッシュなんです。で、その諸悪の根源は馳浩なんですよぉ。

――俺は10年以上前から「馳が悪い！」って言ってきましたから（笑）。ここに来て、ようやく証明されたんだ（笑）。

山本　俺は声を大にして、今のＫ―１や『プライド』が新日本プロレスだって言い続けますよぉ！　「俺たちが求めてやまない新日本的なものはここにありますよ！」と。つまり反語的には俺たちが思い描く新日本プロレスは不滅なんですよぉ。

――そういうことです！　その概念だけは生き続けているわけですよ。

谷川　でも、そういう中で今後は猪木さんは必要なんですかねえ。

――今日のサダハルンバは、シューターだなあ（笑）。

谷川　いらないって言えば、いらないなあ。

――んあ～！

山本　まあ、とにかく俺たちが抱く新日本プロレス的なものを増幅するためには、ノゲイラがＫ―１に出てほしいよなぁ。たとえ負けたとしても、そこから過剰なものが見られるからなぁ。なあ、モグタン、おまえもそう思うだろう？

小松　あ……、ノゲイラがＫ―１に？

谷川　やっぱり出てほしいだろう？

小松　まったく出てほしくないですねえ。

山本　うむむむむっ？

小松　そんな不利な闘いに出て行って、何が楽しいんですか。

谷川　んああああ～っ！

――おまえはサダハルンバの冷たさを超えたね（笑）。■

3/28THU～4/11THU

CALENDAR

3/28 THU	★『SRS・DX』67号発売日
3/29 FRI	●フジテレビ系『SRS』(26:15～26:45)⬅p69
3/30 SAT	■DEEP2001 4th IMPACT in NAGOYA/愛知県体育館（17:30～）⬅p46 ■MA日本キック連盟/東京・後楽園ホール（17:30～）⬅p49 ◆PRIDE.20/『グレート・アントニオ』チケット発売⬅p46 ◆プロフェッショナル修斗公式戦/チケット発売⬅p47
3/31 SUN	■修斗/愛知・名古屋市公会堂（15:00～）⬅p47 ■シュートボクシング/東京・後楽園ホール（18:00～）⬅p49 ◆PRIDE.20/チケット一斉発売⬅p46 ◆PANCRASE 2002 SPIRIT TOUR/チケット発売⬅p48
4/1 MON	
4/2 TUE	
4/3 WED	
4/4 THU	
4/5 FRI	●フジテレビ系『SRS』(26:15～26:45)⬅p69
4/6 SAT	
4/7 SUN	■SMACK GIRL/東京・ディファ有明（18:30～）⬅p46
4/8 MON	
4/9 TUE	
4/10 WED	
4/11 THU	★『SRS・DX』68号発売日

格闘技パーフェクトガイド

Perfect Guide

GUIDE & TICKET
大会ガイド&チケット情報

総合格闘技&ノールール系

PRIDE

PRIDE.20
4月28日（日） 神奈川・横浜アリーナ

◆開場/14:00　試合開始/16:00（予定）◆入場料/VIP席100,000円　RRS席25,000円　スタンドS席15,000円　スタンドA席7,000円　◆チケット発売/下記の表を参照　◆会場アクセス/JR東海道新幹線・横浜線新横浜駅、地下鉄新横浜駅より徒歩5分◆お問い合わせ/ドリームステージエンターテインメント☎03-5775-5700

4.28『PRIDE. 20』チケット発売情報

3月30日（土）　11:00～
グレート・アントニオ【特典付き】
☎03-3219-9550

〈一斉発売〉
3月31日（日）　10:00～
ドリームステージエンターテインメント
☎03-5775-5700

全国有名プレイガイド

SMACK GIRL実行委員会

格闘技エンターテインメントSMACK GIRL ROYAL SMACK 2002
4月7日（日） 東京・ディファ有明

◆開場/18:00　試合開始/18:30　◆入場料/SS指定席4,500円　自由席3,500円　※当日券は500円増し
◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、ディファ有明☎03-5500-3731、書泉ブックマート、後楽園ホール、チャンピオン　◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車、徒歩3分
◆お問い合わせ/SMACK GIRL実行委員会☎03-5447-8483

決定対戦カード

辻結花 vs 岡裕美
（闇愚羅）　（フリー）

しなしさとこ vs 小池亜伊子
（GIRL FIGHT ACC）　（禅道会）

〈3対1特別試合〉
坂口一美
（GF2）
金井広美 vs ドレイク森松
（GF2）　（フリー）
市村幸恵
（GF2）

渡邊久江 vs 大門まい子
（LIMIT）　（闇愚羅）

時間差式バトルロイヤル出場決定選手

ナナチャンチン（チーム南部）
瀧本美咲（禅道会）
金子真理（禅道会）

※計8人参加による時間差式バトルロイヤル

DEEP2001

注目のランバー2度目のバーリ・トゥード戦！勝ったらブラジル柔術王者に挑戦表明？

DEEP2001 4th IMPACT in NAGOYA
3月30日（土） 愛知県体育館

◆開場/16:00　試合開始/17:30
◆入場料/SRS席10,000円　アリーナA席8,000円　アリーナB席7,000円　スタンドS席6,000円　2F特別席6,000円　2F指定席5,000円　3F自由席3,000円　※当日券は500円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ（Pコード:745-286）、サークルK、ローソンチケット（Lコード:40362）三越プレイガイド☎052-251-4377、松坂屋プレイガイド☎052-251-1841、名鉄観光プレイガイド☎052-585-1747、IVY BOOKS 名古屋本店☎052-459-7122、IVY BOOKS 味美店☎0568-33-8808、公武堂☎052-241-2511、四日市M-STAGE☎0593-57-2152、eプラス（http://eee.eplus.co.jp）、カラカラ新栄店☎052-265-3329、オタッキー御器所店☎052-841-6738、DEEP2001事務局
◆会場アクセス/地下鉄名城線市役所駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/DEEP2001事務局☎052-339-0303

決定対戦カード

《日本選抜VTチームvsルチャ・リブレVT軍団》
謙吾 vs ドス・カラスJr
（パンクラスism）　（メキシコ／AAA）

近藤有己 vs キック・ボクサー
（パンクラスism）　（メキシコ／AAA）

坂田亘 vs トロ・イリソン
（EVOLUTION）　（KARATEスタジオ）

鈴木みのる vs エル・ソラール
（パンクラスism）　（メキシコ／CMLL）

横井宏考 vs メモ・ディアス
（リングス・ジャパン）　（CMLL）

村浜武洋 vs ジョン・ホーキ
（大阪プロレス）　（ブラジル／ノヴァ・ウニオン）

佐々木有生 vs グスタボ・シム
（パンクラスGRABAKA）　（ブラジル/ファス・バーリトゥード・システム）

渡辺大介 vs 滑川康仁
（パンクラスism）　（リングス・ジャパン）

秋山賢治 vs 長南亮
（禅道会）　（U-FILE CAMP）

"ランバー"ソムデート吉沢 vs 砂辺光久
（M16ジム）　（ハイブリッド・レスリング武限）

土居龍晴 vs 佐々木恭介
（T3）　（U-FILE CAMP）

和田良覚 vs アステカ
（リングス・ジャパン）　（プロレスリング華☆激）

K-1 ジャパンシリーズ

K-1

K-1 BURNING 2002 ～広島初上陸～
4月21日（日） 広島サンプラザ

◆開場/14:30　試合開始/16:00
◆入場料/SRS席20,000円　S席12,000円　A席5,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、キャンディープロモーション、広島テレビ・チケットセンター☎082-249-1218
◆会場アクセス/JR山陽本線新井口駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/K-1事務局☎03-3796-2977

決定対戦カード

《日本vs世界5vs5マッチ》
〈大将戦〉
武蔵 vs セーム・シュルト
（正道会館）　（オランダ/ゴールデン・グローリー）

〈副将戦〉
ニコラス・ペタス vs ピーター・アーツ
（デンマーク／極真会館）　（オランダ／メジロジム）

〈中堅戦〉
中迫剛 vs アーネスト・ホースト
（ZEBRA244）　（オランダ／ボスジム）

〈次鋒戦〉
子安慎悟 vs ニルソン・デ・カストロ
（正道会館）　（ブラジル/シュートボクセ・アカデミー）

〈先鋒戦〉
野地竜太 vs アンドリュー・ペック
（極真会館）　（ニュージーランド/エリートキックボクシングジム）

〈K-1 JAPAN GP 2002出場決定戦〉
天田ヒロミ vs タケル
（フリー）　（正道会館）

大石亨 vs TSUYOSHI
（日進会館）　（ボスジム）

K-1 ミドル級シリーズ

K-1 WORLD MAX 決勝戦
5月11日（土） 東京・日本武道館

◆詳細未定　◆会場アクセス/地下鉄東西線・半蔵門線・都営新宿線九段下駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/K-1事務局☎03-3796-2977

出場決定選手

魔裟斗（シルバーウルフ）
シェイン・チャップマン（ニュージーランド）
アルバート・クラウス（オランダ／リンホー）
張加濠（中国）
ドュウェン・ルドウィック（アメリカ）

総合格闘技&ノールール系

修斗

SHOOTO GIG CENTRAL
3月31日（日） 愛知・名古屋市公会堂

◆開場/14:00 試合開始/15:00 ◆入場料/RS席8,000円 S席6,000円 A席5,000円 B席4,000円
◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/チケットぴあ（Pコード:754-260）、公式堂☎052-241-2511、I.V.Y.BOOKS☎0568-31-0727 ファミリーマート、アライブ☎052-719-0133
◆会場アクセス/JR・地下鉄鶴舞線鶴舞駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/アライブ☎052-719-0133

決定対戦カード

植松直哉vs井上和浩
（K'zファクトリー） （インプレス）

杉江"アマゾン"大輔vs八隅孝平
（ALIVE） （パレストラTOKYO）

松下直揮vs大河内貴之
（ALIVE） （パレストラTOKYO）

〈第1回修斗新人王決定トーナメント フェザー級1回戦〉
赤木康洋vs豊島孝尚
（ALIVE） （総合格闘技STF）

〈第1回修斗新人王決定トーナメント バンタム級1回戦〉
藏田圭介vs阿部マサトシ
（ALIVE） （AACC）

WANNA SHOOTO 2002
4月14日（日）・第1部 東京・北沢タウンホール

◆試合開始/15:00 ◆入場料/S席6,000円 A席4,000円
◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/KEEL CAFE☎03-5725-7338 ◆会場アクセス/小田急線・京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/パレストラTOKYO☎03-5984-3209

決定対戦カード

今泉堅太郎vs勝村周一郎
（SKアブソリュート） （K'zファクトリー）

マーロス・クーネンvs石原美和子
（オランダ／タツジン道場） （禅道会）

藤原正人vsドゥドゥ・ギマラエス
（パレストラTOKYO） （ブラジル/ワールド・ファイト・センター）

菊地昭vsヤニ・ラックス
（K'zファクトリー） （スウェーデン/MMAアライアンス）

〈第1回修斗新人王決定トーナメント ウェルター級1回戦〉
石田光洋vs飛田拓人
（総合格闘技TOPS） （インプレス）

WANNA SHOOTO JAPAN
4月14日（日）・第2部 東京・北沢タウンホール

◆開場/17:00 試合開始/18:00 ◆入場料/S席6,000円 A席4,000円 ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/KEEL CAFE☎03-5725-7338 ◆会場アクセス/小田急線・京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/パレストラTOKYO☎03-5984-3209

決定対戦カード

マモルvs吉岡広明
（シューティングジム横浜） （パレストラTOKYO）

鈴木洋平vsトニコ・ジュニオール
（パレストラTOKYO） （ブラジル/ワールド・ファイト・センター）

ザ・ばばんばvsマリオ・スタポル
（パレストラTOKYO） （ドイツ/パワー・アカデミー）

小島直人vs宮本直哉
（パレストラTOKYO） （ナックルジム）

TREASURE HUNT 02
4月21日（日） 東京・北沢タウンホール

◆開場/17:00 試合開始/18:00
◆入場料/S席6,000円 A席4,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/KEEL CAFE☎03-5725-7338、e-ticket（http://www.e-ticket.net） ◆会場アクセス/小田急線・京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/K'zファクトリー☎0427-40-5710

決定対戦カード

〈第1回修斗新人王決定トーナメント フェザー級1回戦〉
喜多浩樹vs加納学
（パレストラTOKYO） （相補体術）

〈第1回修斗新人王決定トーナメント ライト級1回戦〉
門脇英基vs孫煌進
（和術慧舟會） （K'zファクトリー）

プロフェッショナル修斗公式戦
5月5日（日） 東京・後楽園ホール

◆開場/17:00 試合開始/18:00
◆入場料/RS席10,000円 SS席7,000円 S席5,000円 A席3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、他
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/イーフォース・ジャパン☎0473-78-6400

SHOOTO GIG EAST 09
5月28日（火） 東京・北沢タウンホール

◆詳細未定
◆会場アクセス/小田急線・京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/パレストラTOKYO☎03-5984-3209

プロフェッショナル修斗公式戦
6月29日（土） 大阪・堺市金岡公園体育館

◆開場/14:00 試合開始/16:00
◆入場料/SRS席15,000円 RS席12,000円 PS席12,000円 SS席10,000円 P席10,000円 S席8,000円 A席6,000円 B席4,000円
◆チケット発売/3月30日（土） ◆チケット発売所/チケットぴあ、eプラス（http://eee.eplus.co.jp）、他
◆会場アクセス/地下鉄御堂筋線新金岡駅より徒歩7分
◆お問い合わせ/サステイン☎03-5725-7338

topic!

日本修斗協会設定 2月度月間賞発表！

◆月間MVP
星野育蒔（米里倶人満）

◆ベスト・バウト（プロ部門）
和田拓也vs池本誠知
（K'zファクトリー）（ライルーツコナン）
※2月11日／兵庫・神戸ファッションマート

▲月間MVPは、初の女子修斗で勝利を収めたマァ☆ティンこと星野育蒔が受賞し「う、う、嬉しいです」とリング上でテレ笑いを見せた

Result!

TREASURE HUNT 02
3・13★北沢タウンホール

★第6試合（5分2R）
△桜井隆多（2R判定1-0ドロー）マルセロ・ピッチブル△
〈総合格闘技TOPS〉 〈RFT〉

★第5試合（5分2R）
○久保田誉（2R判定2-1）廣野剛康●
〈K'zファクトリー〉 〈和術慧舟會〉

★第4試合（5分2R）
○漆谷康宏（2R判定3-0）五木田勝●
〈RJWセントラル〉 〈K'zファクトリー〉

★第3試合（5分2R）
○朴光哲（2R判定3-0）松本光央●
〈K'zファクトリー〉 〈WILD PHOENIX〉

★第2試合（5分2R）
○川尻達也（2R1分22秒、TKO勝ち）滝田J太郎●
〈総合格闘技TOPS〉 〈和術慧舟會〉

★第1試合（5分2R）
○弘中邦佳（1R3分10秒、三角絞め）中山徹●
〈SSSアカデミー〉 〈インプレス〉

▲メインで行われた桜井隆多とマルセロ・ピッチブルの試合。桜井は開始すぐ、右のフックでマルセロの足をぐらつかせたものの、その後は、グラウンドで上から抑え込まれ続け、判定1-0のドローに。「スイープを決めてればもっと印象が違ったのに」と試合後の桜井は肩を落とした

木口道場

CLOSE ENCOUNTER OF 木口道場
4月25日（木） 東京・北沢タウンホール

◆開場/17:00 試合開始/18:30
◆入場料/S席6,000円 A席4,000円 ◆チケット発売/格闘ショップ・イサミ
◆会場アクセス/小田急線・京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/大会実行委員会☎0466-26-3676

主な出場候補選手

秋本じん（K'zファクトリー）
朝日昇（東京イエローマンズ）
大石真丈（K'zファクトリー）
五木田勝（木口ワークアウトスタジオ）
五味隆典（木口道場レスリング教室）
桜井"マッハ"速人（GUTSMAN修斗道場）
桜田直樹（GUTSMAN修斗道場）
佐藤ルミナ（K'zファクトリー）
寺田淳（木口ワークアウトスタジオ）
山本聖子（日本大学レスリング部）
山本美憂（PUREBRED大宮）

キックボクシング

ニュージャパンキックボクシング連盟

DREAM RUSH 3
4月29日（月・祝）　東京・板橋CASSスポーツクラブ

◆開場/15:00　試合開始/15:30　◆入場料/指定席5,000円　自由席4,000円　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/小国ジム、他　◆会場アクセス/東武東上線上板駅より徒歩5分　◆お問い合わせ/小国ジム☎03-3989-0368

DREAM RUSH 4
5月12日（日）　東京・後楽園ホール

◆開場/16:45　試合開始/17:00　◆入場料/SRS席12,000円　RS席10,000円　特別指定席7,000円　指定A席5,000円　指定B席4,000円　指定C席3,000円　立見席2,000円
◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、他
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/NJKF事務局☎03-5625-2371

決定対戦カード

〈WMC世界ウェルター級タイトルマッチ〉
小次郎 vs スイット・ウォースティラ
（ウィラサクレック）　（タイ）

〈NKB統一トーナメント準決勝〉
桜井洋平 vs 岩井伸洋
（岩瀬）　（小国）

〈NKB統一トーナメント準決勝〉
川津真一 vs 佐藤友則
（町田金子）　（小国）

ウドンサック・ウォンパサー vs HIROSHI
（タイ）　（サシプラパージャパン）

〈NKB統一トーナメント準決勝〉
笛吹丈太郎 vs ソムチャーイ高津
（大和）　（小国）

清水カー vs 立嶋篤史
（小国）　（ASSHI-PROJECT）

〈NKB統一トーナメント準決勝〉
野崎勇治 vs AVIS SV-01
（東京北星）　（小国）

〈NKB統一トーナメント準決勝〉
弘中史樹 vs 山本恭太
（ウィラサクレック）　（大和）

全日本キックボクシング連盟

Rising Force
4月12日（金）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/18:00　◆入場料/RS席10,000円　S席7,000円　A席5,000円　B席3,000円　一般立見席3,500円（当日のみ）　※当日券は1,000円増し
◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、Bout Review、全日本キック電話予約☎03-3365-1171　◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/全日本キックボクシング連盟☎03-3365-1171

主な対戦カード

—5回戦—
清水貴彦 vs 加藤督明
（超越熱）　（PHOENIX）

佐藤嘉洋 vs チャルムサック・イングラムジム
（名古屋J・Kファクトリー）　（タイ）

〈全日本キック×J-NETWORK・対抗戦〉
林亜欧 vs 蔵満誠
（S.V.G.）　（J-NETWORK/JTMC）

〈全日本バンタム級挑戦者決定戦／サドンデスマッチ〉
割澤誠 vs YUTAKA
（作真会館）　（月心会）

パルテノン&バーサスエンターテインメント

PREMIUM CHALLENGE
5月6日（月・休）　千葉・東京ベイNKホール

◆詳細未定　◆会場アクセス/JR京葉線舞浜駅より路線バス12系統でヒルトンホテル下車すぐ　◆お問い合わせ/パルテノン&バーサスエンターテインメント☎03-5312-7522

出場予定選手

近藤有己（パンクラスism）
石井大輔（パンクラスism）

掣圏道

掣圏道アルティメットボクシング定期戦
4月12日（金）　千葉・船橋アリーナ　サブアリーナ

◆試合開始/18:00　◆入場料/R席10,000円　S席7,000円　A席5,000円　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、ほか　◆会場アクセス/東葉高速鉄道船橋日大前駅より徒歩約8分　◆お問い合わせ/S.W.A 掣圏道・ワールド・アソシエーション☎042-544-6979

掣圏道アルティメットボクシング定期戦
4月13日（土）　福島・郡山総合体育館

◆試合開始/18:00　◆入場料/R席10,000円　S席7,000円
◆チケット発売/未定　◆チケット発売所/未定
◆会場アクセス/JR郡山駅より徒歩10分
◆お問い合わせ/S.W.A 掣圏道・ワールド・アソシエーション☎042-544-6979

掣圏道アルティメットボクシング定期戦
4月14日（日）　東京・ディファ有明

◆試合開始/14:00　◆入場料/R席10,000円　S席7,000円　A席5,000円　B席3,000円　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、ほか　◆会場アクセス/ディファ有明、チケットぴあ、後楽園ホール、書泉ブックマート　◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車、徒歩3分　◆お問い合わせ/S.W.A 掣圏道・ワールド・アソシエーション☎042-544-6979

topic! 久保坂、浜川がイタリア遠征試合で勝利！

久保坂左近、重虎、浜川憲一がイタリアで行われた『MONDIALE DI BOXE TAILANDESE』に参戦した。全日本ライト級1位の浜川憲一は、第11試合に登場し、トリノ在住のトレビサンに判定3-0で勝利。浜川はこの大会後から、ジェラルド・ゴルドーのジム「ドージョー・カマクラ」で約3週間の武者修行、4・21に行われる西山誠人との対戦に備える。また、メインでは海外初の試合となった久保坂左近が、地元のエース、ミッチェル・ドナと対戦。右ローキックで久保坂がKO勝ちを収め、小林聡（ライト級）、金沢久幸（スーパー・ライト級）に次いで3人目のWPKC世界王者となった。

MONDIALE DI BOXE TAILANDESE
～FABRIZIO DE CHIARA 4 MEMORIAL～
2・23★イタリア、パラツェット・デロ・スポート

〈WPKC世界スーパー・ミドル級王座決定戦〉
○久保坂左近（3R0分38秒、KO）ミッチェル・ドナ●
〈新空手・健生館〉　〈イタリア〉

○アントニオ・メデリン（5R1分40秒、TKO）重虎●
〈イタリア〉　〈K-NETWORK西日本〉

○浜川憲一（5R判定3-0）マテオ・トレビサン●
〈作真会館〉　〈イタリア〉

総合格闘技&ノールール系

パンクラス

PANCRASE 2002 SPIRIT TOUR
5月11日（土）　大阪・梅田ステラホール

◆開場/17:30　試合開始/18:30
◆入場料/SS席8,500円　A席6,500円　B席4,500円　※当日券は500円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/P' sLAB大阪☎06-6649-8530、チケットぴあ（Pコード594-040）、ローソンチケット（Lコード39910）、eプラス（http://eee.eplus.co.jp）、チャンピオン大阪☎06-6645-5186、バディ・スラム☎06-6645-1378、エース☎06-6636-5468、神戸ステーキ桜井ポートアイランド☎078-303-3901、神戸住吉・富万☎078-811-6222、パンクラス
◆会場アクセス/JR大阪駅中央北口より徒歩10分
◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

PANCRASE 2002 SPIRIT TOUR
5月28日（火）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:30　試合開始/18:30
◆入場料/SS席12,000円　A席9,000円　C席4,500円　D席3,500円　立見席3,000円（当日券は500円増し）
◆チケット発売/3月31日（日）
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、eプラス、後楽園ホール、書泉ブックマート、板橋大山アメリカン、レッスル渋谷、レッスル池袋、チャンピオン、プロレスマニア館☎03-5276-0304、アイドール新宿☎03-3371-5211、ファイター☎03-3354-1903、フィットネスショップ水道橋☎03-3265-4646、チケット&トラベルT-1☎03-5275-2778、格闘技・プロレス図書館 闘道館☎03-3512-2080、FIGHT COMPANY☎03-3325-5047、SSSアカデミー水道橋☎03-5212-7920、SSSアカデミー高島平☎03-5945-7166、イサミ尚武堂☎03-5214-6487、渋谷TOKYO文庫TOWER 6F☎03-5784-4900、パンクラス、パンクラスオフィシャルサイト
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

PANCRASE 2002 SPIRIT TOUR
7月28日（日）・昼　東京・後楽園ホール

◆開場/12:30　試合開始/13:30
◆入場料/SS席12,000円　A席9,000円　C席4,500円　D席3,500円　立見席3,000円（当日券は500円増し）
◆チケット発売/6月2日（日）
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、eプラス、後楽園ホール、書泉ブックマート、板橋大山アメリカン、レッスル渋谷、レッスル池袋、チャンピオン、プロレスマニア館☎03-5276-0304、アイドール新宿☎03-3371-5211、ファイター☎03-3354-1903、フィットネスショップ水道橋☎03-3265-4646、チケット&トラベルT-1☎03-5275-2778、格闘技・プロレス図書館 闘道館☎03-3512-2080、FIGHT COMPANY☎03-3325-5047、SSSアカデミー水道橋☎03-5212-7920、SSSアカデミー高島平☎03-5945-7166、イサミ尚武堂☎03-5214-6487、渋谷TOKYO文庫TOWER 6F☎03-5784-4900、パンクラス、パンクラスオフィシャルサイト
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

PANCRASE 2002 SPIRIT TOUR
7月28日（日）・夜　東京・後楽園ホール

◆開場/17:30　試合開始/18:00
◆入場料/SS席12,000円　A席9,000円　C席4,500円　D席3,500円　立見席3,000円（当日券は500円増し）
◆チケット発売/6月2日（日）
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、eプラス、後楽園ホール、書泉ブックマート、板橋大山アメリカン、レッスル渋谷、レッスル池袋、チャンピオン、プロレスマニア館☎03-5276-0304、アイドール新宿☎03-3371-5211、ファイター☎03-3354-1903、フィットネスショップ水道橋☎03-3265-4646、チケット&トラベルT-1☎03-5275-2778、格闘技・プロレス図書館 闘道館☎03-3512-2080、FIGHT COMPANY☎03-3325-5047、SSSアカデミー水道橋☎03-5212-7920、SSSアカデミー高島平☎03-5945-7166、イサミ尚武堂☎03-5214-6487、渋谷TOKYO文庫TOWER 6F☎03-5784-4900、パンクラス、パンクラスオフィシャルサイト
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

キックボクシング

シュートボクシング協会

ディアバデの対戦相手が正式決定！前田辰也はまたもや強豪と対戦！

当初、リングス所属選手が対戦相手となる予定だったシリル・ディアバデの相手が、ローカス・スランプラスカスに決定した。スランプラスカスは、リングス所属選手ではないが、リングス・ロシア代表のパコージンが「絶対、ディアバデに勝てる」と太鼓判を押すほどの強豪だ。そして、前田辰也の対戦相手のアルフォンソ・アルカレイスは、99年の『UFC22』でジェンス・パルバー（元UFCライト級王者、現UFCバンタム級王者）と対戦し、引き分けている選手だ。またも強豪との対戦が決まった前田の運命は如何に!?

The age of "S" vol.2

3月31日（日） 東京・後楽園ホール

◆開場/17:30 試合開始/18:00
◆入場料/RS席10,000円 SS席7,000円 S席6,000円 A席5,000円 B席4,000円 ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、ワールドスポーツプラザKINGS☎03-3462-1001、シュートボクシング協会 ◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/シュートボクシング協会
☎03-3843-1212

主な対戦カード

—5回戦—

土井広之 vs アーテム・スケグロフ
（シーザージム）（ウクライナ／北の最終兵器軍団）

緒形健一 vs トニー・バレント
（シーザージム）（アメリカ/ニック・ワンキックジム）

前田辰也 vs アルフォンソ・アルカレイス
（寝屋川ジム）（アメリカ/ニック・ワンキックジム）

シリル・ディアバデ vs ローカス・スランプラスカス
（フランス/チームオートテンション）（リトアニア）

宍戸大樹 vs 小谷直之
（シーザージム）（ロデオスタイル）

YU IKEDA vs 渡邉和則
（湘南ジム）（龍生塾）

The age of "S" vol.3

5月13日（月） 大阪府立体育会館第2競技場

◆開場/17:00 試合開始/17:30
◆入場料/SRS席12,000円 RS席10,000円 SS席7,000円 S席5,000円 A席4,000円
◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット ◆会場アクセス/地下鉄・南海なんば駅より徒歩5分、近鉄 なんば駅より徒歩10分、JR大和路線なんば駅より徒歩15分 ◆お問い合わせ/ワールドシュートボクシング協会 大阪ジム☎06-6382-2863

主な対戦カード

緒形健一 vs X
（シーザージム）

前田辰也 vs 及川知浩
（寝屋川ジム）（龍生塾）

瀧口隼人 vs X
（大阪ジム）

森谷吉博 vs 市政貴文
（シーザージム）（大阪ジム）

藤岡一也 vs 関本宏
（岡山ジム）（寝屋川ジム）

J-NETWORK

J-BLOODS Ⅱ

4月21日（日） 東京・ディファ有明

◆開場/15:00 試合開始/15:30
◆入場料/RS指定席10,000円 S指定席8,000円 A指定席6,000円 B指定席4,000円 立見席4,500円（当日のみ） ※当日券は1,000円増し ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/J-NETWORK、アクティブJ三軒茶屋ジム、サバーイ町田ジム、ソーチタラダ渋谷ジム、J-NETWORK池袋ジム、チケットぴあ ◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車、徒歩3分
◆お問い合わせ/J-PROMOTION☎03-3418-5248

主な対戦カード

—5回戦—

西山誠人 vs 浜川憲一
（ソーチタラダ）（全日本／作真会館）

五十嵐幹志 vs ブアカーオ・ポープラムック
（ソーチタラダ）（タイ）

浦林幹 vs 笠原大介
（JMTC）（全日本／GENESIS）

稲葉潤 vs X
（サバーイ町田）

尾田淳史 vs チャモアトーン・ポープラムック
（JMTC）（タイ）

日本キックボクシング連盟

2002破壊シリーズ NKB統一ランキング戦

4月13日（土） 東京・後楽園ホール

◆開場/17:00 試合開始/17:30 ◆入場料/未定
◆チケット発売/未定
◆チケット発売所/未定
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/日本キックボクシング連盟☎03-3691-4536

主な対戦カード

發田隆治 vs 中川裕也
（ウィラサクレック）（渡辺）

松浦信次 vs 木浪シャーク利幸
（東京北星）（小国）

松本浩幸 vs 神谷秀明
（八王子FSG）（ピコイ・錦）

難波博志 vs 児玉正暁
（截空道）（ピコイ・錦）

〈引退記念試合〉
尾崎英樹 vs 川島康人
（ピコイ・錦）（村越）

MA日本キックボクシング連盟

KING ～COMBAT-2002～ 60kg最強トーナメント

3月30日（土） 東京・後楽園ホール

◆開場/17:00 試合開始/17:30
◆入場料/SRS席20,000円 RS席15,000円 S席10,000円 A指定席7,000円 B指定席5,000円 立見席3,000円
◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/チケットぴあ、他
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/山木ジム☎03-3485-7063

主な対戦カード

—5回戦—

マグナム酒井 vs ホセイン・キャリミラード
（士道館）（SB／湘南）

田中信一 vs 新開実
（山木）（青春塾）

トーナメント表

花戸忍（MA／東金ジム）
大宮司進（シルバーウルフ）
梅下湧暉（谷山ジム）
ファイティング前沢（MA／土浦ジム）
増田博正（J-NETWORK／ソーチラダジム）
大月晴明（全日本キック／REX JAPAN）
及川智弘（SB／龍生塾）
小石原勝（習志野ジム）

最強を求めて！「出陣・決勝」

4月28日（日） 東京・後楽園ホール

◆開場/17:00 試合開始/17:30
◆入場料/SRS席20,000円 RS席10,000円 指定A指定席7,000円 B指定席5,000円 立見席3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、他
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/東金ジム☎0475-52-1993

決定対戦カード

山上健吾 vs 後藤龍治
（花澤）（STEALTH）

武藤孝行 vs 金沢久幸
（ビクトリー）（全日本／TEAM-1）

ラビット関 vs 杉上直之
（山木）（全日本／朝久道場）

〈MAスーパーフェザー級タイトルマッチ〉
花戸忍 vs ファイティング前沢
（東金）（土浦）

〈MAフェザー級王座決定戦〉
山田健博 vs ハンニバル鈴木
（東金）（山木）

井手元高司 vs 加藤督明
（八街）（PHOENIX）

木村充 vs 中村玄志
（土浦）（山木）

ランボー豊栄 vs 飯塚英史
（東金）（山木）

その他

日本女子ボクシング協会

FIGHTING GIRLS PT2
4月29日（月・祝） 東京・北沢タウンホール

◆開場/16:00 試合開始/16:30 ◆入場料/SRS席10,000円（当日12,000円） RS席7,000円（当日8,000円） S席6,000円（当日7,000円） 立見席3,000円 ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/日本女子ボクシング協会 ◆会場アクセス/小田急線・京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/日本女子ボクシング協会☎03-3485-7063

決定対戦カード

ライカ vs ニーム・グリシン
（山木ジム） （アイルランド）

アマチュア

髙田道場

髙田道場サブミッションレスリング大会
4月14日（日） 東京・髙田道場 B1F

◆試合開始/14:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/東急目黒線武蔵小山駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/髙田道場☎03-5749-5030

アマチュア修斗

札幌フリーファイト6
4月7日（日） 北海道・白石区体育館 柔道場

◆試合開始/11:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/地下鉄東西線南郷7丁目駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/パレストラSAPPORO☎011-733-5301

東京フリーファイト2
4月21日（日） 東京・北沢タウンホール

◆試合開始/未定 ◆入場料/無料
◆会場アクセス/小田急線・京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/K'zファクトリー☎0427-40-5710

コパ・パレストラ ウエスト・ジャパン
5月4日（土・祝） 兵庫・神戸市立王子スポーツセンター 柔道場

◆試合開始/10:30
◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR灘駅より徒歩10分
◆お問い合わせ/パレストラTOKYO☎03-5984-3209

八王子B.J.J.JAM
5月6日（月・休） 東京・八王子市市民体育館 第3、4競技場

◆試合開始/11:30（予定）
◆入場料/無料 ◆会場アクセス/JR八王子駅南口より徒歩22分、京王山田駅より徒歩15分、京王八王子駅・JR八王子駅より富士森公園経由バスで15分
◆お問い合わせ/パレストラ八王子☎0426-28-9370

合気道S.A

オープントーナメント 実戦・リアル合気道選手権大会
4月14日（日） 東京・八王子クリエイトホール

◆試合開始/13:00
◆会場アクセス/JR中央線八王子駅・京王線京王八王子駅より徒歩4分
◆お問い合わせ/合気道S.A. 代表師範 櫻井文夫
☎0426-51-8418

キックボクシング

新日本キックボクシング協会

5・26後楽園大会で武田が2階級制覇に挑戦！

昨年9月にラジャダムナン王座を失った武田幸三。1・27後楽園大会でサーイペットノーイにKO勝ちし、復活を果たしたが、5・26後楽園大会で、再度、ラジャ王座に挑む！ 対戦相手のサゲッダーオは、昨年と一昨年に元新日本キックミドル級チャンピオンの小笠原仁と対戦し、1勝1敗の成績を残している強豪だ。昨年9月の試合では、ウエルター級で王座防衛戦に挑んだ武田だが、今回は階級を上げJrミドル級でのタイトル挑戦となる。武田の2階級制覇はなるか!?

VS

サゲッターオ・ギャットプートンvs武田幸三

市原大会
4月21日（日） 千葉・市原臨海体育館

◆開場/15:30 試合開始/16:00 ◆入場料/RS席10,000円 A席7,000円 B席5,000円 立見席3,000円
◆チケット発売/未定 ◆チケット発売所/未定 ◆会場アクセス/JR内房線五井駅西口より徒歩30分、JR内房線五井駅・市原市役所駅・臨海駐車場駅より無料シャトルバス運行
◆お問い合わせ/市原ジム☎0436-25-1909

主な対戦カード

―5回戦―

ソムヨット市原 vs X
（市原）

中村弘樹 vs 風神和昌
（藤本） （野本）

高杉茂男 vs 阿佐美義文
（伊原） （治政館）

福元祐一 vs 森田亮二郎
（治政館） （藤本）

FIGHT Ⅳ
4月28日（日） 神奈川・トーエル横浜

◆開場/14:30 試合開始/15:00 ◆入場料/SRS席10,000円 RS席6,000円 2階席5,000円 立見席4,000円
◆チケット発売/未定 ◆チケット発売所/未定 ◆会場アクセス/東急東横線綱島駅よりバス乗車、「大同メタル前」下車、徒歩5分 ◆お問い合わせ/トーエルジム☎045-590-3942

主な対戦カード

―5回戦―

中川タカシ vs ジャワリット・チューワッタナ
（トーエル） （タイ）

大野信一郎 vs 遠藤心平
（藤本） （治政館）

葵真吾 vs 新宅大介
（トーエル） （伊原）

LOCK ON！～奪還～
5月26日（日） 東京・後楽園ホール

◆開場/16:45 試合開始/17:00 ◆入場料/SRS席20,000円 RS席15,000円 S席10,000円 A指定席7,000円 B指定席5,000円 立見席4,000円（当日のみ）
◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/治政館ジム、チケットぴあ、後楽園ホール ◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分 ◆お問い合わせ/治政館ジム☎048-953-1880

主な対戦カード

―5回戦―

〈泰国ラジャダムナンスタジアム認定Jrミドル級タイトルマッチ〉
サゲッダーオ・ギャットプートン vs 武田幸三
（タイ） （治政館）

〈日本フェザー級タイトルマッチ〉
小出智 vs 鈴木敦
（治政館） （尚武会）

深津飛成 vs X
（伊原ジム）

石井宏樹 vs 朴炳圭
（藤本ジム） （韓国）

松本哉朗 vs 頼信
（藤本ジム） （トーエルジム）

マサル vs ジャッカル黒石
（トーエルジム） （治政館）

小川和宏 vs X
（治政館）

空手

正道会館

第14回オープントーナメント 西日本新人戦空手選手権大会
3月31日（日） 大阪府立体育会館

◆開場/9:00 試合開始/10:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/地下鉄なんば駅5番出口より徒歩5分
◆お問い合わせ/正道会館総本部☎06-6357-1654

第37回オープントーナメント 全日本新人戦空手選手権大会
4月7日（日） 埼玉・戸田市スポーツセンター

◆開場/9:15 試合開始/10:00 ◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR埼京線戸田駅西口より徒歩7分
◆お問い合わせ/正道会館東京本部☎03-5285-1966

ワールドシュートボクシング協会

第16回アマチュアシュートボクシング関西大会
4月14日（日） 大阪府門真スポーツセンター なみはやドーム

◆開場/9:00 試合開始/10:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/地下鉄長堀鶴見緑地線門真南駅下車すぐ
◆お問い合わせ/ワールドシュートボクシング協会 大阪ジム
☎06-6382-2863

主要チケット発売所一覧

チケットぴあ ☎03-5237-9999
ローソンチケット ☎03-3569-9900
CNプレイガイド ☎03-5802-9999
オデッセー ☎03-3408-0331
渋谷東急文化チケットセンター ☎03-3406-1513
レッスル渋谷店 ☎03-3464-0078
レッスル池袋店 ☎03-3989-0056
板橋大山アメリカン ☎03-3962-6443
チャンピオン ☎03-3221-6237
書泉ブックマート ☎03-3294-0011
後楽園ホール ☎03-5800-9999

バックナンバー インフォメーション

これ以前の号をお求めの方は、グレート・アントニオへお越しを！（ただし、完売した号もございますので、ご確認ください）

《12・13　59号》

●注目！/12・31『イノキ・ボンバイエ』猪木軍vsK-1最新情報
●『K-1 ワールドGP決勝戦』直前情報/クローズアップ…ジェロム・レ・バンナ、フランシスコ・フィリォ、ピーター・アーツ、アーネスト・ホースト、マーク・ハント現地取材
●『プライド17』徹底検証・髙田vsミルコ戦の波紋/髙田延彦、藤田和之、安田忠夫インタビュー、堀辺正史師範による総括、徹底分析座談会
●緊急企画「強い日本人よ、出て来い！」/高山、子安、菊田インタビュー
●大会詳報/11・3～4極真全日本大会、11・17大道塾世界大会　ほか
●SRS・DXの注目/フジマールvsシーザー武志対談、郷野&佐々木、ラバナレスインタビュー

《12・27&1・10　合併号　60号》

●完全速報！/12・8『K-1ワールドGP2001決勝戦』
●12・31『猪木軍vsK-1』最新情報/K-1王者マーク・ハント、永田裕志、レイ・セフォーインタビュー、堀辺正史師範提言「こうすれば猪木軍vsK-1は面白くなる」
●噂の三面記事/12・23『プライド18』に両王者揃い踏み？　ほか
●SRS・DXの注目/パンクラス尾崎社長、金原弘光インタビュー、TKが訴える日本人選手意識改革論、前田日明がグレート・アントニオにやって来た！
●大会詳報/12・1パンクラス横浜文体大会、11・20シュートボクシング後楽園大会、11・30全日本キック後楽園大会　ほか

《1・24　臨時増刊号　61号》特別定価／720円

●12・31『猪木軍vsK-1』直前情報/『猪木軍vsK-1』決戦目前密着ドキュメント、アントニオ猪木vs石井和義対談、ホイス、ベルナルド、安田インタビュー
●完全速報/12・23『プライド18』マリンメッセ福岡大会
●年末ビックイベント大特集/12・9新日本キック ラジャダムナン興行、12・16修斗NKホール大会、12・21リングス横浜文体大会、12・23DEEPディファ有明大会
●年末企画/アントニオ猪木が2001年マット界を一刀両断！
●大会レポート/12・9全日本キック後楽園大会、12・15ReMix2001ロシア大会
●別冊付録/『SRS・DX』2002年カレンダー

《1・24　62号》

●完全詳報！/12・31 INOKI BOM-BA-YE 2001『猪木軍vsK-1最強軍』、安田忠夫インタビュー、アントニオ猪木、石井館長コメント、新春☆緊急座談会
●噂の三面記事/前田日明、突然のリングス解散宣言！、K-1ジャパン静岡初上陸で中迫vsハントが決定！、『一撃』は日テレが放送　ほか
●SRS・DXの注目/東スポ大賞技能賞受賞・菊田早苗インタビュー、2・11『K-1 J・MAX』に名乗りを挙げた異色ファイターたちに迫る！…村浜武洋、須藤元気インタビュー
●速報/1・4全日本キック後楽園ホール大会
●大会レポート/12・26『AX』、12・28『SAMURAI!開局5周年記念イベント』

《2・14　63号》

●2002年、早くも始まったマット界の大地殻変動！/田村潔司、髙田延彦、武藤敬司、ドン・フライインタビュー
●大会詳報/1・11『一撃』代々木第2体育館旗揚げ大会
●新春三大特集！/『K-1 J・MAX』、ルチャ・リブレ、女子総合格闘技特集
●SRS・DXの注目/『SRS・DX』公式HP集計結果大公開！、12・31『猪木軍vsK-1軍』の余波…石井館長、永田裕志、堀辺正史、尾崎社長インタビュー
●噂の三面記事/『K-1 J・MAX』トーナメント組み合わせ決定！　ほか
●大会レポート/1・11『UFC35』、1・12修斗後楽園大会　ほか

《2・28　64号》

●緊急特集/揺れる猪木イズム　21世紀のプロレスとは？　アントニオ猪木、蝶野正洋、馳浩、週刊ゴング・金沢克彦編集長インタビュー
●K-1特集/ミルコ、ハント、中迫インタビュー、特別寄稿「プロレスマスコミから見たK-1」…紙のプロレスRADICAL・山口日昇編集長、週刊ファイト・井上義啓元編集長
●『プライド19』直前情報/エンセン井上、ブッカーKインタビュー
●『SRS・DX』特別企画/夢の競演！　ヤノタクvsルチャ
●大会レポート/2・1SB後楽園大会、1・27K-1 JAPAN静岡大会、1・27パンクラス後楽園大会、1・27新日本キック後楽園大会、1・26NJKF後楽園大会　ほか

《3・14　65号》

●大会速報/2・24『プライド19』さいたまスーパーアリーナ大会
●大会詳報/2・11『K-1 WORLD MAX日本代表決定トーナメント』代々木第2体育館大会、2・15リングスラストマッチ横浜文化体育館大会
●ターザン山本復活！『K-1 WORLD MAX』座談会
●SRS・DXの注目/小比類巻貴之&黒崎健時インタビュー、カーロス・ニュートンインタビュー、3・30DEEPに向け佐伯代表がメキシコ視察「これが噂のルチャ最強軍団だ！」
●大会レポート/2・11修斗神戸大会、2・15全日本キック後楽園大会、2・17パンクラス大阪大会、2・22THE BEST後楽園大会

《3・28　66号》

●特集「次は『K-1vsPRIDE』か？」/ミルコ・クロコップ、桜庭和志インタビュー
●徹底検証/WWF緊急座談会、武藤敬司、島田裕二インタビュー、石井館長、鈴木健想、村浜武洋、篠原光に聞く「あなたはWWFをどう見ましたか？」
●大会詳報/3・3『K-1 ワールドGP2002』名古屋レインボーホール大会
●3・30『DEEP2001』名古屋大会情報/和田良覚、横井宏考、エル・ソラールインタビュー
●SRS・DXの注目/ホドリゴ・グレイシーインタビュー、前田日明vs山崎一夫トークショー
●大会レポート/2・24K-1オランダ大会、3・2ZERO-ONE1周年記念両国大会、3・2SMACK GIRLディファ有明大会　ほか

バックナンバー　通信販売方法

定価／各680円　送料／1冊＝110円、以下一冊増えるごとに50円増し。希望冊数×680円と冊数分の送料を、現金書留にて下記までお送りください。
住所、氏名、希望号数の明記をお忘れなく。発送まで1～2週間ほどかかりますのでご了承ください。61号のみ720円です。ご注意願います。

〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F　『SRS・DX　バックナンバー係』まで　お問い合わせは ☎03-3295-4445

K-1 vs PRIDE開戦で、さらに激動の格闘技界。

こんな時だからこそ、SRS・DXを読めぇぇぇぇぇぇっ!!

NEXT ISSUE

★徹底追跡★

K-1 vs PRIDE 開戦！

4・21 K-1 RISING 広島大会
&
4・28 PRIDE.20 横アリ大会

最新情報！

K-1とPRIDEから目を離すな！

ますます絶好調!!
巻頭座談会は
「マット界の今！」を写す時代の合わせ鏡。
ターザンとサダハルンバは時代の水先案内人だぁ！

SRS・DX
Special Ring Side
スペシャル・リング・サイド

4月11日(木)発売！

2002 4・25号 No.68

毎月第2・第4木曜日発売　定価 680YEN

発行/フジテレビ出版・ローデス　発売/扶桑社

浅草キッドの底抜けアントンハイセル

◎浅草キッドHP『キッドリターン』
http://www.asakusakid.com

祝！ キッド『SRS』レギュラー出演 目指すは『キブUPまで待てない！』の男闘呼組か!?

博士　この前の猪木様の世紀の発明記者会見は凄かった！

玉袋　猪木イズム爆発でしたよ！

博士　燃料なしで3～5年動き続ける誘電発電装置「イノキ・ナチュラルパワー・4」！〝1・2・3ダァー〟を飛び越えて、いきなり4号機からスタート！

玉袋　これさえあれば、鈴木宗男の「国後島のディーゼル発電所」、「ケニアのソンドゥ・ミリウダムの水力発電所」など必要ない！

博士　ところが肝心要のお披露目記者会見で動かないところが、猪木様らしい！

玉袋　大本番で大しくじり。急きょ、このマシンの名前が「健介パワーウォリアー・4」に変更になりました。

博士　どんなしょっぱいマシンなんだよ！ ところがこれを各局のワイドショーは、ナレーションから、スタジオ降りのコメンテーターまでおちょくりやがって！　見てて頭きたよ！

玉袋　猪木様のような夢を持たず、自分達は火の粉がかからぬスタジオの安全地帯で人様の揚げ足を取ってるだけじゃねーか！

博士　本当はあそこで失敗した猪木よりも、あれについて真面目に「ダメだ」とか「また猪木が怪しいことやってる」みたいな事言ってる奴らこそ格好悪いんだよな。

玉袋　その格好悪さは、猪木の「格好悪い事は、なんて格好いいんだろう」の格好悪さじゃなくて、ただ「格好悪い」だけの格好悪さだよ！

博士　あの場で大きな空振りをするのも猪木イズムなんですよ！　モハメッド・アリ戦後の総攻撃に比べれば「どうってことねぇですよ」だからな！

玉袋　期待して集まった奴らに「ザマァミロ」ですよ！

博士　まぁ、格闘技界も大きなうねりを見せている。

玉袋　K—1 VS『プライド』まで発展しそうですからね。

博士　それだけじゃない！　石井館長はWWFも視野に入れている。

玉袋　今やリアル格闘技世界一決定戦四角いジャングル状態ですよ！

博士　この時代に生きていてよかったよ！ それに伴いマスコミも、やれ増刊号だ！ やれ特集号だ！　と大騒ぎ！

玉袋　テレビ局も各局が格闘技放送を始めるみたいですよ！

博士　パンクラスがテレビ東京でレギュラー放送が決定した。

玉袋　でも、放送当日なぜか土壇場で放送が中止に！

博士　そりゃ、WWFの横浜アリーナの放送だろ！

玉袋　WWFといい、橋本を陥れたNWAといい、アメリカの奴は日本人をなめてるよ！

博士　WWFの圧力とNWAの寸劇とを一緒にするな！

玉袋　でも、これからは格闘技界の情報を追いかけるのも大変ですよ！　どこをチョイスして見なければならないのか？

博士　今回はそこを中心に展開するぞ！ 4月から格闘技&プロレスファンが、これさえ見れば大丈夫という番組を紹介しよう。

玉袋　お願いします。

博士　まずは格闘技。我々浅草キッドは4月からなんとフジテレビの格闘技番組『SRS』のレギュラーになることになった。

玉袋　いきなり手前味噌な話題じゃないですか！

博士　仕方ないだろ！　とにかくレギュラーになったんだからお前も頑張れよ！

玉袋　前任者の渡辺いっけいさんに負けないように頑張ります。

博士　そりゃTBSの『格闘王』の司会だろ！　ますます本気で格闘技界を応援、そして勉強しなくちゃダメだ。

玉袋　就任記録は、初代MCだった武居M征吾の記録を抜くぞ！

博士　思いっきり短命の秒殺だったろ！

玉袋　彼は自ら名前の中に「マゾ」とカミングアウトしてましたから、なかなかのファイターですよ！

博士　「M」はべつにマゾの略じゃないよ！

玉袋　とにかく、俺たちは『ギブUPまで待てない！』の男闘呼組を目指して頑張りますよ！

博士　それも目指さないでいいよ！　『SRS』は7年目に突入した格闘技の長寿番組！

玉袋　これは田代さんの後釜となるわけですよね。

博士　うん、ここは田代さんの分まで俺たちが頑張らなくちゃダメだ。

玉袋　いろいろありましたけど、田代さんがこの番組で格闘技界に貢献した足跡は揺るがないですからね。

博士　うん、俺たちも格闘技に対する愛情は、田代さんを見習って気合い入れていこう！

玉袋　でも何が嬉しいって、今や大ブレイクしたはせキョーと俺たちが一緒ですからね。

博士　よくぞイメージ商売のはせキョーも俺たちをNG扱いしないでくれた。これだけでも感謝だよ！

玉袋　でも、ボクは共演の谷川貞治編集長はNGです！

博士　なんでだよ！

玉袋　最近では初期のコスプレ編集長っていう初心を忘れてきてるんですよ。

博士　ここで一つ原点に帰って、思いっきりコスプレさせるぞ！

玉袋　『SRS・DX』読者の皆さん！ 格闘技は『SRS』にお任せください！ ぜひもんで応援ヨロシクお願いします。格闘技は『SRS』をチェックで大丈夫。そうなると格闘技とクロスするプロレス情報はどこで見ればいいんでしょうか？

博士　うん、プロレスはファイティングTVサムライの『Sアリーナ』月曜日を見ればいい。

玉袋　なぜですか？

博士　4月からリニューアルの『Sアリーナ』。この月曜日担当がターザン山本と浅草キッド。しかも生放送！

玉袋　って完全に俺たちの宣伝じゃないですか！　しかし、凄い事やりますよ、サムライは！

博士　早くもプロレスファンが暴動騒ぎだよ！　もしこれがコケたら、サムライだけにターザン山本が腹を切ることになったから。

玉袋　さらし首が似合う男ナンバーワンですからね。

博士　太田プロ所属の仕事第1弾！　思いっきり外す可能性あるぞ！

玉袋　ちなみに番組名の『Sアリーナ』の「S」は、SWSの略ですよ！

博士　嘘つけ！　SWSでターザン山本だと縁起悪いだろ！

玉袋　じゃぁ「S」は「鈴○健」さんの「S」ということですか？

博士　タイトルにそんな謎かけが含まれているわけねーだろ！

玉袋　でもまだ内容は決まってなくて、決まっているのは物騒なぶっつけ本番スタイルだけでしょ。

博士　まぁ、決まっている部分もあるが、それは見てのお楽しみだよ！

玉袋　思いっきりターザンを調教するぞ！

博士　強めに叩けば凄い馬力を発揮するからな。期待してほしい！

玉袋　番組スタンスとしては『SRS』では格闘技に軸足を置き、この番組ではプロレスに軸足を置くことになるんですかね？

博士　そう、俺たちの憧れのファイター、プロレス⬍格闘技・格闘技⬍プロレスができる選手のように。

玉袋　プロの闘う男としての反復横跳びですね。

博士　そうだ。でも俺たちも、観る側としてなかなかできないその反復横跳びをやろうじゃねぇか！

玉袋　夢の永久機関！　燃料なしで3～5年動き続けます！　……アレレ、変だな、動かねーぞ、オイ。

博士　だから、もういいよ！　■

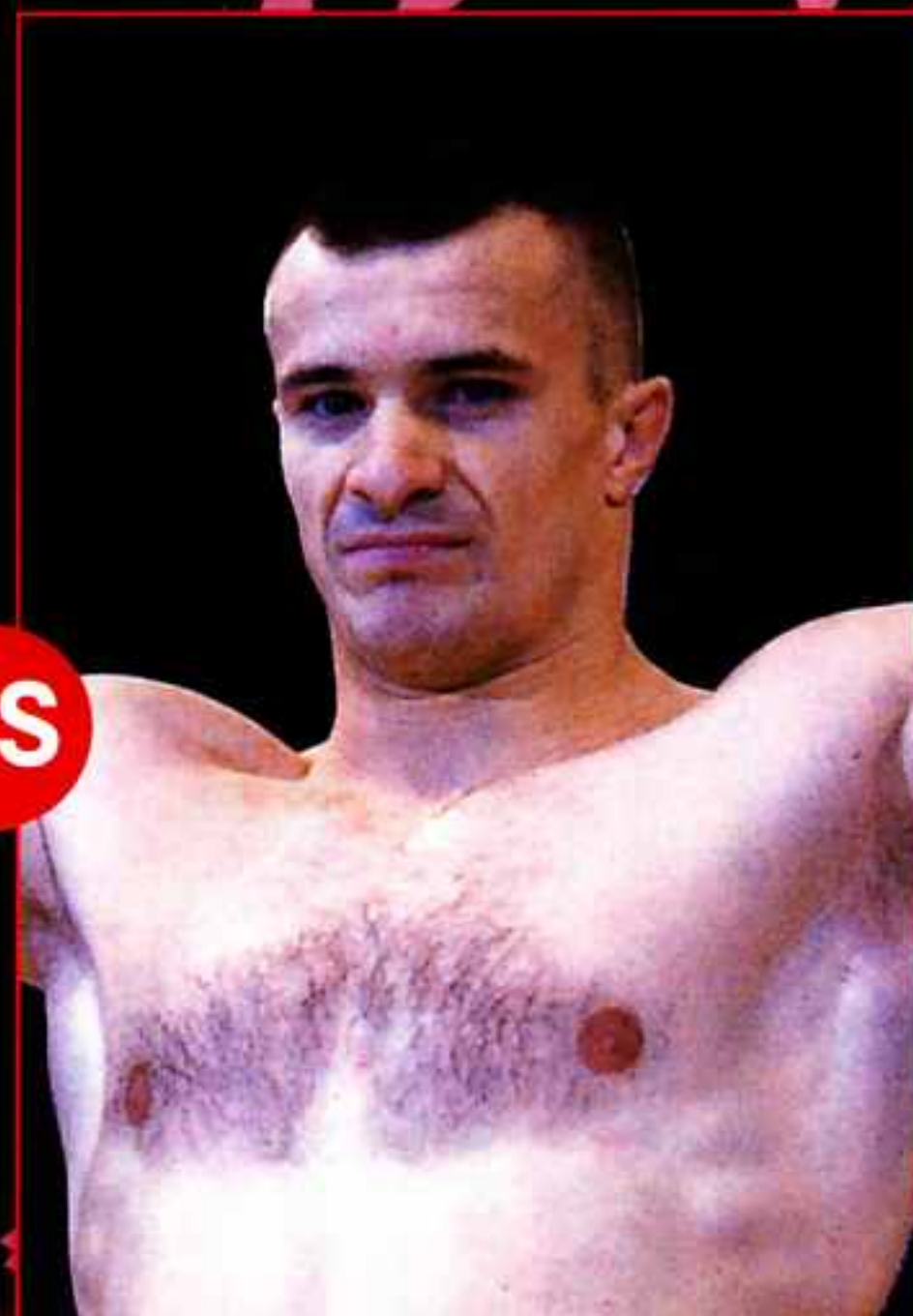
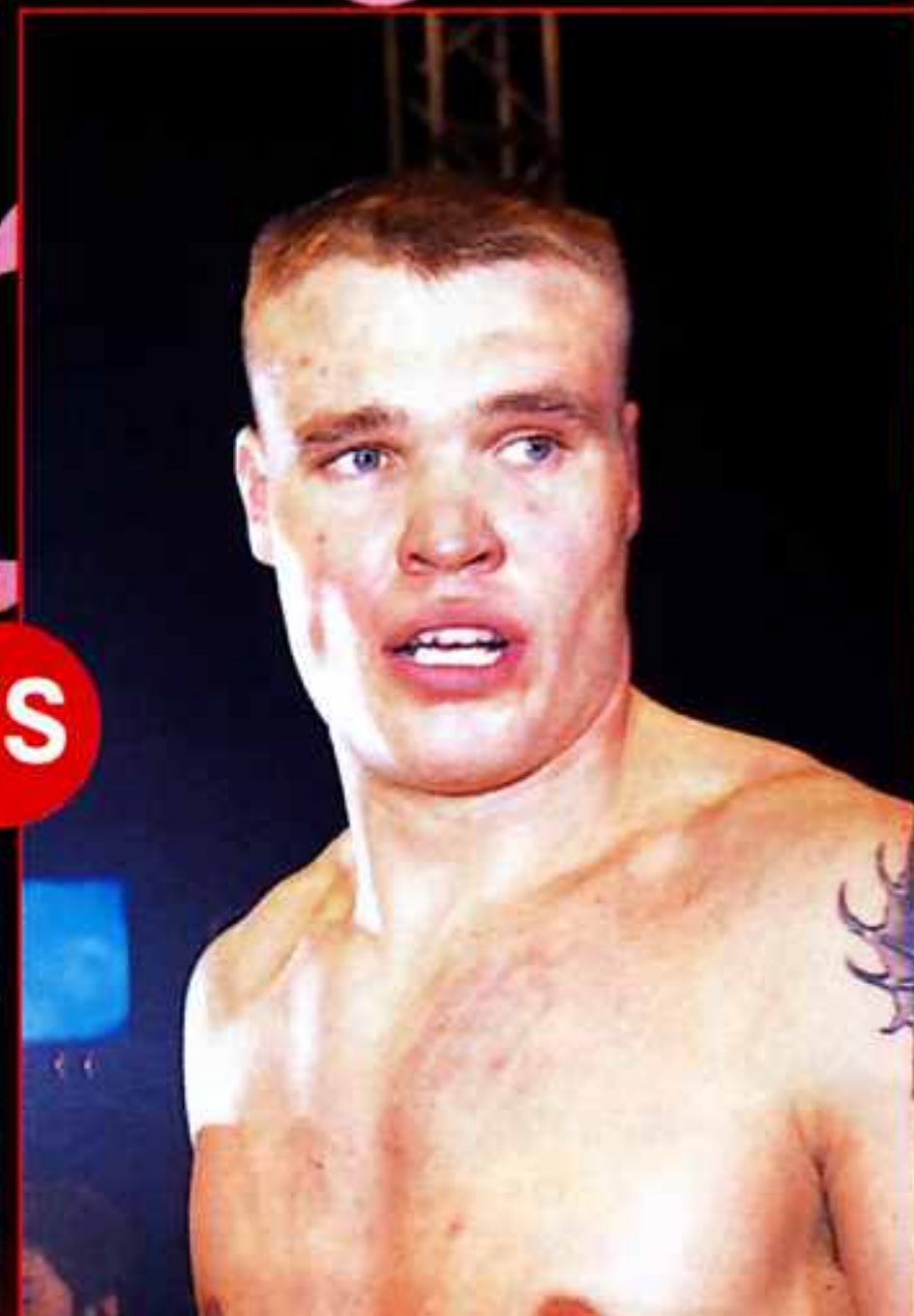
噂の三面記事

2002年春
格闘技界激震の抗争勃発！

PRIDE VS K－1 開戦!!

4・28『PRIDE20』

ヴァンダレイ・シウバ VS ミルコ・クロコップ

4・21「K－1 BURNING2002」

武蔵 VS セーム・シュルト

3・3K－1名古屋大会の閉会式で「僕たちは誰の挑戦でも受けます。ノゲイラ、シウバ、『PRIDE』、猪木、そしてWWF掛かってきてください！」と声高らかに宣戦布告した「石井館長」様。この一言に端を発して、早くも『PRIDE』VSK－1の抗争が勃発！　4・21K－1広島大会、そして4・28『プライド20』で夢のカードが実現することになった。果たして、『PRIDE』VSK－1は猪木軍VSK－1軍のスケールを越えることができるか……？

第1弾

『プライド』側はいきなり潰しにきた！
ミドル級王者・シウバもセコンドとして来襲

「武蔵よ、〝痛いパンチ〟を味わうがいい！」
〝日本人キラー〟セーム・シュルト参戦！

4・21K−1広島大会から開戦となる『プライド』VSK−1の潰し合い。

その第1弾として、まずは『プライド』戦士がK−1ルールに挑む。しかも、いきなり『プライド』戦士の中でも打撃ナンバー1の呼び声高いセーム・シュルトが出陣。

それに対して、石井館長は日本のエースの座を剥奪されそうな崖っぷちファイター、武蔵をぶつけることにした。

3・3K−1名古屋大会で〝武蔵流〟を悪化させ、ピリッとしたファイトを見せられなかった武蔵。相手がいくらK−1ルール初挑戦となるシュルトとはいえ、今回ばかりは悠長に〝武蔵流〟を貫ける可能性は低い。

これまで、『プライド』ルールとはいえ、シュルトは小路晃、佐竹雅昭、高山善廣をほとんどグラウンドの展開になることなく、ワンパンチで轟沈させてきた。

「シュルトのパンチは効くというより、ブロックで殴られた感じで痛い」と対戦相手が口を揃えるほどシュルトのパンチは一撃必殺の威力を持つ。相手が誰であれ、シュルトの試合は殺るか、殺られるかなのだ。『プライド』のリングでことごとく日本人を潰してきたシュルト。

日本のエース復権に向け、広島大会のメインイベンターとして、そして対『プライド』との他流試合としても、武蔵にとっては本当に大きな意味を持つ一戦となるだろう。

そして、打たれ強いハントから生涯初ダウンを奪い、一躍新ジャパンエースの候補となった中迫剛が試練の一番を迎える。

対戦相手は〝ミスターパーフェクト〟アーネスト・ホースト。ホーストは3連覇を狙った昨年のグランプリ準々決勝戦でステファン・レコに勝利しながらも、自らの蹴りで足の甲を負傷して無念のドクターストップとなった。その傷も回復し、万全の態勢で中迫戦を迎える。

それにしても、昨年のグランプリ王者・ハントに続き、その前年まで2連覇していたホーストをぶつけるあたり、石井館長の厳しさがうかがえる。

しかし、ハント戦で株を上げた中迫は、ここで簡単に負けてしまうようなことがあれば、即刻新ジャパンエース候補の称号も剥奪ものだ。

ホースト戦は、今後の中迫にとっても大事な一戦であるし、ジャパンシリーズ浮上の鍵を握った一戦と言ってもいいだろう。

日本へビー級が世界へ立ち向かえることを証明するチャンスを得て、ジャパンの大黒柱は自分だということを中迫がどこまでアピールできるのか注目したい。

さらに、シュート・ボクセ軍団第5の男が来襲。カストロはＩＶＣで活躍するバーリ・トゥーダーで、鋭いヒザ蹴りを持つ選手。昨年6月以来のK−1ファイトとなる子安にとって、厳しい一戦となる。

なお、カストロのセコンドとして、4・28『プライド20』でミルコと対戦するシウバが来日することも決定している。

この他の注目は極真VSK−1の他流試合だ。20世紀最強のキックボクサー・ピーター・アーツにジャパンGP王者のニコラス・ペタスが挑む。さらに、極真第4の男・野地竜太が遂にK−1参戦！ 1・11「一撃」で武蔵相手に互角以上の勝負を展開し、実力を見せつけた野地がどんなファイトを見せるのか興味深い。相手は、今年のオセアニア地区予選で準優勝したアンドリュー・ペックだ。

さらに、K−1ジャパンGP出場決定戦2試合も行われるなど、話題満載な広島大会。どの試合が一番光り輝くのか楽しみだ。■

4・21 K−1 BURNING2002
広島サンプラザ

決定カード
日本VS世界5対5マッチ

第7試合／大将戦
武蔵（日本／正道会館） VS **セーム・シュルト**（オランダ／ゴールデン・グローリー）

第6試合／副将戦
ニコラス・ペタス（デンマーク／極真会館） VS **ピーター・アーツ**（オランダ／メジロジム）

第5試合／中堅戦
中迫剛（日本／ZEBRA244） VS **アーネスト・ホースト**（オランダ／ボスジム）

第4試合／次鋒戦
子安慎悟（日本／正道会館） VS **ニルソン・デ・カストロ**（ブラジル／シュート・ボクセ・アカデミー）

(Photo by Andrey K1agenberg)

第3試合／先鋒戦
野地竜太（日本／極真会館） VS **アンドリュー・ペック**（ニュージーランド／エリートキックボクシングジム）

K−1 JAPAN GP2002出場決定戦

第2試合
天田ヒロミ（日本／フリー） VS **タケル**（日本／正道会館）

第1試合
大石亨（日本／日進会館） VS **TSUYOSHI**（日本／ボスジム）

プロレスキラー

『プライド』VS K―1開戦から1週間後、今度はK―1戦士が『プライド』へ乗り込む！

4・28『プライド20』メインでプロレス界天敵男最強決定戦実現!?

『プライド』VS K―1開戦となる4・21K―1広島大会から1週間後の4月28日、横浜アリーナで開催される『プライド20』の一部カードが決定した。注目はなんと言っても、メインイベントで行われるヴァンダレイ・シウバVSミルコ・クロコップの一戦だ。

一見、『プライド』VS K―1開戦第2Rの目玉とも思えるカードだが、実はこの両者の闘いには“プロレスキラー対決”というもう1つのテーマが隠されている。

ご存知のように、ミルコはこれまで藤田、高田（引き分けだが負傷させた）、永田、柳澤（K―1ルールだけど）とプロレスラーに連勝し、プロレスキラーの名をほしいままにしている。

さらに、3・3K―1名古屋大会では昨年のGP王者、マーク・ハントから魔性のハイキックでダウンを奪い完勝。もはや「誰も俺様には勝つことはできない」と、毒舌も絶好調だ。

一方、シウバもこれまで桜庭に2連勝、松井、アレクとプロレスラーをことごとく打ち破ってきた。

そんな両者の闘いはプロレス界にとって2大天敵男が、対プロレスラーから一段ステップアップして雌雄を決するというテーマがある。

ミドル級のシウバとヘビー級のミルコという体格差は気になるところだが、両者の間で98キロ契約、イノキボンバイエ・ルールで行われる可能性が高いという情報もキャッチした。

打たれ強いハントでさえもダウンしたミルコのハイキックは、果たしてシウバにも炸裂するのだろうか……。はたまたシウバのラッシングパワーがミルコを粉砕するのか？　興味は尽きない。

そして、もう1試合決定したのが、山本憲尚VSボブ・サップの一戦である。

遂に石井館長の秘密兵器がベールを脱ぐ時が来た！　サップは元アメフトの選手でWCWのリングで活躍したプロレスラー。WCW時代にサム・グレコと知り合い、WCW崩壊もあって昨年夏にラスベガスで石井館長にK―1軍入りを直訴。その後、モーリス・スミスのジムで半年間修行した。160キロ以上の体重にもかかわらず、身体能力の高さは教えたモーリスも驚いたほどの逸材。

ただ、今回がVT初挑戦となるだけに、ファイターとしてのモチベーションが気になるところはある。

対戦相手の山本は『プライド18』でK―1の門番（のつもりでいる）ノルキヤと対戦して初勝利を挙げたK―1キラーの1人。ノルキヤ戦同様に、体重差をはね除け『プライド』戦線での浮上を狙いたいところだ。

さらに、昨年の11・3『プライド17』で石井館長と共にリングに上がり、総合格闘技転向を宣言したサム・グレコの参戦が正式決定した。

対戦候補にはギルバート・アイブル、高山善廣、アレクサンダー大塚らが挙がっている。K―1ではトップファイターとして活躍したグレコだが、今後は総合に専念。この1年間の活躍次第では、ノゲイラを脅かす存在になる可能性も十分あり得る。

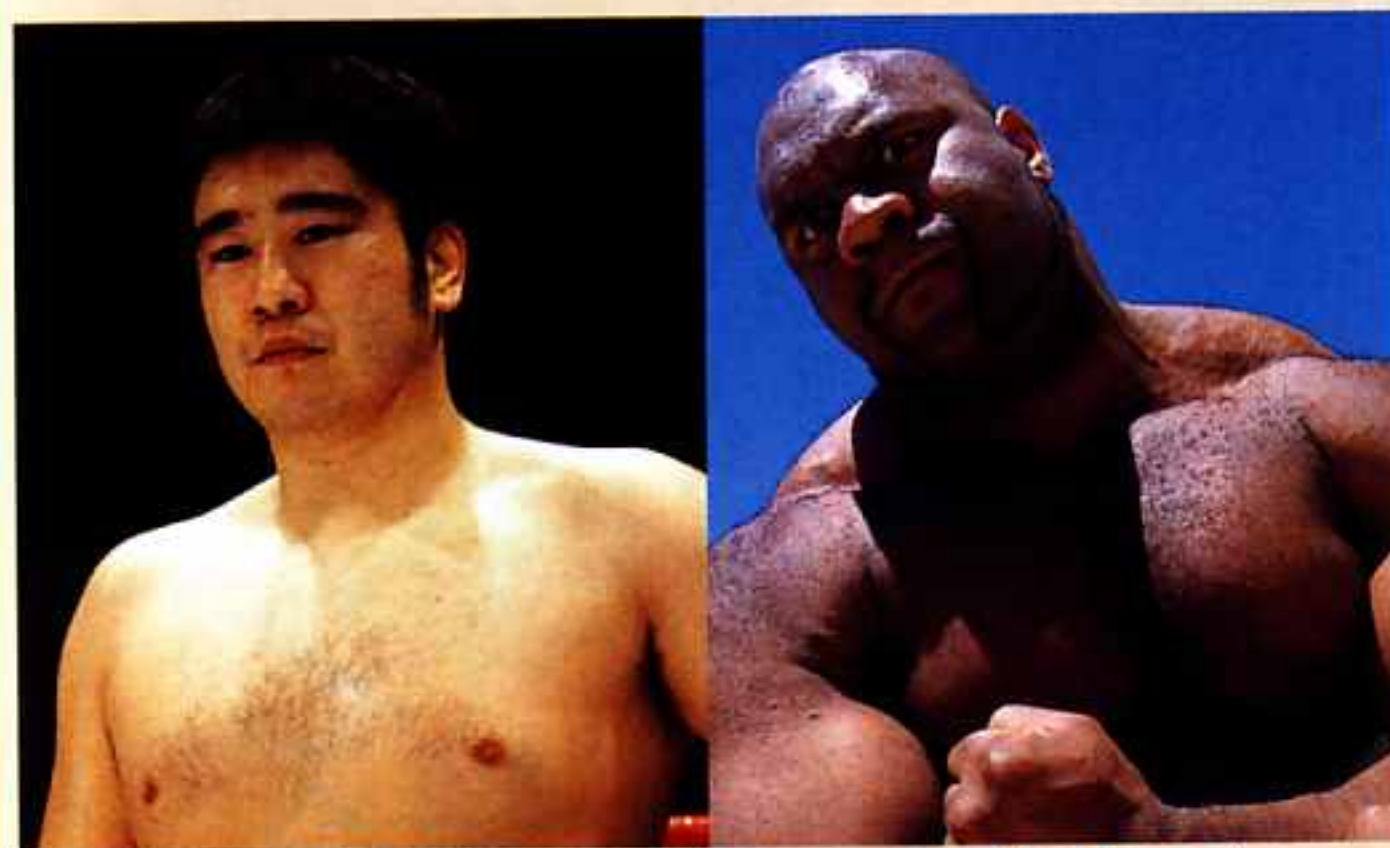
グレコはオーストラリアでクリストファー・ヘインズマンの元で練習に励み、その後、ミルコを育てたマルコ・ジャラのいるロスへ移り最終調整して『プライド』初参戦に挑む予定だ。

『プライド20』では、『プライド』VS K―1の他にパンクラス参戦も話題になっている。パンクラスからは菊田早苗と美濃輪育久の出場が濃厚となっているが、未だ対戦相手は調整中のようだ。

さらに、佐竹雅昭、松井大二郎らが出場候補に挙がっている。いずれにせよ、今回も豪華カードが期待できそうだ。■

4・28『プライド20』
横浜アリーナ

決定カード

メインイベント（特別ルール3分3R、延長2R）
ヴァンダレイ・シウバ VS ミルコ・クロコップ
（ブラジル／シュート・ボクセ・アカデミー）　（クロアチア／クロコップ・スクワッドジム）

山本憲尚 VS ボブ・サップ
（日本／高田道場）　（USA／フリー）

出場決定！

サム・グレコ
（オーストラリア／チーム・グレコ）

どうなるパンクラス勢？

菊田早苗 VS X
美濃輪育久 VS X

波乱含

いよいよ"総合のインディー"が確立してきた！
3・30『DEEP』は大荒れの予感

ルチャ勢に勝ち越しのチャンス到来 7カ月ぶり復帰の謙吾に絶不調説!?

今、格闘技業界の誰もが「あれは面白そう」、「絶対見たいよ」と声を揃えるのが3・30『DEEP2001』愛知県体育館大会だ。渡辺大介と滑川康仁のパンクラスVSリングス対決が実現したり、和田良覚レフェリーが参戦するなど、その大胆な企画力には驚くばかり。その上、村浜武洋VSジョン・ホーキのリマッチやグラバカ・佐々木有生VSグスタボ・シム（田村潔司にも勝ったブラジリアン）など通好みなカードも用意されている。

K―1や『プライド』といったメジャーな舞台に対して、DEEPはまさにインディー。決してマイナーという意味ではなく、映画や音楽で言うところのインディーズだ。自由な発想、格や実績にとらわれないマッチメイクは、ハリウッドに対するニューヨーク・インディーズを思わせる。DEEPの発展は、総合格闘技界が多面性を持ち、豊穣になってきたことの証拠だろう。

DEEPの独自性の最大の成功例は、なんと言ってもルチャドールのVT挑戦だ。これまでにもドス・カラスJrが謙吾を、エル・カネックが大刀光を破ってファンを狂喜させてきたが、今大会ではついにルチャ軍団対日本選手の5VS5対抗戦が行われる。

プロテストにセメントの試験があったり、レスリングの下地がしっかりしていることなど、探れば探るほど日本でのルチャ＝楽しいというイメージが覆り、ガチンコ幻想が膨らんでくるのだが、今回、出場する5人も"強さ"を濃厚に感じさせてくれる選手ばかりだ。

横井と対戦するメモ・ディアスは2度の五輪出場経験を持ち、世界王者にも4度ついたレスリングの強豪。189センチ、110キロの巨体も脅威だ。またキック・ボクサー（VS近藤）、トロ・イリソン（VS坂田）の2人は、もともとルチャのリングに"格闘家"として上がってきた選手。特にキック・ボクサーはキックと散打のタイトルも持っているというから、近藤とは派手な打撃戦が期待できるというもの。

そして鈴木と闘う大ベテラン・ソラールはと言えば、前号のインタビューにもあったようにバリバリの"シュート派"ルチャドール。メキシコのカール・ゴッチ的な存在ディアブロ・ベラスコ師の下でセメントとレスリング技術を鍛え上げており、若い頃にはVTの経験もあるというから楽しみだ。

そしてメインのドスJrと謙吾のリマッチ。ドスJrが前回よりも強くなっていることは間違いないが、ここにきて謙吾サイドの気になる情報が入ってきた。謙吾は昨年8月、ドスJrの投げで受け身を取りそこない、右ヒジを脱臼。それ以来長期欠場していたのだが、いまだにヒジが完治していないらしいのだ。当然、100％の練習はできていないという。パンクラスの尾崎社長は「今回、ウチからは6人の選手が出るんですが、5勝1敗かなと。1敗は謙吾です（苦笑）」と謙吾に関しては白旗を挙げた状態。

逆にDEEPの佐伯代表は、当初「（ルチャ勢の）全敗でいい。屈辱から這い上がれば、もっと強くなります」と語っていたのだが、ここにきて「2勝……いやもっとイケるかも」と予想を上方修正している。

はっきり言ってルチャ軍団の実力は未知数。日本チームは総合の専門家ばかりだけに、勝ち越すようなことがあれば大事件だが、ここまでの情報を見る限り、チャンスは充分だ。毎回と言っていいほど波乱が起きるDEEP。果たして今回の主役は……？■

▶滑川VS渡辺も必見の好カード。意外なところでリングスとパンクラスの対決が実現する

▶3月13日には公開スパーリングを行った和田良覚。横井を相手に39歳とは思えない動きを披露

DEEP2001 4th IMPACT in NAGOYA

3月30日（土） 愛知県体育館

《日本選抜VTチームVSルチャ・リブレVT軍団》

謙吾〈パンクラスism〉 VS ドス・カラスJr〈AAA〉

近藤有己〈パンクラスism〉 VS キック・ボクサー〈AAA〉

坂田亘〈EVOLUTION〉 VS トロ・イリソン〈KARATEスタジオ〉

鈴木みのる〈パンクラスism〉 VS エル・ソラール〈CMLL〉

横井宏考〈リングス・ジャパン〉 VS メモ・ディアス〈CMLL〉

《その他の対戦カード》

村浜武洋〈大阪プロレス〉 VS ジョン・ホーキ〈ノヴァ・ウニオン〉

佐々木有生〈パンクラスGRABAKA〉 VS グスタボ・シム〈ファスVTシステム〉

渡辺大介〈パンクラスism〉 VS 滑川康仁〈リングス・ジャパン〉

秋山賢治〈禅道会〉 VS 長南亮〈U-FILE CAMP〉

"ランバー"ソムデート吉沢〈M16ジム〉 VS 砂辺光久〈ハイブリッド・レスリング武限〉

土居龍晴〈T3〉 VS 佐々木恭介〈U-FILE CAMP〉

和田良覚〈リングス・ジャパン〉 VS アステカ〈プロレスリング華☆激〉

優勝候補

2・11K－1中量級大会の興奮よ再び！ 5・11K－1 W・MAX世界予選は順調だが……

魔裟斗だけでなくオール全てぜ～んぶの選手大ピンチ！ 一番怖いのは本場・ムエタイ戦士だっ！

2月11日に行われたK—1ミドル級大会で宿敵・小比類巻を下し、見事日本代表の座をゲットした魔裟斗。

大会自体も、ここ数年来のベストイベントと言われるほど盛り上がり、K—1ミドル級大会は高視聴率もゲットした。この勢いのまま5・11「K—1W・MAX」への期待がさらに高まっているところである。

日本代表の魔裟斗だけでなく、世界予選も順調に進み、すでにオセアニア代表、シェイン・チャップマン、ヨーロッパ代表、アルバート・クラウス、中国代表、〝手からイナズマを出す男〟張加滂の計4名の出場が決定。

さらに、3月15日にはUSA大会がデンバーで開催され、4名によるトーナメントにより（別表参照）、ドュウエン・ルドウィッグが優勝した。ルドウィッグはデンバー出身でバス・ルッテンのジムに所属している選手。これまで総合の試合経験もあるムエタイファイターだ。

ただ、現時点ではこのままルドウィッグをアメリカ代表と決定するのではなく、ブラジルなどの南米地区のファイターと決定戦を行うかどうか検討中。アメリカ代表の正式決定はまだ少し先となりそうだ。

さて、世界大会まで1カ月ちょっとを切り、世界予選が行われる中、やはり最も気になるのはミドル級の本家ともいえるムエタイ代表選手がいったい誰になるのかということである。

現時点で候補に挙がっているのが、昨年9月に武田幸三に圧勝してタイトルを奪取したラジャダムナンウェルター級王者のチャーンヴィットとルンピニーウェルター級王者、ガオランの2大スタジアム王者。この2人で代表決定戦を行うという案が出ているが、もし実現したら、文字どおり〝ムエタイ最強の男〟の出陣となる。しかし、たとえ、この2人以外のランカー選手が出てきたとしても、ムエタイ代表の優勝確率は80％以上とも言われている。

それほど、ミドル級以下となると、ムエタイのレベルは比べものにならないほど高いのだ。競技人口3万人、300年の歴史を持つと言われるムエタイ。だから、チャンピオンから10位までのランカー選手の実力差はほとんどないに等しい。本当に、誰が出てきても優勝候補といっても過言ではないのだ。

そのポイントとなるタイ代表について、石井館長は現在、統一戦でチャンピオン2人を対決させるか、K—1ルールにはヒジ禁止と首相撲からのヒザ蹴りが有効でないため、ランカーの選手からパンチと蹴りを得意とするK—1向きの選手を選ぶか思案中。

そのランカー選手の中で候補に挙がっているのが、NJKFのリングに上がったチャンプアック・ウィラサクレックや、これまでSBの土井に勝ち、魔裟斗にも勝利しているスリヤーだ。

誰が出てきても、他国の代表選手にとっては戦々恐々となる選手ばかり。タイ代表はK—1ミドル級世界一決定戦のキーポイントとなるだろう。

すでに決定している4名とアメリカ代表、タイ代表を加えた6名に、ヨーロッパ・ロシア地区、館長推薦選手を加えた8名で争われる「K—1W・MAX」。誰が初代K—1ミドル級世界一に輝くのか？　最終選考は大詰めに入っている。■

誰が出てきても怖いムエタイ代表候補

ガオラン・カウイチット（ルンピニーウェルター級王者）

チャーンヴィット・ギャットトーボーウボン（ラジャダムナンウェルター級王者）

チャンプアック・ウィラサクレック（ラジャダムナンジュニアミドル級2位／ルンピニーウェルター級5位）

スリヤー・ソー・プラーンチット（IWMジュニアミドル級王者／ルンピニージュニアミドル級4位）

K－1中量級トーナメントUSA大会結果

3月15日◎アメリカ・デンバー

1回戦	結果	決勝
ドゥウェン・ルドウィッグ（アメリカ） vs メルビン・マレー（カナダ）	ルドウィッグ 2RKO	ドゥウェン・ルドウィッグ 延長判定勝ち（優勝）
オレ・ローセン（アメリカ） vs ジェイソン・ジリアン（カナダ）	ローセン 1RKO	

5・11推薦選手ファン投票実施中！

現在、K－1オフィシャルホームページ上で、5・11「K－1W・MAX」推薦選手ファン投票が行われている。締め切りは3月30日、24時まで。応募者の中から抽選で5組10名に5・11大会チケットを、10名に「K－1W・MAX」記念Tシャツに推薦選手のサインを入れてプレゼントする。締め切りまで時間がない！　自分の推薦選手を出したい人は下記のアドレスまで急げ！

http://www.k-1.co.jp

物理学の世界で猪木劇場大爆発！

小さなミスで発表会の常識を大きく覆す！ これが噂の『トルク誘導発電装置』だ！

ウィーンウィーン……

▲これが燃料なしで電気を生み出す『Inoki　Natural　Power－IV』の中身だ。左側にある銀のボックスが、この装置の心臓部とも言える『トルク誘導変換装置』。でも、思ったよりちゃちくないか……

アレッ？ 動かないぞ？

▲いよいよ世紀の大発明のお披露目に、緊張しながら『Inoki Natural Power―IV』のスイッチを押す猪木

▲スイッチを入れたものの、大きな音を立てるだけで、一向にボードが点灯しない。急いで中身を開けて確認すると、なんとボンドで止めていたプロペラ型の磁石が外れてしまっていた

ここ数カ月ほど、恒例となっている成田空港での記者会見のたびに、「そのうち世界中が俺を追いかけ回す」と意味深に語っていた猪木。その言葉が現実となる日が、遂にやってきた。

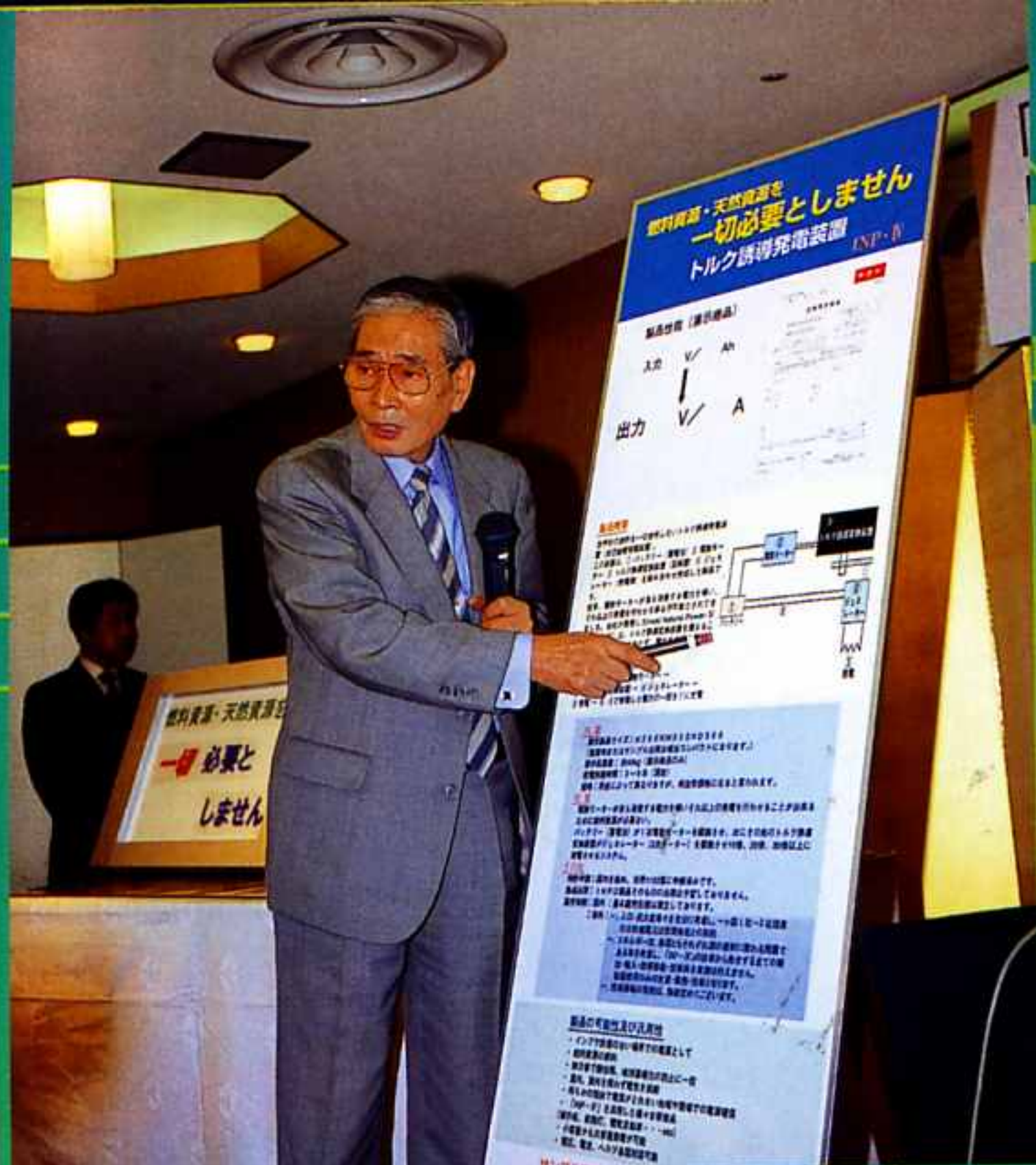
3月12日、猪木はホテルオークラで記者会見を開催。この会見にはプロレス記者だけではなく、一般紙の記者や外国人の姿も見受けられ、いつものプロレスがらみの会見とは様子が異なっていた。では、いったいなんの記者会見であったかというと、これがなんと猪木の発明品の発表会。猪木が以前より研究を進めていた、燃料いらずで3年から5年は電気を生み出す装置・『トルク誘導発電装置』が完成したことを発表するための記者会見だった。

燃料いらずと言うように、『トルク誘導発電装置』は、小さな電気で大きな電力を生み出すというもの。これに内蔵されている『トルク誘導変換装置』という箇所で、プロペラ型の磁石が回転し、そこに発生する磁場の力によって、電力が生み出されるという仕組みだ。この『トルク誘導発電装置』は、製品名を『Ｉｎｏｋｉ Ｎａｔｕｒａｌ Ｐｏｗｅｒ―Ⅳ』（以下『ＩＮＰ―Ⅳ』）と命名されている。

記者会見に出席したのは猪木の他に、この『ＩＮＰ―Ⅳ』を開発したＩＮＰ株式会社の社長・宮本博人氏とテクノ技研の角田所長。実際に開発にあたった角田所長がひととおりの説明を終えると、『ＩＮＰ―Ⅳ』によって蛍光灯を点けるというデモンストレーションに移行した。

しかし、ここで前代未聞のトラ

「エネルギーの常識が覆される！」（猪木）

「INP・IV」
トルク誘導発電装置　展示・記者発表会
アイ・エヌ・ピー株式会社

▲テクノ技研所長の角田氏はボードを使って、装置の仕組みを説明。「『トルク誘導変換装置』がなぜ永久エネルギーを生み出すのかは分からない。現在、早稲田の教授たちに研究してもらっている」と衝撃的な告白をした

▲会見に臨んだのは左から猪木、INP株式会社の宮本博人社長、テクノ技研の角田所長の3人。『Inoki Natural Power－IV』はこの3人の名前で特許を申請しているという

「午前中は動いたのに……」（猪木）

◀あまりにも小さなミスでの失敗に、さすがの猪木も一瞬我を忘れたような顔をしていた

▲デモンストレーションでは左にある「燃料資源・天然資源を一切必要としません」と書かれたボードを点灯させる予定だった。ちなみに外されたカバーの上部には、6つの電源があり、一家の電力をこれ一台でまかなうことができるというが……

理科の教科書が書き変わる！？
これが『Inoki Natural Power－IV』の正体だ！

▶これは『トルク誘導変換装置』の中身。プロペラ型の磁石が回転し、永久エネルギーを生み出すという仕組みだ

❶バッテリー ◀ ❷電動モーター ◀ ❸トルク誘導変換装置 ◀ ❹ジェネレーター ◀ ❺発電 ◀ ❻❺で発電した電力の一部を❶に充電

ブルが発生。『INP—IV』のスイッチを押した猪木だったが、大きな音を立てるだけで電気が点かない。慌てて、関係者たちが中身を開け原因を調べてみると、『トルク誘導変換装置』の回転するはずの磁石を、ボンドで接着させていたのが外れてしまっていたのだ。新製品の発表会で前代未聞とも言うべき初歩的なミスに、関係者たちも大慌て。これにはさすがの猪木も苦笑いしっぱなしだった。

「エネルギーの常識が全て覆される」と豪語していた発明品が、ボンドで接着されていたというのも驚きだが、たしかに中身の見た目も高価な部品を使用しているようには見えない。しかし、宮本社長の弁では、「高価な部品を使用していないため、安く生産することができる」とのこと。ソーラーによる電力とはまったく比較にならないぐらい安価で手に入れることができるようになるらしい。

この会見は猪木のスケジュールに合わせて組まれたもので、『INP—IV』もまだ十分な調整ができていない段階での見切り発車的な発表だった。開発した角田所長からして、「どうして動くかは分からない。早稲田の教授たちに研究してもらっている」と衝撃的な告白をしたほど。それなのに、「どうってことねぇよ」と発表してしまったのは、まさしく猪木イズムの真骨頂と言えるだろう。年末のK—1軍との対抗戦に勝利し、一躍時の人となった猪木だが、まったくマット界とは関係のないところで、大きくズッコケて見せるあたりは、まだまだ猪木イズム健在と逆に証明した結果になった。■

講師陣は世界最高のPRIDE戦士たち！
そして“世界のレフェリー”島田裕二が裁く！

柔道クラスの先生はこの人！
大山峻護参戦決定！

▲柔道クラスの講師として、復帰が待たれる大山峻護の参加が決定した！

▲これがBCGのあるビルの外観。このビルの地下に、BCGは存在する。麻布十番の駅から歩いてすぐだ

4・27PRIDE公認ジム・BCGオープン！

▲広々とした館内には、打撃の練習をするスペース、寝技の練習をするスペース、そしてマシーンの置いてあるスペースと、3つのスペースがある

『プライド』やK—1でお馴染みのレフェリー・島田裕二が、『プライド』公認ジムBCG（BODY　CHECK　GYM）をオープンさせる。この日は、取材ということもあって、『プライド』ガールが応援に来てくれた

▲ここで受付を済ませてから、中で練習をする。当然のことながら、普段は『プライド』ガールはいないぞ！

撮影◎山口日佐夫

年明け早々から大激震に見舞われているマット界。そのマット界がまたもや激震に見舞われるような大事件が勃発した！　震源地は麻布十番。なんとこの地に、『プライド』公認のジム、BCG（BODY　CHECK　GYM）がオープンすることになったのだ。

しかも、このジムを作ったのが、『プライド』やK—1で活躍する、〝世界の悪役レフェリー〟島田裕二というから驚きだ。島田レフェリーがこのジムのプランを考えていたのは、バトラーツが昨年の10月に冬眠に入ってからとのこと。最近、『プライド』にしてもK—1にしても日本人選手に元気がないのを、密かに嘆いていた島田レフェリーは、世界に通用する日本人選手を育成するため、このBCGのオープンを思い立ったのだ。

あの島田裕二のジムとあって、胡散臭さいと警戒する人も中にはいそうだが、先にも書いたようにBCGは『プライド』の公認ジム。講師陣には『プライド』に出場しているファイターたちが名を連ねる予定で、すでにアレクサンダー大塚、そして大山峻護の参加が決定している。

更に、『プライド』公認である以上、現在『プライド』に上がっている外国人ファイターたちが、セミナーを開催する可能性だってあるのだ。もし、これが実現したら、あのノゲイラの三角絞めを、本人から直接伝授されることも夢ではない。また、『プライド』の大会前にでもなれば、参戦してくる選手たちがここにやって来るのは必然的。そうなれば、あの憧れのファイターたちと一緒に汗を流せたり

BCG

BODY CHECK GYM

ノゲイラ！ シウバ！ PRIDE戦士たちの特別セミナーも鋭意企画中！

▲このマットが敷いてあるスペースでは、寝技の練習がみっちりできる。マットの上にはなぜか、『プライド18』で使用したリングのシートが張ってあった

▲打撃の練習をするスペースには大きな鏡が張ってあって、フォームをきちんとチェックできる！ この日は今後BCGでクラスを持つ予定のアレクが、元バトラーツの大場貴弘を連れて来てくれた

決戦直前！ PRIDE戦士たちがこのジムで汗を流す！

◀マシーンは全部で3台。アレクが使用しているルームランナーが2台と、大場が使用しているエアロバイクが1台ある

▲◀きれいなロッカールームには、シャワー室も完備されている。ちゃんと汗を落として帰れるぞ！

BCG（BODY CHECK GYM）

◆プレオープン/4月26日（金）
◆オープン日/4月27日（土）
◆受付開始/3月30日（土）10:00～
◆オープン時間/火曜日～土曜日 12:00～22:30
日曜日 10:00～17:00
◆休館日/月曜日
◆場所/東京都港区東麻布3－3－1 アイザック東麻布B1F
（都営大江戸線「麻布十番」駅から徒歩5分）
◆クラス/総合格闘技、レスリング、柔道、柔術、空手、キックボクシング等（クラスは基本的に夜間のみ。時間割は未定）
◆会員種類/一般会員 学生会員 女性会員 VIP会員【月に3回マンツーマンレッスン（予約は火曜日～土曜日の13:00～16:00の間の45分間）、予約制にて無料でマッサージ治療、1回1,000円の鍼治療付き】 法人会員【1社につき何名でも利用可】
◆情報管理料＆登録料/法人会員 100,000円
その他 10,000円
◆月会費/一般会員 10,000円 学生・女性会員 8,000円
VIP会員 15,000円 法人会員 50,000円
◆年間一括払い/一般会員 110,000円
学生・女性会員 88,000円 VIP会員 165,000円
法人会員 550,000円
◆お問い合わせ/BCG ☎03－3560－7911

PRIDE戦士直伝の護身術で痴漢も撃退！

▲痴漢に襲われてもこのとおり！ もしかしたらあの『プライド』戦士が、女性用護身術を教えてくれるかも！

してしまうのだ！

もちろん、コースも充実しており、総合格闘技はもちろん、レスリング、柔道、空手、ボクシング、キックボクシング等、様々なジャンルの格闘技を、その人の長所が更に伸びるように、『プライド』戦士たちが教えてくれる。なんといっても、様々なジャンルの選手が参戦している『プライド』だから、講師には事欠かない。受講者の長所を伸ばすというのが、島田レフェリーの方針。立ち技に向いていると思ったら、立ち技しか教えないという徹底ぶりで、その人の長所を伸ばしていくと豪語している。これは、最近『プライド』に上がっている選手がみんな総合格闘家化してしまい、選手に個性がなくなってしまったことに危機感を持ってのことだ。

しかし、『プライド』の公認ジムだからと言って、敷居が高いわけではない。普段溜まっているストレスを発散させ、体のトータルケアには最適。そのためのBCG（BODY CHECK GYM）なのだ。島田レフェリーが世界を相手に裁いてきた確かな目で、君の体をチェックしてくれるぞ。

数ある格闘技ジムの中でも、麻布十番という一等地にあり、広々としたスペースで格闘技を楽しめる。こんなにゴージャス感溢れるジムは、他にはないだろう。まさに至れり尽くせりのジムだが、正式オープンは『プライド20』の前日4月27日。会員の募集受付開始は3月30日と、もう目前まで迫っている。世界の島田にDO JUDGE！ してもらいたい人は、早めに申し込もう！ ■

初メインのはずが、対戦相手が直前逃亡!?

KIDが出ないなんて、そりゃ、ないよお!

繰り上げメイン含め、全6試合が判定決着。ひじょう〜に、キビシィ〜ッ!

◀繰り上げメインとなった、雷暗暴とマーシオ・クロマドの対戦。実力者同士の闘いは、コーナーでの差し合いに終始する膠着展開となったが、テイクダウンしてからのグラウンドでの打撃でやや優勢だった雷暗暴が3—0の判定をものにした

▲対戦相手マイク・カルドッソの欠場により、初のメインが中止となってしまった山本“KID”徳郁。試合前にリング上で「急に試合がなくなっちゃってスミマセン。オレも2日前に聞かされてガクンと落ちちゃって……」と試合中止のお詫びと心境を語った。しかし、5月の大会で試合が組まれるそうで、「誰でもいいからブッ飛ばす」と決意を新たに

私ごとで恐縮だが、この日は、娘の卒園式と誕生日が重なっていたので、できれば家族でファミレスにでも行って、ささやかなお祝いをしようと思っていた。しかし、他ならぬKIDが初のメインイベンターを務めるということで、試合の担当を引き受けていたのだ。それなのにそれなのに……、よりによってKIDの試合が中止なんて。そりゃないよ、セニョール!

しかも、行われた6試合全てが判定決着。全試合をひとくくりにして評するのは乱暴だとは思うが、ひとことで言えば、膠着のオンパレード。見どころがまったくなかったとは言わないが、正直言って、つらかった。特に休憩前の4試合に関しては、厳しい言い方かもしれないが、「これが、金を取って見せるプロの試合と言えるのだろうか?」と疑問を投げかけたくなるような試合だった。クラスBの試合ということもある。しかし、クラスBだからと言って、観客を意識した試合をしなくていいことにはならないはずだ。べつに、パフォーマンスをしろと言っているのではない。まだ技術や経験が十分でないのは百も承知。その部分に関してどうこう言うつもりはないし、言える立場でもない。でも、やはり見る側としては、常にKOを狙うアグレッシブネス、一本を取りにいく貪欲さが見たいのであり、安全に闘ってわずかなポイント差で勝つ、そんな試合に魅力なんて感じないのだ。

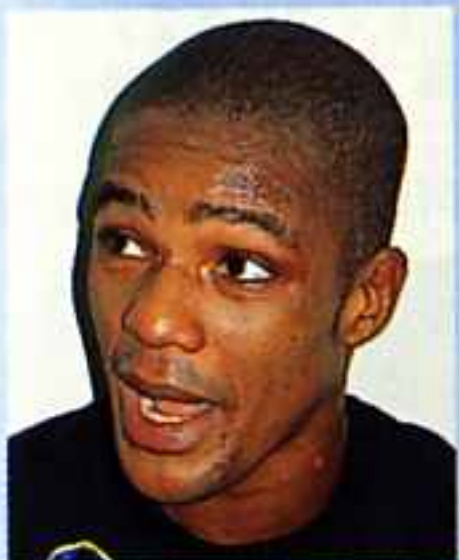
今回KIDは、プロデビューからわずか4戦目で、メインイベンターを務める予定だった。佐藤ルミナや桜井〝マッハ〟速人が6戦目、その頃よりも層が厚くなって

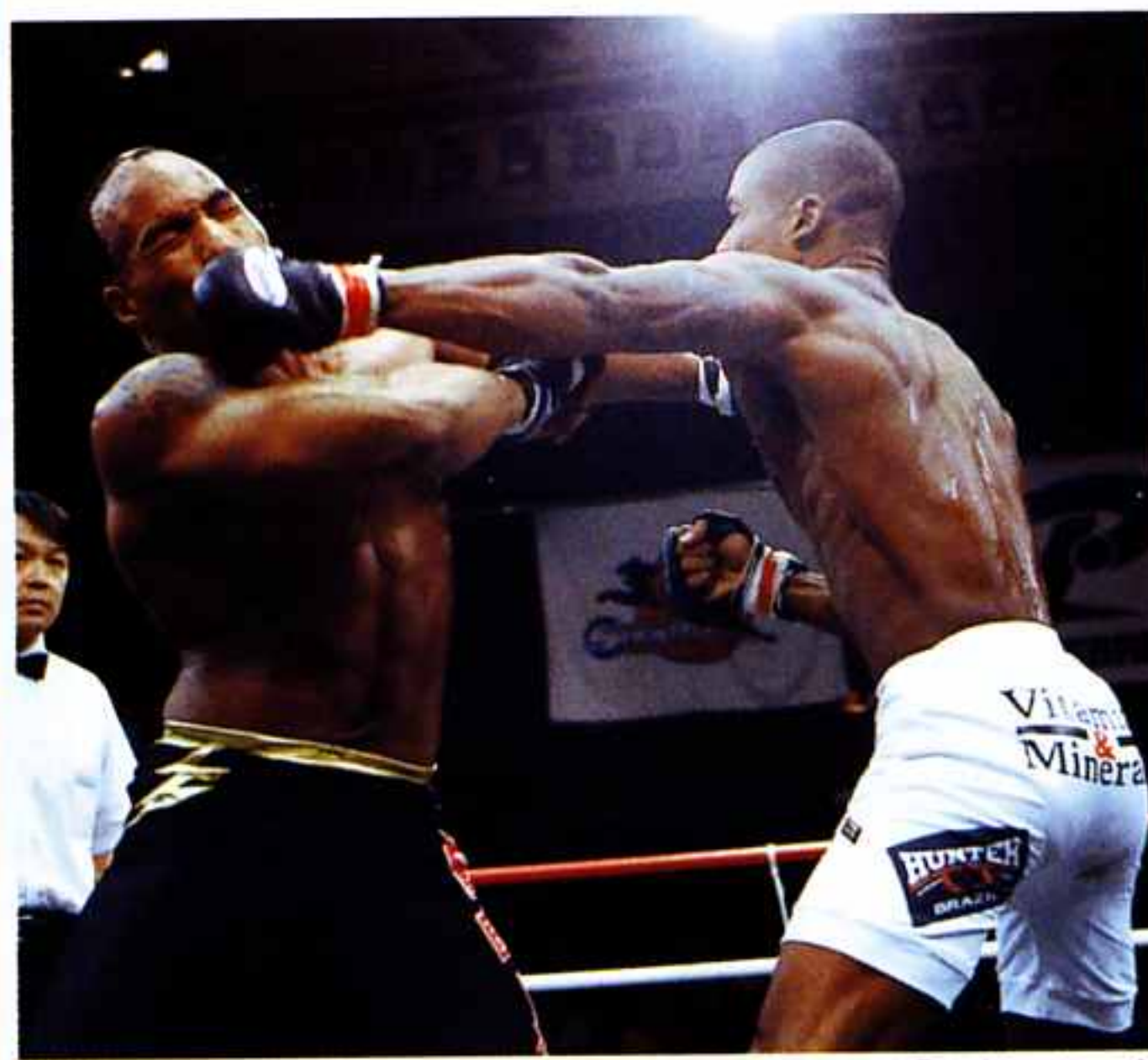
SHOOTO
3.15★後楽園ホール

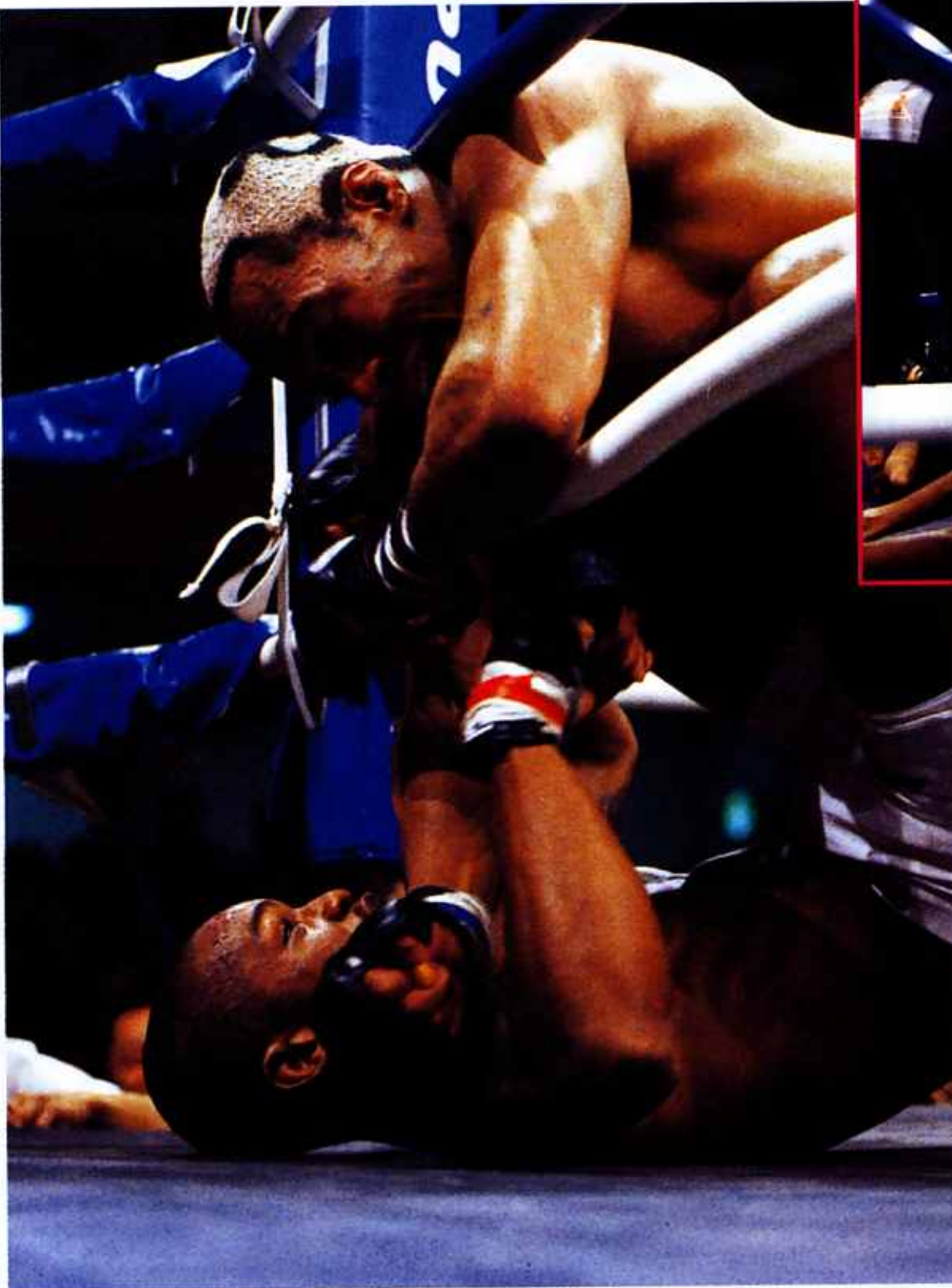
“ギロチン”のクロマド、らしさ出せずに雷暗暴に判定負け

雷暗暴のコメント

「倒してKOで勝ちたかった。友達もたくさん来ていたし。残念。3Rの（グラウンドでの）攻撃はヒットしている感じあったけど、向こう、アゴが強いかもしれない。クロマドのフロントチョークは、練習でも（フロントチョークは）取られたことないから大丈夫だと思った。五味選手ともう一度闘って、ぜひ勝ってチャンピオンになりたい」

クロマドのコメント

「雷暗はチャンスをジッと待ってるみたいだったんで、頭の切れる選手だと思ったよ。打撃でKOを狙うのが作戦だったんだけどね。コーナーで差し合いになった時、攻められてしまい、自分の打撃はかわされてしまった。第3Rはグラウンドに持ち込もうと思ったけど、うまくできなかった。結果は残念だったけど、負けた気がしないよ」

▲雷暗は、差し合いからヒザなどで先攻し、クロマドに最後までペースを握らせなかった

▲“ギロチン”の名手として知られるクロマドだが、「打撃でKOを狙っていた」と言うだけあって、パンチの巧さも見せた。当初、打撃は雷暗有利と見られたが、リーチの長さもあり、クロマドのほうが優位に立っていた

▶第3R終盤、大内刈りでテイクダウンに成功した雷暗は、最後のチャンスとばかりに、ガムシャラにパンチを落とす。この攻防が勝負を決定的にした

▲3R、コーナーでの雷暗のヒザがクロマドの金的をもろに直撃。クロマドは悶絶の声を上げた

▲「ファンのみんなが楽しんでくれれば」とバッドボーイ柄に髪の毛を染めていた雷暗。帽子を脱ぐと声援が飛んだ

雷暗暴、五味戦に一歩前進！

ウェルター級王座

▲日本で暮らし、日本語ペラペラのアメリカ人、雷暗暴（ライアン・ボー）。応援に訪れた友達に勝利のガッツポーズ

★第6試合・メインイベント/ウェルター級（5分3R）
○雷暗暴（3R判定3-0）マーシオ・クロマド●
〈アメリカ/フリー〉　〈ブラジル/RFT〉
※採点…30-29、30-28、30-28

目、その頃よりも層が厚くなっている修斗の現状を考えると、これは快挙だと言っていい。たしかにKIDにはレスリングというベースがあり、格闘技に関してズブの素人だったわけじゃないが、それにしても、わずか4戦目でメインを任されるというのは、KIDに、見る側を惹き付けるだけの力があるからなのは間違いない。

KIDは「やるかやられるか」の試合をすると常々言っている。負けるのが怖くないはずはない、しかしあえてリスクを冒しても、魅せる試合をしようとするからこそ、ファンに支持されるのだ。

デビュー数戦目の選手が、勝ち星を先行させたいからと、判定勝ち狙いの試合をしたとしたら、そんな選手を身内以外の誰が応援するだろうか。ここぞという時に、一か八かの勝負のできない選手がデカイ顔で「プロ」を名乗れるほど、甘い世界ではないはずだ。

KIDの試合がなくなり、繰り上げメインとなった、雷暗暴とクロマドの試合は、決して悪い試合ではなかった。過去に、宇野薫、中山巧をギロチンチョークで葬っているクロマドの伝家の宝刀が、見られなかったのは残念だったが、それは両者の実力が拮抗していたからであり、消極的だったからでないのは分かる。しかし、メインまでの試合が全て判定という流れだっただけに、最後くらいはビシッと一本、またはKO決着が見たかったというのが本音だ。

「まぁ、こんな日もあるさ」

大会後、関係者の口から漏れたこの一言が、この日の全てを物語っているように感じた。（林）

SHOOTO
3.15★後楽園ホール

阿部兄VSバレットも不完全決着（ドロー） 王者ノゲイラへの道遠し……

バレット、フェザー級に転向か

阿部のコメント

「パンチでスカッと行きたかったんですけど、ダウン取られちゃって。タックルにくると思ってヒザの練習してたんですけど、裏をかかれました。これに勝って（ノゲイラ戦まで）ポンポンと行きたかったけど、そんなに甘くないですね。負けじゃなかったんで、それだけは救われたなと。今年は30'sの年らしいですから、勝負です」

バレットのコメント

「ドローの判定はべつに問題ないと思う。ダウンを取ったけど、ボクも反則をしてしまったので。ボクはグラウンドだけの選手じゃなく、スタンドでも闘える。練習ではイーゲン（井上）やエンセンにグラウンドでもスタンドでも凄く殴られているんで、殴られることはべつに怖くないし。今後は階級を下げてフェザー級で闘いたい」

▲すでに本誌でも発表している、2001年の年間賞の表彰式も行われ、敢闘賞＝大石真丈、五味隆典、MIS＝中山巧、新人賞＆KO賞＝山本“KID”徳郁などに賞状と盾が授与された

▲2Rにはバレットがフロントチョークで阿部を攻め込む場面も。しかし、阿部は落ち着いて対処してテイクダウンし、インサイドガードからパンチで反撃

▼ハワイではボクシング、日本（PUREBRED）ではキックボクシングの練習を中心にしているというバレット。SBやサムライの試合にも出ていて打撃に定評のある阿部と、パンチで互角以上に渡り合い、周囲を驚かせた

▲ドロー判定に、会場のバレット・ヨシダファンからは「え～っ」と声が上がった。阿部ファンは、一瞬テンポを置いてから拍手。両者とも判定には納得の様子だったが、思うような試合ができなかった阿部は完全に不満顔だった

◀▼1R開始早々、バレットの右フックがアゴを捕らえ、阿部の腰が落ちる。阿部はすぐにタックルに行ったがレフェリーはダウンを宣告

▲打撃戦からのバレットのタックルを切った阿部は、猪木―アリ状態で、バレットの足にキックを見舞う。バレットはほどなくタイミングを見計らって立ち上がった

★第5試合・セミファイナル/ライト級（5分3R）
△**阿部裕幸（3R判定ドロー）バレット・ヨシダ**△
〈日本/アベアビコンバットクラブ〉　〈アメリカ/グラップリング・アンリミテッド・ハワイ〉
※採点…28-28、28-27、28-29（1-1）

昨年は、勝田哲夫、戸井田カツヤ、2人の飛躍の踏み台になってしまい、どうしちゃったんだろう、とみんなに心配されていたバレット。かつては、現フェザー級王者の大石真丈をスリーパーで破ったほどのテクニシャンだけに、今年は元気な試合を見せてほしいと思っているファンも多いはずだ。

対する阿部兄も人気は高い。試合前には、修斗の試合では珍しく7色の紙テープが舞った。32歳とベテランの域に入ってはいるが、サムライやSBの試合にも果敢にチャレンジし、元気なところを見せている。同じ30代のボクらにとって、実に頼もしい存在だ。

ライト級と言えば、頂点には不動の王者アレッシャンドリ・フランカ・ノゲイラが君臨している。ランキング1位の戸井田も2位の勝田も、直接対決で完敗しており、4位の阿部、5位のバレットに王座挑戦のチャンスが回ってくる可能性も高く、それだけに今回の対決は、落とせない試合だった。

スタンドの打撃では阿部が有利という予想に反し、1R開始早々、いきなりバレットがパンチでダウンを奪う。これで歯車を狂わされた阿部は、そのまま最終3R終了までペースを掴めずじまい。途中、バレットにグラウンドでの顔面蹴りの反則があったこともあり、結果はドローだったものの、試合後の阿部は意気消沈していた。

「首の皮一枚つながったけど、ノゲイラ戦までは遠いなぁ」と言いながらも、「今年はサーティーズの年だそうですから、勝負しますよ」と意気込みを語った阿部。

ガンバレ、30代の星！　（林）

三代目格闘ビジュアルクイーン

長谷川京子（はせキョー）の超SRS宣言！

第25回

3・3 K-1 WORLD GP 2002 in 名古屋

2代目『SRS』格闘技ヴィジュアルクイーンの畑野浩子ちゃんと

ドラマにCMにと、いま人気大爆発の“はせキョー”。そんな大忙し状態の中、とっても楽しみにしていたというK－1名古屋大会は、はせキョーにどう映ったのか？　はせキョー的視点で、大会を振り返ってもらった。

誰とでも面白い試合をするレイ選手、今回のベル戦も「さすが！」でした

桜も咲いて、すっかり春らしい陽気になってきましたね。卒業、新入学のシーズンなので、皆さんの周りでもいろんな変化が起きているんでしょうか？　私も、この4月から始まるドラマ2本に出演することが決まって、あわただしく毎日を過ごしています。

さて、3月3日のK—1名古屋大会、もちろん、皆さんも見ましたよネ。私がK—1を見るようになってからは、トーナメントが多くて、選手は力を温存してたりとか、そういうのが感じられたんですけど、今回、久しぶりにワンマッチを見て、やっぱワンマッチって面白いなって思いました。カードもとにかく豪華！石井館長の「K—1は出し惜しみしません！」ってキャッチフレーズ（？）どおりですよね。

今回は、見どころがホントにたくさんありましたけど、私がもっとも楽しみにしていたのが、レイ・セフォー選手とマイク・ベルナルド選手の試合。たぶん昔からK—1を観ていた人たちは、ベルちゃんに感情移入していると思うんですけど、K—1観戦3年目の私は、レイ選手のほうが好きなんですよね。いつも、誰が相手でも、勝っても負けても面白い試合を見せてくれるし、入場もカッコ良くて、本当にエンターティナーだなぁって思うんですよ。顔もちょっと好みだし♥

試合は、やっぱ今回も面白かった！入場曲がいつもと違う曲だったし、いつもの陽気さがなくシリアスになっているという情報も入っていたんで、心配していたんですけど、「さすが！」って感じですよね。個人的にはレイ選手が勝ったのも嬉しかったデス。

もう1人とっても気になっていたのが、ジェロム・レ・バンナ選手。谷川さんから「今回のバンナはホントにヤバイ、天田選手に負けるかも」なんて話を聞いていたんで、どうなっちゃうんだろうって心配だったんです。もちろん、天田選手にも頑張ってほしいんですけど、バンナ選手には、やっぱり圧倒的に強いバンナ選手でいてほしいっていう気持ちもあって……。複雑な気持ちだったんです。

私がK—1を見始めた頃って、バンナ選手の全盛期で、フィリォ選手を一発でKOしちゃったり、それこそビックリするくらいのオーラが出ていたんです。でも、ここ最近あまり調子良くなくて。今回、天田選手にKOで勝って、復活のステップは踏んだのかなぁとは思いますが、5月にバンナ選手の地元フランスで、ハント選手に勝って、ホントの復活だと思うので、パリ大会ではぜひ頑張ってほしいなぁと思います。やっぱりバンナ選手みたいな人がいないと面白くないですからね。バンナ選手がいて、ハント選手がいて、レイ選手がいて、いろんなタイプの選手がいて、それこそ凄く面白いじゃないですか。バンナ選手には早く完全復活してほしいですよね。でも、私、パリ大会に行けそうにないんです。それがものすご～く残念で、悔しくて……。

メインのミルコ選手とハント選手の試合は、さすがに会場も盛り上がりました。ところで、ミルコ選手って、なんでこんなに人が変わってしまったんだろうって思いませんか？　これも谷川さん情報なんですが、「ミルコは前からああいうヤツだったんだけど、今まではキャラクターを出さなかったんだよね」とのことですが、前は、ジャージ姿がロボコップみたいでカッコイイし、顔もきれいで、結構好きだったんですよ。でも、今のキャラクターはちょっとなぁって感じです。私の中で好きな選手には入らなくなってきちゃいました。

そんなこともあって今回は、ハント選手寄りの応援をしちゃったんですけど、ハント選手、この前の中迫選手の試合から全然痩せてなかったですね。自分ではベストだって言っていたらしいですけど、もうちょっとダイエットしたら！って感じですよね。まあ、そこがハント選手のかわいいところでもあるんですけどネ。

結局、ハント選手は負けちゃいましたが、あのミルコ選手のハイキックをまともに受けながら、すぐに立ち上がったのには驚きました。やっぱり、普通じゃないですよ、ハント選手って。

判定決着だったけど、とっても面白かったこの試合。会場に来ていたファンの皆さんも、スッキリ楽しかったって感じでしたし、私も大満足でした。

最後に、ちょっと宣伝を♥　4月スタートのドラマ「九龍で会いましょう」と「ビッグマネー」見てくださいね！■

はみだしはせキョー　長谷川京子（はせがわ・きょうこ）1978年7月22日生まれ。『CanCam』（小学館）専属モデル。TV-CF『LASER SHOT』（Canon）、『FreshLook』（チバビジョン）OA中。4月12日～『九龍で会いましょう』（ANB系金曜 23:15～）、4月11日～『ビッグマネー！』（CX系木曜 22:00～）出演

番組インフォメーション

4/5の見どころ

情報提供◎『SRS』アシスタントプロデューサー・金井由紀子

地域によっては放送日時が異なります。また、この番組インフォメーションは3月19日現在のものです。都合により内容が変更になることもございますのでご了承ください。

読者の皆様へ！

毎週、『SRS』をご視聴いただき誠にありがとうございます。先日、一部雑誌上におきまして『SRS』が3月で放送終了するという旨が掲載されておりましたが、そんなことはありません！　誤報であります！『SRS』は、今後も皆様にお喜びいただけるような情報をお届けしていくことに変わりはありません。気が付けば、『SRS』は皆様のお力添えのもと、めでたく今年で7年目を迎えることになりました。ビバ！　長寿番組！

ところで、4月といえば番組改編期であります。そう。『SRS』も4月より新しく生まれ変わります。

リニューアルする際に掲げるテーマは「原点回帰」。もちろん、今までご覧いただいていた格闘技ファンの皆様はもとより、新しく格闘技を見始めた視聴者の皆様へも分かりやすく、そして面白く番組を楽しんでいただくために、これまでゲストとして登場していただいていた浅草キッドの2人を、レギュラーとして迎えることになりました！　パチパチパチ！『SRS』の屋台骨を支えていた御二方が、番組をどんな嵐に巻き込むのか？　3代目格闘ビジュアルクイーンの長谷川京子とともに番組を盛り上げていきますので、今後ともこれまで同様に変わらぬご支援のほどを宜しくお願いします！

注意！

3月29日のSRSはお休みです！

3月29日のSRSはお休みさせていただきます。くれぐれもご注意ください。なお4月5日からレギュラーとして浅草キッドの2人が登場します。ぜひお楽しみを！

『SRS』は金曜日深夜26時15分～26時45分（時間は変更することがあります）フジテレビ系で絶賛放映中。

4/5 リニューアル1発目はキックボクシング！

「小林聡＆武田幸三」特集！

4月5日（金）/26:15～26:45

リニューアル1発目の『SRS』では、小林聡と武田幸三の2人を大特集します！　先日行われたK-1中量級トーナメントで、キックボクシングといえば、魔裟斗や小比類巻貴之を思い浮かべる人が多いのでは。しかし！　K-1中量級だけがキックじゃな～い！　ムエタイの本場タイの王者に挑み続ける2人のキックボクサー、そう、激しい試合でファンを熱くさせる"野良犬"こと小林聡と"超合金"武田幸三の2人にもガ然注目なのだ。4月5日放送の『SRS』では、3月17日に後楽園ホールで行われた、小林聡とルンピニースタジアム・ライト級王者ナムサックノーイ・ユッダガーンガムトーンの試合と、3月24日にこちらも後楽園ホールで行われた武田幸三vsビックベン・ノッパラットファーム（ラジャダムナンスタジアム・ウェルター級5位）の試合を放送します。見る者の心を揺さぶる2人の試合をご堪能あれ！

▲打倒・ムエタイを掲げる2人。見る者を熱くさせる2人の試合に注目だ！

SRSホームページのアドレスはこちら
http://www.fujitv.co.jp/

SRSホームページでは、詳しい放送日程や最新・格闘技情報、『ロケ現場潜入日記』など内容満載です。また、人気コーナー『SRS FIGHT CLUB』では皆さんからの原稿を募集中です。あなたが書いたエッセイや観戦記、その他マニア情報、プチ情報などで作るコーナーです。あなたの熱い魂の叫びを書いて、どしどしお寄せくださ～い。それから、はせキョーのページもあるのでこちらも必見！

TV

日付	チャンネル	番組名	時間	内容・見所
3/28（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	8:00～10:00	GMCコミュニケーション、『THE CONTENDERS M-1』（01.6.10）
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	10:00～12:00	GMCコミュニケーション、『CLUB CONTENDERS Vol.1』（01.8.15）
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	14:00～16:00	東京・北沢タウンホールで開催の修斗、2.28『SHOOTO GIG EAST Vol.8』と3.13『TREASURE HUNT 2』を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	17:00～17:30	東海テレビ『PRIDE王』と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	19:00～21:00	3.15に後楽園ホールで開催の『プロフェッショナル修斗公式戦』。再放送4/1・4:00～、4/4・14:00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	O REI DO SHOOTO	21:00～22:00 23:00～24:00	海外で行われた修斗の大会を放送。内容未定。再放送3/29・13:00～、4/1・6:00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	22:00～23:00	さまざまな格闘技の最新情報を紹介する番組。毎回格闘家のゲストも登場し、ファイターの等身大の魅力に迫る
	BS朝日	パンクラスハイブリッドアワー	24:00～26:00	パンクラス2001総集編
	GAORA	週刊格闘JAM！	25:10～25:20	毎回、K-1、PRIDEなどから活躍が期待される選手や格闘技界の旬な話題から、選手個人の特集など格闘技界の様々な話題を取り上げる
	GAORA	角田信朗の格闘魂	25:30～26:00	正道会館の角田信朗がパーソナリティーを務める、ラジオとのメディアミックス企画番組。自ら格闘魂を語り毎回格闘家のゲストも迎える
	TBSテレビ	格闘王	25:50～26:20	内容未定。最終回
3/29（金）	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	7:00～8:00	3/28を参照。同日再放送12:00～、18:00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト（再）	8:00～9:00	WCFレアマテリアル・レビュー（総集編）1
	GAORA	全日本キックボクシング	25:00～27:00	2.15後楽園ホール大会。再放送4/9・10:00～
	フジテレビ	SRS	26:15～26:45	お休み
	日本テレビ	プロレスリング・ノア中継	26:20～26:50	3.25岡山武道館大会
3/30（土）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト（再）	8:00～9:00	『ユーロキックボクシング・クラシックス』（89.11.19&90.11.18）から9試合
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	26:10～27:10	3.24尼崎市記念公園体育館大会
	テレビ東京	WWFスマックダウンツアー・イン・ジャパン	27:05～28:05	●Pick Up①
3/31（日）	BS朝日	ワールドプロレスリング完全版	15:00～17:25	3.14 京都市体育館大会
	BS朝日	パンクラスハイブリッドアワー	18:00～20:00	PANCRASE 2002 SPIRIT TOUR 3.25後楽園ホール大会
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	27:00～28:00	3/28を参照
4/1（月）	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	17:00～17:30	3/28を参照。 再放送4/2・23:30～、4/4・13:00～、4/6・8:30～
	FIGHTING TV SAMURAI!	O REI DO SHOOTO	19:00～20:00	3/28を参照。内容未定。再放送4/2・13:00～、4/3・23:30～、4/6・10:00～
	TBSテレビ	ワンダフル	23:50～24:50	『格闘新世紀』／内容未定
	日本テレビ	最強魂	25:30～26:00	●Pick Up②
4/2（火）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	5:00～7:00	MA日本キック連盟、『キックガッツ2000』(00.5)
	東海テレビ	PRIDE王	24:40～25:10	『PRE-PRIDE4』（後編）
	テレビ東京	格闘Xパンクラス	26:35～27:05	●Pick Up③
4/3（水）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	5:00～7:00	MA日本キック連盟、『サムライ2000前哨戦』(00.6)
	GAORA	週刊格闘JAM！	17:05～17:10	3/28を参照。再放送4/4・16:05～
	フジテレビ	すぽると	23:50～24:30	毎回、格闘技界の旬な話題を取り上げる
4/4（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト（再）	4:00～5:00	WCFレアマテリアル・レビュー（総集編）2
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	5:00～7:00	MA日本キック連盟、『COMBAT-2000』(00.7)
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	19:00～21:00 26:00～28:00	3.10にZepp Tokyoで開催のGMCコミュニケーション『X-RAGE Vol.2』。再放送4/5・9:30～、4/10・14:00～
	GAORA	週刊格闘JAM！	25:10～25:20	3/28を参照。再放送4/7・21:05～
4/5（金）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	5:00～7:00	MA日本キック連盟、『COMBAT-2000』(00.9)
	フジテレビ	SRS	26:15～26:45	●P69
4/6（土）	スカイA	パンクラスハイブリッドアワー	18:00～20:00	3.25後楽園ホール大会
	Jスカイスポーツ1	WWFスマックダウンツアー・イン・ジャパン	18:30～21:00	3.1WWF横浜アリーナ大会を解説・小川直也、実況・辻よしなりで放送。
	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	20:30～21:00	3/28を参照。 再放送4/8・8:30～と18:00～、4/9・23:30～、4/11・13:00～
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	25:40～26:40	3.21 東京体育館大会
4/7（日）	BS朝日	ワールドプロレスリング完全版	15:00～17:25	3.17 愛知県体育館大会
	日本テレビ	プロレスリング・ノア中継	26:25～26:55	4.7有明コロシアム大会
4/8（月）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	5:00～7:00	サムライ、『サムライ～新たなる闘い～』(00.10)
	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	18:30～19:00	3/28を参照
	FIGHTING TV SAMURAI!	O REI DO SHOOTO	19:00～20:00	3/28を参照。内容未定。再放送4/9・13:00～、4/10・23:30～
	TBSテレビ	ワンダフル	23:50～24:50	『格闘新世紀』／内容未定
	日本テレビ	最強魂	25:30～26:00	内容未定。放送時間は予定
4/9（火）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	5:00～7:00	MA日本キック連盟、『ミレニアム・チャンピオンカーニバル』(00.10)
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	19:00～21:00	●Pick Up④
	東海テレビ	PRIDE王	24:40～25:10	『PRE-PRIDE5』オーディション
	テレビ東京	格闘Xパンクラス	26:35～27:05	3.25後楽園ホール大会
4/10（水）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	5:00～7:00	MA日本キック連盟、『COMBAT-2000 ミレニアム・スペシャル』(00.11)
	フジテレビ	すぽると	23:50～24:30	毎回、格闘技界の旬な話題を取り上げる
4/11（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト（再）	4:00～5:00	"ミスター撃圏道" スルタンマゴメドフ・カフカズ特集
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	5:00～7:00	MA日本キック連盟、『新春正月興行闘い続ける男たち』(01.1)
	GAORA	角田信朗のすぽ魂	18:00～18:30	『愛と涙と感動の浪花男』角田信朗が、様々なスポーツを紹介。GAORA独自のインタビューやゲストを迎え内容盛りだくさんの30分。第1回ゲストは長嶋一茂
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	19:00～21:00	●Pick Up⑤
	GAORA	全日本キックボクシング	19:30～21:30	●Pick Up⑥
	GAORA	週刊格闘JAM！	21:40～21:50	3/28を参照

ON THE AIR 3/28～4/11
格闘技番組ガイド TV&RADIO

Pick Up 1
『WWFスマックダウンツアー・ジャパン』
テレビ東京
3月30日（土）/27:05～28:05

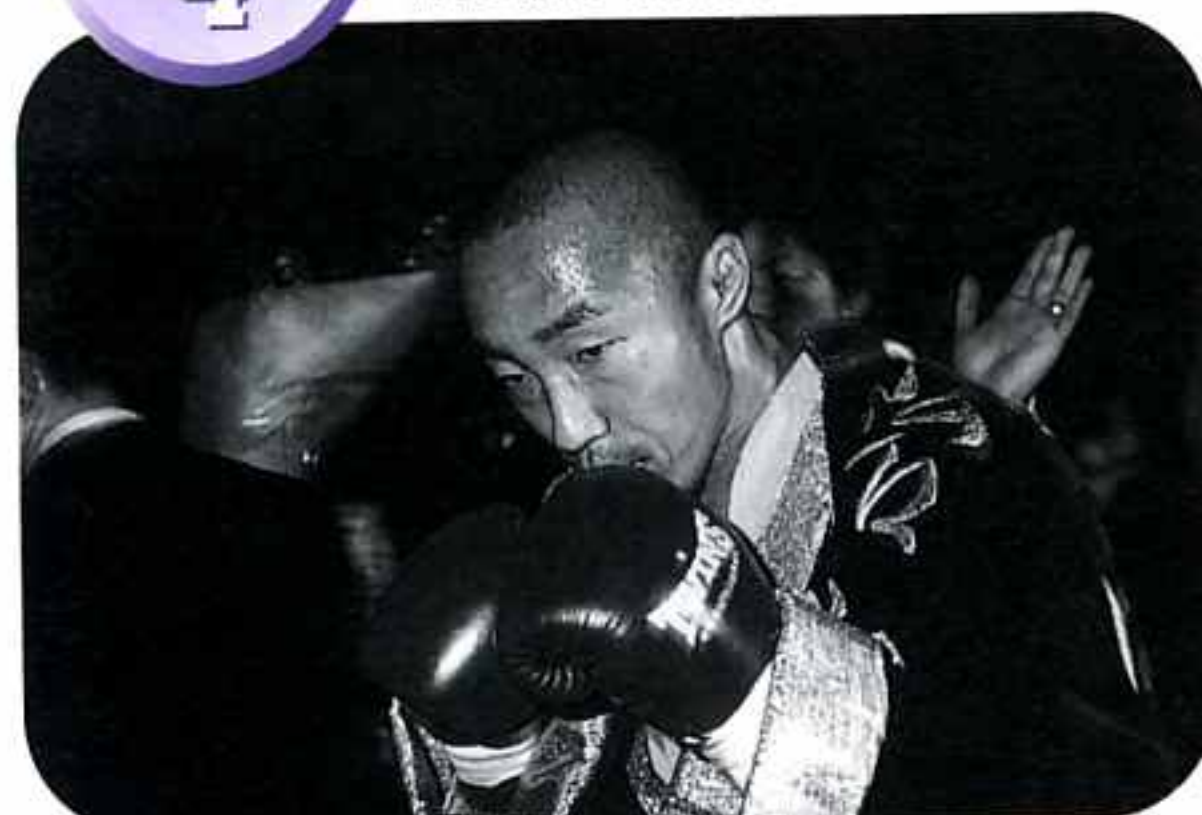
3月10日に放送予定だった3・1WWF横浜アリーナ大会は、WWFとテレビ東京の間で番組内容の調整が行われ、あらためて3月30日に放送されることになった。内容は、TAJIRIやショー船木など日本人選手の試合が中心になる模様。解説は全日本プロレス・武藤敬司。またクリス・ジェリコが試合中にインスタントカメラで取った写真も公開するぞ。（なお、Jスカイスポーツでも4月6日（土）18:30より、同大会の模様を解説・小川直也でオンエア）。

Pick Up 2
『最強魂』
日本テレビ
4月1日（月）/25:30～26:00

これまでK-1ジャパンの最新情報をお届けしてきた『超K-1宣言』が、4月から番組タイトルを『最強魂』に変更。内容もリニューアルし、K-1に限らず、極真空手やキックボクシングの試合など、立ち技系の格闘技を毎週取り上げていくことになった。もちろん、武蔵や中迫剛をはじめとしたK-1ジャパンの情報も随時放送。4月21日のK-1ジャパン広島大会の選手の近況やカードが気になる人は、引き続き同番組でチェック！

Pick Up 3
『格闘Xパンクラス』
テレビ東京
4月2日（火）/26:35～27:05

前号でもお伝えしたように、4月からパンクラスの情報番組「格闘Xパンクラス」が放送を開始する。第1回目の放送では、1993年の東京ベイNKホールでの旗揚げから、現在に至るまでのパンクラスの歴史を振り返る。また、番組では試合中継はもちろん、オーディションで選ばれた女子高生が番組アシスタントとなり、所属選手との企画もオンエアしていく予定だ。ファンにとっては念願の地上波での放送だけに、今から放送日が楽しみだ！

Pick Up 4
『バトルステーション』
FIGHTING TV SAMURAI!
〈3.24新日本キック後楽園ホール大会〉
4月9日（火）/19:00～21:00

3月24日に後楽園ホールで開催された新日本キック『GET FORWARD』の模様をオンエア。今大会のメインには、5月にラジャダムナン王者とのタイトル戦が決定している武田幸三が登場。ラジャダムナンスタジアム・ウェルター級5位のビッグベン・ノッパラットファームと対戦した。また同大会で行われた、日本フライ級タイトル戦、王者深津飛成にこれまで無敗のモンチーエシマが挑んだ試合も見逃せない！
（再放送…4/9・26:00～、4/10・9:30～）

Pick Up 5
『バトルステーション』
FIGHTING TV SAMURAI!
〈3.30MAキック後楽園ホール大会〉
4月11日（木）/19:00～21:00

MA日本キックボクシング連盟では、3・30後楽園ホール大会で8名の選手による60キロ級トーナメント『KING～COMBAT-2002～』を開催。同番組では、トーナメントの模様をオンエア。大本命はJ-NETWORKフェザー級王者の増田博正だが、トーナメントにはMAスーパーフェザー級王者のファイティング前沢やシルバーウルフの大宮司進などもエントリーしている。波乱含みの予感もするだけに、見逃せない！

Pick Up 6
『全日本キックボクシング』
GAORA
4月11日（木）/19:30～21:30

3月17日に後楽園ホールで開催された全日本キックボクシング『OVER the EDGE』を放送。この大会のメインでは、小林聡がルンピニースタジアム・ライト級王者と対戦した。超満員の観衆が見守る中、昨年のラジャダムナン王者打倒に続く快挙が期待されたが……。しかし敗れたとはいえ、王者に真っ向から挑む姿勢は、勝敗を越えて見る者の魂を揺さぶること必至。小林の生きざまを見て、何かを感じとれ！

※BS、CS放送は加入しないと視聴できません。加入のお申し込みに関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

■スカイパーフェクTV！
☎0570-039-888
（10：00～20：00）

■GAORA
〔スカイパーフェクTV！〕
☎0570-000-302
（月～金10：00～18：00）

■フジテレビ721＆739
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5500-8888
（10：00～18：00 土日祝除く）

■WOWOW
☎0570-008-080
（9：00～20：00）

■スポーツ・アイ・ESPN
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5474-3344
（月～金10：00～18：00）

■FIGHTING TV SAMURAI！
〔スカイパーフェクTV！〕
☎0570-039-888／03-5351-4055
（16：00～21：00）

■Jスカイスポーツ
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5500-3488
（9：30～18：00）

■スカイ・A
〔スカイパーフェクTV！〕
☎06-6452-1161
（月～金10：00～18：00）

BOOK
話題の本&新刊情報

〈新刊紹介❶〉 It's HOT!

『現代思想２月号増刊 プロレス』

青土社
本体価格 1,500円/発売中

究極の「プロレスの哲学書」登場！

『現代思想』と言えば、ポストモダンや現象学といった哲学的なテーマが多い専門の書。なぜ今回「プロレス」を取り上げたのか？ 企画者である同編集部の小島直人氏は言う。「プロレスと社会の関係性は、以前より指摘されてきたこと。プロレスを徹底的に論じることで、停滞する現在の日本社会の問題も暗に示したかった」。ちなみに氏は、大のプロレスファン。この企画は、入社してから10年来温めてきたものだとか。ターザン山本氏と精神科医・香山リカ氏との対談をはじめ、前田日明インタビュー、木戸修の髪型に関する考察など内容も多岐にわたっており、読み応え充分だ！

〈新刊紹介❷〉 It's HOT!

『プロレスvs格闘技 カリスマ大戦争』

ターザン山本著/KKベストセラーズ
本体価格 552円/発売中

まず読め！ そうすれば マット界を人の何倍も楽しめる！

80年代後半から90年代中頃にかけ“右手に観戦チケット、左手に『週刊プロレス』”を握りしめていた世代にとり、たとえそれが競馬雑誌やヘビメタ専門誌であろうとも、ターザン山本氏の名が記されているならばつい目を通さずにはいられないほど、氏の影響力は絶大であった。その氏が、桜庭和志の敗北や12.31『猪木祭』、ミスター高橋氏による暴露本など2001年のマット界を総まくりしたのが本書。自主謹慎を解いて本誌に復帰した山本氏の鋭い指摘は衰えておらず、氏の影響下にあった読者はもちろん、クラスマガジン化以後の世代でもビシバシ刺激されること間違いナシの1冊だ！

〈新刊紹介❸〉 It's HOT!

『プロレスラー魂の激白録108』

板内良著/柑出版
本体価格 1,400円/発売中

キミのポケットにレスラーの名言を！

プロレスラーがリング内外で発した名言を集めた『フラッシュバック』の第2弾が出たぞ！ 著者の板内氏自身が「まさか続編を出せるとは思ってなかった」と語るように、前作から10年ぶりとなる本書。登場するレスラーの名前をざっと眺めただけでも、この間にマット界がだいぶ様変わりしたのが見て取れる。昨年3月に両国国技館で、ノアの三沢光晴が発したあの言葉。横浜アリーナの金網の中で、観客を歓喜させた桜庭和志のあの名言。言葉の質や匂いが変化しても、「レスラーの言葉はファンを触発する」ことに変わりはないのだ！

〈新刊紹介❹〉 It's HOT!

『思考する格闘技』

松原隆一郎著/廣済堂出版
本体価格 1,200円/発売中

東大教授による格闘技本が出たぞ！

著者である松原氏は、東京大学大学院総合文化研究科教授であり、東孝塾長のもとで稽古に励む大道塾の塾生でもある。松原氏自身の格闘技経験をもとに、90年代の格闘技界を振り返ったのが本書だ。特に第1章では、格闘技を「実践性」「競技性」「精神性」、そして氏の専門分野である「経済性」という切り口から論じているのが面白い。グレー・ゾーンが多い分、想像力を働かせることによって見ることができるプロレスに対し、勝敗や技術論ばかりが論じられやすい格闘技。だからこそ氏の、経済学から90年代の格闘技ブームをとらえた考察は、一読に値する重要な視点と言えるだろう。

BOOK RANKING (3/1～3/15調べ)

1. 『八極拳2』
   張世忠監修/福昌堂
   本体価格 1,800円
2. 『護身～最強のリアルテクニック』
   佐山聡著/日本文芸社
   本体価格 1,300円
3. 『武術空手の知と実践』
   宇城憲治著/合気ニュース
   本体価格 2,300円
4. 『わが柔道』
   木村政彦著/学習研究社
   本体価格 600円
5. 『古流文芸帖』
   小佐野淳著/愛隆堂
   本体価格 1,500円

2位 『護身～最強のリアルテクニック』

初代タイガーマスク・佐山聡氏による護身術が網羅された本書。正面から襲われた場合から拳銃を突きつけられた場合に至るまで、暴漢からのさまざまな攻撃に対する対処法が記されているぞ！

書泉ブックタワー

東京都千代田区神田佐久間町1-11-1
☎03-5296-0051（代）

▲プロレス・格闘技の本を探すならここ、『書泉ブックタワー』！ 本誌のバックナンバーも常備しているので、探している本があったら秋葉原の書泉へGO！

書泉ブックタワー 後藤 実副主任

「4月から大学への進学などで、都内で独り暮らしをはじめる人も多いのではないでしょうか。プロレス&格闘技の書籍を多数取り揃えてありますので、上京した際は、ぜひ当店へお立ち寄りください」

※表示価格は全て税別価格

GOODS
最新&売れスジグッズをご紹介！

〈新作紹介〉 It's HOT!

『EMSフィットネス』
ケイ・アンド・ジィ/9,800円（税別）

着用するだけで筋肉を強化！

ウエストや腕、太ももなど、筋肉を強化したい部分に着用しスイッチを入れるだけ！ ギュッと引き締める電気刺激によって、脂肪を燃焼させ体の各種部分を鍛えられるアイテムが出たぞ。刺激の強さも10段階で選べるので、お好みの快適さで筋肉強化ができるのも嬉しい限りだ！

〈おすすめグッズ❶〉 Recommend

『ビタミン&ミネラル　バッグ』
ビタミン&ミネラル/4,980円～

ビタミン&ミネラルから バリエーション豊富なバッグ登場！

ブラジルの格闘技ブランド「ビタミン&ミネラル」から小道具入れに最適なバッグ登場！ 色は、青や緑、黄色など各種取り揃えてある。また、大きめのリュックタイプも用意してあるので、柔道着など大きめの荷物を持ち歩くには、こちらのほうをオススメ！

〈おすすめグッズ❷〉 Recommend

『ビタミン&ミネラル ラッシュガード』
ビタミン&ミネラル/8,800円（税別）

寝技を練習する際の必須アイテム！

寝技の練習の際、ヒジや肩がこすれスリ傷に悩まされている人も多いのでは。ラッシュガードは、スリ傷を防止するだけでなく、汗も効果的に吸収する。また自由に伸び縮みするので、激しい動きにも問題ナシ。まさに、総合格闘技をする人にとって最適な1枚だ！

PRESENT!

今回、このコーナーで紹介した『ビタミン&ミネラル　バッグ』を1名の『SRS・DX』の読者にプレゼントするぞ！ 希望者はハガキに、住所、氏名、年齢、職業、電話番号と今号の感想を明記した上で、下記のあて先までご応募を。締め切りは、4月11日（木）の消印有効だ。

あて先/〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F　SRS・DX編集部
『ビタミン&ミネラルバッグ』係

東京イサミ
前田道範 店長

「4月28日（日）に当店で、前田日明さんのサイン会を行います。時間は12時から14時までの2時間を予定してます。ぜひお気軽にお越しくださいませ」

東京イサミ
東京都新宿区新宿4-2-21 相模ビル3F
☎03-3352-4083
HPアドレス http://www.isami.co.jp/
営業時間/11:00～19:00（火曜、祝日定休）

Et cetra

船木、ジャッキー・チェンに挑戦状！？

3月16日（土）から東京・新宿トーアで劇場公開された「シャドー・フューリー」。主演を務めるパンクラスの船木誠勝が、初日の舞台あいさつを行った。当日、会場には格闘技の熱烈ファン・桜庭あつこが特別ゲストとして登場。船木のチョークスリーパーにゴホゴホゴホと咳き込む場面も。「ぜひ今度、共演したい♡」と桜庭。「次のスクリーン場での相手は？」との記者団から質問に船木は「誰とでもいいが、できたらジャッキー・チェンとやりたい」とコメント。新日本プロレス時代に噂された船木vsジャッキー・チェンが、舞台をスクリーンに移し10年来の歳月を経て、いよいよ実現に動き出すか？映画界で活躍する船木の動向にも目が離せそうにない！

◀船木のスリーパーに「失禁しちゃいそう」と桜庭。会場が笑いに包まれた

IVY BOOKs大阪店が4月10日にオープン！

プロレス＆格闘技グッズ専門店「IVY BOOKs」が名古屋・福岡に続く新店舗を、4月10日（水）に大阪にオープンする。同店では、秋山準Tシャツをはじめ、破壊王タオル、桜庭和志フィギュアなど多数のグッズが取り揃えてある。関西のプロレス＆格闘技ファンは、さっそく同店に足を運んでみよう！

◆オープン日/4月10日（水）
◆場所/大阪市浪速区日本橋4-15-21 Gee Store 1F
◆お問い合わせ/IVY BOOKs本店 ☎052-459-7122

後楽園ホールのオフィシャルサイトがリニューアルOPEN！

後楽園ホールの公式サイトが、全面リニューアル！ 年間興行スケジュールに加え、写真とともに格闘技の歴史を振り返るコーナーや、名勝負を残したボクサーやレスラーに後楽園ホールにまつわるエピソードを語ったインタビューなどが新設されたぞ！ 格闘技ファンにはたまらない内容となっているので、今すぐアクセスしてみよう！

◆アドレス/http://www.tokyo-dome.co.jp/hall
◆お問い合わせ/（株）東京ドーム ☎03-3817-6072

前田日明サイン会開催！

先日、山崎一夫のトークライブに出演した前田日明が、今度は東京でサイン会を開催するぞ！ 場所は、本誌グッズコーナーでおなじみ東京イサミ。当日は、「クイック・キック・リーTシャツ」や「アディオス・アミーゴスTシャツ」などリングス関連のTシャツを購入者に整理券を配布する。色紙以外にも、サインしてもらいたいものがあったら持ち込み可能。ゴールデンウィーク直前なので、地方からのファンも駆け付けやすいぞ！

◆日時/4月28日（日）12:00～14:00（予定）
◆場所/東京イサミ（JR「新宿」駅から徒歩5分）
◆対象/「クイック・キック・リー」「アディオス・アミーゴスTシャツ」などリングス関係のTシャツの購入者に整理券を配布
◆お問い合わせ/東京イサミ ☎03-3352-4083

キックボクシング＆フィットネス「ターゲット」が新クラス開設！

元WMAF世界スーパーウェルター級王者の伊藤隆主催のキックボクシング＆フィットネス「ターゲット」が、4月よりゴールドジム原宿とゴールドジムさいたまスーパーアリーナで新しいキックボクシングクラスを開設するぞ！ 原宿でのクラスは、主にダイエットをメインとし、キックボクシングを通じてウェストや腕、足等を曜日別に集中して運動するもの。またさいたまでのクラスは、5歳から15歳までを対象としたキッズボクシングクラス。こちらのほうは、キックボクシングを通じて、どんな状況でも諦めない精神を鍛えていく予定だ！

【ターゲット・ダイエットキックボクシングクラス】
◆場所/ゴールドジム原宿
◆日時/毎週火、金曜日（どちらも16:45～18:15）
◆入会金/10,000円（※先着30名まで入会金無料）
◆月会費/8,000円
◆お問い合わせ/ゴールドジム原宿 ☎03-5414-3903

【ターゲット・キッズボクシングクラス】
◆場所/ゴールドジムさいたまスーパーアリーナ
◆日時/毎週火曜17:00～18:30、金曜16:30～18:00
◆入会金/5,000円（先着20名まで入会金無料）
◆月会費/6,000円
◆お問い合わせ/ゴールドジムさいたまスーパーアリーナ ☎048-600-3939

大会結果

【第12回グローブ空手オープン選手権大会】
※3月16日（土）東京武道館にて開催
◆55kg以下の部/優勝：畠山悟史（フリー）
/準優勝：天野順一（J-NETWORK）
◆60kg以下の部/優勝：高見澤孝夫（BUNGYM）
/準優勝：永井清道（留魂塾）
◆65kg以下の部/優勝：丸山祐之（鍛練会）
/準優勝：今田択（拳桜会）
◆70kg以下の部/優勝：林丈典（BUNGYM）
/準優勝：小松崎忍（鍛練会）
◆最優秀選手賞/60kg以下の部・高見澤孝夫（BUNGYM）
◆ベストファイト賞/65kg以下の部
今田択（拳桜会）vs丸山祐之（鍛練会）

宇月田麻裕の
Mahiro Utsukita

北斗占い

破軍　武曲　廉貞　文曲　貪狼　禄存　巨門

3/28〜4/10

★北斗占いとは★

古来インドの「北斗七星の信仰」が中国に伝来し、陰陽五行説と結合。そして、日本密教の１つとして発展していった。平安時代以降は、北斗七星の中の１つの星を、自分の守護星として、除災招福を祈願したものである。この「北斗七星の信仰」を、宇月田麻裕が「北斗占い」として蘇らせた。絶好調の星には、吉兆星が輝き、不調の星には凶兆星が現れる。

北斗本命星早見表（ホクトホンミョウジョウ）

貪狼星	巨門星	禄存星	文曲星	廉貞星	武曲星	破軍星
	1959	1958	1957	1956	1955	1954
1960	1961	1962	1963	1964	1965	1966
	1971	1970	1969	1968	1967	1978
1972	1973	1974	1975	1976	1977	
1984	1983	1982	1981	1980	1979	
	1985	1986	1987	1988	1989	1990
1996	1995	1994	1993	1992	1991	

★あなたの生まれ年で、本命星が分かります。
例）1972年生まれの人は貪狼星　※節分前の生まれの人は、前年の星になります

貪狼（タンロウ）……社交家タイプ。現実的で、交友関係の幅広く、交際の達人
巨門（キョモン）……研究家タイプ。話術に優れ、研究熱心に取り組みます
禄存（ロクゾン）……経済家タイプ。悠長な雰囲気を醸し出し、経済観念に優れています
文曲（モンゴク）……芸術家タイプ。あなたが奏でる芸術的センスは、全てを魅了します
廉貞（レンテイ）……聡明な自信家タイプ。聡明なうえに実行力が伴い、勝負強いです
武曲（ブゴク）……権威タイプ。情熱的で、権威を好み、リーダーシップを取っていけます
破軍（ハグン）……個性派タイプ。自立心、独立心があり、劇的な人生を歩みます

貪狼星

全体運
吉兆星が輝いています。環境の変化が訪れる時。職場内での移動や引越し、変化はそれぞれだけど、うまく変化に順応できて、今までよりも楽しい生活になりそう。新しい仲間の中で、親友となりそうな人がいるので探してみて。

恋愛運
環境の変化は恋愛にも影響。新しい出会いがあったり、恋人がチェンジしたりする可能性があり。ただし、チェンジする時には、先のこともよ〜く考えて。

勝負運 簡単に誘いに乗ると勝運を逃すことに。

健康運 ムリをし過ぎてはダメ。気楽に構えていよう。

金運 交際費がかさみそう。節約しないとピンチに。

★ラッキーカラー★ グレイ
★ラッキーアイテム★ タオル
★ラッキースポット★ 競技場

巨門星

全体運
情報が集まる時。全部をゲットしようとしたら、何も掴めずに終わるキケンがあるので、大切なものからセレクトして。また、どんなに忙しくても、やるべきことは後回しにしないで、先に済ませておくとラッキーチャンス到来。

恋愛運
好きになった人にはすでに恋人がいた、な〜んてショッキングな事件があるものの、略奪できるスキもあり。後ろ指を指される覚悟があるなら略奪もOK。

勝負運 インターバルの取り方によって勝運が決定。

健康運 睡眠不足は大敵。寝る時間が惜しくても寝よう。

金運 株や為替の変動に敏感になるとラッキーあり。

★ラッキーカラー★ スカイブルー
★ラッキーアイテム★ カメラ
★ラッキースポット★ 自宅

禄存星

全体運
エネルギー100％発揮といかないところ。記録更新や試合の優勝を狙っている人は、甘く見ていると痛い目に遭いそう。慎重にキッチリとやっていくことで、100％に近付けるハズ。マインドコントロールがポイントとなる時。

恋愛運
トラブルの暗示。ライバルが出現したり、恋人の浮気が発覚したり……、何が起きても、堂々としていること。じゃないとフラレてしまう悲劇の可能性あり。

勝負運 ビビって動き回ると、運が逃げていきそう。

健康運 気分転換をしていくことが元気キープの元。

金運 必要だと思ったお金は惜しまず出してOK。

★ラッキーカラー★ レッド
★ラッキーアイテム★ ソープ
★ラッキースポット★ 地下道

文曲星

全体運
強欲にやり過ぎると、アクシデントが発生する暗示。何事もほどほどにしておくことが運を乱さないコツ。試合でもトレーニングでも、みんなに良いところを見せようとか、大技狙いでいくと、結果的に実力が発揮できなかったりしそう。

恋愛運
あなたの理想の人をゲットしようとして、新しい出会いを求めても可能性なし。ワンランクダウンさせて。カップルは性の相性がイマイチって感じる瞬間が。

勝負運 西の方角から勝負に対する吉報の暗示あり。

健康運 筋肉が凝り固まりやすい時、揉みほぐそう。

金運 友達からの情報に耳を傾けると得しそう。

★ラッキーカラー★ オレンジ
★ラッキーアイテム★ ポスター
★ラッキースポット★ ブックショップ

廉貞星

全体運
順調なリズムに乗り、プランなどがトントン拍子に進む暗示。もし、進まない場合があったら、それはプランが悪いか、あなた自身がなまけているせい。でも、契約書関連は、あなたではなく書面に問題があるので、再確認してみて。

恋愛運
マンネリぎみのカップルはイメチェンをしてみよう。ヘアスタイルやファッションを変えてみると愛が再燃しそう。シングルはデートの誘い方がキメ手。

勝負運 同じ星の先輩のアドバイスを聞くとグッド。

健康運 スタミナがあるので色々とチャレンジして。

金運 うまくネットを利用するとかなり得しそう。

★ラッキーカラー★ ゴールド
★ラッキーアイテム★ ノート
★ラッキースポット★ 駅のホーム

武曲星

全体運
凶兆星がまだ居座っています。イライラしたり、春の陽気に思わず居眠りしてしまったり……。なかなか生活のリズムが掴めない時。ムリしてリズムを作ろうとするよりも、人との約束や責任ある職務をキチンとこなすほうが大事。

恋愛運
ハートよりも、体が目当てでエッチしてしまったり、性欲があなたを混乱させそう。遊びで済む相手なら良いけど、そうじゃなかったら大変なことに。

勝負運 神社の近くで勝負を賭けるとグッド。

健康運 脂肪が付きやすいのでお酒と脂物は控えめに。

金運 欲しいものはネットオークションが狙い目。

★ラッキーカラー★ パステルカラー
★ラッキーアイテム★ チケット
★ラッキースポット★ オフィスビル

破軍星

全体運
何かと責任ある仕事や幹事を任されたり、活躍のステージがある暗示。仕事でもトレーニングでも、あなたの思ったように言動してOK。躊躇せずに、チャンスだと思ったらチャレンジしてみて。周囲であなたの株が急上昇しそう。

恋愛運
歓送迎会で恋のハプニングの期待。ターゲットがいる人は、隣の席を即ゲットしよう。カップルは、相手の魅力を確認し、お互いに磨いていくと愛がキープ。

勝負運 ギャンブル運があるので狙ってみて。

健康運 関節がポイント。サポーターなどをして。

金運 金運UP。くじや懸賞に応募してみよう。

★ラッキーカラー★ イエロー
★ラッキーアイテム★ アクセサリー
★ラッキースポット★ コンビニ

宇月田麻裕　ヒューマンディレクターとして、ハッピネスファクトリーを主宰。独自の占術「北斗占い」を中心に、TBS「ワンダフル」出演をはじめ、雑誌、
……「テレフォンナンバー占い」オープン。URL http://www.happiness-f.com/

一撃コラム 最終回

フィリォの再来になれるシュルトのK-1参戦は、緊張感でいっぱいだ！

座談会でターザン山本氏が「真のシュート性は初対決にある！」と言っていたが、格闘技というジャンルの特性を考えると、それは非常に重要なポイントである。

格闘技が他のスポーツと決定的に違うのは、ジャンル外の闘い＝他流試合ができることだ。その特性を生かすことで、格闘技は他のスポーツとは比べものにならないほどの人気を得てきた。

たとえば、ボクシングにはアマチュアが存在し、プロテストを受けて4回戦、6回戦、8回戦、日本タイトル、世界ランキング入り、世界タイトルという手順を踏まなければ一番になれない。たいていのスポーツはこうしたヒエラルキーのもとに成り立っているのだが、格闘技はやり方ひとつでボクシングの世界王者とプロレスラーがいきなり他流試合をすることができる。

そこには、手順もへったくれもない。だから、普通のスポーツマインドを持った人間からは眉唾で見られるのだが、格闘技で言えば、ボクシングやキックボクシングなどの純スポーツよりも、他流試合という測定方法のほうが注目を集めてしまうのだ。格闘技ほど、四六時中「スポーツマンNo.1決定戦」をやっているジャンルはないのである。

K-1や『プライド』は、まさにそうやってのし上がってきたジャンルだが、だからこそ他流試合は、ファーストコンタクトこそ最も刺激的なのである。たとえば、フィリォが極真からK-1に初参戦した時は強烈なインパクトがあった。しかし、それが慣れてくると、だんだんそのジャンルのヒエラルキーに手順を踏んで強くなっていくように見えてくる。そうすると、見る側も普通のスポーツマインドになり、他流試合をやっているという感覚が薄れてきてしまうのだ。

それをさらに詳しく言うと、初体験の強烈なインパクトが薄れてしまうのは、その人間の底が見えてしまうからだ。逆に言えば、底が見えてしまった時、その選手には他流試合感覚が見えなくなり、ジャンルに溶け込んだスポーツマンに見えてしまうということである。

"一撃"で相手をマットに沈めている間、K-1でのフィリォの試合は全てが他流試合的だった。それは、フィリォの底が見えなかったからである。バンナに逆一撃でやられた時も、まだフィリォの本当の底は見えていなかった。

だが、バンナに負けて以来、フィリォはどこかK-1の闘いに溶け込もうとしているように見えた。そうすること自体、フィリォ自身がK-1のヒエラルキーを昇っていく一番の方法だと考えたからだ。

しかし、フィリォがそう思い込んでしまって以来、フィリォは極真戦士ではなく、K-1ファイターに見えるようになった。もし、フィリォがもう一度あの頃の新鮮さ、強烈なインパクトを与えるとしたら、それは『プライド』に出るしかない。競技内での最強を目指す発想をブチ壊す——競技の枠を超えた魅力を引き出すにはそれが一番の方法だろう。

そう考えると、グレイシー一族はどんな選手と闘っても、初対決のインパクトがあった。グレイシーとフィリォの差は、試合数とモチベーションにある。ヒクソンが少ない試合で大金を得ようとするのは、感覚的に初対決のインパクトを与えることが、幻想を守り続ける最良の策だと思っていたからだ。しかし、そのグレイシーもだんだん底が見えるようになってきたから、時代の最先端を他に譲り渡すことになったのである。

その時代の最先端に躍り出て、今一番シュート性を感じるのが、ノゲイラとミルコ、そしてシュルト。この3人に関しては、いまだに全試合に他流試合のシュート性を感じることができる。強くてもコールマンやヒーリングは底がある程度見えてきてしまっているので、『プライド』の試合といえども、その競技内での強さしかイメージできないのである。

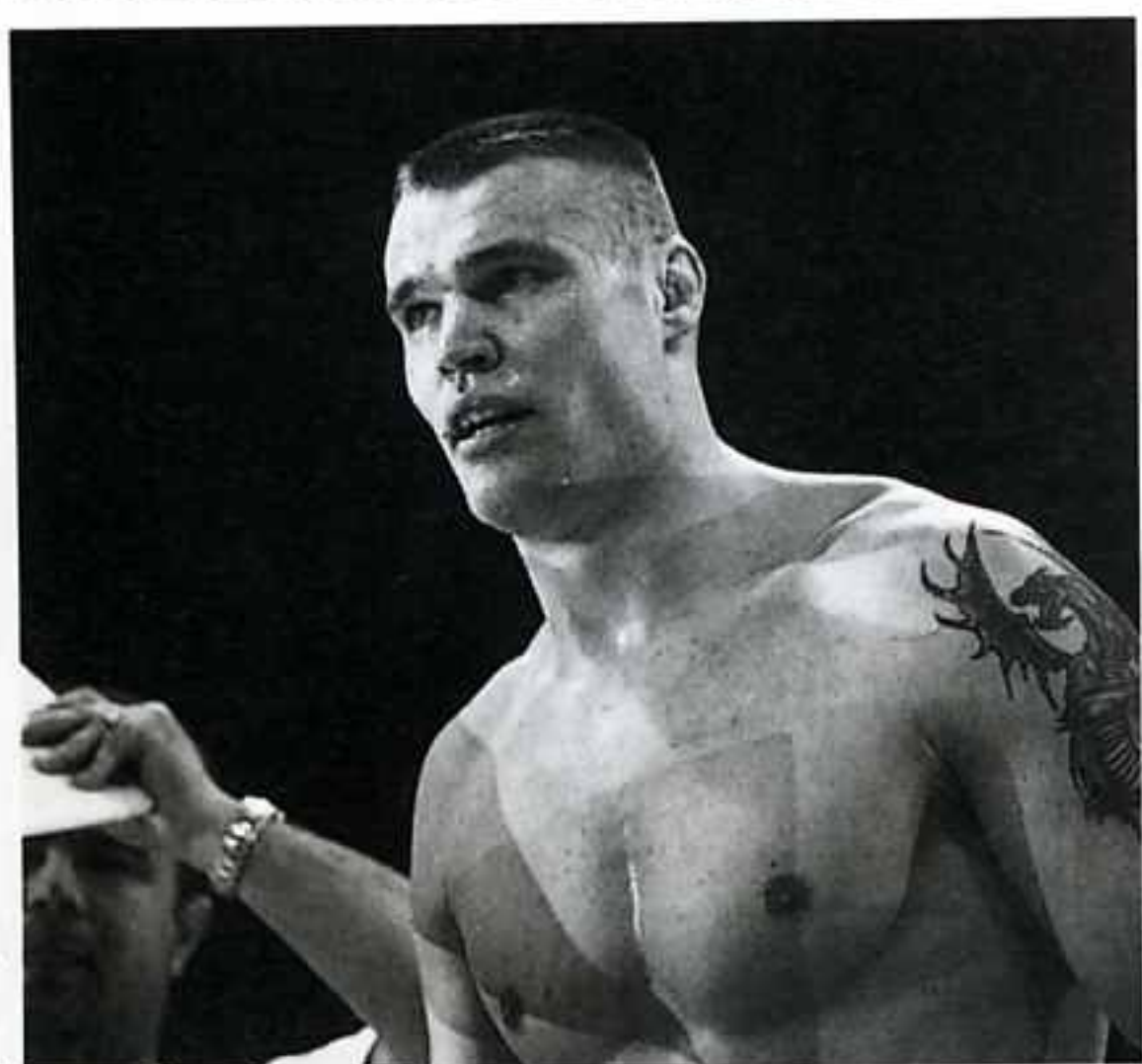
だったら、コールマンやヒーリングは、もう一度そのジャンルを飛び越えてしまうしかない。ノゲイラのK-1挑戦がワクワクするのは、『プライド』でも底が見えないのに、さらにもう一度自分の中のヒエラルキーを崩しているように見えるからである。たとえ負けたとしても、こんな凄い話はない！

4・21K-1ジャパン大会で行われるシュルトVS武蔵の試合もそう。K-1という相手の土壌に一歩踏み出した時点で、この一戦はすでにシュルトに軍配が上がる。もしかしたら、シュルトはデビュー戦の頃のフィリォのような存在になるかもしれない。K-1ルールで武蔵が、佐竹や高山のように何も触れないまま負けたら、シュルトはK-1で今年一番のタマとなるだろう。

『プライド』におけるミルコの存在もまったく同じだ。ミルコはVTルールでまだ底を見せていない。だから、ミルコの試合はどれもシュート性を強く感じる。こういう選手の試合が興行的にも一番興味を持たれるのだ。ミルコがヒクソン的存在と言われるのも、そういうところに理由があるのである。

そう考えると、最初から総合を目指して、デビュー戦からひとつずつ階段を駆け上がってくる選手は、逆にその当たり前のことがプロとしての商品価値を下げていることになる。他のジャンルで一番になった選手の他流試合には、やはりかなわないのである。

もはや、格闘技は競技の枠を越えた闘いにしか興味は持たれなくなってきた。それがK-1VS『プライド』が実現することでの一番の功罪だ。その大他流試合時代は、もう目の前に迫っている。

（谷川）

▶K-1ルールでシュルトがどこまで強いのかを見られるのは、今後のK-1の楽しみのひとつだ

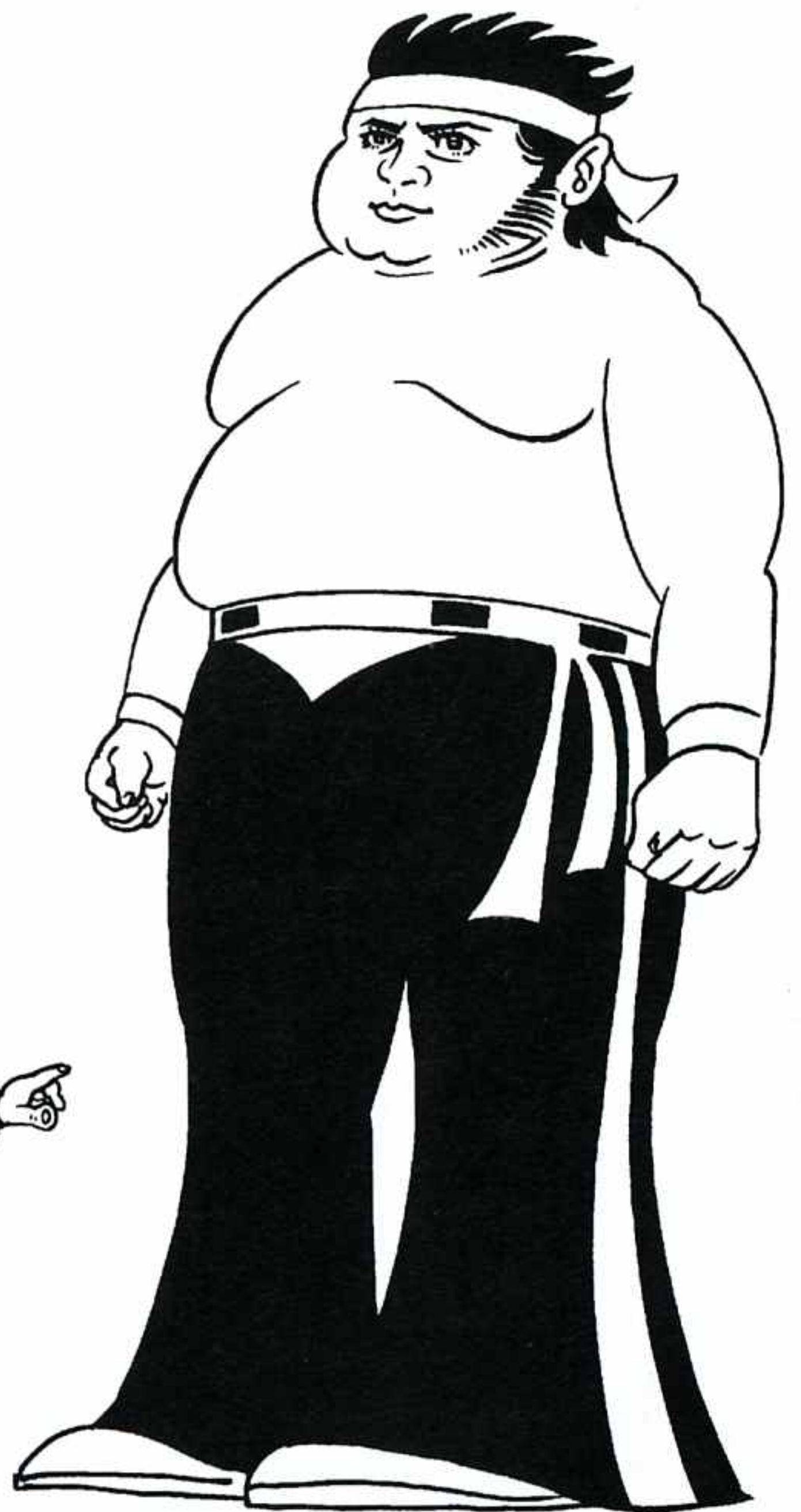
ABNORMAL★MOGUTAN

あぶもぐ

大阪場所 四日目

親方◎小松モグタン

01

YMO

Hakaioh

hinya Hashimoto New Single "Willow Weep for Me" Now On Sale!

猪木さんの発明した『トルク誘導発電装置』は、世界のエネルギー事情と環境問題を一気に解決してくれる画期的な発明品。『トルク誘導発電装置』ぐらい、世間をアッと言わせるような作品を期待しております。

PRIDE VS K—1より、K—1 VS 大相撲!

(小川徹・埼玉県八潮市・16歳)

◆やっぱり、初心を忘れちゃいけねぇんです。そういえば、この前まで大阪場所やってたんだ。すっかり忘れてた。ミルコのハイキックでも、千代大海の首にゃ通用しねぇだろう。北の湖新理事長ご英断を!

ターザン復活に、祝辞が続々!

(安武乃丸・石川県金沢市・?歳)
◆初入幕の安武乃丸登場! ターザンLOVEを感じさせるこの作品は最高ですよォォォォォ! もう、再起不能ですよォォォォ!

ターザン山本様　安田のことがなかったら、ターザンの毒は大好きです。安田、『SRS・DX』、そして俺はターザンに勝利したのだ!! 安田のことはそっとしておいてください。
(安田顕・石川県金沢市・?歳)
◆ターザン氏に安田をいじくってもらえれば、今よりもっと輝きますよォォォォ! かってに勝利宣言を出すなアァァァ!

ターザン山本様　やっぱりターザンの記事は一味も二味も違うわぁ~。『SRS・DX』の中で2番目に素敵だ!! これからも前座のポジションで『SRS・DX』のために命を削ってください。
(安田顕・石川県金沢市・?歳)
◆2番目って、1番目はどれだい!

ターザン山本復権祈念超シュート座談会が面白かった。たしかに大晦日の『猪木祭り』以来、K—1戦士の総合への適正さを考えてみるようになりました。立ち技番長のコラムも面白かった。たしかに極真・正道の選手に迫力に欠けるなと思われるところがある。だから、K—1中量級が面白く感じられたのは、小比類巻などの迫力が勝ったからじゃないかな。なるほどと思いました。
(橋本健生・岡山県倉敷市・40歳)
◆ターザン氏のおかげでK—1の見方が分かったら、もうけもんですよォォォ! 感謝しろォォォォ!

ターザン山本さん、復帰おめでとうございます。Showは最近TVなんかに出て、天狗になっていたので、消えてよかったです。
(丸野孝生・福岡県久留米市・27歳)
◆ターザン氏が復権したら、次は〝Show〟大谷氏の復活の番ですよォォォォ!

武蔵VSグラウベの武蔵に対する記事が最高に良かった。記事を読んでもの凄くスッキリした。武蔵に対しての苛立ちは、男性格闘技ファンなら誰もが感じていたはず。本当に武蔵の試合はつまらない。すぐに痛い顔をして、屁理屈。この記事を読めただけでも今号を買って良かったと思えた(毎号買ってるよ!)。次号からは(プチ)の記事をチェックしながら楽しみたいと思います。不満ナシ。
(吉岡伸・東京都青梅市・30歳)
◆武蔵の試合を見てイライラして、カタブツ君氏の記事を見てスッキリする。最高のパターンですよォォォォ!

3分間強いウルトラマンみたいな和田レフェリーを期待しています。
(佐々木輝・香川県木田郡・33歳)
◆「いやいやもう、勘弁してくださいよぉ~。もう、笑ってください、笑ってください」。3分間なら、ウルトラマンにも負けませんよォォォォ!

和田良覚デビューって、てっきり『DEEP』でレフェリーをやると思った。でもVTやったら強そう。
(井口登・大阪府茨木市・28歳)
◆「いやいやもう、勘弁してくださいよぉ~。もう、笑ってください、笑ってください」。3月30日は、和田良覚最強伝説を確認しに、名古屋へ行け!

表紙を小川かと思ってました。家に帰ってくるまで気付きませんでした。厄年の私の厄を祓ってください。
(阿部明美・千葉県船橋市・30歳)
◆石井館長と小川を間違えるなんて、失礼ですよォォォ! 館長なら、絶対に厄払いをしてくれますよォォォォ!

最近、石井館長が表紙を飾っていることが多く、インタビューも面白いので、ドンドン載せてほしいです。
(柳沢志保・東京都練馬区・30歳)
◆WWFのTシャツを着た石井館長の表紙は、素晴らしく評判がいい! 館長に「JUST BRING IT!」って言われて、かかっていけるヤツはいるのか!

ホドリゴ君、〝グレイシー〟ってカンジじゃないですよね!! 強いけど。特撮好きなのがかわいい。やっぱこっちへ来たら「まんだらけ」とか行っているんですか? 私、WWFって雑誌でしか見たことないんです。面白いみたいですよね!! 現地で体験したかったなぁ。私はK—1の選手と試合に「色気」を感じます!! どこがってうまく説明できないけど。「くぅ~~~~っ!! たまらん!!」ですわ。
(米光ゆかり・東京都練馬区・32歳)
◆WWFは面白いですよォォォ! 何度も言うけど、最前列でロック様のサポーターを手に入れましたよォォォ! これこそ、「くぅ~~~~~っ!! たまらん!!」ですよォォォォ!

ホドリゴ・グレイシー選手と僕の趣味が同じなので驚きました。つまり僕もボンクラだと。3・2『スマックガール』のメインですが、悪いのは篠原光じゃなくて、どう考えても篠代表でしょ。そこんとこヨロシク!
(春名義行・兵庫県明石市・35歳)
◆やっぱり篠代表が悪いの? 篠さんは日本のプチなビンスですよォォォォ!

「WWF日本上陸で、マット界はどう変わる!?」で、場外乱闘で解説席の武藤敬司にジェリコがビンタを食らう場面や、ロックが武藤のペットボトルを奪い毒霧をした場面があって、『SRS・DX』の写真を見るだけでロックVSジェリコの試合が伝わった。そこが凄く面白かった。
(小川徹・埼玉県八潮市・16歳)
◆これが『SRS・DX』のカメラマンの腕ですよォォォォ!

あて先

〒101-0054
東京都千代田区神田錦町
3-14-12神田NSビル8F
SRS・DX編集部『あぶもぐ』係

★作品募集

『あぶもぐ』では、読者の皆さんからのお便りをお待ちしております。相撲関係オンリーと言いたいところですが、べつになんの作品でも結構! 強烈なぶちかましをお待ちしております。

Eika chan

聞き手◎沖崎亜希
撮影◎吉澤晃（試合写真）

3・2『スマックガール』でナナチャンチンと対戦し、デビュー戦を初勝利で飾った、15歳のバーリ・トゥーダーEikaちゃん！「中学生をリングに上げて大丈夫なのか？」という声も聞かれるが、格闘技歴10年以上という立派なファイターなのだ。この3月に中学校を卒業したばかりで、今は高校進学に向けて春休み中のEikaちゃんにインタビューをしてみた。

15歳の総合格闘家Eika！
学業と格闘技で大忙しの青春！

――Eikaちゃん、先日は初勝利おめでとうございます！ そして高校進学おめでとうございます！

Eika ありがとうございます！

――受験勉強大変でしたか？

Eika 全然！ 推薦だったんで余裕でしたー。

――まぁ！ それは空手のほうでの推薦ですか？

Eika いえ、違います。ちゃんと勉強のほうですよ！

――失礼しました！ 文武両道なんですね！ Eikaちゃんのお父さんは美容師をされてるんですって？

Eika はい。ずっと空手の道場をやりながら、美容師もやっていて、私も将来はやっぱり美容師になりたいです。

――空手はやめちゃうんですか？

Eika いえ、道場も継ぎたいです！

――偉いな～。親孝行ですね！ ちなみに、お父さんはおいくつ？

Eika 今年41歳です。

――へぇ～、ウチの谷川編集長と同い年ですね。って、誰だか知らないですよね！ 『スマックガール』にはどういう関係で出ることに？

Eika お父さんがレフェリーもやってるんで、それで。

――お父さんは試合について何か言ってました？

Eika 「もっと打撃でいけばよかったのに」って。でも、勝ったんで喜んでくれました！

――お母さんとか心配していませんでした？

Eika 凄ーい、心配してましたけど、試合が載った雑誌の記事とか見て、喜んで騒いでましたね！ でも、自分では、記事になるの初めてだから、写真とか出てて恥ずかしいです。

――クラスの子は読んでました？

Eika 雑誌じゃなくてテレビの『ワンダフル』にも出てたんで、みんな見てて。みんなから「スマック」って呼ばれるように（笑）。

――それはイイですね！ 「スマック」といえばEikaちゃんていうくらい、『スマックガール』の代名詞のような選手になってくれるとイイなぁ。ナナチャンチンさんも、ある意味『スマックガール』を代表する選手なんですが、どういう印象を持ちました？

Eika （遠慮がちに）思ってたよりは、攻撃してこなかった。

――強いですか？ 弱いですか？

Eika （かなり遠慮がちに）あ～、ハッキリ言ったら、ちょっと弱い……。

――ナナチャンチンさんは練習が大好きで、結構やってるみたいなんですけどね～。Eikaちゃんは週にどのくらい練習を？

◀Eikaちゃんは、3・2『スマックガール』でナナチャンチン（チーム南部）と対戦。打撃、寝技ともに圧倒し勝利した。年齢はひと回りほど下だが、Eikaちゃんのほうが格闘技歴はひと回り上なのだ

Eika 空手の練習は、週4回、1日

ですねー。中学の時はソフトボール部入

かり見てますね。Gacktさんのファ

Eika はい。竹下通りとか渋谷のマ

友達からはもう「スマック」って呼ばれてます（笑）

Eika　空手の練習は、週4回、1日2時間やってます。組み技はあんまりやってないんですけど、週に2時間、柔道の練習があるので、その時に。

――勉強もしながら空手の練習もして大忙しですね！　それにしても、「組み技の練習はあんまり」って言いながらスリーパーで勝っちゃうなんて、やっぱり格闘センスがあるんですかね～。

Eika　でも、この間の試合では打撃があんまり出せなかったので残念でした。初めての総合の試合で、相手が何やってくるか分からなかったんで。後の試合で鼻血とか流血する試合もあって、ああいうの見たら……。やっぱり、ちょっと怖くなりました。

――だけど、次回はナナチャンチンさんより、もう少し強い選手と闘うことになると思いますが？

Eika　ガードしながら、頑張っていきたいと思います！　今度こそ打撃中心のファイトを見せたいです！

――この間の他の試合を見てどうでしたか？

Eika　いやぁ、みんな女の人なのに、迫力あっていいなぁと思いました。あのモデルの人（中村珠美選手）とか、背が高くて憧れちゃいますね！

――Eikaちゃんだって迫力ありましたよ！　Eikaちゃんは147センチですが、周りの子と比べても低いほうなんですか？

Eika　はい。かなり低いほうですけど、コンプレックスはないですよ！　もうちょっと大きくなりたいですけど。

――まだまだ大きくなりますよ～、きっと。高校では格闘技はやらないんですか？　部活とかで。

Eika　学校ではやろうと思ってないですねー。中学の時はソフトボール部入ってたんですけど。

――なんかユニホーム姿も似合いそうですね！　空手を始めたのは何歳から？

Eika　3、4歳くらいからです。もう10年以上やっています。初めて試合をしたのは小学校5年生で、その時は優勝しました！　その後は、数えるとキリがないくらい大会に出ました。

――そっか、『スマックガール』がプロデビューとはいえ、実戦経験は豊富なんですね。いま道場には女の子はいっぱいいるんですか？

Eika　女の子は20人くらいですね。でも組手は男の子ともやってますよ！　型だけでなく、ちゃんと「当てる」稽古もしてます！

――今まで一番印象に残っている試合ってあります？

Eika　中学2年の時に、中学1年生の男子に混じって試合をしたことがあって、その時に決勝戦まで上って、そこで負けちゃったんですけどー、でも、決勝まで上れたってのにびっくりして、うれしかったですね～。

――お住まいは山梨の富士吉田市ですよね？　プロレスラー武藤敬司さんと同じ出身地で同じ名字ですけど、もしかして？

Eika　武藤ってこっちに多いと思います。べつに親戚じゃないですよ～。

――プロレスはよく見ますか？

Eika　いえー、あんまり。

――見てほしいなぁ。武藤選手のプロとしての意識の持ち方はきっと参考になりますよ！　他に興味のあるスポーツは？

Eika　あまりないんですけど、ボクサーの畑山隆則さんが好きなのでボクシングはたまに見ます。テレビは歌番組ばかり見てますね。Gacktさんのファンなんです！

――ごっつい格闘家よりも、中性的な感じが好みなんですかぁ？　畑山さんも格闘家にしては線が細くてちょっと中性的ですよね。Gacktさんも格闘技好きらしいので、試合を見に来てくれたらいいですね！　でも、『スマックガール』の篠代表くらいにナヨっとしてる男性はダメですよね？（笑）。

Eika　いいと思います（笑）。

――ほんとですか～？（笑）。ドラマとかは見ないんですか？　『金八先生』とか中学校が舞台ですけど、身近に感じませんか？

Eika　あんまし見ないですねー。『ナースマン』とか見てますけど。

――私と逆ですね～。私は『金八先生』を見て「今の中学ってこんな問題多いのかしら」って思ってましたけど。

Eika　こちらは毎日平和な感じです。

――中学校で一番思い出に残ってることってなんですか？

Eika　学園祭ですねー。文化部門と体育部門っていうのがあって、体育のほうで女子のムカデ競争とかあったんですよ。ウチのクラスはなかなかいい成績だったんです！

――ムカデで活躍ですか！　なんかEikaちゃんらしいです！　中学校では何が流行っているんですか？

Eika　いま友達の間ではプリクラ交換が流行ってます。最近またいろんな新しい機種が出てきてて、みんなで交換したりしてるんです！

――へぇ、まだプリクラが流行っていたとは、勉強不足でした。休みの日には東京に遊びに来たりとかします？

Eika　はい。竹下通りとか渋谷のマルキュー（109）で買い物したりしてます！

――じゃあ、こんなこと聞いていいかな？　周りの友達は彼氏とかいます？

Eika　はい。

――じゃあ、Eikaちゃんも？

Eika　秘密です。

――わぁ！　聞きたい！　後でこっそり教えてくださいね！　Eikaちゃんの「私はこういう子です」っていう、セールスポイントとかありますか？

Eika　とにかくうるさい。

――うるさいんですか？　今はインタビューだから、ちょっとおとなしいの？

Eika　はい。

――前に「他の子とちょっと変わってる」って言ってましたが？

Eika　ウフフ。急に変なこと言い出したりとかするんで。

――じゃ次はファイトとトーク、両方楽しみにしてますね！■

▶「中学校生活一番の思い出」という体育祭での一枚。一番右がEikaちゃん

エース篠原光はしばらくお休み

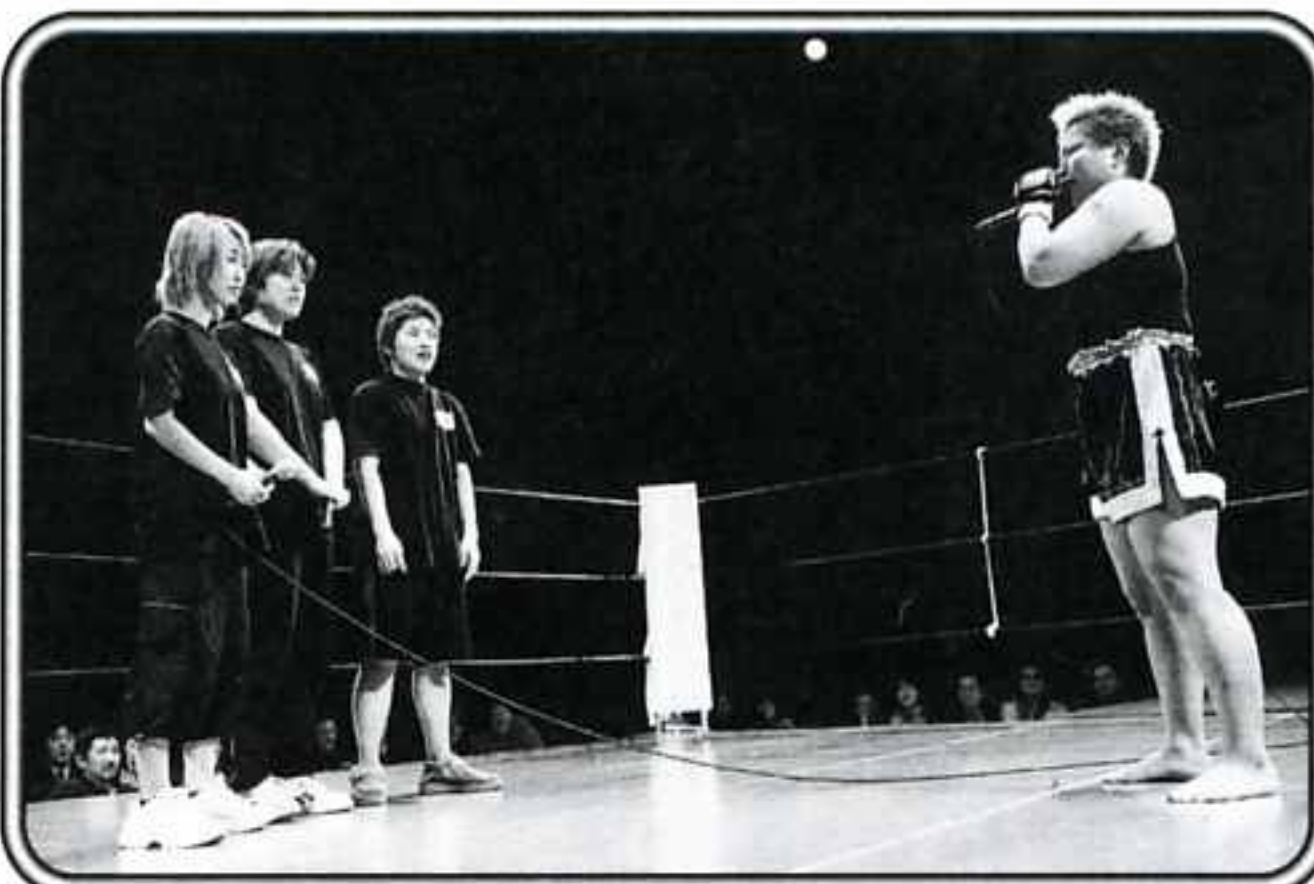
3月21日『第3回ボディプラント杯アマ★スパ』に篠原光（チーム南部）が参戦した。篠原は3・2『スマックガール』の辻結花（闇愚羅）戦で、体調不良のため開始直後のタオル投入で試合を放棄。その後はノーコメントを通していたが、本誌の取材にこう答えてくれた。

「本当に頑張って試合したかったんですけど、辻さんに悪いことをしたと思います。大会開始前にドクターストップが掛かってたんで、それを言わなかった篠さんも悪いと思うし。体調はもうバッチリですけど、折り合いがつくまで『スマックガール』はしばらくお休みします。ファンの人が望んでくれるなら私も戻るし、私も『スマックガール』が好きなんで」

この大会には『スマックガール』の篠代表も来場。前回の試合後、不満を漏らしていた対戦相手の辻も次回参戦が決まり、双方とも主催者側とのわだかまりはもうないようだ。

なんとバトルロイヤル、1vs3変則マッチが実現！

次回『スマックガール』では、世界格闘技界初の試み、2つの多人数バトルが行われる！ 1つは、数分おきに1人ずつ選手が登場して、最後は数人が無差別に攻撃しあうという、WWFの「ロイヤルランブル」でおなじみの「時間差式バトルロイヤル」が、計8人の選手で行われる。打撃なしルールだが、もちろん格闘技のリングでは、これまで例がない。

もう1つは、前回『スマックガール』のリング上で決定した「1vs3変則タッグマッチ」。ドレイク森松の試合後、GF2所属の坂口一美、金井広美、市村幸恵がリングに上がり「GF2の誰かと試合をやってください！」と挑戦状を突きつけたのだが、ドレイクは「1人じゃ相手にならない」と3人まとめて相手にすることとなった。プロレスのリングではよく行われるハンディキャップマッチだが、格闘技のリングで成り立つのか？

ROYAL SMACK 2002

4・7★ディファ有明

決定対戦カード

辻結花（闇愚羅） vs 岡裕美（フリー）

しなしさとこ（GIRL FIGHT ACC） vs 小池亜伊子（禅道会）

〈1対3変則タッグマッチ〉

ドレイク森松（フリー） vs 坂口一美（GF2）金井広美（GF2）市村幸恵（GF2）

渡邊久江（LIMIT） vs 大門まい子（闇愚羅）

時間差式バトルロイヤル出場決定選手

ナナチャンチン（チーム南部）
瀧本美咲（禅道会）
金子真理（禅道会）ほか

※計8人参加による時間差式バトルロイヤル

SRS・DX Editor's Talk
編集部トーク 裏事情

テレ東のWWF中継はなぜ延期された?

A 4月はテレビの改編期で新しく始まる番組、消えていく番組と大きな変化があるんだけれど、その前に! ねぇ、どうしてテレ東のWWF中継が中止になったの?

B いや、あれは中止じゃなくて延期だよ。結局、3月30日の深夜3時5分から1時間にわたって放送されることになったんだけど、要するにWWF側が番組を「チェックさせろ」と言ってきたらしいんだ。前にも説明したんだけど、WWFは日本のプロレス・格闘技団体とは違い、自社で番組を制作して局に売り分けている。地上波用、ケーブル用、PPV用とソフトを分けて試合を行い、それを線としてつなぐことでドラマ作りをしている団体なんだよね。だから、日本のように団体が行う試合を自由に撮影して流すんじゃなく、試合と映像は完全に一体化しているし、それが生命線と考えているから、第三者には絶対に触らせようとしないんだよ。日本のテレビ局といえども、勝手に番組を作られたら困る! という方針というわけだ。

C ということは、団体が主張したいことをただ流すだけってことですか?

B そう。それがWWFのビジネスのやり方なんだよね。要するに客観的なマスコミの目を必要としていないんだよ。だから、リングサイドにカメラは入れさせないし、記者も各社1名ってことになるんだよね。これは日本の格闘技団体では、K—1といえどもできないこと。それを確立したんだから、WWFってやっぱり凄いよ。つまり、ビンスを頂点としてWWFに関わるビジネスは完全にピラミッド型で支配されている。これが今までになかった新しいビジネス構造なんだよねぇ。

C そうなると、外からWWFに関わろうとしても、よそのプロレス団体も、テレビ局も非常に難しいですね。

B その象徴が、今回のテレ東の延期騒動じゃないかな。でも、1回目の成功を見る限り、噂される10月のドーム大会や来年以降の定期開催もかなりの確率で成功するんじゃないかな。日本のプロレス団体にとっては、本当に脅威だと思うよ。

A なるほど、じゃあWWFの話はこのくらいにしておいて、4月の改編期で格闘技番組はどう変わるの?

B 日テレの『超K—1宣言』が『最強魂』とタイトルを変えて模様替えするみたいだね。これは従来のK—1一本から少し間口を広げて、他の立ち技格闘技の情報も放送していくみたいだけど、主軸はあくまでK—1ジャパンであることには変わりないみたい。総合格闘技のほうまでは手を広げないみたいだね。日テレは『一撃』も放送したことで、やや間口を広げていこうというのが方針だ。

C 僕が一番好きだったTBSの『格闘王』は3月いっぱいで終わるみたいですね。

B うん。だけど、それは人気がないからやめるんじゃなくて、今のところTBSで放送する格闘技中継が5・11『K—1W・MAX』しかないからだよ。要はネタの問題で、もし猪木軍VSK—1のようなものが始まれば、また再開するかもしれない。現にTBSは格闘技に対して熱心で、4月から人気番組の『ガチンコ』でK—1編がスタートするという話もある。

C あとはテレ東でパンクラスのレギュラー番組が毎週火曜の深夜2時35分から30分放送されることと、WOWOWがUFCを放送することくらいですかね。新日本やNOAH、WWFの放送については変わらないみたいですし。

A 一番変わらないのは、フジの『SRS』だよ。4月で7年目を迎えるんだけど、深夜番組では驚くほどの長寿番組。ただキャスターの長谷川京子ちゃんは変わらないけど、浅草キッドのお2人がレギュラーになるという噂もある。

B あと、気になるのは全日本プロレスがどこで放送されるかだね。それが決まれば、マット界のメディア戦争の方向はほぼ固まってくるんじゃないの? ■

▶注目のWWF中継はテレ東で3月30日、深夜3時5分から放送される。武藤敬司の解説は必見だ!

◎TBSの『格闘王』を見ていてシビレるのは、黒崎健時先生が出てくることだ。『格闘王』の主軸は黒崎イズムと思うくらい、そのインパクトは強い。私はよく「極真は素晴らしい」と言っているが、私がイメージする極真とは、まさに黒崎先生のことである。小比類巻にK—1ミドル級大会で「ローキックだけで勝って来い」と言ったり、あんな凄まじい試合をしたのに「涙が出るほどよく頑張ったと言えないんだよね、おまえの試合は」と言ってみたり、魔裟斗と小比類巻の闘いを見て「2人合わせて10万円程度の試合だな」とさらりと言ってのける。その一言一言こそ、私が理想とする極真なのである。しかし、そんな求心力的な極真の世界が今、小比類巻によって一般世間に遠心力として届いている気がする。小比類巻よりもむしろ求心力的な魅力を持っているのが魔裟斗だ。魔裟斗は普段オシャレに決め込み、発言はいちいち今風に見えるが、彼の揺るぎない魅力は小比類巻より分かりづらい。魅力を探れば探るほどマニアックになっていくのが魔裟斗の世界ではないだろうか。そう考えると、今は遠心力の魔裟斗と求心力の小比類巻というイメージでK—1中量級は語られているが、実際、世間では小比類巻を分かりやすく感じ取り、魔裟斗の外見とは別の、どこか魅力的なところを解明できないままでいるのではないだろうか。それにしても、こんな2人に外国人選手をどう絡ませるかは、本当に難しい作業だ。もしかしたら世界大会は、大成功した日本代表決定戦より感動が伝わりにくいかもしれない。さぁ、石井館長とTBSはこの難しい大会をどうプロデュースする?
(谷川)

SRS・DX

次号の発売日は**4月11日(木)**です。

発行元:株式会社フジテレビ出版/株式会社ローデス
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F ☎03-3295-4445
販売元:株式会社扶桑社
〒105-8070 東京都港区海岸1-15-1
☎03-5403-8888
発行人:柳沢忠之 編集長:谷川貞治

DESIGNER:梅村あゆみ、水町由美子、su・plex、岩村唯是
溝口真穂、野尻雅友、小林善夫

全日本キック
OVER the EDGE
3.17★後楽園ホール

ああ"負の小林聡劇場"

ムエタイはレベルの違いすぎる"文体"と同じだ。とてもかなわないよ……

"親友"小林の大一番をターザンが激筆！

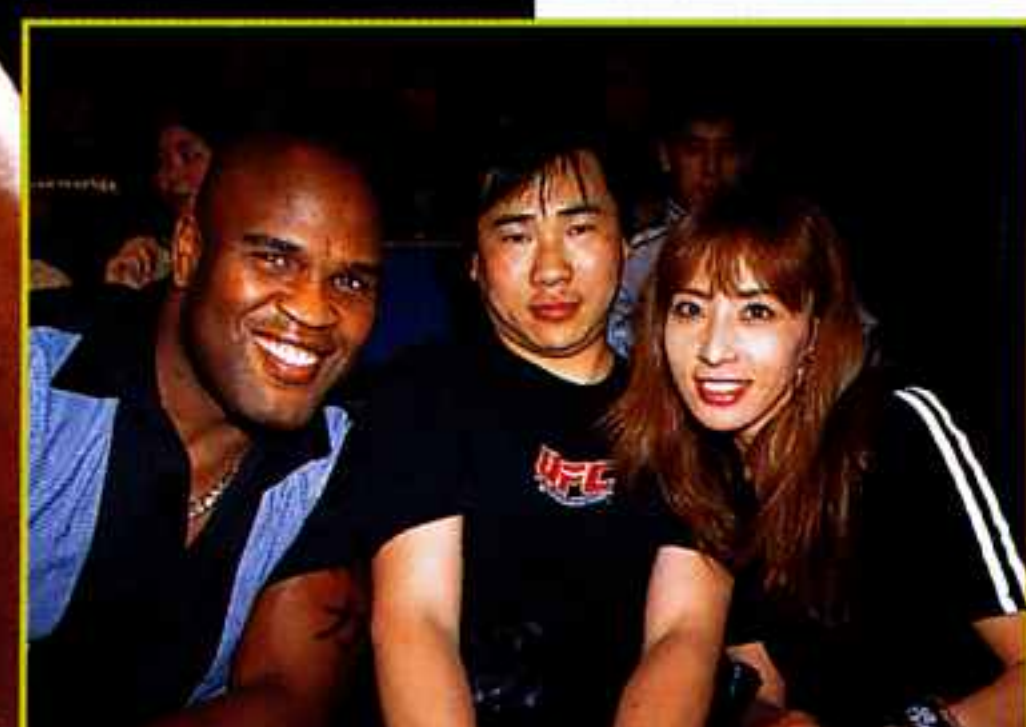
▲試合後、小林の控室を訪れたターザン。大会パンフレットにも寄稿し、小林を「私の"親友"である」と書いている

現役ルンピニー王者・ナムサックノーイのヒジで無惨にTKO負けした小林。これほどヒドい切られ方は、ちょっと見たことがない

後楽園を包む過剰な期待感！

小林なら、きっと何かやってくれる――

▲小林としてはパンチとローで活路を見出したいところ。数は少なかったが、うまくヒットする場面もあった

▲タイでは“ワイクー王子”とも呼ばれるナムサックノーイ。かなり長い時間舞っていたが、その間小林は相手に一瞥もくれなかった

▲会場には武蔵＆魔裟斗や『剛力王』出演のため来日中だったゲーリー・グッドリッジ（隣はブッカーK）、小路晃、佐山聡、それに山崎照朝といった面々も。この一戦の注目度はとてつもなく高かったのだ

◀特に効果的だったのがレバーへの左フックを中心としたボディブロー。かなり効いているように見えたのだが

無慈悲！

この日、大一番を煽ったパンフレットを開いたら布施鋼治氏が小林選手に『一匹だけ生き残った野良犬へ』というメッセージを書いていた。彼の肩書きはキックマニア（五味隆典公認）となっていたので試合後、私は「今日の試合を一言で言ったらどうなる？」と聞いてみた。その私の問いに対する答えが〝無慈悲〟だったのだ。

それにしてもドンピシャリの言葉である。小林選手が負けた後のドレッシングルームの周辺は報道陣でごった返していた。

だがその時、誰もが自分の感情をぐっと押し殺していた。あんなに完敗した試合を見せられたら沈黙する以外になすすべがない。

つい何分か前までは小林選手への過剰な期待感で、後楽園ホールはできあがっていた。それが一瞬にして暗転してしまったのだ。ナムサックノーイは強すぎた。

だからといって小林選手を好きな人は〝失望〟、〝無惨〟、〝落胆〟、〝挫折感〟という言葉は意地でも思い浮かべたくないのだ。

それはもう小林聡という人の人徳が、そうさせてしまっているのだ。私はその時「これは〝負の小林聡劇場〟ではないか？」と直観した。もちろん私もその輪の中にいたひとりである。

いやあ、あれは私的には非常に心地好い空間だった。応援している選手が勝ったことで、勝利を共有する喜びもいいが、負けた選手の気分をこんな形で共有する世界が、できてしまうとは私としてはそれも予想外のことだった。

決定的な敗北は時と場合によっては、我々のハートを限りなく浄化する作用をもっている。小林選

全日本キック
OVER the EDGE
3.17★後楽園ホール

この強さはなんだ!?
ここまでやられたら、ルンピニー王者をリスペクトする以外ないじゃないか……

▲ヒザが得意という情報があったナムサックノーイだが、もちろんムエタイ王者だけあってその他の攻撃も超ハイレベルだった。22歳にして、ムエタイ年間MVPを2度受賞している。2R中盤には左ハイが直撃！

▶1R、早くも出血させられてしまった小林。危機感が高まったが「ここから打ち合いになれば……」というかすかな期待もあった

▶インファイトに持ち込みたい小林を、ナムサックノーイは鋭いジャブで迎撃。これがかなりクセ者だった

◀スキあらばヒジを狙ってくるナムサックノーイ

ては、我々のハートを限りなく浄化する作用をもっている。小林選手には悪いが「ありがとう、ナムサックノーイ、君は強くてよかった。君の強さには心から拍手を送りたい」と私はそう思った。

私を含めて日本のファンのほとんどの人は、君のことをリスペクトしたと思うよ。そう考えないとやりきれないし、あの場の自分を収めきれなかったはずである。

素直にナムサックノーイに敬意を表す気持ちになったのは、そういうことなんだよ。だからまさしく無慈悲、無慈悲だった。

おそらく布施氏はネガティブな意味でこの言葉を口にしたと思うが、私は逆だ。彼が私に教えてくれた無慈悲という三文字。気に入ったんだよな。慈悲なし。でもいいんだよ。見たよ、小林選手の師である藤原道場の会長、藤原敏男さんのコメントする姿を。

淡々と敗因を分析。そこには一切の私情がない。試合とリングは選手のもの。ただただそこでは強い者が勝つ。真実はそれしかないと割り切っている。

この人こそ無慈悲だ。別の意味で無慈悲である。待てよ。もしかすると〝無慈悲的愛〟というのがあるのかもしれない。それが会長の流儀なのかも。

最も格好よかったのは弟子を見事に突き放している藤原会長のような気がしてきた。日本のキックボクシングは、打倒ムエタイが一つの大きな目標になってきた。

しかしそれは恐れ多いことなのだ。小林VSナムサックノーイ戦を見たら、そういう印象を持ってしまった。全然、レベルが違う。

全日本キック
OVER the EDGE
3.17★後楽園ホール

完敗の小林には、どんな慰めより

“無慈悲的愛”を贈るべきだ！

小林の師匠・藤原敏男の目

「練習したことを出してるうちに入らないよ。これから後半、攻防が激しくなってくるわけだから、そこで何を出せるかなんだけど。向こうは打ち合いだけは避けようと思ってるから、ガードが固かったでしょ。それで小林が入る瞬間を狙って。左のジャブ、ストレートをもらいすぎた。ヒザが強いって話だったけど、タイ人は場面場面でなんでもできる。いかなきゃっていう小林の気持ちも分かるけどね。攻めていくのはいいけど、不用意すぎたな。もっと足技から揺さぶっていかないと。パンチだけでいったら上体が低くなるから、余計にヒジが打ちやすくなるんだよ。ローも軽すぎたし、あれで崩した状態から攻めないと。それとやっぱり連打しないと。小林のパンチはそんなにスピードがあるわけじゃないから。狙って当たるもんじゃない。（ボディ打ちは良かったが？）タイ人にボディのパンチは効かないの。汚い瓶の水飲んで鍛えられてるから。倒れやしないよ。作戦？　それはリングに上がった本人しか分からないことだから。（試合前に何を話したんですか？）“おまえには俺が付いてるんだから心配すんな。練習は思う存分やってきたんだから、あとは思いっきり暴れてこい”と。変な小細工なんか通用しないんだから、思ったとおりやらせるしかない。ヒジの傷は骨膜が見えるまでいってる。相当深いね。やっぱり強いね。残念としか言いようがない。ナンバーワンの強さを十二分に見せてくれたとい

小林はリングを降りると医務室へ直行。治療を終えて控室へ戻ったが、報道陣もなかなか声をかけられない。それほどの完敗だった

▲◀▼唐突に訪れたフィニッシュ。左ジャブから、そのまま左のタテヒジへ。突き飛ばされるようにダウンした小林はすぐに立ち上がったものの、あまりの出血にドクターチェックなしで即レフェリーストップとなってしまった

★第9試合・メインイベント/インターナショナルマッチ（3分5R）
○ナムサックノーイ・ユッタガーンガムトーン（2R2分19秒、TKO勝ち）小林聡●
〈タイ〉　〈藤原ジム〉
※小林は2Rに左ヒジ打ちでダウンし、そのまま大量出血でレフェリーストップとなった

ナムサックノーイのコメント

「パンチとローを警戒してた。ローは2回受けて、少し痛かった。パンチはそんなに重くなかったね。ボディブローもタイミングをズラしてたんで、ホントに効くところまでいってない。ヒジは他の攻撃の布石だったんだけどね。コバヤシに勝って、次に誰とやったらいいのか。日本人で他に誰が強いか分からない。相談次第だね」

小林のコメント

「オレからは何もないです。ヒジは気になったけど、打たれても我慢していってやろうと思ってたんで。（今の気持ちは？　悔しくてもう1回やりたいとか）悔しくないと思いますか？　いつも全て賭けてやってるんです。もう1回なんて調子のいいこと言う気はないし。次どうこうか、そういう問題じゃないですよ」

私のようなキックに素人な者でも、それに気付いたら言葉を失っても不思議ではない。まして負けた小林選手の大ファンなら、なおさらその思いは強くなる。

試合後、小林選手にコメントを求めるマスコミ。そんなの聞くなよ。聞けるはずがないし、小林選手も言えるはずがない。

無神経だよな。「もう、このへんでいいでしょうか？」と質問を終わらせたのは、関係者も見かねたからだ。そんな小林選手に私は挨拶に行った。すると彼は私にそっとこうつぶやいてみせた。

「今の状況（気持ち）をどう表現していいのか、まったく私には言葉が見つかりません……」

実を言うと私もその言葉を探していたのだ。もちろん私は私の立場からである。その言葉が見つかれば、小林選手も私も救われた気分になれたはずなのだが……。

ああ、無慈悲だ、無慈悲。

いつくしみ、あわれむ心、なさけ。それらがないことをさして無慈悲という。もともと慈悲は仏や菩薩が衆生をあわれみ、いつくしむ心のことである。

だから無慈悲は本来、絶望的なことを表しているのだ。でもこれは絶望とは違う。ムエタイの実力を、まざまざと見せつけられたのだ。まるでシーソーのように小林選手が沈んで、ムエタイが上へと大きく浮き上がっていった。

私の正直な感想を言うと凄い〝文体〟を見せられて、これはとてもかなわないという感じだ。そうだ、ムエタイはレベルの違いすぎる〝文体〟、文章だったのだ。

（ターザン山本）

滑川康仁
〈リングス・ジャパン〉
YASUHITO NAMEKAWA

渡辺大介
〈パンクラスism〉
DAISUKE WATANABE

3・30『DEEP2001』で新世代のリングスVSパンクラス対決！

ルチャVS日本の5対5マッチ、和田良覚の選手デビューなど、これでもかと言わんばかりの異色&注目カードが揃った3・30『DEEP2001』だが、この渡辺大介VS滑川康仁戦も見逃せない。史上初めて、パンクラスとリングスの所属選手同士が対戦するのだ。船木と鈴木の『絶縁宣言』、前田の「パンクラスは邪魔だから潰します」発言、そして法廷闘争と、決して交わることがないと思われていた両団体だが、リングス活動休止もあって『DEEP』のリングで接点が生まれた。これは遺恨マッチなのか、それともマット界再編成の息吹きなのか？　それぞれの意気込みを聞いた。

“リングス・ジャパンのトンパチ小僧”

滑川康仁

YASUHITO NAMEKAWA

第1次リングス終了後、初の試合を行う滑川康仁。対戦相手はパンクラスの渡辺大介だが、リングスVSパンクラスという図式以上に大切なのは、今後に向けて自分の闘い様をどうアピールしていくかだ。リングス・ジャパン所属として『DEEP』のリングに立つ滑川に話を聞いた。

撮影◎乾晋也
聞き手◎中村カタブツ君（ブチ）

「対抗戦意識はないですよ、いまさら。だけど、勝つのは僕ッスよ！」

滑川　Bランチ3つ注文していいですか？

——3つ（笑）。いいですよ。

滑川　あとトマトジュースもいいッスか？

——なんでも注文してください（笑）。今、生活はどうしてるんですか。

滑川　お金は無収入です（笑）。

——まあ、そうですよね（笑）。貯金はないんですか。

滑川　ないですね。5万くらいならありますね。後輩の伊藤が28万持ってるんで凄いなって（笑）。

——その話自体が凄いですね（笑）。でも、リングスって給料良かったはずじゃないですか。

滑川　だから、今年になってから貯金しようと思ってたんですけど、終了になってしまったんで全然ないッスよ（笑）。

——きれいに使っちゃったと（笑）。

滑川　なんにも考えずに使っちゃいましたね（笑）。

——となったら、今からガンガン稼がないとって感じですね。ところで、今度の『DEEP』では、パンクラスの選手と対抗戦になるんですけど。

滑川　対抗戦意識はないですよ、いまさら。

——いまさら！　渡辺さんのことは知ってますか？

滑川　はい、十分知ってますよ。僕が勝ちますよ。

——勝ちますか（笑）。

滑川　相手、打撃が専門らしいみたいですね。

——まあ、菊田さんにヒザ蹴り入れて転がしましたからね。

滑川　KOKだったら一本勝ちですからね。僕も打撃でやりたいと思ってるんで打ち合いになると思うんですよ。辛くなったら寝技に引き込んで極めますけど（笑）。今度の試合は勝ちたいですよね。会社もないし。向こうは会社があるし、チャンコ出るし。もうチャンコもないですからね（笑）。

——辛いですね（笑）。渡辺さんの試合は見たことありますか。

滑川　一回、高瀬選手とやったのは見たことありますね。三角絞めをやられて落ちたふりして立ち上がってましたね。

——なかなかクレバーじゃないですか。

滑川　ホントに落ちてたのかもしれないですけど（笑）。

——なかなか蘇生力がありますね（笑）。で、ですね、実は滑川選手と渡辺選手って新弟子の時期が長いっていう共通点があるんですよ。

滑川　そうですよね。渡辺さんは3年半ですよね。それを乗り切ったのは凄いですよ。

——一緒にしてくれるな、と（笑）。

滑川　そうじゃないですけど、僕は1年9っ、……でも、長いッスよね（笑）。

——長いッスよね（笑）。新弟子時代は前田さんから名前も呼んでもらえなかったんですもんね。

滑川　そう。「おい、黒いの」って（笑）。

——当時、肌の白い人もいて、滑川さんは肌が黒かったと（笑）。

滑川　それとナガミネって呼ばれてたんですよ。新弟子の場合はみんなナガミネになるみたいで。「おい、ナガミネ」って（笑）。

——返事するんですか。

滑川　「はい」って（笑）。

——だから、同じような長い下積みを積んできた者同士ですから、いい試合したいじゃないですか。

滑川　そうですね。そういえばなんかで読んだことがあるんですけど、渡辺選手は途中でリストラみたいなことを言われたらしいじゃないですか。それで今、凄い結果を出してるから、努力したんだなって思いますね。

——う〜ん、結果出してるかなぁ。

滑川　う〜ん、俺もよく分かんないですけど（笑）。

——伸びてきてるのは感じるんですよね、グラバカとの対抗戦で。

滑川　最初はズッと勝てなかったんですよね。で、ネオブラッドかなんかで初めて勝って、次のネオブラッドでは準優勝したんですよね。

——結構、見てるじゃないですか。

滑川　パンクラスファンですから（笑）。

——嘘付け！（笑）。

滑川　ホントに（笑）。でも、記者会見の時になんか自信があるような目で俺のことを見てたんですよ。ナメてるのかなって思ってムカついて。だから、書いといてくださいよ。俺は試合では弱いけど練習では強いぞって！

——は？　それって弱いでしょ（笑）。

滑川　ん？　逆だ。イチイチ揚げ足を取るな

よ、カタブツのくせに！（笑）。

——間違ってるから指摘したんですよ！（笑）。クソォ〜、渡辺さんとは全然違いますね。向こうは凄く好青年な感じですよ。

滑川　俺はカタブツに対してだけ、こんな態度を取るんだよ（笑）。

——ちきしょう。俺のが年上なのに！

滑川　カタブツさん、水のおかわりを持ってきて（笑）。

——うるさい（笑）。で、今回の大会っていうのはルチャ対総合みたいな流れがあるじゃないですか。

滑川　僕、ソーラルとやりたかったんですよ（笑）。

——ふふ、ソーラル？（笑）。

滑川　ソラール！　僕、ムチャクチャ、ルチャファンでしたからね。

——だから、ファンの目って割とそっちにいきがちですよね。そういうキャラクターが光ってる大会でもある中で、滑川さんの良さをどうアピールしたいですか。

滑川　どうしたらいいですかね？

◀現在の滑川は髙阪の元で総合の練習を積み、シーザージムで打撃の練習を重ねている

——イケイケドンドンのところとかあるじゃないですか。

滑川　じゃあ、ガチガチに力の入ってるところを見てください。それともバテバテになりながらも15分間やり抜く僕の体力を見てくださいって感じですね（笑）。

——ガチガチで思い出しましたけど、リングスのラストマッチはホントにガチガチに力入ってましたね（笑）。

滑川　そうなんですよぉ。それ言わないでくださいよ。

——腕って言ったら、腕ばっかり狙っててね（笑）。

滑川　うるさいな！　偉そうなこと言うなよ！　あれはね、疲れてたんですよ（笑）。

——いろいろと精神的に。

滑川　言い訳はいっぱいできるんですけど、終わったことだからいいです。

——だけど、リングス時代の試合はことごとくハードでしたよね。

滑川　そうですよね。この間、坂田さんと話した時に「俺らはリングスで強い外人とばっかりやってるから、それが自信になっている」って言ってましたけどね。

——それはいい自信にはなりますよね。ロシア人とかって日本人と根本的に違うものがあるような気がするんですよ。骨は太いし、ナチュラルに力があるっていうか。

滑川　ヴォルク・ハンなんかメチャクチャ強かったですよ。ローキックで倒してやると思ったら全然倒れないし、逆にボコボコに殴られて、途中で目の膜がずれちゃってハンが3人に見えちゃったんですよ（笑）。

——コピィロフにしてもやっぱりバカ強いでしょ、年なのに。そういう経験って凄い財産じゃないですか。それを今後、どう格闘技人生の中に生かしていくかだと思うんですよね。

滑川　いっぱい負けましたけど、その分、力になってると思うんですよね、経験とか。

——リングス・ジャパン所属ということですけど、フリー的な要素ってあるじゃないですか。だから、経験をどう出していくかですよね。

滑川　ただ、今はそういうことは考えてないですね。この試合で勝つことだけですよ。

——今、どんな練習をしてますか？

滑川　髙阪さん、金原さん、今後ともご指導をよろしくお願いしますっていう感じですね。前田さんには特に、凄く感謝してますんで。僕をプロにしてくれた大恩人ですから。

——そうですね。練習メニュー的にはどんな？

滑川　う〜ん、言うの面倒くさいなぁ。練習メニューは『ゴン格』を見ろって感じですね（笑）。

——言ってくださいよ（笑）。なんか密着取材してたんですよね。

滑川　鶴見川でランニングとスクワットとかですね。熊久保さんにやらされたって書いといてください（笑）。なんか、ポストを覗いたりするとことかも撮られたんですけど、恥ずかしいんですよね。未練があるみたいじゃないですか。

——女々しい感じがして。

滑川　そうそうそう。それを言い訳として載せておいてください。

——それが女々しいって言うんですけど（笑）。

滑川　いやいやいや、軽く言い訳さしてくださいよぉ〜（笑）。

——分かりました（笑）。プロレスのほうとかは考えてますか。

滑川　それは考えてないですね。今後のことで言うと階級を下げたいですね。83キロ以下ぐらいのがあったら、そうなりたいですね。

——何か言い足りないことはないですか。

滑川　何もないですね。足りないところがあれば、『紙プロ』とか『ゴン格』に言うんで大丈夫です（笑）。

——ホントにナメてるなぁ（笑）。負けたら思い切り叩いてやる！（笑）。

滑川　負けないから大丈夫ですよ（笑）。■

俺は試合では弱いけど練習では強いぞって！ ん？　逆だ

▲貯金なしの滑川。取材中、ここぞとばかりに食いまくるが、その顔があまりにも嬉しそう。どんどん食えよ

PROFILE

滑川康仁（なめかわ・やすひと）1974年10月27日、茨城県北茨城市出身。181センチ、89.8キロ。高校時3年間はラグビー部に所属。20歳の時から約1年間アニマル浜口ジムでトレーニングを積み、96年に前田道場に入門。98年6月髙田道場の豊永稔戦でデビューした。「いつか、1人リングス・ジャパンを名乗る」と豪語する頼もしい男。

“パンクラスの門番”

渡辺大介 DAISUKE WATANABE

パンクラスファン以外にはまだなじみないが、この渡辺は“パンクラスの門番”と呼ばれている選手。というのも一昨年から立て続けにグラバカ勢と対戦し、常にパンクラスの看板を背負って闘ってきたのだ。そのせいか最近、実力も急上昇中。VSリングスという究極の対外試合で“門番”の本領発揮か!?

撮影◎丸山剛史
聞き手◎橋本宗洋

「これは“鈴木みのるの弟子”と“前田日明の弟子”の闘いなんです」

——〝パンクラスの門番〟が、いよいよリングスと対決ってことなんですけども。

渡辺 そう言われると改めて緊張しちゃいますよ（笑）。

——まず入門したきっかけから聞きたいんですけど。もともとプロレスファンですよね？

渡辺 やっぱり最初は新日本プロレスですね。小さい頃に見た初代タイガーマスクとか。中学校の時は全日本プロレスが好きで、三沢選手とジャンボ鶴田選手がよく試合してたんですよね。三冠戦とかで。それでかなりハマってましたね。山梨県なんで、やっぱり鶴田選手が好きで。

——あ～、なるほどね。で、その後にU系って感じですか？

渡辺 きっかけはUインターなんですよ。高田選手とオブライトの試合とかテレビでもやってたじゃないですか。それ見て本格的に。そこからですね。U系の団体のビデオとか借りて見るようになって。

——じゃあその流れでパンクラスと。

渡辺 旗揚げの頃に、BSで特番みたいのをやったんですよ。あれを見て、もう衝撃を受けましたね。

——入門したのは高校を卒業してすぐ？

渡辺 テストを受けた時は、まだ高校生だったんですよ。高3の11月ですね。

——一発で合格ですか？

渡辺 はい。もう絶対落ちると思ってたんですけど（笑）。とりあえず根性だけは見せとこうと思って、最後までギブアップしなかったんですよ。それだけなんですよねぇ。あとは17歳以下はテストのメニューが別で、僕、その時まだ17だったんです（笑）。それと、高校の部活でウェイトリフティングをやってたんで、他の人よりは体がデカかったという。

——早生まれの利点とウェイトリフティングの経験が活きて（笑）。

渡辺 そうですね（笑）。でもそこからが長くって。

——デビューするまで、どのくらいかかりました？

渡辺 3年半くらいですね。ケガもあったりとかして。

——そこで「もう辞めよう」とか思わなかったですか？ 「やっぱ大学行こうかな」とか。

渡辺 それはなかったですねぇ。逃げるのが嫌っていうか。デビューできないままだと、会社も「どうする？」って話になるんですよ。いろいろ条件があって「これで良かったら続けてもいいよ」みたいな。

——待遇面とか、そういうことで？

渡辺 まあ、そういう諸々ですよね。それで辞めちゃう人もいるんですけど、僕は「それでいさせてくれるんだったら続けよう」って思って。「もうクビだから」って言われるよりよっぽどいいじゃないですか、条件付きでも可能性があるから。その辺はプラス思考なんですよ。

——で、デビュー後も、黒星先行の状態でしたけど……。

渡辺 そうですねぇ……。まあプラス思考でなんとか、はい。

——ただ、去年からグラバカ勢との試合が続いて、そこで評価を上げましたよね。〝パンクラスの門番〟として。

渡辺 門番のわりに門を守れてなかったですけど（笑）。菊田さんと組まれた時は自分でも笑っちゃいました。

——でもかなり成長してるなってのは見えたし、その菊田戦ではあわやKO勝ちですから。

やっぱり苦労してきたのが今になって身になってるのかなと思ったんですけど。

渡辺 佐々木さん、郷野さんに負けて、さすがにもう負けるわけにはいかないなっていうのがあって、それからは気合いの入り方が違いましたね。

——気持ちの部分で成長したっていうか。

渡辺 それが大きいと思いますね。対抗戦ってこともありましたし。

——対抗戦ってことだと、今度の滑川戦なんて凄い対抗戦じゃないですか。なにせリングスの選手ですから。決まった時はどうでした？

渡辺 ビックリはしましたけど、「やっぱり来たか」みたいな感じもあったんですよ。

——意外じゃなかった？

渡辺 リングスが活動休止になって「ああ、じゃあ『DEEP』に出たりもするのかな」と思って。そうなると闘う可能性もありますよね。で、「自分が試合するとしたら誰だろう？」って考えた時に、滑川選手かなって。

DEEP 2001

3.30 DEEP2001名古屋大会 最終情報！

実現！ FIGHTING NETWORK RINGS VS HYBRID WRESTLING PANCRASE

滑川選手のことは前から意識してました「リングスと闘うならこの人だろうな」って

——キャリア的にも同じくらいですしね。記者会見では、滑川選手が「思いっきり殴り合いがしたい」って言ってましたけど。

渡辺　「お互い拳が壊れるくらい」って。それは僕も同じ気持ちですね。熱い試合がしたいです。それに今度の大会は12試合あるじゃないですか。ダルい試合が続くとお客さんもツラいと思うんですよね（笑）。

——しかも渡辺さんの試合は真ん中あたりですから（笑）。

渡辺　そうなんですよ。ガツンとこう、いい試合をしないといけないですね。

——リングス対パンクラスってことは意識してますか？

渡辺　ん～、その辺は……。

——何年か前、凄く険悪な時期があったじゃないですか。前田さんが「パンクラスは邪魔なんで潰します」って言ったり。それに対して髙橋さんがリング上でいろいろ言って。その頃ってどんな感じでした？

渡辺　自分は「どうなんのかなぁ？　ホントにやったらタダじゃ終わんないよな」って。詳しい事情は分からなかったんですけど。

——それから何年もたって、渡辺選手、滑川選手の世代で闘うことになるってのも面白いですよね。

渡辺　個人的に嫌いだとか、そういうのはないですけどね。

——じゃあ遺恨とかそういうのは……。

渡辺　ああ、そういう感じとはちょっと違いますよね。ただ（滑川の）試合とか雑誌に出てるじゃないですか。そういう時はやっぱり、見てましたね。「ああ、やってるなあ」って。

——団体は違うけど、同世代のライバルみたいな。

渡辺　そうですね。

——あと、この試合の見方としては前田日明の弟子対……。

渡辺　鈴木（みのる）さんの弟子ってことですか。それは凄くありますよね。そっちの意味合いのほうが強く見られるんじゃないかと思います。

——それについてはどう思いますか？

渡辺　いや～、もう頑張るしかないんじゃないですか（笑）。

——ま、それしかないですよね（笑）。滑川選手には〝前田道場で育った〟ってプライドがあると思うんですよ。で、渡辺選手にとっての〝パンクラスで育った〟っていう自負みたいなものはどの辺にありますか？

渡辺　そうですね……。一番思うのは、人間としての成長っていうか。普段の生活も含めて全部なんですよ。この道場は格闘技が強くなるためだけの道場じゃないんですよね。もちろん練習もメチャクチャきついんですけど。試合のことで言うと、絶対あきらめない強い気持ちっていうんですか。「ここでタップすれば楽になるな」って場面で頑張れる力みたいなものはこの道場で得たものだと思います。

——「ここで育ったんだから、他とは違う」みたいな感じも……。

渡辺　ありますね、凄く。

——今年から東京道場と横浜道場が一緒になって『パンクラスｉｓｍ』って名前になったじゃないですか。その『パンクラスｉｓｍ』ってどういうものだと思いますか？

渡辺　……道場の名前ですか（笑）。

——それはそうですけど（笑）。3年半の練習生生活で染み付いたものとか。

渡辺　ああ、なんて言えばいいですかねぇ。それは……とにかく試合で見せます。

——ＯＫです（笑）。じゃあ試合を楽しみにしてますんで。あと渡辺選手といえば気になるのが、趣味が〝なぞなぞ〟っていう（笑）。ｉモードのパンクラスサイトで選手のメッセージのコーナーがあって、他の選手は近況報告なんですけど、渡辺選手だけいつもなぞなぞを出すんですよね。

渡辺　（笑）。謎解きとか手品とか、昔から好きなんですよ。なぞなぞの答えとか手品のタネを知ると「なんだよそれ、下らねぇな～」って思うじゃないですか。でもそれが分からないとハマるっていうか、メチャクチャ凄いものに見えるっていう。その心理的なギャップが面白くて。

——なるほど。じゃあその辺の感じもリングで出せるといいですね、って意味が分かんないですけど（笑）。

渡辺　僕自身（タネ）はたいしたことないんだけど、試合では凄い選手に見えるっていう（笑）。それいいですね。

——この記事でも読者になぞなぞを出しましょうよ。

渡辺　今けっこうネタ切れなんですよ……。なんか考えとけば良かったですね。（しばし熟考）あ、これでどうですか？　〝1…国、2…砂、3…教育、4…日本、5…砂、6…英語、7…砂、8…富士、9…砂、10…？　11…砂、12…東京。さて10番には何が入る？〟。ヒントは「関東限定」です。

——答えは次号の『ＤＥＥＰ』試合レポートに掲載ということで。お楽しみに！

渡辺　……どっちかっていうと試合を楽しみにしてほしいんですけど（笑）。■

リングスVSパンクラス 尾崎社長はどう見る？

「私もこの試合は楽しみにしてるんですよ。（リングスVSパンクラスという）また新しい、ファンの方が喜んでくれる組み合わせが増えたということで。それを実現させるのが“全方位外交”を謳っている私たちの使命でもあるんですから。滑川選手にしても横井選手にしても、いい選手だと思いますね。リングスの所属ということはまったく気にしてないですよ。もうウチの鈴木（みのる）と髙阪選手がコンテンダーズでタッグ組んだりもしてますから。ええ、選手に対して変な感情は何もないですよ。じゃあじゃあ誰に対してはあるんだって話になっちゃうんですけどね（笑）。それはまた別ですから」

PROFILE

渡辺大介（わたなべ・だいすけ）
1977年1月5日、山梨県都留市出身。180センチ、85.4キロ。高校卒業と同時にパンクラスに入門、3年半の練習生期間を経て98年10月26日、山田学戦でデビュー。昨年12月の菊田早苗戦ではゴング直後の飛びヒザであわやKO勝ちという見せ場を作り、ファンを熱狂させた。好きなタレントがモー娘の吉澤ひとみと深田恭子でありながら、入場テーマはミスフィッツという、まとめようがない嗜好を持つ男。

DEEP INTERNATIONAL 2001

3.30
DEEP2001名古屋大会
最終情報！

公開スパーでも横井と互角の和田
この強さ、どこまで本物か？
最強伝説を引っさげいざ、出陣！

“スパーリング王”和田良覚の実力はどれほどなのか？

3月13日、パンクラス東京道場でマスコミがリングを凝視する中、和田良覚が横井宏考と公開スパーを行った。

はじめ、リング上でテレ笑いを浮かべていた和田だったが、横井がタックルにくるやいなや表情が一変。すぐさま腕を取り、横井をグラウンドに持ち込んだ。また、スタンドでの攻防では、鋭い眼光で横井に圧力をかけ、タックルからグラウンド、後ろに回ってチョークスリーパーと、たたみかけるような攻撃を披露。「今日は、みんなが見てる前で和田さんを極め、自分が最強だとアピールしたかったのに……」とスパー後、横井はガックリと肩を落とした。この日のスパーを見る限り、桜庭和志や金原弘光らが口を揃えて言う「和田さんには一瞬にして極められた」の言葉にウソ偽りはないようだ。

しかし横井が「和製コピィロフ」と指摘するように、問題はスタミナだろう。

今回のスパーリングでも2R後半になると足が鈍りはじめた。もしラウンドが長引けば、対戦相手のアステカにも付け入るスキが出てくるのでは？

本人もその辺りのことは承知のようで、「僕はパワーファイターなので、早く極めないとダメですね。狙うは秒殺です」とコメント。走り込みによって、現在は体重を97キロから約90キロまで落としたという。

「みんなが僕を最強だ最強だって煽るでしょ。そんなんじゃないですって（笑）。試合でメッキがすぐ剥がれますよ」と謙遜する和田。だが、リングスで5戦無敗の横井を極めさせなかった力強さと軽快さを兼ね備えた動きは、最強伝説を十分に納得させるものだったと再度念を押したい。

それにしても佐伯代表は、とんでもない選手（レフェリー）に目を付けたものだ。「あの胸板見てよ。それに前から強いという噂を耳にしていたのでぜひリングに上げてみたいと思っていた。でも和田さんはこれがデビュー戦でしょ。試合経験では、アステカ選手のほうが上ですからね。僕も試合展開までは読めません」と語りながらも、この日のスパーを見て、自分の目に狂いはなかったとさらに自信を深めた様子だ。

なお、和田良覚VSアステカの試合は、第4試合から第1試合に変更になった。この変更について佐伯代表は、「大会全体にメリハリが付いたと思います。第1試合からいきなりもうDEEPインパクトですよ！」と熱く語った。

和田良覚がいきなり登場するとあって、当日は第1試合から会場が爆発しそうだ。■

わずか10秒たらずで、横井をテイクダウンさせ、バックに回りスリーパーを仕掛ける和田

▲和田最強伝説がベールを脱ぐとあってマスコミも大注目

▲横井も負けじと下から和田の腕を取りにいったが、極めることはできず……

▲「破壊だけで済めばいいんですけどねぇ……」と和田の対戦相手を心配する横井

▲スパーリング中とはまるで別人。優しい表情でコメントする和田

「一発で仕留めます！」（村浜）

▲▶この日、村浜武洋の公開練習も行われた。速くて重いパンチやキックで、道場内にミットの乾いた音を響かせた村浜。「かならず一発で仕留めます。前回の試合が、あまりにも悔いが残るものだったんで」とジョン・ホーキとのリベンジマッチに向け申し分ない仕上がりを見せた。また練習後には、和田と横井にロープワークや受け身、スピニングトーホールドを伝授する場面も

UFC36/WORLDS COLLIDE
3.22★アメリカ・ネバダ州ラスベガス
MGMグランド・アリーナ

UFCにオタク史上最年少王者誕生！

ルックスも実力も大合格。その名は

ジョシュ・バーネット

あのクートゥアーに逆転勝利シュルトをタップさせたのはダテじゃない!

▲▶2R途中まではずっと下になっていたバーネットだが、足を効かせてクートゥアーの体を突き放し、足関節を狙いながら体勢を入れ替えることに成功。その後はハーフマウントの状態から一方的に殴りまくった。下からの技術、サブミッションが得意なのもバーネットの長所だ。あのセーム・シュルトから腕十字でタップを奪ったこともある

★第8試合・メインイベント/UFCヘビー級タイトルマッチ（5分5R）

○ジョシュ・バーネット（2R4分35秒、TKO勝ち）ランディ・クートゥアー●

〈挑戦者・アメリカ/AMCパンクレイション〉　〈王者・アメリカ/チーム・クエスト〉

※グラウンドでのパンチ連打でレフェリーストップ。バーネットが新王者に

僕がUFCを取材し始めてもう5年が経つが、デビュー戦から特にマークして見続けてきたのがジェンズ・パルヴァーとジョシュ・バーネットの2人だ。

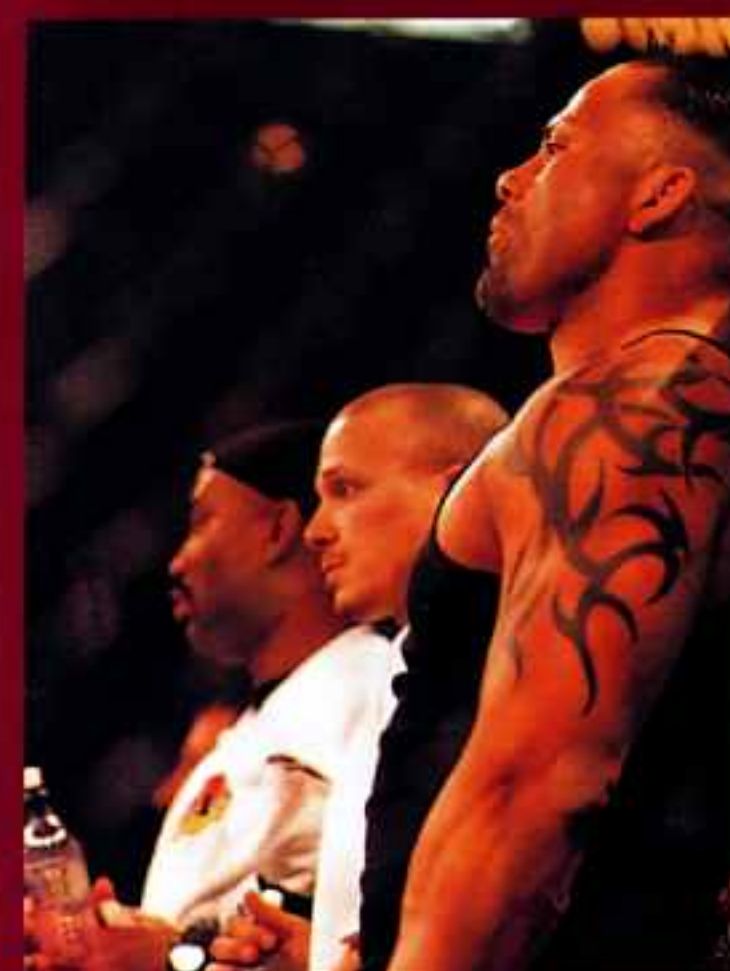
小さな体に気迫を目一杯みなぎらせて全力ファイトを見せるジェンズと、巨体に似合わぬ器用さで意表をついたクレバーな試合を楽しませてくれるジョシュ。感激屋で泣いてばかりいるジェンズと、いつも笑顔を絶やさない、むく犬のようなジョシュ。どこまでも対照的なこの2人が、揃ってUFC王者になったことは、彼らのインタビューを日本に初めて伝えた人間として少し誇ってもいいと思う。

ジョシュのUFCデビューは2000年の11月。おそらく最初で最後のスーパーヘビー級戦と銘打たれたもので、対戦相手はこの一戦で消えたガン・マクギー。当時のジョシュはどこの相撲取りだ？と言いたくなるようなおデブさんで、案の定ドタドタした試合ではあったが、贅肉のわりに切れのあるハイキックと、勝ち名乗りの時に四股を踏み、長州力ばりの首切りポーズを見せる派手なパフォーマンスが妙に印象に残った。

ちょうどこの大会では、王座を剥奪され、2年間ホされていた〝流浪の王者〟ランディ・クートゥアーが、ヘビー級王座に返り咲きを果たしている。試合終了後、カメラマンが新チャンピオンの記念撮影をしているところへ、キャップにスウェット、ショルダーバッグ横がけの奇妙な風体の大男がオクタゴンに紛れ込んでいるのに気が付いた。見れば、さっきの四股踏み男だ。無関係なパーティーにひ

盟友TKも祝福！

今日は『北斗の拳』のケンシロウのつもりで闘ったんだ（ジョシュ）

▲入場でのキメポーズもバッチリ。勝った瞬間には手をクロスさせてスペシウム光線のポーズをやっていた。バーネットは『北斗の拳』をはじめ日本の特撮、アニメが大好きなのだ。ホドリゴ・グレイシーといい、海外の若い選手ってそんなんばっかりか!?

▲若き新王者を称え、堂々とオクタゴンを降りたクートゥアー。大人の態度とはこれである

◀クートゥアーのセコンドには、モーリスとともにキモの姿も

▲差し合いの攻防からフロントチョークを仕掛けるクートゥアー。タイトルを明け渡してしまったものの、39歳にしてこの強さは驚異的だ

▲見事にタイトルを奪取したバーネットを担ぎ上げて祝福するセコンドのTK。バーネットとはシアトル仲間なのだ。ちなみにクートゥアーも同じワシントン州出身で、そちらのセコンドにはモーリス・スミスが

◀レスリングで4度のアメリカ代表になっただけあって、レスリング勝負ではクートゥアーが圧倒。金網に押し付けてテイクダウンする。しかし試合が進むにつれてスタミナ切れが……

ょこんと迷い込んできた野良犬のような、そのとぼけた風情がおかしかったので、カメラを向けると、いきなり腕を十字に組んで腰を落とし「ジョワー」などと口走る。「う、うるとらまん……？」と聞くと、にっこり笑って今度は両手の人さし指を突き立て「アタタタタタタタタァ～」という奇声とともに、巨大なプッシュホンを押しまくるような動作でジョシュは再びわめいた。

「オマエハスデニシンデイルゥ～。ホクトノケン、ケンシロゥデス！」

今や世界で最も権威ある総合格闘技大会UFCのヘビー級新王者に輝くジョシュ・バーネット君、22歳の若気の至りまくったこの姿であった。あまりにこの時のやり取りがおかしかったので、オタク大魔王の注目新人として某誌に紹介してから1年半。試合ごとに体格はシェイプアップされ、しゃべりっぷりも少し落ち着いたジョシュだが、王者になってもベルトを片手に「これでケンシロウになれたかな」などと口走る相変わらずのオタクぶりなのである。

周りはさっそく大ノゲイラとのヘビー級頂上対決を期待しているが、「負ける要素はないと思うよ」と言いつつ、きっと頭の中では『ゴジラVSキングギドラ』みたいだなんて思ってニヤついているに違いない。

来年には実現予定というUFC日本大会では、ぜひこの若き王者に注目してほしい。大声援で調子に乗らせれば、長年の夢だと言い続けている、オクタゴンでのドラゴンスープレックスを披露してくれるかもしれない。　（矢作祐輔）

新UFCヘビー級王者

ジョシュ・バーネット

JOSH BARNETT

構成◎矢作祐輔

本誌初登場!

「ノゲイラにも負ける要素はないよ。『プライド』ルールなら殺しちゃうかも(笑)」

今大会のメインで行われたヘビー級タイトルマッチでランディ・クートゥアーを破り、新王者となったジョシュ・バーネット。大会直後、さっそく多くのマスコミ陣に囲まれたわけだが、やはり気さくな笑顔を振りまいていた。若くて強くてルックスもいい(オタクだけど)、ティトに続くUFCの顔として、これから日本でも注目されること間違いなしのバーネットの喜びの声をお届けしよう。

——最初に会った時、「ボクはヒーローになりたいんだ」って言ってたけど、UFCで一番強い男を倒したことで、ヒーローになれたんじゃないですか?

バーネット あの時はウルトラマンのポーズで写真を撮ってもらったんだよね(笑)。でも、ボクが一番好きなのはケンシロウなんだよ。ホントに『ホクトノケン』みたいにできるわけじゃないんだけどさ。「オマエハモウシンデイル!」。もう誰もボクを止められやしないさ。ケンシロウは最強だからね(笑)。

——ウルトラマンとどっちがいい?

バーネット ウルトラマンはタフだけど、5分しか闘えないじゃないか(笑)。1Rしか闘えないよ。

——ウルトラマンは3分だよ!(笑)。

バーネット ホント?(笑)。じゃ、やっぱり、ケンシロウがいいね。UFCのチャンピオンになるには25分間ずっと闘えなきゃダメなんだから。「アタタタタタタタ!」ってね(笑)。

——え~、さっそくオタク話で脱線してしまいましたが(笑)。じゃあ、格闘技に話を戻してですね、今日のあなたは、クートゥアーにどういう点で勝っていたと思いますか?

バーネット 彼に勝っていた部分はね、やっぱりチャンスを活かす力がボクにあったってことかな。フェンス際に追い込まれて、ボウ~ッと寝てたらボクは終わってたわけで。瞬間のチャンスを活かすように集中したよ。あの時は短くヒザを打ち込まなきゃいけないと思ってそうしたんだけど、もし思い切り振りかぶってたら、そこで足を取られて、負けてたかもしれないしね。

——そのチャンスというのは、最後、ガードポジションから体勢を逆転した瞬間だと思うんですが、あの時はどういう動きをしたんですか?

バーネット まず、彼が上からヒールホールドを取りに来たんで、彼の尻を蹴って突き放して、バックに回ったんだ。彼が立とうとするから抑え込んだんだけど、そしたら今度はトゥホールドを取りに来たから、口元をサッカーボールみたいに蹴ったんだ。それでも彼はそのましがみついてたんで、こっちはその動きを利用して上に乗ることができたんだ。そのあとは尻を乗っけて、パンチを打つ。向こうが動く、ボクはパンチを打つ、の繰り返しさ。レフェリーに止められるまでね。

——彼もなかなかタップしなかったですよね。

バーネット うん、驚いたよ。おかげで殴り続けたこっちがケガをするんじゃないかと思ったよ。拳もちょっと痛くなりだしててね、このまま殴り続けてたらキレるか、拳が壊れるかだなとか思ったぐらいさ。それでも彼はまだあきらめてな

いしさ。なんとかヒジでカットさせて終

——UFCの頂点に立ったことで、次の

——5月の大会では、TK(髙阪剛)と

——あの首切りポーズは何のポーズか気

いしさ。なんとかヒジでカットさせて終わろうかとも思ったんだけど、滑っちゃってうまくいかなかったしね。この調子でまだまだ殴り続けなきゃいけないのかと思ったら「うっそだろー、クッソぉー」って叫びたかったよ（笑）。「チクショウ」（日本語で）ってね。

――でも、本当は関節技で勝ちたかったんじゃないですか？

バーネット　もちろん。でもそれは彼の動きによるよね。もし関節が取れそうだったら極めにいくけど。可能性は頭に入れてたけど、やっぱり関節を極めるいいタイミングじゃなかったね。それにトゥホールドを仕掛けられた時、マット（ヒューム）が「あと40秒」って言ってきたから、残り少ない時間で関節を取りにいくより、ボディにヒザを入れるか、サッカーボールみたいに蹴るなりしたほうがいいんじゃないかと思ってね。

――三角絞めを狙った場面もありましたね。

バーネット　うん。でも彼の動きのほうがちょっと早かったんだよね。気配を察して素早く引き抜かれちゃうんで、ちゃんと捕まえておくことができなかったんだ。

――UFCの頂点に立ったことで、次の目標は『プライド』のチャンピオンであるノゲイラになってくると思うんですが。彼に関してはどう思いますか？

バーネット　彼が凄い選手だっていうのはホントだよ。実は前に1回グラップリングの練習を一緒にしたことがあるんだ。やっぱりうまかったし、技術的にお互いリスペクトできる相手だと思ったよ。みんながボクと彼を闘わせたいと思うのは分かるし、彼に勝つとしたらボクしかいないと思ってるけどね。グラップリングでも、ストライキングでも、全局面で彼に負ける要素はないと思ってる。

――闘うとしたら、UFC？　それとも『プライド』で？

バーネット　どこでもいいよ。闘って勝つだけだから。もちろんリングとケージの違いというのはあるんだけど、リングでもやれることはたくさんあるしね。オクタゴンでなきゃイヤだっていうのはないよ。ただ『プライド』ルールではグラウンドの時、頭を踏んづけてもいいわけだろう？　頭へのヒザ蹴りもキックもOKだし。「うっかりしたら殺しちゃうかもかもしれないなぁ」みたいなことは思うけどね（笑）。

――UFC内部で言えば、リコ・ロドリゲスがあなたをライバル視してるようですが、彼についてはどう思います？

バーネット　リコがどう思ってるかはともかく、ボクは自分にライバルなんかいないと思ってるんだ。試合が始まって、目の前にいる相手がライバルだというだけでね。

ボクのことは「UFC史上最も若く、最もカワイイ王者」って呼んでほしいな

JOSH BARNETT

――5月の大会では、TK（髙阪剛）とリコの試合が予定されてます。もしTKがリコに勝つと、次はあなたと彼との試合もありえますよね。

バーネット　もし必要なら、TKとも試合はするよ。だって、ボクらのやってるのはスポーツだし、競技なんだから。誰かとは友だちだから試合ができないとかは思わないな。もちろん彼とはずっと仲がいいし、UFCに出る前からの友人だからね。いつもボクのことをよく気づかってくれるし、助けたり助けられたりしてる。彼はホントに凄いヤツだと思うしね。

――UFCのチャンピオンになって、次はガールフレンド（エリン・フーパー）のサポートに集中しなきゃいけないんじゃないですか？

バーネット　そうだね。彼女は4月13日にある『ファックンシュート』に出場するんだ。きっとボクより強いよ（笑）。ホントだよ。キックミットを蹴ってても、彼女のほうがいい音をさせるし、フォームだってキレイなんだ。彼女のほうがパワーもあるしね（笑）。

――あの首切りポーズは何のポーズか気になってしょうがないんですけど、アレは何かアニメとかの真似とか？

バーネット　あれはボクの個性だよ。誰の真似でもないんだ。

――長州力の真似でもなくて？（笑）。

バーネット　いや、ムタさ（笑）。まあ、それはウソだけど（笑）。でもプロレスは大好きなんだよ。ホントはボクはUWFインターが好きなんだよ。20歳になるかならないかの頃に、インターネットでUWFインターを知ってね。ビデオを貸してくれる店が近所にあったもんだから、もうハマりまくってさ。タムラはUWFをリバイバルさせるって言ってるらしいけど、絶対いいよね。ボクもUWFインターで闘ってみたかったよ（笑）。

――そういえば、あなたはまだ24歳なんですよね。UFC史上最年少のチャンピオンになったわけですが

バーネット　違う、違う。それを言うなら、「UFC史上で一番若くて、一番プリティなチャンピオン」って呼んでほしいな（笑）。■

▼師匠であるマット・ヒューム（『プライド』ジャッジでもある）と。ヒューム曰く「勝ったのは良かったけど、これからも全ての面でレベルアップさせないとね」

JOSH BARNETT PROFILE

1977年11月10日、ワシントン州シアトル出身。通算戦績28戦27勝1敗（UFCでは4勝1敗）。15歳から柔道を始め、現在はAMCパンクレイションに所属。UFCデビューは2000年11月17日のUFC28。昨年6月にはセーム・シュルトと対戦し、腕ひしぎ十字で一本勝ちしている。ニックネームは“ベビーフェイス・アサシン（童顔の暗殺者）”。

「UFCは世界のブランド」

7月にロンドン進出、そしてタイソン獲得へ!?

UFC36/WORLDS COLLIDE
3.22★アメリカ・ネバダ州ラスベガス
MGMグランド・アリーナ

“妖しのオクタゴン”は過去のこと ベガスで見たのは一流のスポーツイベントだった

▶「公式発表ではないけど」と前置きしつつ、7月のロンドン大会について語ったロレンゾ・フェティータ氏

▲公開計量の会場では、カーロス・ニュートン、リコ・ロドリゲスなど今大会には出場しない人気選手のサイン会も。プレスパス下げてなけりゃ並んだのになぁ……

▲ＵＦＣを運営するズッファ社のダナ・ホワイト社長。なんとタイソン参戦プランをブチ上げた

▶公開計量はホテル内にあるクラブ『スタジオ54』で行われた

▲開場時間のかなり前から、観客の長蛇の列が

▲大会終了後には記者会見。ここで選手のコメントを聞くことができる

大会前日の公開計量の時に渡されたプレスパスには「大会当日は使用不可」みたいなことが書いてあった。で、大会当日にプレス受付に行くと、まずはＩＤの提示。申請した名前と照合すると別室へ通され、ポラロイドで撮影して顔写真入りのパスを発行してもらう（世界中から何百人ものプレスが来ているはずだけど……）。会場に早めに入ってプレスルームにいたら、開場時間の間際になって「セキュリティチェックを受けてから入り直してくれ」。ライターのパスで入場した者は、勝手に写真を撮っちゃいけない。

テロの影響もあるんだろうけど、ここまで管理されたイベントは日本には（Ｋ—１や『プライド』でも）ない。前回、ボクが現地で取材したＵＦＣ（ＳＥＧが運営していた頃だ）は、もっとアバウトだった。でもズッファ社が開催する今は違う。どこまでも手が行き届いた、一流のスポーツイベントだ。

オープニングを飾る花火は、熱風にアオられそうになるほど派手。選手入場時には、大型ビジョンにＣＧを駆使して作り込まれたイメージＶＴＲが流れる。ついでに言うとラウンドガールの顔と胸も作り込みが激しい。

ファンの熱気も相当なもので、会場は８３２７人の観客で満員。主催者側もそれに応えるべく、ボクシングのように計量を公開イベントにしたり（計量をパスしただけで大歓声が沸き起こる－！）、サイン会を行うなどファンサービスを心掛けている。

「ＵＦＣが目指すのは世界的なブランドなんです」

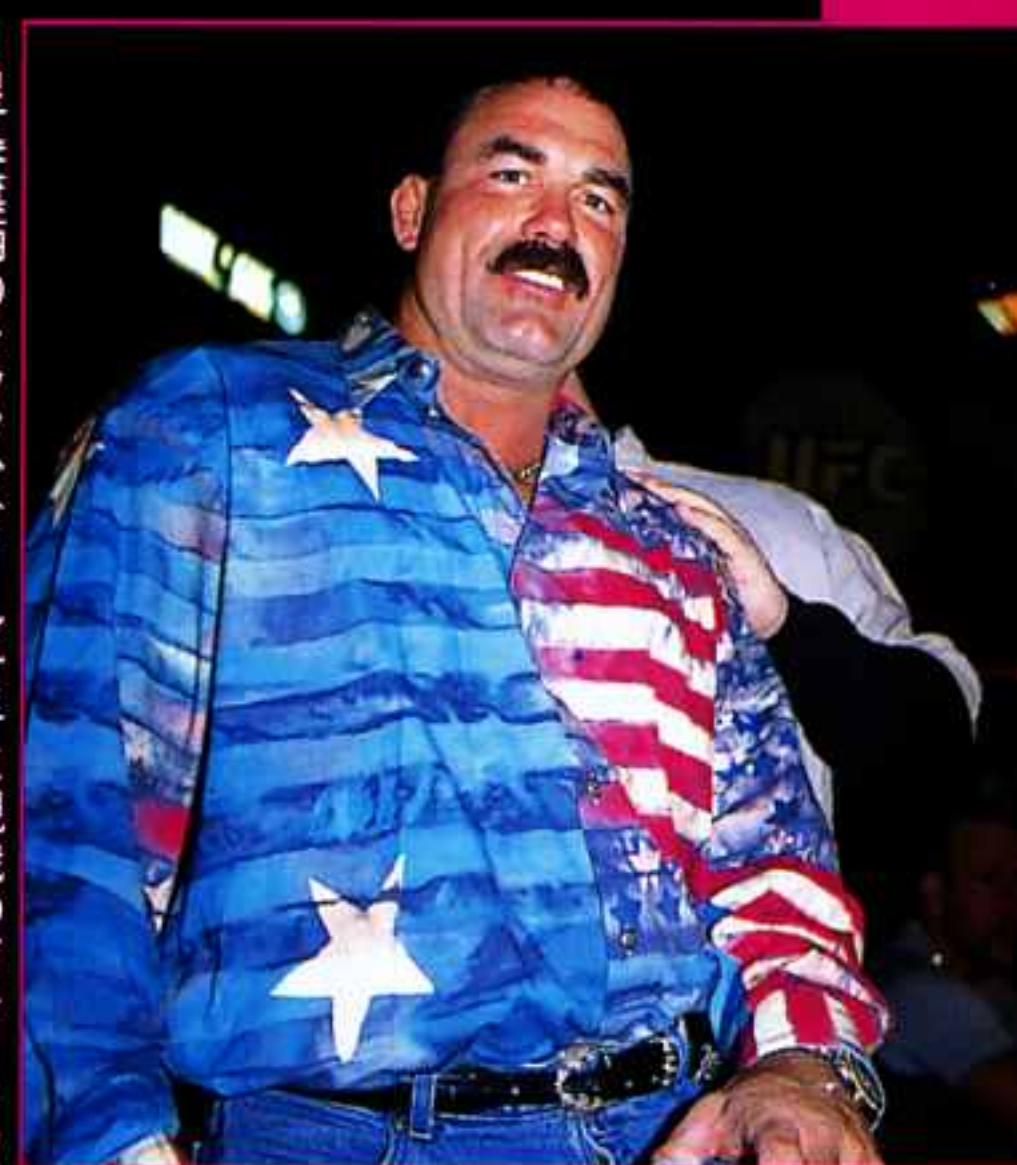
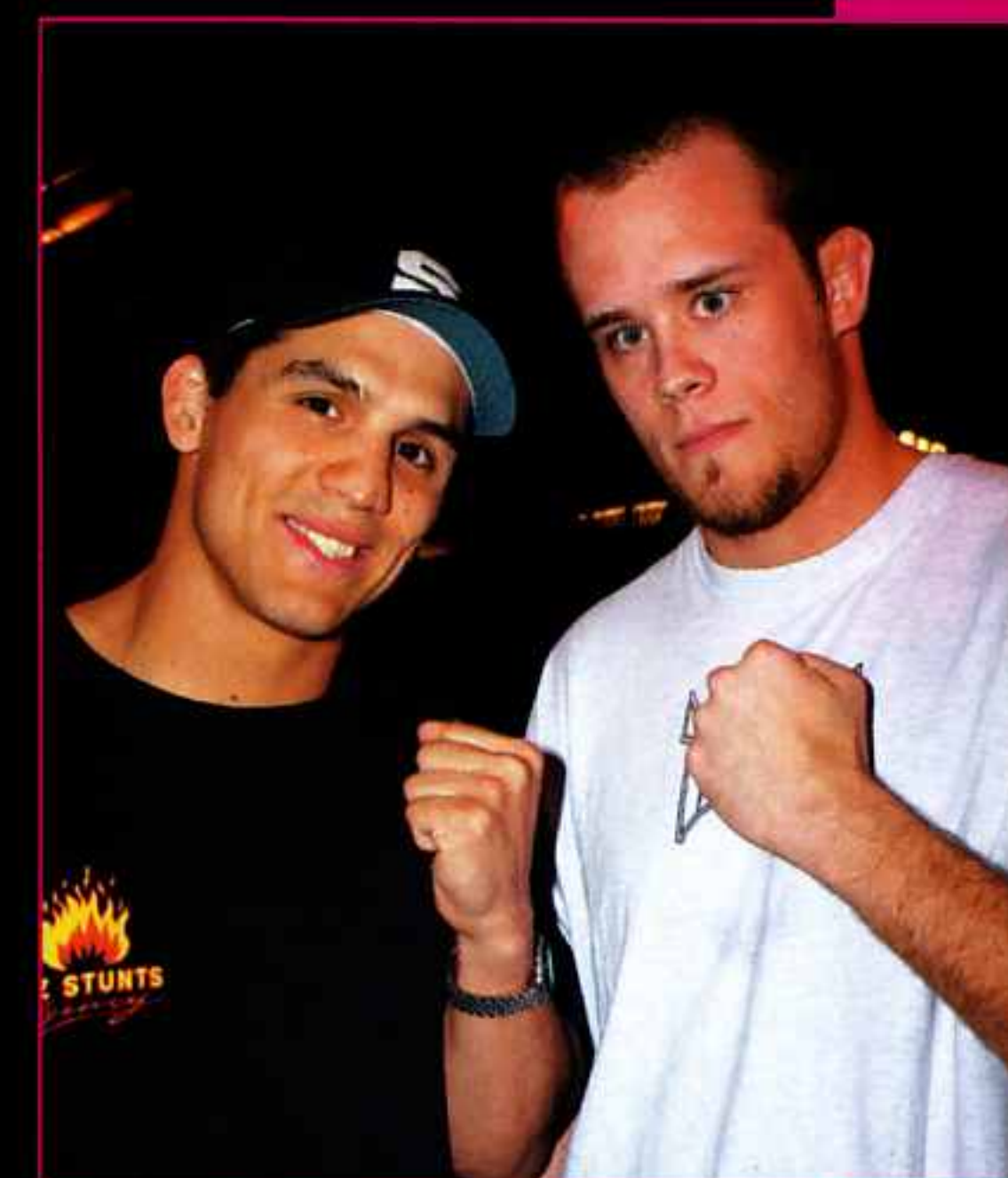
は両者
再浮上
ーがヒ
ち

ルール規制の厳しいアメリカで「ヒジあり」の試合。それができるのもUFCの"実力"なのだ

★第4試合/ライトヘビー級5分3R
○エヴァン・タナー（1R2分06秒、TKO勝ち）エルビス・シノシック●
〈アメリカ/USAスターズ〉　〈アメリカ/マチャド柔術〉
※グラウンドでのヒジ打ちでシノシックが出血したため

★第3試合/ヘビー級5分3R
○フランク・ミーア（1R0分46秒、アームロック）ピート・ウィリアムズ●
〈アメリカ/ヒカルド・ピレス柔術〉　〈アメリカ/ライオンズ・デン〉

会場にはこんな顔ぶれが……ドンさん、シャツ派手すぎ！

▶星条旗柄のシャツ、ビール片手に観戦のドン・フライ。これぞアメリカのオヤジ！

▶レイ・セフォーも会場に。この翌日にはキックボクシングの大会が開催され、懐かしのマンソン・ギブソンやメルチョー・メノーが試合をした

▲フランク・シャムロックとジェレミー・ホーン。今大会ではそれぞれのジムメイトが試合を行った

そう語るのはロレンゾ・フェティータ氏。ダナ・ホワイト社長とのコンビでUFCを急成長させた立役者だ。オフィシャルHPではブラジルとイギリス、そして日本での開催が『カミング・スーン』になっている。

実際、イギリスでの開催は決定したようだ。7月13日、会場はロンドンのロイヤル・アルバート・ホール。イギリスで最も格式の高いコンサートホールで金網ファイトをやろうというのだ。すでにイギリスでは、Bスカイ Bで週1回のUFCのレギュラー番組が始まっている。

出場予定選手はジョシュ・バーネット、マット・ヒューズ、ジェンス・パルヴァーの各階級チャンピオンに、地元イギリスのイアン・フリーマン、超有望ルーキーのマーク・ウィアー。日本からは早くもパンクラスが名乗りを挙げていて、尾崎社長によれば髙橋義生、國奥麒樹真、近藤有己に出場の可能性があるという。5月の大会にも髙阪剛と宇野薫が出ることになっており、UFCは今後も日本人選手の出場と日本市場の開拓に熱心なところを見せている。

じゃあ、このUFCが日本でもブレイクする可能性はあるのだろうか？　今回のラスベガス大会を見た印象から言うと、答えはイエスだ。イベントとしての完成度は他のどんな大会にも劣らないし、何より重要なファイターの質、試合のレベルも文句なし。

アメリカの選手というと、どうしても「どうせ倒して殴るレスラーばっかだろ？」というイメージがあるが、決してそれだけじゃない。今大会でもグラウンドパンチ

UFC36/WORLDS COLLIDE
3.22★アメリカ・ネバダ州ラスベガス
MGMグランド・アリーナ

◀タイトル戦の選手入場時には花火が炸裂！ イベントとしての完成度は相当に高い

▶ヘンゾの高弟で、日本での試合も待たれるマット・セラはフランクの弟子ケリー・デュランティと対戦。試合開始直後からタックル、マウント、チョークと波状攻撃を仕掛け、最後は十字から三角絞めのコンビネーションで快勝。これぞ柔術家と言うべきテクニックだった

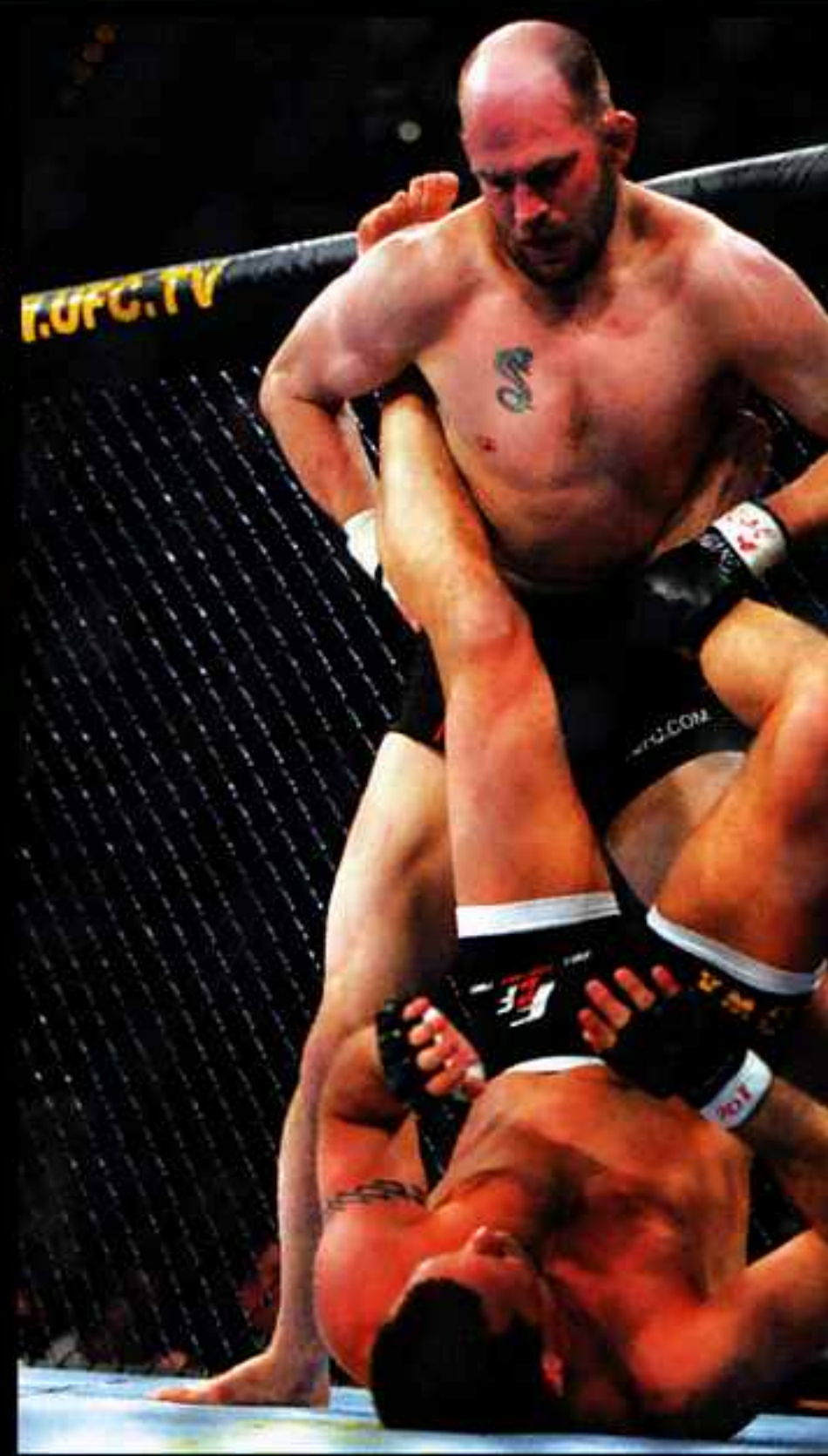
▲▶エルビス・シノシックとエヴァン・タナーは両者ともティトに敗れており、ライトヘビー級での再浮上を狙っての対決。下からの十字をしのいだタナーがヒジ打ちでシノシックを大量出血させてTKO勝ち

★第7試合/ヘビー級5分3R
○ペドロ・ヒーゾ（3R1分45秒、KO勝ち）アンドレ・アロフスキー●
〈ブラジル/ファスVT〉 〈ベラルーシ〉
※右ストレート

▲▶セミファイナルはブラジリアン・ストライカー、ペドロ・ヒーゾとベラルーシのサンビスト、アンドレイ・アロフスキーの対戦。なんと１度もグラウンドになることがない打撃オンリーの勝負となった。中盤以降は見合う場面が多かったが、最終ラウンドにヒーゾのワンツーがもろにヒットしてアロフスキーが失神。ブーイングから一転して大歓声となった

★第2試合/ライト級5分3R
○マット・セラ（1R2分58秒、三角絞め）ケリー・デュランティ●
〈アメリカ/ヘンゾ・グレイシー柔術アカデミー〉 〈アメリカ/チーム・シャムロック〉

▶シドニー五輪銀メダリストのレスラー、マット・リンドランドは、この試合からミドル級に上げてきたパット・ミレティッチをマウントパンチ連打でレフェリーストップに追い込んだ。これでUFC4戦負けなしのリンドランドは、ムリーロ・ブスタマンチが持つミドル級タイトルへの挑戦が発表された

▶ライオンズ・デンのピート・ウィリアムスを秒殺したのは地元ラスベガス出身のフランク・ミーア。打撃のコンビネーションから寝技に持ち込まれたが、ガードポジションからヒジをひねり上げてタップを奪った。この鮮やかな勝利で、ミーアには『ベスト・タップアウト賞』が贈られた

★第5試合/ミドル級5分3R
○マット・リンドランド（1R3分09秒、TKO勝ち）パット・ミレティッチ●
〈アメリカ/rAwチーム〉 〈アメリカ/ミレティッチ・ファイティング・システム〉
※マウントパンチ連打でレフェリーストップ

次回、5・10ルイジアナでリコ・ロドリゲスvsTK！

▲次回『UFC37』はルイジアナ州ボシャーシティでの開催が決定。TKこと高阪剛とリコ・ロドリゲス、宇野薫とイーブス・エドワーズが対戦する。TKvsリコは、事実上のヘビー級王座決定戦となる重要な一戦だ

い。今大会でもグラウンドパンチでの決着が多かったし、ファンもそれを喜んでいるのだが、見るべきはそこまでの過程。下の選手が技を仕掛け、それをしのいだ上の選手がパスして殴るといったパターンがかなりあったのだ。つまり選手がリスクを承知のアグレッシブさを持っているということ。マット・セラやジョシュ・バーネットなど、極めの強い選手も確実に存在する。大会を見ていたら、むしろ日本のほうが試合内容のレベルが低いんじゃないかと思えたほどだ。

　それともう一つ印象的だったのは、ヒジありのルール。アメリカのアスレチックコミッションはとにかくバイオレンスにうるさく、ローキックさえなかなか認めないという話を（かなり以前だが）聞いたことがある。それを出血の危険性も高いヒジまで認めさせてしまうんだから、それだけズッファ社のUFCには〝実力〟があるってことだろう。ネバダ州のコミッションに太いパイプがあるのだ。

　そして、それを象徴するのが、〝タイソン獲得宣言〟だ。ホワイト社長が言うには、すでに代理人ではなく本人と交渉しているという。「ボクシングを引退してから」という譲歩の仕方も妙に現実味がある。

　「スポーツ競技としてのMMA」というズッファの理念とタイソン出場プランは矛盾しているような気もするが、それだけ彼らが〝面白いこと〟に敏感な証拠だろう。そでなければショービジネスのメッカ・ラスベガスでイベントなんてやっちゃいけない。　（橋本）

マッハ完敗の翌々日、修斗ウェルター級チャンピオン五味がUFCタイトルマッチに名乗り——

いよいよオレの出番！

キッ！

5試合中3試合一本勝ち。修斗ウェルター級チャンピオンになってから初の試合だったが、五味隆典（木口道場レスリング教室）は非常に安定した闘いぶりで昨年の69キロ級に続き74キロ級優勝を果たした

昨年の76キロ級覇者・ルミナは腰痛のため参加せず 五味が修斗王者として、貫禄のV！

「いよいよオレの出番かな。ジェンス・パルバーの次の防衛戦（の相手）を、やりたいですね」

桜井〝マッハ〟速人が『UFC36』で完敗した翌々日、全日本コンバットレスリング選手権の74キロ級で危なげなく優勝を飾った、修斗ウェルター級王者の五味隆典が、UFC出陣を改めてアピールした。

かねてより興味を示していた五味だが、マッハの敗北によって、より一層その気持ちを強めたようだ。

昨年ミドル級の王座をアンデウソン・シウバに明け渡したとはいえ、マッハが修斗の〝顔〟的存在であることは、今も変わりはない。そして、昨年12月にもう一人の修斗のカリスマと言われた佐藤ルミナを破り、王者に輝いた五味も、現在の修斗の顔と言える存在だ。

だからこそ、マッハが負けて、修斗のファンや選手たちが意気消沈してしまいそうな空気をいち早く察知し、「いよいよオレの出番！」と高らかに宣言したのだろう。その感性は、さすがと言いたい。

今回の大会でも、五味は自分のことよりも、大会のことやファンのことを一番に考えており、試合後に記者から「佐藤留美奈選手が欠場して、自分のモチベーションが下がることはなかったか」と質問された際にも、「ルミナさんが出なくてもこれだけお客さんが集まってくれました。まあ、ルミナさんが出たらもっと来てくれ

第8回全日本コンバットレスリング選手権

3.24★町田市総合体育館

修斗フェザー級王者・大石真丈も"外"に興味

▶修斗フェザー級王者の大石真丈も今大会を観戦。大石はマッハの敗戦について「見てないからなんとも言えないですけど、試合だからそういうこともありますよ」と語り、自らの修斗以外の試合については「オファーがあれば優先的に」と興味を見せた

▶74キロ級は、シード選手が次々に敗れる波乱の中を勝ち上がった小谷宏明（RODEO STYLE）と優勝候補筆頭の五味が決勝で相対。五味はチャンスを逃さずアームロックで小谷を仕留めた

▶60キロ級決勝。高橋大児（K'zファクトリー）が実力者・大河内衛（GUTSMAN修斗道場）を1−0の判定で破り初優勝

◀66キロ級は戸井田克也（和術慧舟會）が全5試合ヒールホールドで一本勝ちという快挙で初出場初優勝。決勝では上田将勝（パレストラ東京）にポイントで先行されたが、逆転の一本勝ち。戸井田は最多一本賞とMVPも併せて受賞した

▲▶昨年85キロ級を制した竹内出（K'zファクトリー）が全4試合一本勝ちで連覇（今年は84キロ級）。決勝の米澤重隆（RJW）にはヒールホールドを極めてみせた

▶84キロ級決勝。タイタンファイト1位の経験を持つ石井淳（超人クラブ）が巨漢にものを言わせる攻めを見せたが、相沢純（中大レスリング部）は先取した1ポイントを死守。僅差の判定をものにした

▲昨年の修斗MISを受賞するなど進境著しい中山巧は、なんと緒戦（2回戦）の高屋祐規に9−1という大差を付けられて判定負け

★74キロ級決勝（5分1R）
○五味隆典（2分20秒、アームロック）小谷宏明●
〈木口道場レスリング教室〉　〈RODEO STYLE〉

▶師であり、コンバットレスリング協会会長である木口宣昭氏とガッチリと握手を交わす五味。「今日の五味は非常に安定してましたね。終わってみれば全部ワンサイド。彼なりに使命感だとかプレッシャーはあったと思いますが、ちゃんとやり遂げて結果を観衆に見せたというのが立派だと思いますね」と目を細めた。また、UFCでの愛弟子マッハの敗北に関しては「UFCに乗り込んでいったのは凄い度胸だと思いますよ。結果は残念だけど、彼にとっていい課題ができた。今回の負けでマッハは一回りも二回りも強くなる。これからもできる限りの応援をしていきますよ」とエールを送った

五味のコメント

「12月に（修斗ウェルター級の）ベルトを獲ってからたるんでいたんでどうなるかと思ってたんですけど。5試合中3試合一本取れて勝てたんで、まあ、いいかなと。（次は？）ジェンス・パルバーのUFCライト級王座防衛戦を、自分とやってほしい。いよいよ出番かなと。（パルバーには）宇野選手も負けていますし、ガツンとやろうかと思ってます」

たんでしょうけど。でもケガですからしょうがないですよね。そういう時は自分が頑張れば、少しはお客さんに喜んでもらえると思うんで」という言葉が返ってきたのだ。

少し前までは、やたらと気が強くてヤンチャな悪ガキというイメージだったが、今は、王者としての人格、落ち着きや余裕も出てきたように感じると言ったらホメ過ぎだろうか。

今大会、もっとも目立った選手は、全5試合ヒールホールドで一本勝ち（しかも決勝以外は全て1分以内）の戸井田克也であり、その強さには正直、舌を巻いた。MVPに輝いたのも当然と言えるだろう。

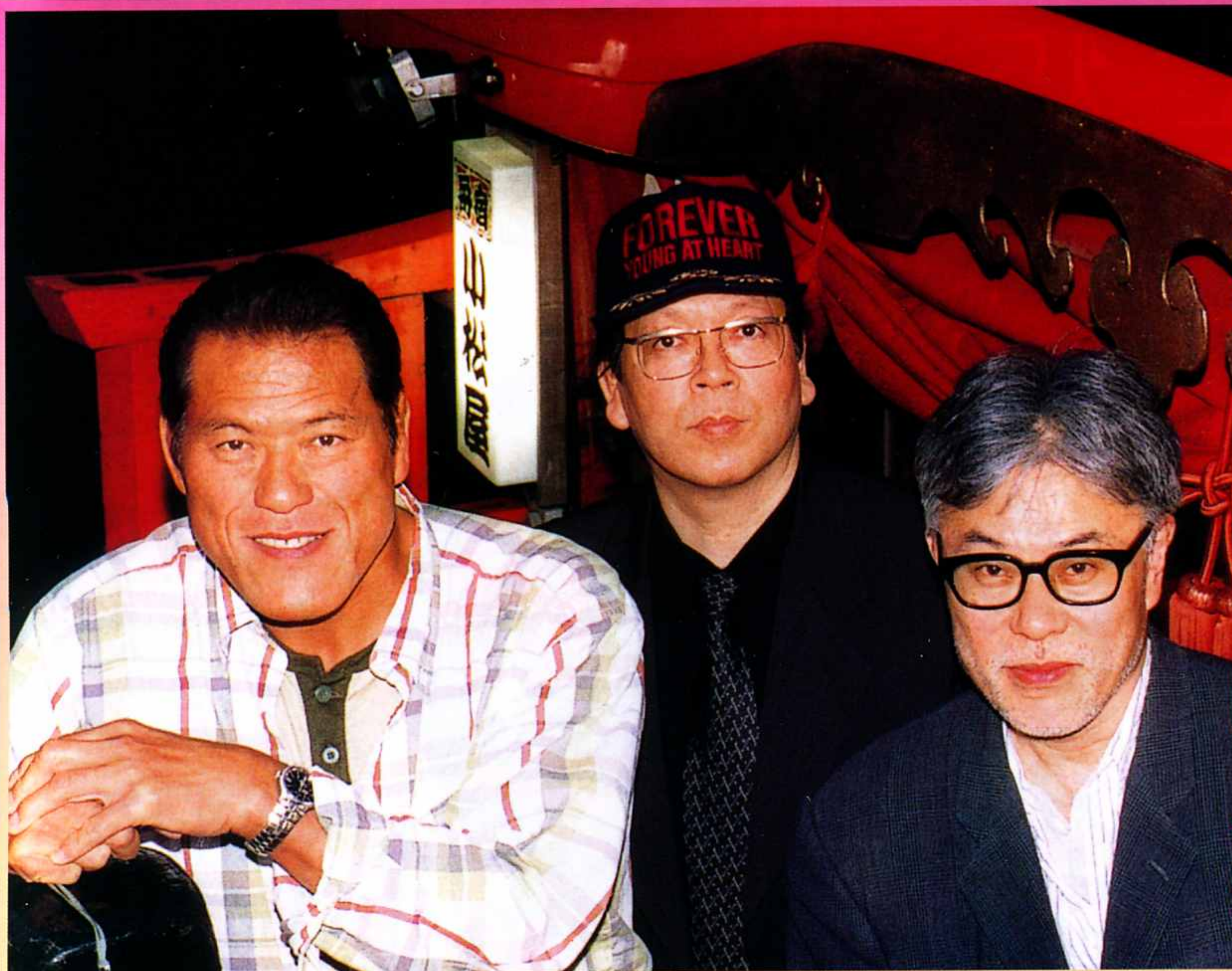
しかし、修斗のチャンピオンとして、また、師が主催する大会で、弟子である自分が負けるわけにはいかないというプレッシャーの中で、安定した力を見せ、結果を出した五味の闘いぶりも戸井田に負けないくらいの評価に値すると思うのだ。

トーナメントを勝ち上がるのは、容易なことではない。五味の優勝した74キロ級は、特に選手層が厚く、レベル的にも最も高かった。シードされていた実力者が次々に敗れる波乱もあった。そんな中での優勝は、五味をまたひと回り大きく成長させたことだろう。

マッハやルミナを育て、今は五味を手塩にかける木口会長は、マッハのUFC敗北に関して「今回負けたことでもっと成長しますよ」と語り、また、五味のUFC参戦に関しては、「体格的にも、五味の階級は日本選手が王者になれる可能性は十分にある」と期待を寄せる。

マッハのリベンジも見たいが、まずは、五味のUFCライト級王座獲りに期待だっ！（林）

『プライドの怪人』百瀬博教氏がナビゲーターの新番組「百瀬博教　時間旅行」が4月にスタート！

第1回目のゲストはアントニオ猪木！
屋形船で「力道山」を大いに語る！

▲屋形船での収録を終えて。この日のゲストはアントニオ猪木の他に、イラストレーターの安西水丸氏も出演した

▲屋形船「小松屋」のおかみさんからサインを求められ、気軽に応じていた猪木

▲50人乗りの屋形船を貸し切って収録は行われた。隅田川から見える桜がきれいだった

▲収録後の一コマ。会話も弾みアントンスマイルも飛び出した！

「百瀬博教　時間旅行」放送スケジュール
第1回目放送は4月14日！

本放送　毎月第2日曜（20:15〜20:45）
再放送　毎月第4日曜（9:00〜9:30）

"プライドの怪人"作家の百瀬博教氏がパーソナリティーを務める新番組「百瀬博教　時間旅行」が、CS衛星放送の朝日ニュースターで4月14日（毎月第2日曜日、20時15分〜20時45分）からスタートすることになった。

この番組は百瀬氏のかつてゆかりのあった地を旅しながらゲストとトークを繰り広げるもので、記念すべき第1回目のゲストはアントニオ猪木とイラストレーターの安西水丸氏が登場。

東京・柳橋にある「小松屋」の屋形船に乗り、隅田川を渡りながら「力道山」についてのトークが弾んだ。

なぜ、「力道山」なのか……これは百瀬氏は子供の頃から力道山と馴染みがあり、猪木にとってはまさしくプロレス界での師匠と、両者にとって共通のゆかり深い人物だからだ。

さらに、この柳橋は百瀬氏にとって幼少の頃に住んでいた地であり、猪木にとっても柳橋の近くの人形町に力道山の道場があり、猪木がブラジルから帰ってきた時に練習を重ねていた地と、お互いに原点の地でもある。

そのことに気付いたアントニオ猪木が「ここは百瀬さんの原点でもあり、自分の原点でもある。こりゃ、減点だな。ダーッハハハハハ」とお得意のダジャレも飛び出すなど、終始ご機嫌で収録は進んでいった。

さて、力道山についてどんな話が飛びだしたのか？　オンエアーを要チェックだっ！　■

突然変異予告！（リニューアル）

2002年4月下旬、『SRS・DX』オフィシャルサイトがパワーアップ!!

アドレスは同じ！＞http://www.so-net.ne.jp/srs-dx/

今こそター●ンに乗れ!!

1年間の謹慎処分を経て、
遂にあの超大物Xが『SRS・DX』公式サイトに初見参!?

「俺がネット界をイレギュラーさせますよお!!」by X

いつ何時、誰のアクセスでも受ける!!

Database
[データベース]
Fighters
AREXANDER OTSUKA
アレクサンダー大塚
■所属 AG/DC
■生年月日 1971年7月17日
■身長 183cm
■体重 92kg
■バックボーン プロレスリング

『SRS・DX』オフィシャルサイトに満を持して新登場！
ニューコンテンツ・その1!!

■便利・充実！ データベース◀◀◀

K－1、『プライド』等で活躍するファイターの詳しいプロフィールがどど～んと100名以上!!
身長や体重、バックボーン、過去の戦歴などなど、閲覧はもちろん無料！
データはぞくぞく追加されるぞ！

http://www.so-net.ne.jp/srs-dx/

沈むな、嘆くな、日本キック界よ
武田幸三、再び頂上へ向けて発進！

5月、タイ王座2階級制覇に挑戦
ラジャ5位を血祭りにして、前哨戦飾る

その"超合筋"から発射される武田のパンチは素晴らしい。たちどころにビッグベンを追い詰めていく

撮影◎吉澤晃

ラジャダムナン5位から5度もダウンを奪った。ビッグベンは最後に倒れたあと、3分間も立ち上がることができなかった。一点の曇りもない、ものの見事な快勝である。

だが、武田幸三は無表情だった。たかだかこんな1勝、どこかに捨てちまっても構わない。そんなふうにも見えた。それもそうだ。この男には、次にもっと大きな仕事が待っているのだ。5月26日、後楽園ホールで、ウェルター級に続くラジャダムナン2階級制覇を賭け、現王者サゲッダーオ・ゲットプートンと対決することが決まっているのだ。

この日の快勝にも満足しているわけにはいかない。現役ランカーといっても、チャンピオンに比べればずっと下じゃないか。そんな男に勝ったとしても、やすやすと喜んでいられるものか。そんな武田の使命感が、笑顔を奪い去ったのだ。

考えてみれば一昨年末から、日本キックボクシング界は、まれに見る豊漁に巡り合ったような気分だったろう。小笠原仁、それからこの武田と、立て続けにラジャダムナン王座をつかんだ。続いて全日本キックのリングでは、小林聡が現役ラジャ王者のテーパリットを劇的なノックアウトで破った。この試合はノンタイトル戦であったとはいえ、やはり大変な快挙に違いない。日本人として初めて、本場タイの王座を持ち帰ってきた藤原敏男の奇跡が、20年の時

新日本キック Get Forward! 〜前進〜

3.24★後楽園ホール

ねじりこむようなローキック。タイ人のふくらはぎに異様な波紋が走る

もはや、武田はムエタイの修験者 完璧KOにも、一切の笑みはない

吹きすさぶ、ローキックの破壊力 ビッグベンはコロコロと5度も倒れた

▶相手を倒しても、武田はニュートラルコーナーに退かず、仁王立ちで威嚇し続ける

▶ビッグベンが現役ランカーらしいこんなキックを見せたのは、ほんの1〜2度に過ぎない

▲ビッグベンは変則的な動きで惑わしにかかったが、武田には一切通じなかった

▲幾度となく左フックがヒット。ダウンはいずれもローキックだが、お膳立てを立てたのはやはりパンチだった

★第12試合/メインイベント（3分5R）

○武田幸三（3R1分04秒、KO勝ち）ビッグベン・ノッパラットファーム●
〈治政館〉 〈タイ〉

※3Rに右ローキックで3度目のダウンを奪う。ビッグベンは2Rにも2度、ダウンしている

を経て、いきなり倍になって蘇ってきたような気がした。キック界の洋々たる前途も、きっと見えていたことだろう。

ところが、うまいことばかりは続かない。小笠原、武田は相次いでベルトを失った。さらに痛ましかったのは、ついこの間、小林が喫した惨敗だった。これもノンタイトル戦ながら現役ルンピニー王者ナムサックノーイと対した小林は、痛烈なヒジ打ちを浴びて、まさしく流血のレッスンを施される。あらためて思い知る本場の厚い壁。日本人が再び見始めた夢や希望は、タイ人の前に、あっけなく踏みにじられ、またしても焦土と化したのである。

だから、2度目の頂上アタックの事の重大さを、武田は十分に分かっているはず。格闘技界はK—1中量級の大盛況に賑わっているが、それには目もくれず、ひたすらムエタイ500年の伝統に挑戦することに、この男はまい進するのだ。

「いつも言うことですが、タイからは金太郎飴みたいに、次から次へと強いヤツが出てくる。それも飴の棒はどんどん太くなって、もっと強くなっている。ホント、ムエタイは奥が深いです」

武田はムエタイの奥義に直面している。昨年9月、チャーンヴィットのヒジで切り裂かれ、みすみすラジャのウェルター級王座を手放した。あるいは不運な敗戦とも言われたが、彼自身はいざとなった時のタイ人の恐ろしさを、身をもって実感したという。キックボクシングに切実に取り組んできて、そしてその真髄に近付いた男だからこそ、分け入ることのできる境地である。

その気高い高みにまた登ろうとい

このパワーはタイの猛者にも十分通用する！
日本キック界に夢よ再び

これがKOシーン。2Rに2度のダウンを奪った武田は3Rにも立て続けに3度倒した

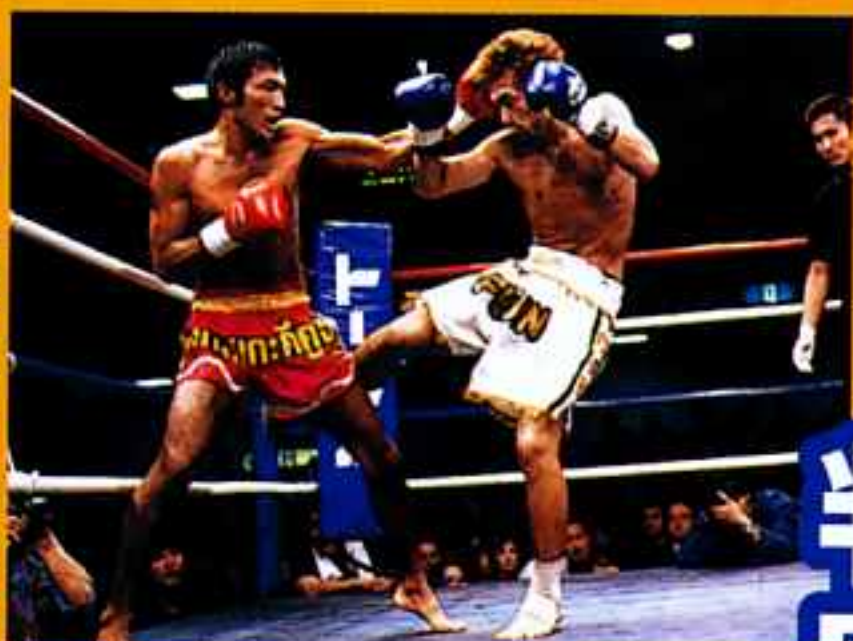
ローキックをしたたか浴びたビッグベンは、試合後もなかなか立つことができなかった

武田のコメント

「狙いすぎました。ちょっと固かったですね。相手？　うまかったですよ。ラジャの5位ですから。（この結果は）モチベーションの差。それだけですよ。（タイトルマッチ直前の緊張も）ちょっとありましたね。やはり100戦くらいやっているやつとやるには、もっと場数を踏んでおきたいです。とにかく、今日はイマイチですね」

ビッグベンのコメント

「痛いよ。（武田の）ローが重かった。今までハイキックでKOされたことはあったけど、ローでは初めてだね。試合は3月11日以来。ちゃんと練習してきたから、コンディションはべつに問題はなかった。得意のヒジでKO勝ちを狙っていたんだけど。今兵役中で、特別許可を受けて日本に来た。タイに帰ったらまた軍隊に戻るよ」

各階級の王者揃うも判定、判定、判定……

▶バンタム級王者の菊地剛介〈伊原道場〉は、風神和昌〈野本ジム〉に意外に手こずったものの、終盤に地力の違いを見せつけて判定勝ちにこぎつけた

▶次世代のエース候補、石井宏樹〈藤本ジム〉はサーイヤン〈タイ〉に判定勝ち。切れ味は相変わらずだが、このバックハンドのような思い切った変化技ももっとほしい

▶現役ウェルター級王者の北沢勝〈藤本ジム〉と前ライト級王者、鷹山真吾〈尚武会〉の一戦は好勝負が期待されたが、噛み合わないまま結局ドローに終わった

うのだから、生半可な心積もりでいられるはずはない。この日、ビッグベンをKOしたことで、全て準備が終わりなんて考えてもいない。なんにしろ、あまりにも手軽な前哨戦だったのだ。

　サウスポーのビッグベンは、足を前後に踏みかえたり、両手を下げたり、あるいはオーソドックスに構えたり、とさまざまな陽動作戦を試みる。武田は「何をやってんだ」とばかりに動じる気配はない。鋭い左右のローを飛ばし、右ストレートを打ち込む。2Rに奪った最初のダウンは鮮やかだった。ビッグベンが手を伸ばし首を取ろうとした瞬間、右のヒジがそのアゴにスマッシュヒットする。棒立ちになったところに、すかさず右のローがフォローされる。ラジャ5位はベタンとヒザから崩れ落ちていった。

　あとはいとも簡単にダウンシーンのオンパレードだ。その全てが、強烈なパンチの連打からつなげたローキックである。ダウンを奪っても武田はニュートラルコーナーに向かわず、倒れた対戦者の前に仁王立ちになってにらみつける。

「いや、ニュートラルコーナーに行かないのはいつものこと。ついカッとなっちゃって」

　武田はそう言うのだが、この日に限っては「そんなにたやすくくたばるんじゃないよ。もっと闘わせろよ、この俺に」。そう言っているように思えて仕方がなかった。

「練習で地獄を見る覚悟」

　武田はどこまでも自分を追い込み、どこまでも最強の夢に殉ずるつもりだ。彼の描くロマンは、私たち格闘技ファンの気持ちと寸分たがわず等しい。（宮崎）

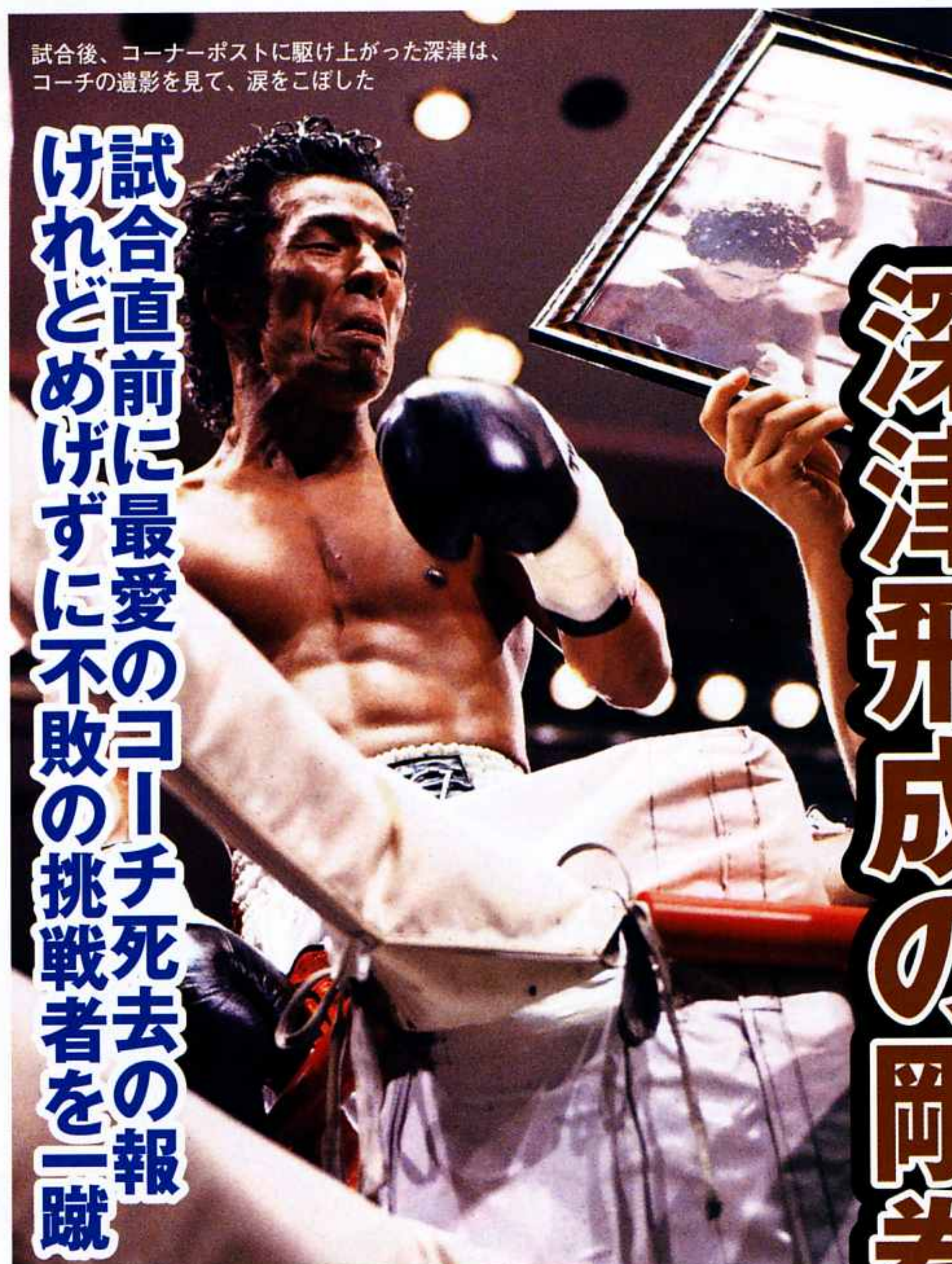
新日本キック

Get Forward! ～前進～

3.24★後楽園ホール

天に召された"友"に届け 深津飛成の剛拳がうなる風音よ

試合直前にコーチ死去の報 けれどめげずに不敗の挑戦者を一蹴

試合後、コーナーポストに駆け上がった深津は、コーチの遺影を見て、涙をこぼした

★第11試合/日本フライ級タイトルマッチ（3分5R）

○深津飛成（3R2分56秒、KO勝ち）モンチーエシマ●

〈王者・伊原道場〉　〈挑戦者・治政館〉

※3Rに左フックで3度目のダウンを奪う。エシマは2Rにも2度ダウンをしている

深津のコメント

「ジョン、あいつに見てもらえなかったのが悔しい。闘っている時は、ずっとバルコニーから見てくれているような気がして。試合前は全然テンションが上がんなかった。KOは狙っていました。今日だけは絶対に倒そうと。相手に関係なく。勝ったのが、彼への最高の弔いです。もう試合のことはどうでもいい。ゆっくりしたい」

エシマのコメント

「ものが違ってたというか、何もできなかったのが悔しいです。前蹴りと左のジャブで突き放して、それから突進して左のヒジを当てようという作戦だったんですが。(深津は) ローも重かったし、パンチも凄かった、もらったことないですね、あんなパンチは。練習でフェザー級の選手とやった時のようなパンチの強さでした」

▶鋭い右ストレートがクリーンヒットする。『リトル・タイソン』という異名は昔のものではない

▶懸命の反撃を試みるエシマだったが、力の差は歴然。深津は難なくタイトル防衛を果たした

▶日本のフライ級では、この深津にかなう者はいまい。蹴りもまた強烈だった

▶3R、2度目のダウンを奪ったあと、痛烈なフィニッシュ。ヒザとキックで攻め立て、最後は右ストレートからコンビネーションさせた左フックだった

戦士たる者、いかなる時も弱音を吐いてはならない。人前で泣いている姿を見せるなんて、もってのほかだ。だが、今日、KO勝ちを収めた深津が思わずこぼした涙まで否定したとしたら、それは人でなしの所業である。試合直前、この小さな強打者は、大事な人を亡くした。タイで教えてくれていたコーチのジョンである。ジョンは深津には単なるコーチにとどまらない。親友であり、兄弟であり、つまり絶対的な信頼を寄せる人物だった。そのジョンが交通事故で死去していたのだ。

「自分にとって今日は試合ではなく、ただの仕事でした」

だが、むろん負けることはできない。大事な日本タイトルがかかっている。いや、それ以上に、負ければジョンを裏切ることになる。そして、深津は強かった。ここまで7戦し、6勝4KO1分の不敗のエシマを、問答無用に打ちのめしていった。

初回から鋭いローで追い立てた深津は2R、ローからミドルでエシマを棒立ちにしたところに、右クロスパンチを決めてダウンを奪う。3Rにもヒザを強襲し、右アッパーでまた倒す。とどめはコーナーに追い詰めてから放った左フックだった。

今日の深津に闘いに対しては、一切のケチの付けようもない。強く、正しく、潔かった。きっと、天の誰かが、その背中を押してくれていたに違いない。

（宮崎）

MAX CLUB マックス・クラブ

さらに値下げ！

60% OFF

超超超特価

商品番号:ND-100
商品名:ネックデベロッパー
定価¥2,800→¥1,800
■台湾製
■プレートは別売です。
35% OFF

商品番号:LFM-1
商品名:フォーアームマスター
定価¥3,500→¥1,500
■重量/1kg ■台湾製
60% OFF

商品番号:CB-110
商品名:クランチボード
定価¥4,300→¥980
■重量/3.2kg
■サイズ/W32×D77cm
■台湾製
床ずれせずに腹直筋を鍛えます。腰の弱い方も安心して使えます。
30% OFF

●バーベルセットのバーの長さは160cm、180cmのどちらかをお選び下さい。200cmの場合は900円増です。●B:バー DB:ダンベルバー P:プレート

超超超特価

商品番号:HRC-100 商品名:クロームメッキバーベルセット

セット	内容	価格
35kgセット	B10kg×1、DB2.5kg×2、P2.5kg×4、P5kg×2	¥14,100→¥5,600
55kgセット	B10kg×1、DB2.5kg×2、P1.25kg×4、P2.5kg×4、P5kg×2、P7.5kg×2	¥20,500→¥8,200
75kgセット	55kgセット+P10kg×2	¥26,900→¥10,700
105kgセット	75kgセット+P15kg×2	¥36,500→¥14,600
145kgセット	105kgセット+P20kg×2	¥49,300→¥19,700

プレート	価格
1.25kg	¥400→¥100
2.5kg	¥800→¥200
5kg	¥1,600→¥400
7.5kg	¥2,400→¥600
10kg	¥3,200→¥800
15kg	¥4,800→¥1,200
20kg	¥6,400→¥1,600

35% OFF

商品番号:HRC-200 商品名:レギュラーバーベルセット

セット	内容	価格
35kgセット	B10kg×1、DB2.5kg×2、P2.5kg×4、P5kg×2	¥11,400→¥6,600
55kgセット	B10kg×1、DB2.5kg×2、P1.25kg×4、P2.5kg×4、P5kg×2、P7.5kg×2	¥15,400→¥9,600
75kgセット	55kgセット+P10kg×2	¥19,400→¥12,600
105kgセット	75kgセット+P15kg×2	¥25,400→¥16,500
145kgセット	105kgセット+P20kg×2	¥33,400→¥21,700

プレート	価格
1.25kg	¥250→¥150
2.5kg	¥500→¥300
5kg	¥950→¥600
7.5kg	¥1,500→¥900
10kg	¥2,000→¥1,200
15kg	¥3,000→¥1,800
20kg	¥4,000→¥2,400

35% OFF

商品番号:HRC-300 商品名:ラバーバーベルセット

セット	内容	価格
35kgセット	B10kg×1、DB2.5kg×2、P2.5kg×4、P5kg×2	¥14,100→¥7,600
55kgセット	B10kg×1、DB2.5kg×2、P1.25kg×4、P2.5kg×4、P5kg×2、P7.5kg×2	¥20,500→¥11,600
75kgセット	55kgセット+P10kg×2	¥26,900→¥15,600
105kgセット	75kgセット+P15kg×2	¥36,500→¥21,600
145kgセット	105kgセット+P20kg×2	¥49,300→¥29,600

プレート	価格
1.25kg	¥400→¥250
2.5kg	¥800→¥500
5kg	¥1,600→¥1,000
7.5kg	¥2,400→¥1,500
10kg	¥3,200→¥2,000
15kg	¥4,800→¥3,000
20kg	¥6,400→¥4,000

35% OFF

商品番号:HRC-1000
商品名:50Φオリンピックバーベルセット

セット	内容	価格
61kgセット	B16kg×1、P1.25kg×4、P2.5kg×4、P5kg×2、P10kg×2	¥29,400→¥19,100
91kgセット	61kgセット+P15kg×2	¥39,000→¥25,400

プレート	価格
1.25kg	¥400→¥250
2.5kg	¥800→¥500
5kg	¥1,600→¥1,000
10kg	¥3,200→¥2,000
15kg	¥4,800→¥3,000
25kg	¥8,000→¥5,000

50% OFF

ふくらはぎの鍛錬に
ももの鍛錬に！

商品番号:LL-2000
商品名:レッグカールブーツ
1コ定価¥5,800→¥2,900
■プレートは別売です。

NEW

商品番号:MAX-3
商品名:MAX28Φレンチカラー
1組¥200
レンチ式のダンベルバーにご使用ください。

商品番号:PF-160
商品名:マルチシットアップベンチ
定価¥19,800→¥9,800
■重量/20kg
■耐荷重量/250kg
■サイズ/H125W34×D165cm
■中国製
■ダンベルは別売です。
★インクラインベンチプレス
★バックエクステンション
★フラット
★アームカール
★バタフライ
★トライセプス
★ディクラインプレス
★シットアップ
★レッグレイズ
★サイドラテラル
★ワンハンドローイング

指導書付き！33種類のトレーニング運動を収録した説明書付き
50% OFF

●基本的にレギュラーダンベルセットにはレンチ式シャフト（スプリングカラー4ヶ付）、クローム、ラバーダンベルセットにはスクリュー式シャフトがセットされます。

ダンベルセット

セット	片手	内容	レギュラー	クロームメッキ	ラバー
10kgセット	片手5kg	DB2.5kg×2、P1.25×4	¥4,000↓ ¥2,600	¥4,800↓ ¥2,000	¥4,800↓ ¥3,000
20kgセット	片手10kg	DB2.5kg×2、P1.25×4、P2.5kg×4	¥6,000↓ ¥3,900	¥8000↓ ¥3,200	¥8000↓ ¥4,600
30kgセット	片手15kg	DB2.5kg×2、P1.25×4、P2.5kg×8	¥8,000↓ ¥5,200	¥11,200↓ ¥4,500	¥11,200↓ ¥6,600
35kgセット	片手17.5kg	DB2.5kg×2、P1.25×8、P2.5kg×8	¥9,000↓ ¥5,850	¥12,800↓ ¥5,200	¥12,800↓ ¥7,600
40kgセット	片手20kg	DB2.5kg×2、P1.25×4、P2.5kg×4、P5kg×4	¥9,800↓ ¥6,370	¥14,400↓ ¥5,800	¥14,400↓ ¥8,600

NEW

商品番号:MAX-1
商品名:
1本¥500
■素材/鉄
■重量/1本300g
■スプリングカラー付
★プレートは1本20kgまでOK

MAXレギュラーダンベルセット

重量	内容	価格
10kg	DB×2、P2.5kg×4	¥2,200
15kg	DB×2、P2.5kg×4、P1.25×4	¥2,800
20kg	DB×2、P2.5kg×8	¥3,400
25kg	DB×2、P5kg×4、P1.25kg×4	¥4,000
30kg	DB×2、P5kg×4、P2.5kg×4	¥4,600
40kg	DB×2、P5kg×8	¥5,800

40kgセット例

商品番号:CN-510
商品名:オリンピックベンチ
定価¥22,000→¥12,000
■バーベル部:耐荷重量/221kg
■ベンチ:耐荷重量/100kg
■重量/56kg
■サイズ/H145×W112×D185cm
バーベルの高さ5段階調節可能(85〜121.5cm)
■中国製
■プレートは別売です。

セット	価格
オリンピックベンチ+61kgセット	¥31,100↓ ¥26,400
オリンピックベンチ+91kgセット	¥37,400↓ ¥31,800

オリンピックベンチ+50Φオリンピックバーベルセットでご購入された方は上記価格よりさらに15%OFF!!

45% OFF

たっつぁん万座ビーチ

この春デビューのフレッシュマンに贈るフレッシュなプレゼント！

読者プレゼント

グレート・アントニオ提供

グレート・アントニオの新作Tシャツだよ！

The Classics Tシャツ
（カラー白/サイズXS・S・M・L）

1名様

The Classics
Great Antonio

※グレート・アントニオの商品に関するお問い合わせは、グレート・アントニオ☎03-3219-9550、またはhttp://www.great-antonio.jpまで

アート・ストーム提供

最強の男はこんなところにもいる！
関節も自由に動くよ！

グラップラー刃牙アクションフィギュアシリーズ
『愚地独歩 リペイント版』

3名様

※価格3,480円（税別）。この商品に関するお問い合わせは、FEWTURE SHOP/PLANET-X☎03-3460-9742まで

日本文芸社提供

初代タイガーの教えを受け、
キミも自分の身は自分で守れ！

佐山聡著『護身 最強のリアルテクニック』

10名様

メディアファクトリー提供

あの摩天楼対決がよみがえる！
猪木の特別映像も収録！

DVD
『PRIDE.18 in MARINE MESSE FUKUOKA』

3名様

※全8試合の激闘に加え、バックステージ映像や試合直前直後の選手インタビューを収録した一本！ DVDだけの特典映像として、今大会前に行われた猪木軍決起集会の模様が収録されている。この商品に関するお問い合わせは、メディアファクトリーカスタマーサポートセンター☎03-5469-4880 月～金曜10:00～18:00（祝日を除く）

カプコン提供

松田優作が斬りまくる！
大好評シリーズ第2弾が発売！

3名様

プレイステーション2用ソフト
『鬼武者2』

※前作で好評を得た"空前絶後のバッサリ感"を継承し、前作以上に痛快チャンバラアクションを追求した一本！ 今回は松田優作が柳生十兵衛を演じている。価格6,800円（税別）発売中。この商品に関するお問い合わせは、カプコンユーザーサポートセンター☎06-6946-3099まで

BCG提供

レフェリー島田裕二氏のジム『BCG』のステッカー！ 祝ジム開設!!

BCGステッカー

BODY CHECK GYM

10名様

応募方法

ハガキには必ず応募券を貼ろう！

右ページ下の応募券を官製ハガキに貼って、

❶ 郵便番号・住所・電話番号
❷ お名前
❸ 年齢・ご職業
❹ 希望プレゼント名
❺ 今号で面白かった記事とその理由（複数可）
❻ 今号で面白くなかった記事とその理由（複数可）
❼ 本誌に対するご意見・ご感想

を書いて、ビシバシ応募してください！

あて先 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F
SRS・DX編集部『たっつぁん万座ビーチ㊼』係まで

締め切り…2002年4月18日（木）当日消印有効。

本誌編集部提供

コレを耳につけるとTバックがはきたくなる？ 魅惑のイヤリングだ！

ティム・カタルフォ"OBAKE"ステッカー

3名様

MONSTER
OBAKE
(oh-bah-key)

ジョー・サン着用済みイヤリング

1名様

ヴァンダレイ・シウバオフィシャルHPカード

10名様

応募券 たっつぁん万座ビーチ㊼

SRSDX 4・11 No.67

3.22 UFC36 桜井速人vsM・ヒューズ速報

K−1 vs PRIDE 遂に開戦!

平成12年4月25日第3種郵便物認可　平成14年4月11日発行　第4巻・8号・通算67号
編集人・谷川貞治　発行人・柳沢忠之　発行所・(株)フジテレビ出版／(株)ローデス　〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F　電話／03-3295-4445
発売所・(株)扶桑社 〒105-8070 東京都港区海岸1丁目15番1号

定価680円　本体648円